SONY パーソナルITテレビ IDT-LF3

SONY

4-093-752-01 (1)

airboard

LocationFree

パーソナルITテレビ
取扱説明書

IDT-LF3

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

接続と準備

テレビ／ビデオ

インターネット

つづく

メール

アルバム

文字入力

"メモリースティック"とメモリーカード

印刷

つづく

目 次（つづき）

その他の設定

他機との接続と設定

その他

接続と準備

はじめに、テレビ・インターネット・メールの機能を使うための接続と設定を説明します。
次の手順にしたがって接続と設定をしてください。
インターネットやメールを利用しない場合、準備6〜準備11は必要ありません。

Step 1
テレビを見るための接続と設定

準備1：箱の中身を確かめる（☞8ページ）

準備2：テレビアンテナをつなぐ（☞11ページ）

準備3：電源を入れる（☞13ページ）

準備4：タッチペンの位置を調整する（☞17ページ）

準備5：テレビチャンネルを設定する（☞18ページ）

Step 2
インターネットやメールをするための接続と設定

準備6：時計を合わせる（☞25ページ）

準備7：インターネット用の回線をつなぐ（☞26ページ）

準備8：インターネットにつなぐための準備をする（☞35ページ）

準備9：回線の設定をする（☞41ページ）

準備10：インターネットを見るための設定をする（☞49ページ）

準備11：メールを送受信するための設定をする（☞51ページ）

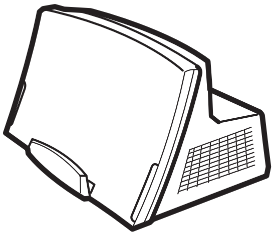
ご注意

インターネットやメールを利用するには、インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者（プロバイダや回線事業者）との契約が必要です。

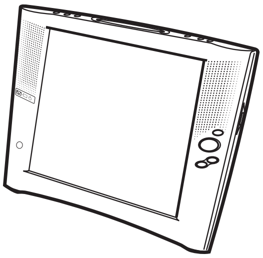
準備 1
箱の中身を確かめる

箱を開けたら、以下の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表わします。

- **ベースステーション**（1）



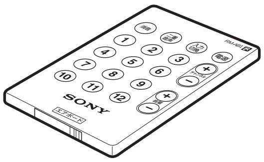
- **モニター**（1）



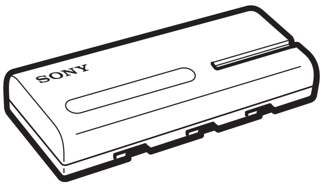
- **タッチペン**（1）



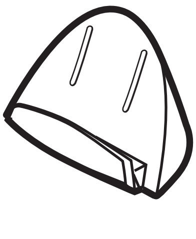
- **リモコン**RM-AB1（1）



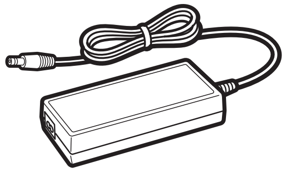
- **バッテリー** BP-AB1（1）



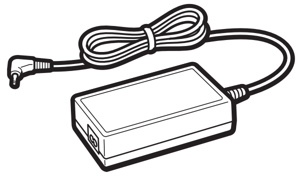
- **クレードル**（1）



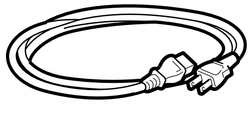
- **ベースステーション用**
  AC**パワーアダプター** AC-LF3（1）



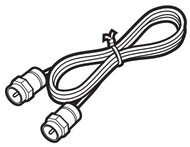
- **クレードル用**AC**パワーアダプター**
  AC-LF1B（1）



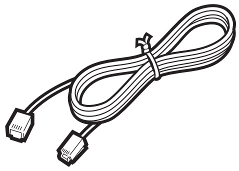
- **電源コード**（2）



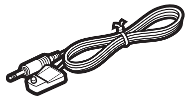
- **アンテナ接続ケーブル**（1）



- **テレホンコード**（1）



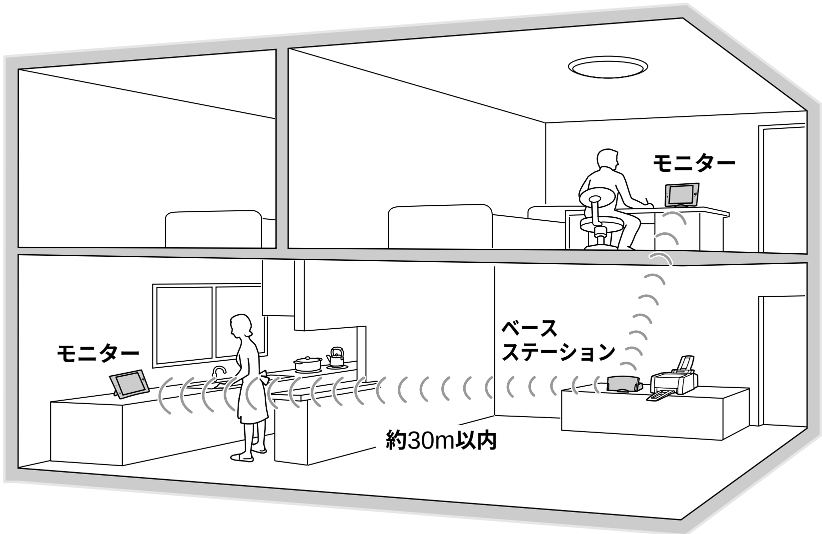
- AV**マウス**（1）



- **取扱説明書**（1）
- **安全のために**（1）
- **区点コード表**（1）
- **ご愛用者カード**（1）
- **エアボードネットニュース**（1）
- **インターネットナンバー番号集**（1）
- **保証書**（1）
- So-net Service Guide（1）
- So-net**インターネット設定マニュアル**（1）
- **「ご使用上のご注意」シール**（1）
  シールはよく見える場所に貼ってください。

エアボードって何？

エアボードはモニターとベースステーションで構成されています。
モニターとベースステーションは、ワイヤレス（無線）通信で互いに情報をやりとりしています。
そのため、家の中などベースステーションから約30m以内の通信範囲なら、モニターだけを持ち歩いて、手軽にエアボードを楽しめます。また、付属のクレードルをよく使う場所に置いておけば、モニターを使いながらバッテリーを充電できるので便利です。



[圏外]について

モニターとベースステーションはワイヤレス通信しているため、使用環境によっては、通信範囲内でも「圏外」と画面上部に表示されて通信できなくなることがあります。

[圏外]表示



ご注意

ワイヤレス通信に関するご注意

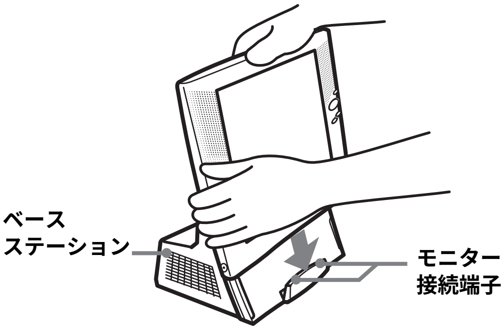
- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
- ベースステーションは、床から離れた、安定した場所に設置してください。
- 次のような環境で使用すると、ベースステーションとモニターとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなることがあります。
  －鉄筋/コンクリート/石の壁や床や床暖房の入った床
  －鉄製の間仕切りやドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などがベースステーションとモニターの間にある場合
- 近くで2.4 GHz、IEEE802.11.b準拠のワイヤレスLANアクセスポイントを使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。「近くでワイヤレスLANを使用するときは」（☞178ページ）をご覧になり、本機のワイヤレスチャンネルを変更してください。

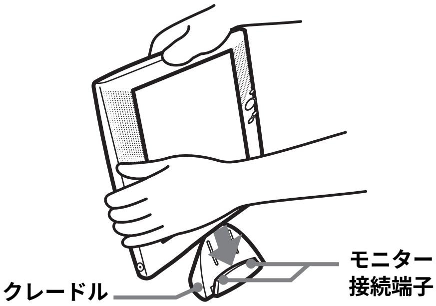
つづく

モニターとリモコンの使いかた

モニターの置きかた

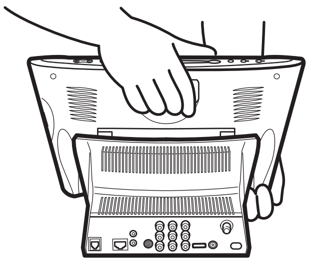
ベースステーションやクレードルのモニター接続端子部に、モニターを置きます。





モニターの取り外しかた

モニター裏面上部の手がけ部を持って、ベースステーションやクレードルから外します。

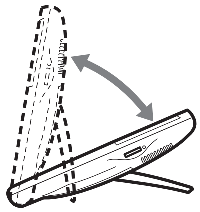


モニタースタンドの使いかた

下図のように、モニタースタンドの角度を自由に調節して使います。

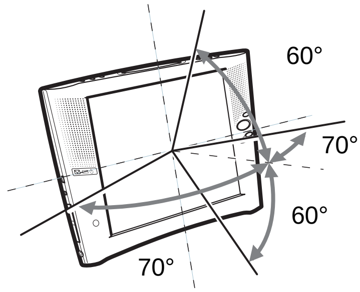
ご注意

モニタースタンドを引き出すとき、つめを引っかけないようにご注意ください。



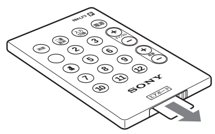
適視角度について

モニターは真正面より左右70度以内、上下60度以内でご覧ください。

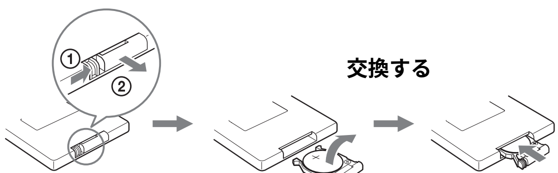


リモコンの使いかた

- お使いになる前に、透明なシートを引き出してください。シートをはさんだままではご使用になれません。



- 電池を交換するときは、ボタン型リチウム電池（CR2025）をお使いください。

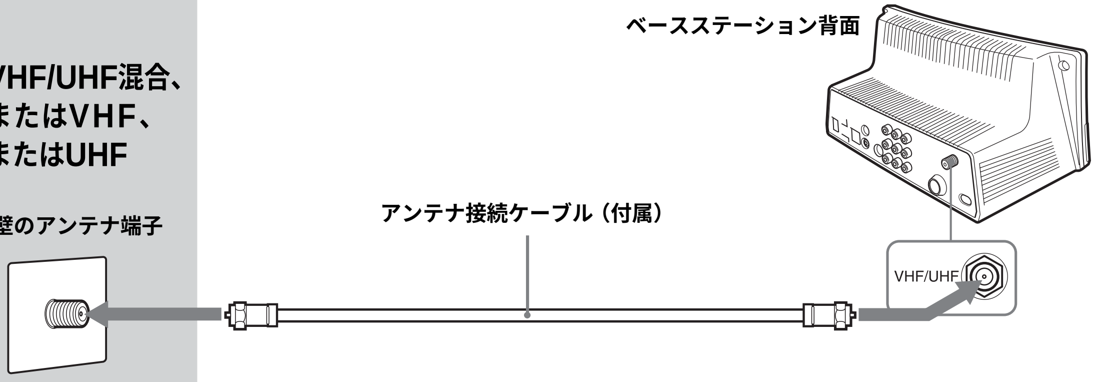


① ツメを右に押したまま、
② 手前に引き出す。

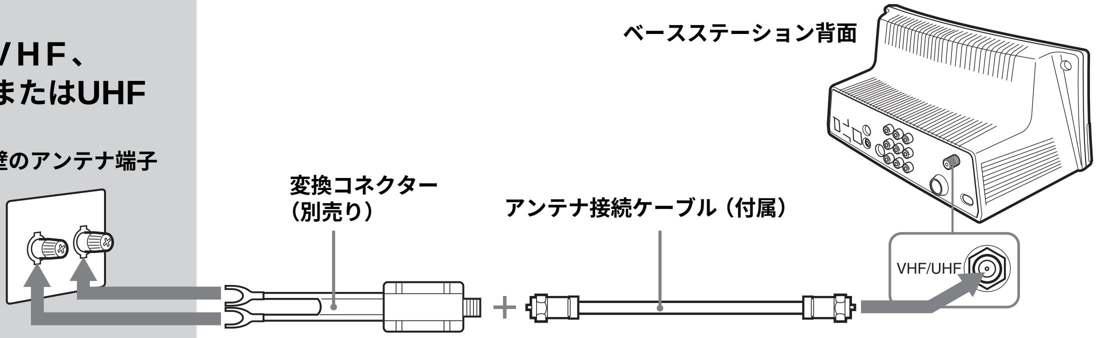
準備 2
テレビアンテナをつなぐ

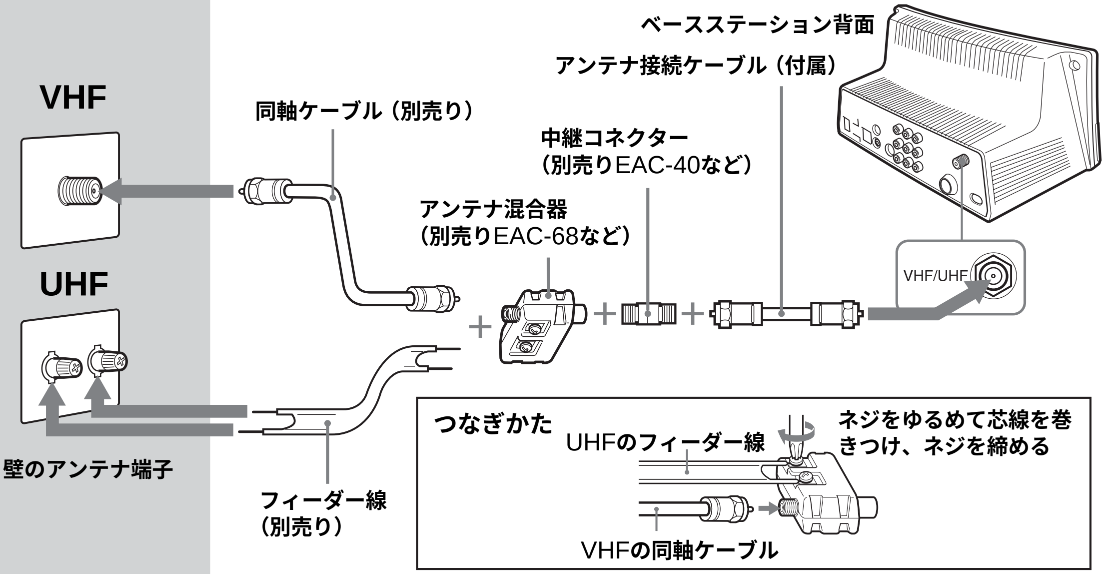
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF



VHF、またはUHF





つづく

きれいな画像をお楽しみいただくために

本機で安定した画像をお楽しみいただくためには、アンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- ベースステーション背面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、**必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください**。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。
万一、フィーダー線をご使用になる場合は、ベースステーションからできるだけ離してください。

ケーブルテレビをつなぐ場合は

ケーブルテレビの方式により、接続や準備の方法が異なります。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
本機でケーブルテレビをご覧になるときは、本機のビデオ入力端子にケーブルテレビのホームターミナルをつないでご覧ください。

ご注意

ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見られないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

共同受信システムのときは

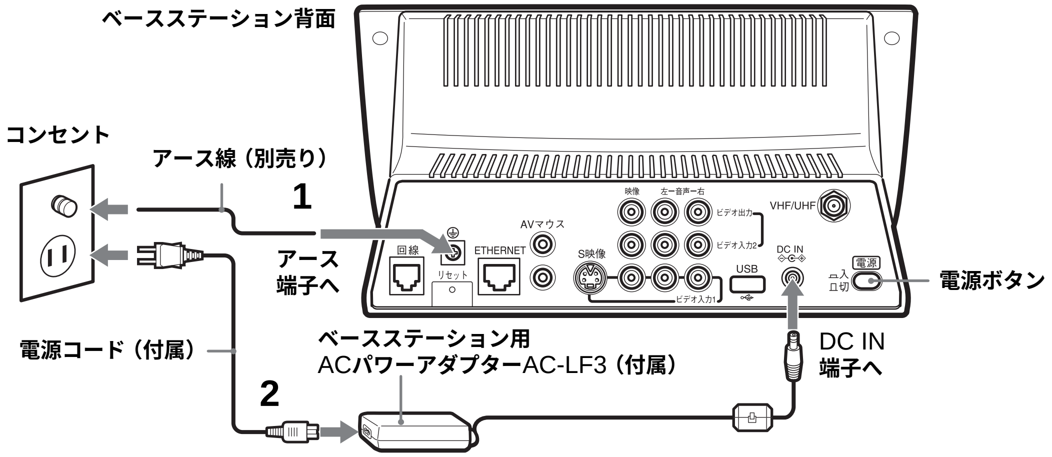
お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続および受信方法の設定を行ってください。

準備 3
電源を入れる

電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをつなぎます。

ベースステーションに電源コードをつなぐ



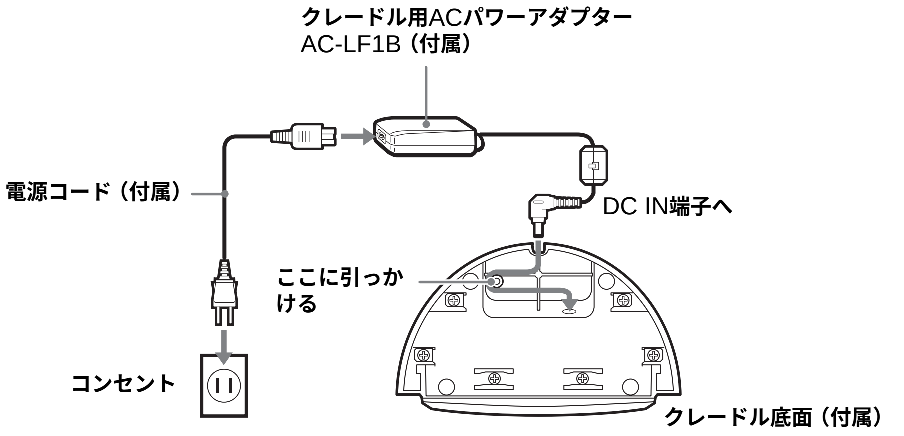
1 **ベースステーションの⏚（アース）端子と壁のアース端子をアース線（別売り）で接続する。**
アース線は、落雷があったときに感電や機器の故障を防ぐためのものです。

2 **付属のベースステーション用ACパワーアダプターと電源コードを、ベースステーションのDC IN端子とコンセントへ接続する。**

ご注意

- 付属のベースステーション用ACパワーアダプターAC-LF3をご使用ください。クレードル用ACパワーアダプターAC-LF1Bは使用できません。
- ACパワーアダプターのコードとアンテナ接続ケーブルを一緒に束ねないでください。電波の弱い地域では、テレビ画像にノイズが発生する場合があります。

クレードルに電源コードをつなぐ



つづく

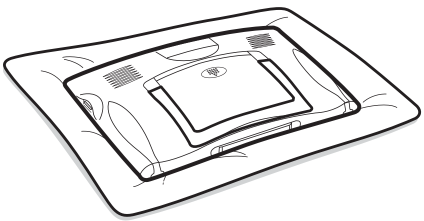
準備 3
電源を入れる（つづき）

モニターにバッテリーを取り付ける

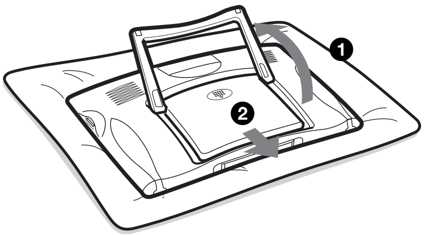
ご注意

本機のモニターには、必ず、付属または別売りのバッテリーBP-AB1をご使用ください。他のエアボード（IDT-LF1/LF1E）用リチャージャブルバッテリーパックBP-LF1、BP-LF2（別売り）は使用できません。

1 **柔らかい布の上に、液晶画面を下にしてモニターを置く。**



2 **モニタースタンドを図のところまで引き上げ（❶）、バッテリー収納部のふたを取り外す（❷）。**

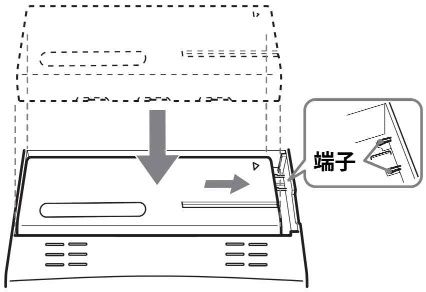


3 **バッテリー収納部の左端に合わせながらバッテリーを入れ、右にずらす。**



ご注意

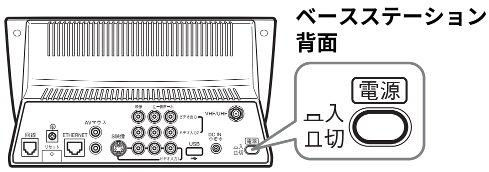
バッテリーを取り付けるときは、必ずバッテリー収納部の左端に合わせてから右にずらしてください。無理に取り付けるとバッテリー収納部の端子が折れたり、変形して接触不良を起こしたりする場合があります。



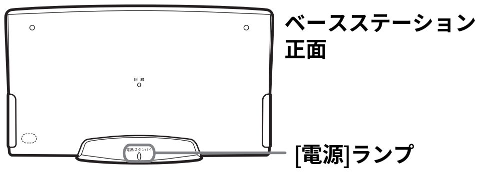
4 **バッテリー収納部のふたを戻す。**

電源を入れる

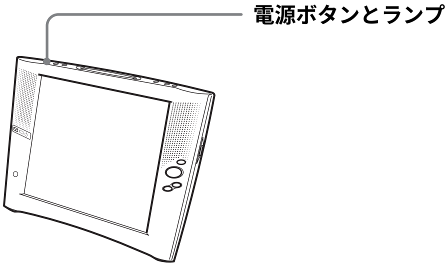
1 **ベースステーション背面にある［電源］ボタンを押して電源を入れる。**



ベースステーション正面の**［電源］**ランプが緑色に点灯します。



2 **モニター上部にある［電源］ボタンを押して、電源を入れる。**



モニター上部の電源ランプが緑色に点灯します。

電源を切るには、[**電源**]ボタンを押します。

ご注意

- モニターの[**電源**]ボタンを押してもテレビの画像が映らなかったり、モニター画面の上部に[**圏外**]表示が出るときは、ベースステーションの電源が切れていないか確認してください。
- モニターの[**電源**]ボタンを押して電源を切るとき、モニター左側の⏻（スタンバイ）ランプが数秒間、赤色に点灯します。⏻ランプ点灯中は、再度[**電源**]ボタンを押しても電源は入りません。
  また、⏻ランプ点灯中にACアダプターを抜いたり、クレードルやベースステーションからモニターを外したり、バッテリーがなくなると、本機の内部データが破損する可能性があります。

付属のリモコンで電源を入/切するには

電源が入っているときに付属のリモコンの[**電源**]ボタンを押すと、モニター左側の⏻(スタンバイ)ランプが赤色で点灯し、スタンバイモードになります。
スタンバイモードのときは、リモコンの[**電源**]ボタンを押すとモニターの電源が入ります。また、リモコンのチャンネル数字ボタンや[**チャンネル＋/ー**]ボタンを押しても、モニターの電源が入り、テレビのチャンネルも選べます（チャンネルポン機能）。

スタンバイモードのとき、モニターの電源を切るには、モニター上部の[**電源**]ボタンを押します。電源を入れるには、⏻ランプ消灯後にもう一度モニターの[**電源**]ボタンを押してください。

モニターのバッテリーを充電する

付属のクレードルまたはベースステーションにモニターを置いてバッテリーを充電できます。
（モニターの置きかたは、☞10ページ）
充電中はモニター左側にある▭（充電）ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。

ご注意

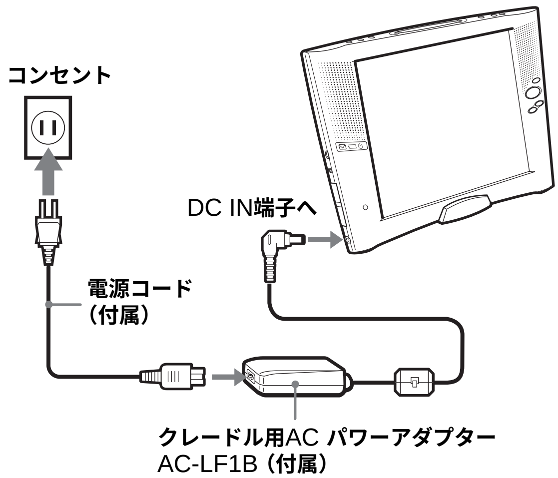
クレードルではモニターを使いながら充電できますが、ベースステーションではモニターを使っているときは充電されません。

ちょっと一言

モニターをクレードルやベースステーションに置いて使う場合、バッテリーが取り付けられていなくても使えます。モニターを常にクレードルやベースステーションに置いて使うときは、バッテリーを取り外すことをおすすめします。この方法を行うとバッテリーが長持ちします。

ちょっと一言

付属のクレードル用ACパワーアダプターを直接モニターにつないでバッテリーを充電することもできます。充電中もモニターを使用できます。



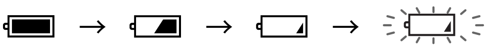
準備 3
電源を入れる（つづき）

バッテリー充電時間一覧表

充電方法	モニター電源入	モニター電源切
クレードルを使う	約7時間	約4.5時間
ベースステーションを使う	できません	約4.5時間
クレードル用ACアダプターを使う	約7時間	約4.5時間

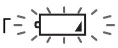
バッテリー使用可能時間

付属のバッテリーは、満充電状態でバックライトの明るさが最小のときに約2時間、中のときに約1.5時間、最大のときに約1時間使用できます。
いずれの場合も、バッテリーが切れるおよそ1〜15分前にモニター画面にお知らせが出ます。
また、モニター画面上部にバッテリー残量が表示されます。



（満充電〜残り3割）（残り3割）（残り1割）（まもなく電池切れ）

ご注意

- バッテリーを長時間使用しないときは、本機で使い切ってから、取り外して保存してください。また、1年に1回程度は満充電にして、本機で使い切ってから、再び涼しい場所で保存してください。
- 本機のバッテリーは消耗品です。バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを採用しています。リチウムイオンバッテリーは通常のバッテリーと同様、充電と放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です（充電放電300回程度が目安）。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーの特性によって、「（まもなく電池切れ）」のお知らせが出ずにバッテリーが切れて電源が切れることがあります。

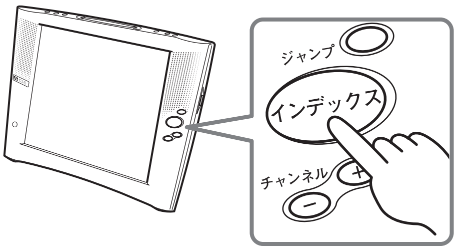
準備 4
タッチペンの位置を調整する

本機は、付属のタッチペンや指で画面に直接軽く触れて、簡単に操作できます。
そのため、タッチペンで選ぼうとしている画面上の位置と、タッチペンが実際に触れた画面の位置とが正しく一致する必要があります。ここでは、タッチペンと画面が同一の位置を認識できるように調整します。

ご注意

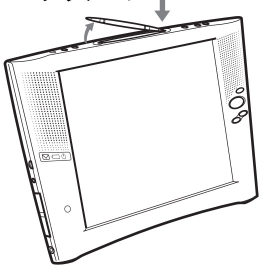
- 画面を選ぶのに他の筆記具や棒などは使わないでください。画面が傷ついたり割れたりする原因になります。
- タッチペン収納部には磁石が入っているため、磁気カードや金属などを近づけないでください。

1 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。



インデックス画面が表示されます。

2 モニター上部からタッチペンを取り出す。



ちょっと一言
操作し終わったら、タッチペンは忘れずにモニター上部にしまってください。

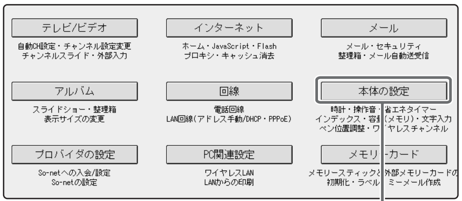
3 インデックス画面から 設定 を選ぶ。

タッチペンで画面上の 設定 に軽く触れます。



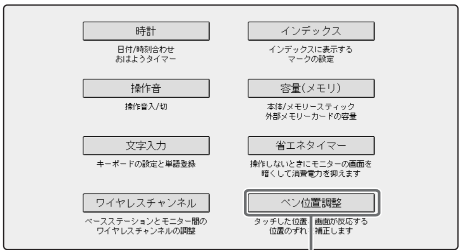
「設定 一覧」画面が表示されます。

4 本体の設定 を選ぶ。



「設定 本体の設定」画面が表示されます。

5 ペン位置調整 を選ぶ。



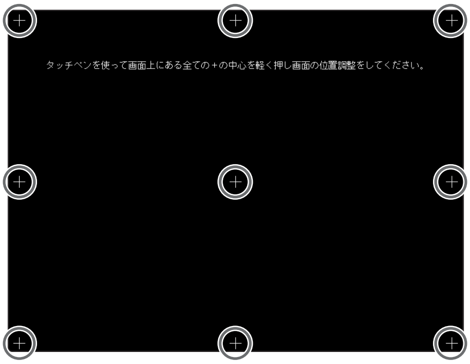
調整画面が表示されます。

つづく

準備 4 タッチペンの位置を調整する（つづき）

6 画面上の＋マークの中央を、9個すべて押す。

押す順番は自由です。ただし、すべて押さないと他の操作ができません。



画面上の＋をすべて押し終わると、「設定 本体の設定」画面に戻ります。

7 [終了]を選ぶ。

インデックス画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ちょっと一言

引き続き他の設定を行う場合は、[設定一覧]を選んで「設定 一覧」画面に戻ります。

本機の設定で使用する主なボタン

本機に共通する主なボタンの機能です。

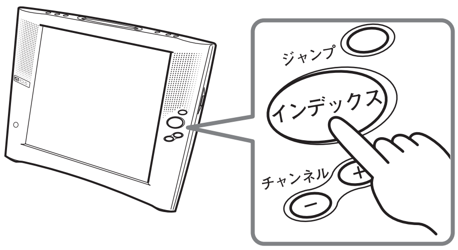
- [OK]：設定などを有効にします。
- [やめる]：操作を中止して、1つ前の画面に戻ります。
- [戻る]：1つ前の画面に戻ります。
- [終了]：設定を完了し、設定画面を表示する前の画面を表示します。
- [設定一覧]：「設定 一覧」画面を表示します。

準備 5 テレビチャンネルを設定する

テレビのチャンネルは、お住まいの地域を選ぶだけで自動的に設定されます。また、必要に応じて手動で設定し直すこともできます（☞20～24ページ）。まず、自動で設定してみましょう。

テレビチャンネルを自動設定する

1 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。



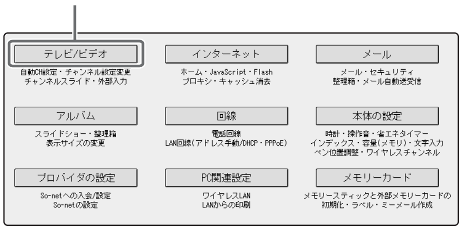
インデックス画面が表示されます。

2 インデックス画面から 設定 を選ぶ。



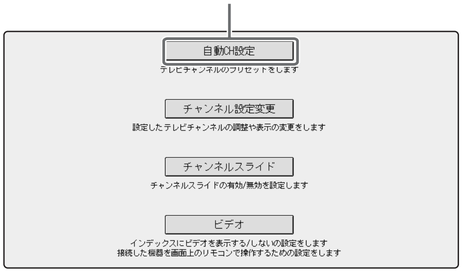
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 テレビ/ビデオ を選ぶ。



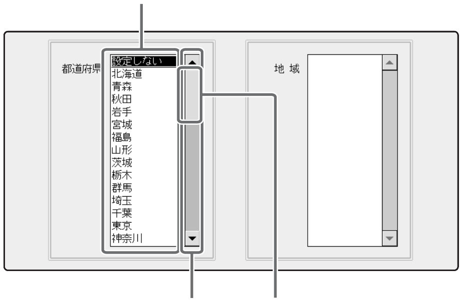
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 自動CH設定 を選ぶ。



「設定 テレビ 自動CH設定」画面が表示されます。

5 左側の都道府県一覧からお住まいの都道府県を選ぶ。



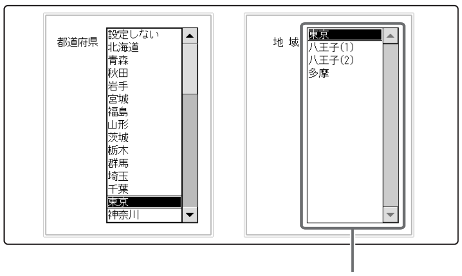
一覧の右側のスクロールバーを上下にスクロールして選びます。スクロールのしかたには3通りあります。

❶ 上下の ▲ ▼ を軽く押し続ける。

❷ スクロールバー内のスクロールノブを軽く押したまま上下に動かす。

❸ ▲ または ▼ とスクロールノブの間のスペースを押す。

6 右側の地域一覧からお住まいの場所に一番近い地域を選ぶ。



つづく

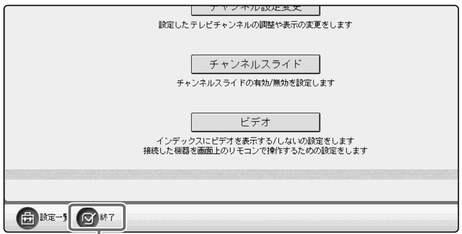
7 **OK を選ぶ。**



OK

チャンネルが自動設定され、「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

8 **終了 を選ぶ。**



終了

インデックス画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

9 **モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。**

インデックス画面に、自動設定されたテレビのチャンネルが表示されます。

テレビのチャンネル



ちょっと一言

- テレビがきれいに映らない場合は、手順6で近くの別の地域を選び直してください。
- それでもテレビが映らない場合は、手動でテレビチャンネル設定を変更してください。（☞ 下記）

ご注意

ホームターミナルを使わずにケーブルテレビ（C13〜C35）を設定する場合は、手動設定でチャンネルを追加してください。（☞下記）

テレビチャンネルを手動で設定する

モニターのチャンネル+/–ボタンや付属のリモコンで選べるテレビチャンネルを手動で設定できます。
自動設定したチャンネルを変えたり、チャンネルの表示を書き換えることができます。

本機で受信可能なチャンネル

VHF放送：1〜12チャンネル
UHF放送：13〜62チャンネル
ケーブルテレビ：C13〜C35チャンネル

1 **インデックス画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **テレビ/ビデオ を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 **チャンネル設定変更 を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

5 変更したいテレビチャンネルのリスト部分を選ぶか、左の□（チェックボックス）を選んで✓（チェックマーク）をつけてから、［編集］を選ぶ。



「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

6 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する。

［－］または［＋］を使って数字を変更します。
受信チャンネルを変更すると、選んだチャンネルの番組が映ります。



「チャンネル表示」とは

テレビの画面上部やインデックス画面に表示するテレビチャンネルの番号です。

「受信チャンネル」とは

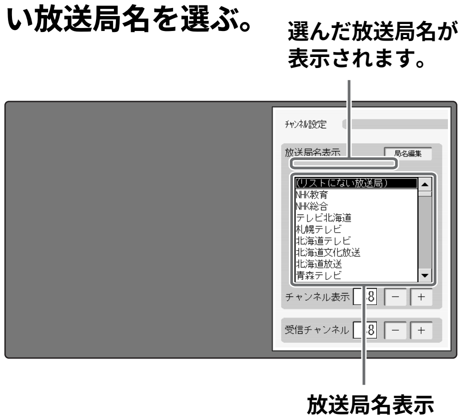
新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネルです。



ちょっと一言

- ケーブルテレビのときは、チャンネル番号の前に「C」の付いた番号を選びます。［－］を押し続けると「C」の付いた番号を早く表示できます。
- 「受信チャンネル」に「--」（C35の次）を表示すると、テレビチャンネルを受信しなくなります。

7 「放送局名表示」の中から設定したい放送局名を選ぶ。



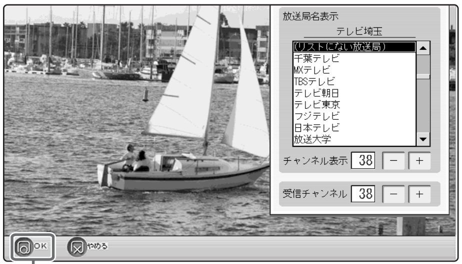
ちょっと一言

追加したい放送局名が「放送局名表示」の中にないときは「放送局名を編集する」（☞23ページ）を行います。

ご注意

放送局名を選ぶときに、正しい局名を選ばないと、エアボードネットのMY番組表やairboテレビで番組を選べません。

8 OK **を選ぶ。**



OK

変更された「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻ります。

9 戻る **を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

3 テレビ/ビデオ **を選ぶ。**

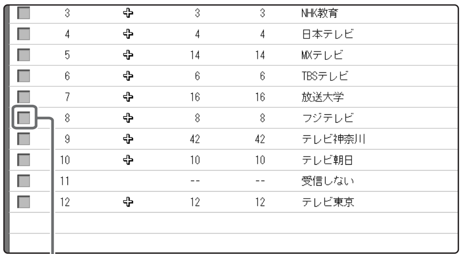
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 チャンネル設定変更 **を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

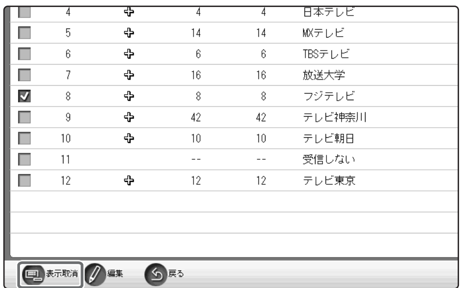
5 **消去したいテレビチャンネルの□に✓をつける。**

一度に複数のテレビチャンネルを選べます。



ここに✓をつけます。

6 表示取消 **を選ぶ。**



表示取消

そのチャンネルが消去され、「放送局名」が「受信しない」に変わります。

見ないチャンネルを消去する

設定したテレビチャンネルの中から、見ないテレビチャンネルを消去します。

ご注意

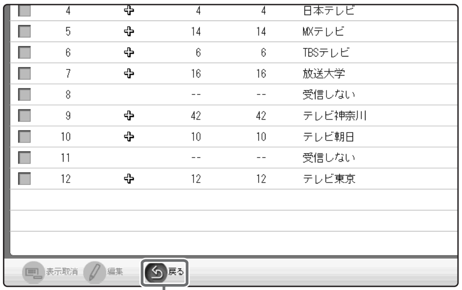
消去したチャンネルをもう一度受信するには、自動で設定し直すか（☞18〜20ページ）、「テレビチャンネルを手動で設定する」（☞20〜22ページ）にしたがって設定し直してください。

1 **インデックス画面を表示する。**

2 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

7 **戻る を選ぶ。**



戻る

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

放送局名を編集する

テレビチャンネルを設定するとき、「放送局名表示」の中に追加したい放送局名がないときは、好みの放送局名を入力して、インデックス画面に表示できます。

ご注意

局名を編集したテレビチャンネルは、エアボードネットのMY番組表やairboテレビで番組を選べません。

1 **インデックス画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **テレビ/ビデオ を選ぶ。**

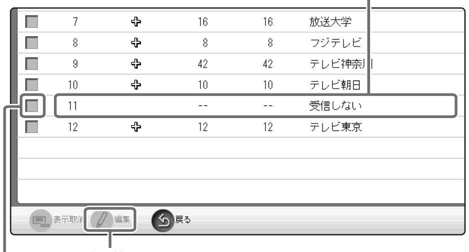
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 **チャンネル設定変更 を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

5 **放送局名を編集したいテレビチャンネルのリスト部分を選ぶか、左の□を選んで✓をつけてから、編集 を選ぶ。**

リスト部分



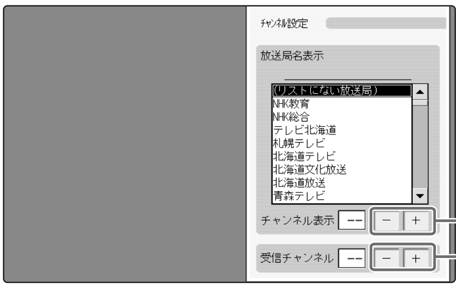
編集

ここに✓をつけます。

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

6 **「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する。**

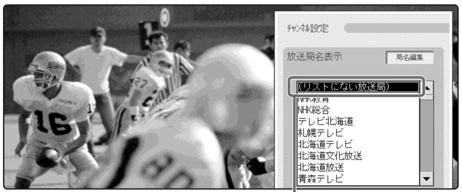
− または ＋ を使って数字を変更します。



+/–

つづく

7 **「放送局名表示」の一番上にある[（リストにない放送局）]を選ぶ。**



（リストにない放送局）

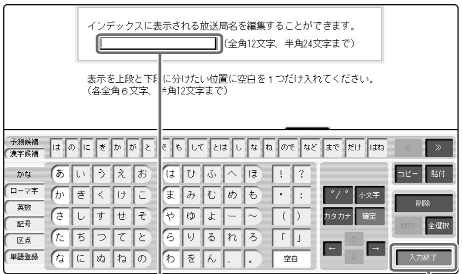
8 局名編集 **を選ぶ。**

局名編集



「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

9 **インデックス画面に表示したい放送局名を入力する。**



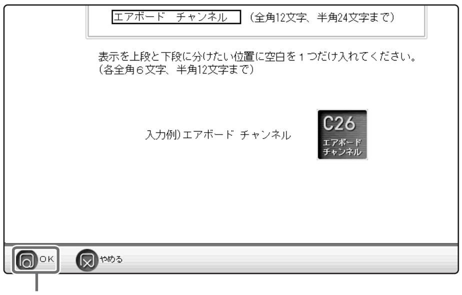
ここに入力します。　入力終了

空欄を選ぶと、キーボードが表示されます。キーボードを使って放送局名を入力します。入力が終わったら、**[入力終了]**を選びます。

ちょっと一言

- 文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。
- 「設定　本体の設定　キーボード」画面で **[連文節変換]**、**[画面内キーボードを使用しない。]** の☐に✓がついていると、キーボードは表示されません（☞138ページ）。

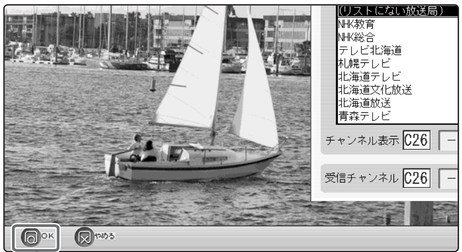
10 OK **を選ぶ。**



OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく入力した放送局名が **[局名編集]** の下に表示されます。

11 OK **を選ぶ。**



OK

変更された「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻ります。

12 戻る **を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

準備 6
時計を合わせる

時計の設定が違うと、おはようタイマーが正確に起動しなかったり、インターネットのホームページが正しく表示されなかったりします。必ず時計を合わせてください。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 時計 を選ぶ。

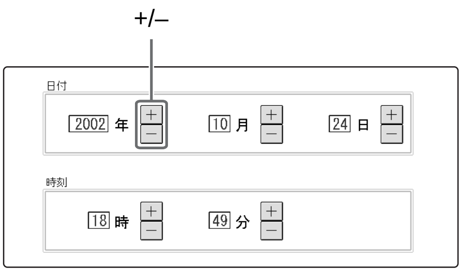
「設定 本体の設定 時計」画面が表示されます。

5 日時 を選ぶ。

「日時」画面が表示されます。

6 「日付」と「時刻」を設定する。

＋ または － を使って設定します。



ちょっと一言

＋ または － を押し続けると早く変わります。

7 OK を選ぶ。



時計が動き始めます。時報と同時に【OK】を選ぶと正確になります。

「設定 本体の設定 時計」画面に戻ります。

ご注意

モニターのバッテリー残量がなくなった状態で、2〜3日放置すると、本機の時計の日付と時刻がリセットされます。

2〜3日放置してリセットされてしまった場合は、再設定してください。

準備 7
インターネット用の回線をつなぐ

インターネットやメールを利用するためには、本機をインターネット用回線につなぐ必要があります。本機は、ケーブルテレビインターネットやADSL回線、ISDN回線、 従来のアナログ電話回線などを使ってインターネットに接続できます。それぞれの回線の特長は、次のとおりです。

インターネット用回線の特長

高速通信、常時接続 –– ブロードバンド

ケーブルテレビ（CATV）インターネット

ケーブルテレビで使用している同軸ケーブルを利用してインターネットに接続します。回線速度はケーブルテレビ会社により異なりますが、通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。

ケーブルテレビインターネットには、本機の他にケーブルモデムが必要です。通常、ケーブルモデムは、インターネット接続契約を結んだ後、ケーブルテレビ会社から貸し出されます。

エーディーエスエル
ADSL（非対称デジタル加入者伝送方式）

1本の電話回線を電話用とインターネット用に共用し、インターネットに接続します。通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。ADSLには、本機の他にADSLモデムとスプリッターが必要です。詳しくは、ご利用のADSL事業者にお問い合わせください。

非・常時接続

アイエスディーエヌ
ISDN（総合サービスデジタルネットワーク）

デジタル電話回線（ISDN)を使ってインターネットに接続します。通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。本機をISDN回線の速度で利用するには、ISDN用のルーター（ダイヤルアップルーター）が必要です。

従来のアナログ電話回線

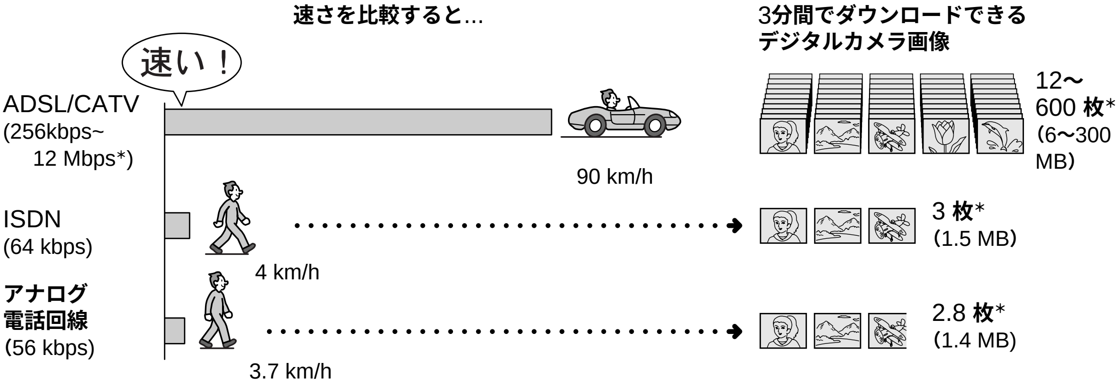
従来のアナログ電話回線と本機に内蔵のモデムを使ってインターネットに接続します。付属のテレホンコードを使うだけで、他の機器は不要です。

ブロードバンドとは？

ケーブルテレビやADSLを使って情報を一度に大量（高速）にやり取りし、ホームページを短時間で表示できる高速のインターネット接続です。次のような特長があります。

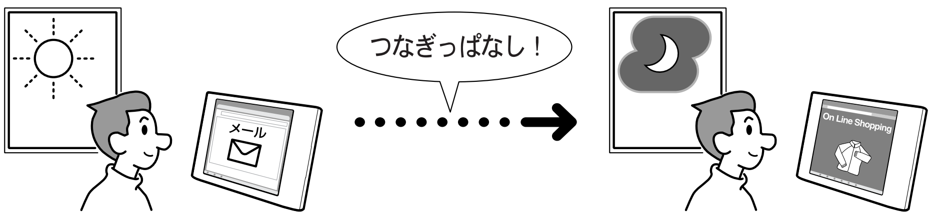
高速

ホームページが表示されるまでの時間が短く、快適にインターネットを楽しめます。
情報量の多い（ファイルサイズの大きい）画像なども、メールですばやく送受信できます。



常時接続

常にインターネットにつなぎっぱなしになるため、ISDNや従来のアナログ電話回線のようにインターネットに接続するたびに回線をつないだり切ったりする必要がありません。
プロバイダに接続するまでの待ち時間もなく、いつでもインターネットが楽しめます。



＊ イラスト中の数字は概算です。また、数値は技術的な理論値であり、回線やサーバーの状態、回線事業者によって異なります。
詳しくは、回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

つづく

インターネット用回線をつなぐのに必要な機器

回線ごとに、以下の機器やケーブルが必要です。また、プロバイダとの契約が必要です。
まず、ご自分の接続方法に合わせて必要な機器を準備してください。準備ができたら、接続のページをご覧になって、接続してください。

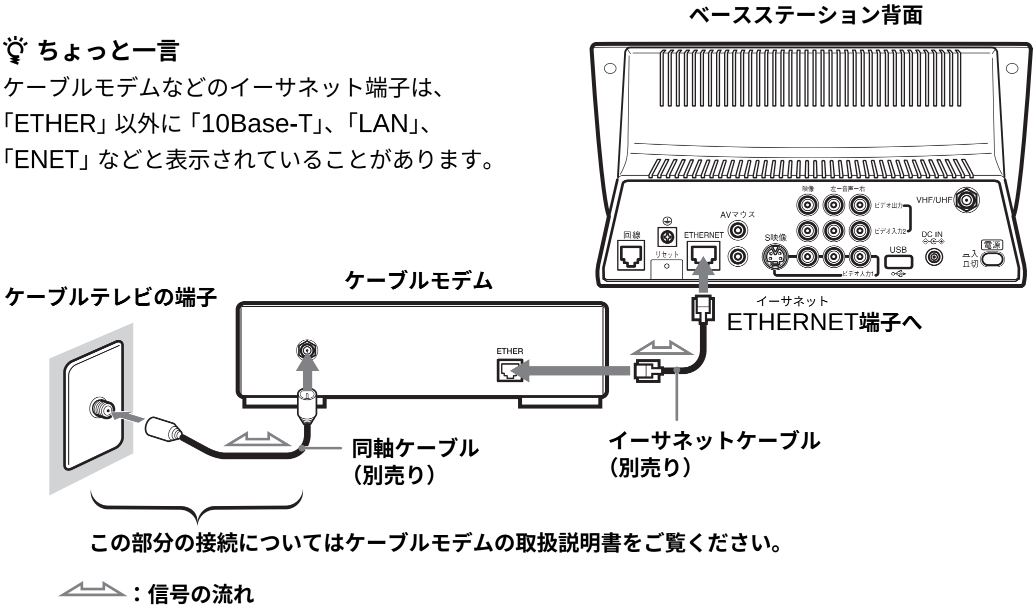
インターネット接続の種類（使用回線）	①下記の機器と…➡	②下記のケーブルを準備してください。➡	③接続のしかたは…
ケーブルテレビインターネット（ケーブルテレビ回線）	ケーブルモデム	イーサネットケーブル	☞ 下記
ADSL **（アナログ電話回線）**	ADSLモデム*とスプリッター	イーサネットケーブル	☞ 29ページ
ISDN （ISDN**回線**）	ISDN対応ルーター	イーサネットケーブル	☞ 31ページ
	ターミナルアダプター	テレホンコード（付属）	☞ 32ページ
アナログ電話回線（アナログ電話回線）	モデム（本機に内蔵）	テレホンコード（付属）	☞ 33ページ

＊ 本機は、USBで接続するターミナルアダプターやADSLモデムには対応していません。

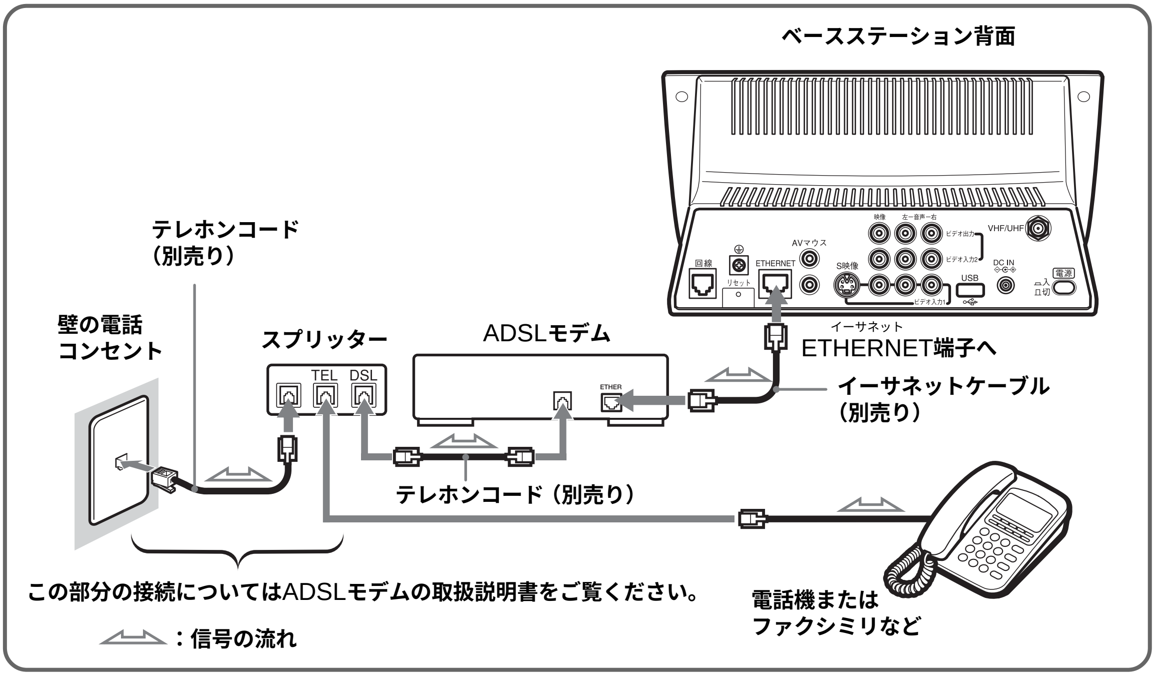
インターネット用回線の接続のしかた

ケーブルテレビインターネットのとき

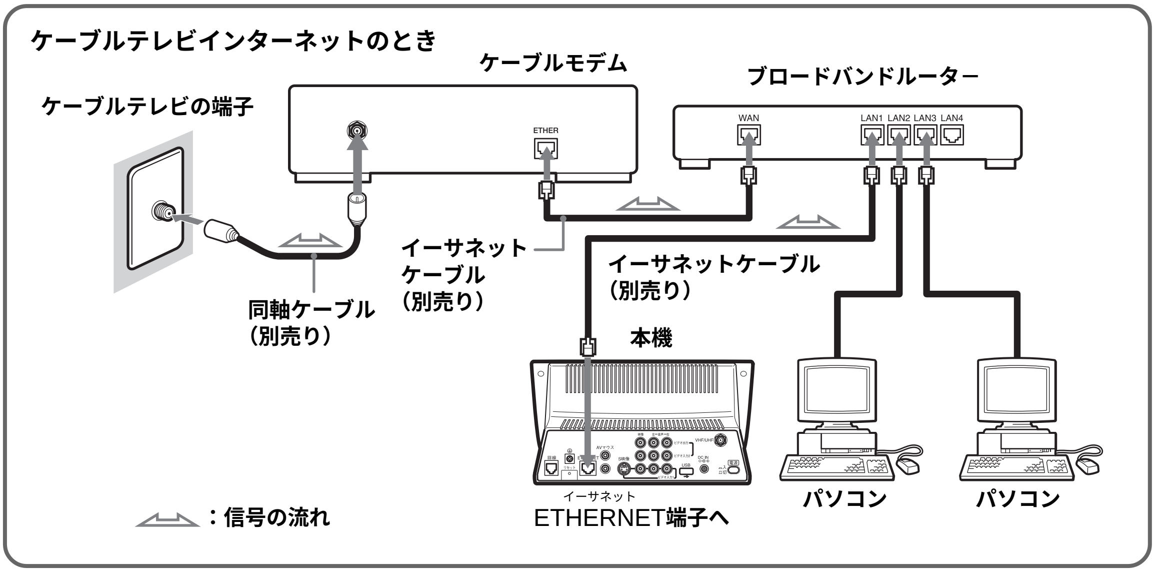
ちょっと一言
ケーブルモデムなどのイーサネット端子は、
「ETHER」以外に「10Base-T」、「LAN」、
「ENET」などと表示されていることがあります。



ADSLのとき



ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき



ご注意

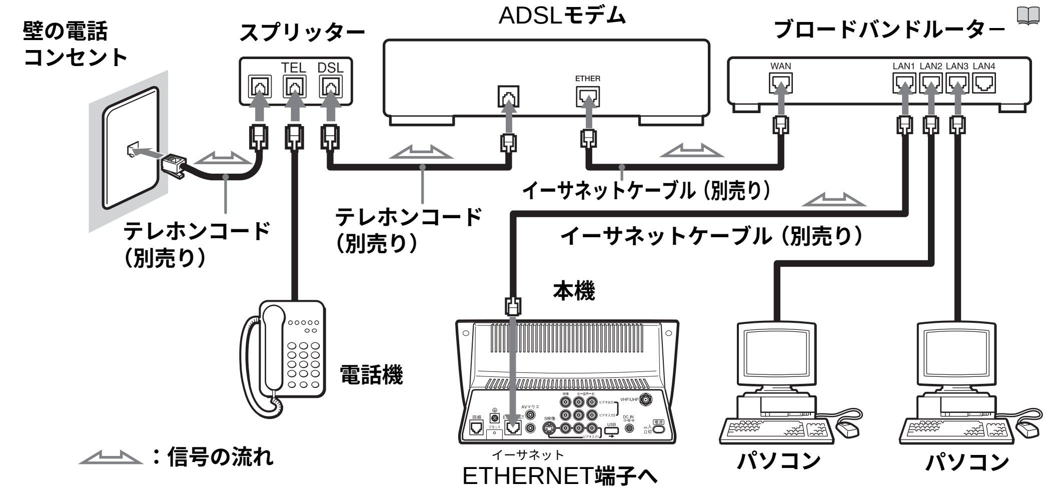
- イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。ケーブルモデムやADSLモデムの種類により、使用するケーブルの種類が違いますのでご注意ください。詳しくはケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。
- 接続についての詳細はケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書もあわせてご覧ください。

また、ケーブルモデムやADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のケーブルテレビ会社、ADSL回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

- 契約によっては、エアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のケーブルテレビ会社やADSL事業者、プロバイダへご確認ください。

つづく

ADSLのとき



ブロードバンドルーターやISDN対応ルーター本体の設定のしかた

- ブロードバンドルーターやISDN対応ルーターの説明書の中で「wwwブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーター）を使って設定画面を表示する」よう指示があった場合、ルーターのIPアドレスを本機のインターネットチャンネルのアドレス欄に入力して設定画面を表示させてください。アドレス欄への入力のしかたは69ページをご覧ください。
- ブロードバンドルーターやISDN対応ルーターの設定について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

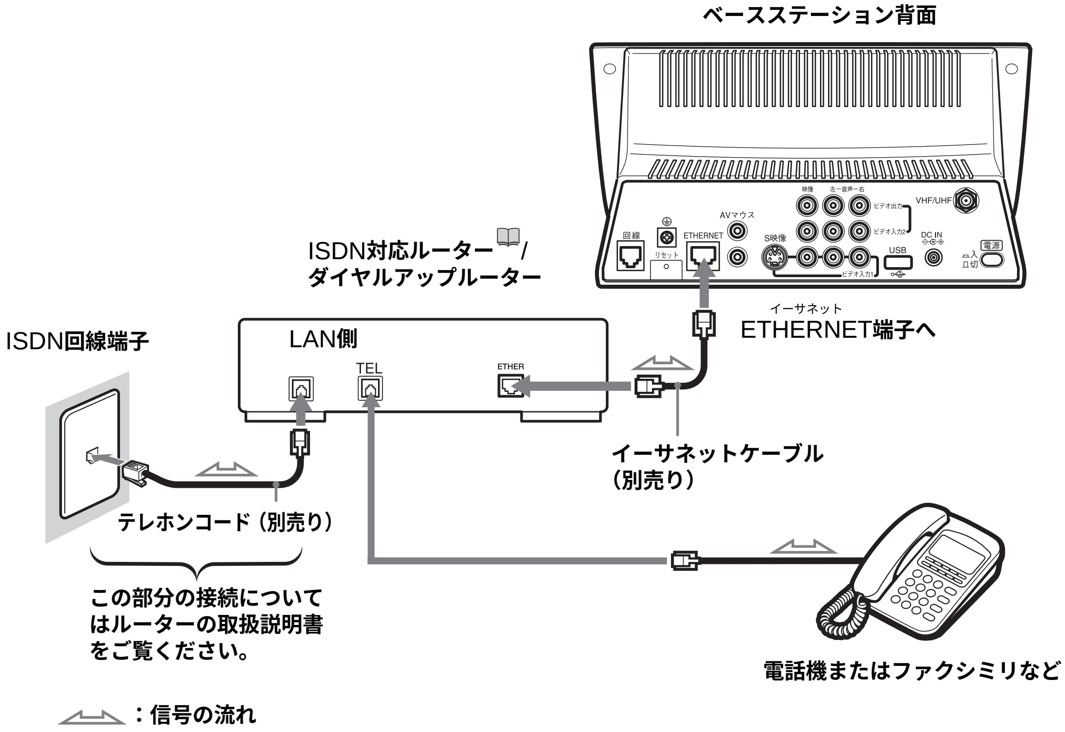
ブロードバンドルーターとは

ケーブルテレビ回線やADSL回線に対応したルーターです。このような機器を使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。

ISDNのとき

ISDN回線を使ってデジタル接続するとき

本機とISDN対応ルーターまたはダイヤルアップルーターを、イーサネットケーブルを使ってつなぎます。



ご注意

イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。接続形態により、使用するケーブルの種類が違いますのでご注意ください。詳しくは、ISDN対応ルーターの取扱説明書をご覧ください。

また、フレッツISDNをご利用の場合は、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。

ルーターとは

ルーターとは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。

ルーターを使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。

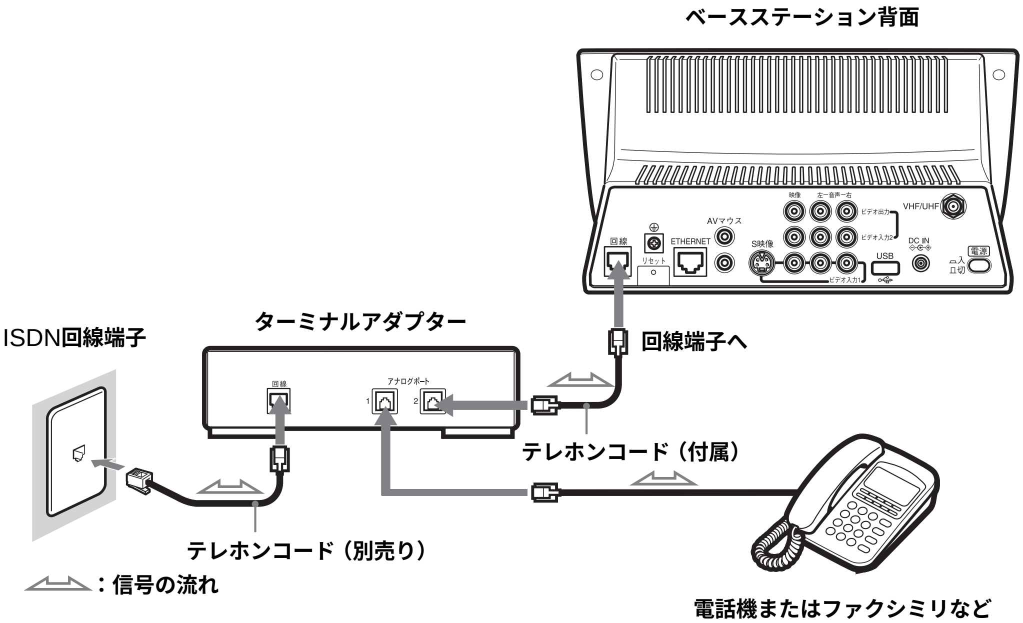
ルーターの設定については30ページをご覧ください。

つづく

準備 7
インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

ISDN回線を使ってアナログ接続するとき

お手持ちのターミナルアダプターのアナログポートに本機を直接つなぎます。
本機内蔵のモデムを使って通信を行うため、アナログ電話回線の通信速度になります。ISDN回線本来のデジタル回線の通信速度で通信を行うには、ISDN対応ルーターが必要です。
（☞ 31ページ）



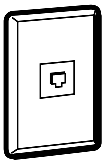
この接続をしたときは、「アナログ電話回線（モデム）を使って接続する」（☞ 41ページ）にしたがって本機を設定し、本機の電話回線の種類を「トーン」に設定してください。

ご注意

- ターミナルアダプターのアナログポートには、モジュラーテレホンコードカプラー（別売り）をつながないでください。2分配すると、本機が正しく働かないことがあります。
- ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラー（別売り）をつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。

アナログ電話回線（モデム）のとき

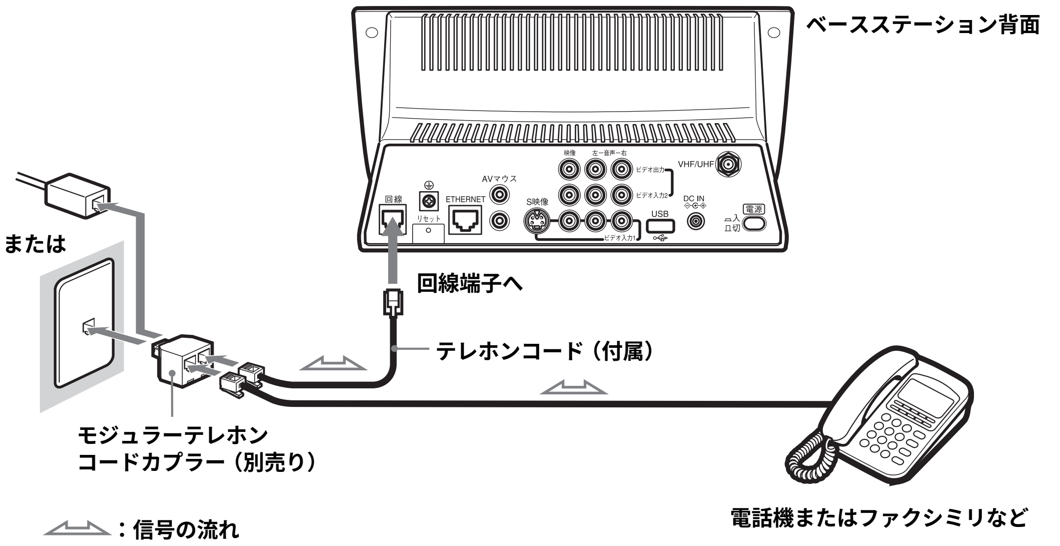
お住まいの電話回線の使用状況に合わせて、33ページ〜34ページから選んでつないでください。**壁のコンセントがモジュラージャック式でないときは、「その他のとき」（☞34ページ）をご覧ください。**



ご注意

- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも、専門業者による工事が必要な場合があります。
- 次の電話回線にはつなげません。
  ー 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
  ー 携帯電話および、PHS、自動車電話
  ー 船舶電話
- 本機は一般の電話回線使用のため、ビジネスホンなどでは使用できない場合があります。

壁の電話コンセントから電話機を直接つないでいるとき



ご注意

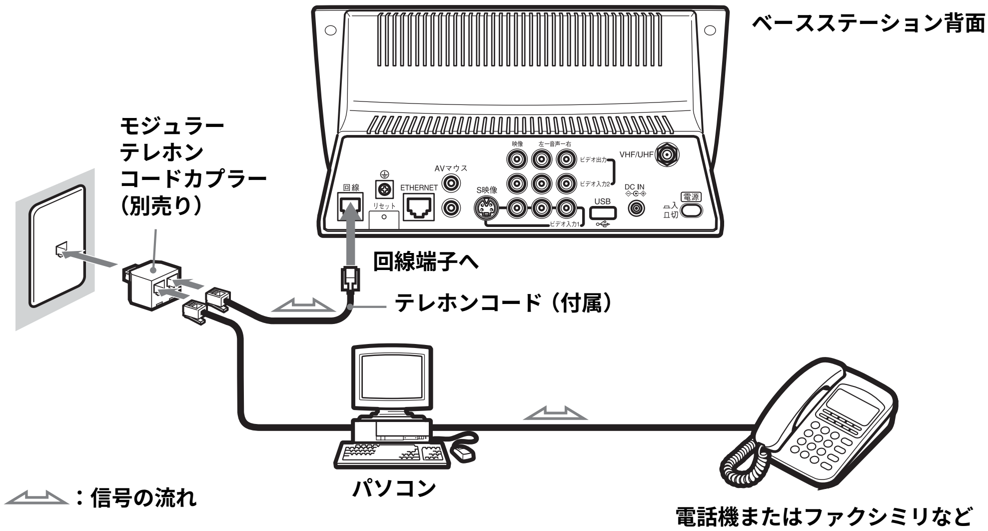
- 同一回線で電話機やファクシミリを使って通話中のときは、本機でインターネットやメールはできません。
- 本機がインターネットやメールで電話回線を使用しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません（話し中になります）。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、モジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの自動転換機TL-P20C*を使ってください。
- パソコンなどの高速通信をするときや、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、モジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りのモジュラー自動転換器TL-NPN222（2口用）やTL-NPN322（3口用）を使ってください。

＊2002年12月現在のアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

つづく

準備 7
インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

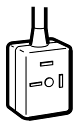
壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき



その他のとき

壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき

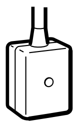
3ピンプラグ式



電話コンセントと別売りモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターやTL-30 C*をつないでください。

壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき

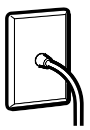
ローゼット式



別売りのモジュラーアダプター（TL-36*など）を使ってつなぐことができます。この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

壁の電話コンセントが直付けタイプのとき

直付けタイプ



「工事担任者」資格者（NTT116番）にモジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23*を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、モジュラー自動転換器TL-NPN322（3口用）を使ってください。

壁埋め込みタイプのホームテレホン(電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター)のとき

専門業者による工事が必要です。

＊ 2002年12月現在のアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

準備 8
インターネットにつなぐための準備をする

インターネット接続ガイド

インターネットに接続するための設定は、お使いの回線により異なります。
まず、このガイドを使い、インターネットに接続するために必要な設定を確認してください。
ここでは、以下の4つのインターネット用回線を案内しています。

- **ケーブルテレビインターネットのとき**（☞ 36ページ）
- ADSL**のとき**（☞ 37ページ）
- ISDN**のとき**（☞ 38ページ）
- **アナログ電話回線（モデム）のとき**（☞ 40ページ）

ちょっと一言
上記以外の接続の方は、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

つづく

準備 8

インターネットにつなぐための準備をする（つづき）

ケーブルテレビインターネットのとき

「ケーブルテレビインターネットのとき」(☞ 28ページ) をご覧になり、本機とケーブルモデムをつなぎ、電源を入れます。

↓

「LAN（ラン）回線（アドレス手動/DHCP（ディーエッチシーピー））を使って接続する」（☞ 44ページ）をご覧になり、本機を設定します。
その際、手順6（☞ 44ページ）で「自動設定（DHCP)」にチェックし、[OK]を選びます。

↓

「ホームページを見てみよう！」(☞ 68ページ) をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。

ホームページが正しく表示された場合

↓

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合

↓

本機とケーブルモデムが正しく設置、接続されていますか？
ベースステーション、ケーブルモデムの電源は入っていますか？

はい

いいえ（最初の手順に戻る）

↓（はい）

ケーブルテレビインターネット事業者から指定されている「固有のIPアドレス」を確認してください。
「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞ 44ページ）をご覧になり、もう一度、ネットワークの設定をします。その際、手順6（☞ 44ページ）で「自動設定（DHCP)」にチェックをせずに各項目を入力してください。

↓

再度、「ホームページを見てみよう！」（☞ 68ページ）をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。

ホームページが正しく表示された場合

↓

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

ホームページが正しく表示されなかった場合

↓

ご利用のケーブルテレビインターネット事業者にお問い合わせください。

ご注意

次のような場合は、本機ではインターネットに接続できません。

- ケーブルテレビインターネット事業者がパソコン以外の機器を接続できないようにしている場合。
- 接続のための専用ソフトをインストールする必要がある場合。
- ケーブルテレビインターネット事業者が、本機で設定できない設定を指定している場合。本機で設定できる項目はIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS1、DNS2、ホスト名です。
  詳しくは、ケーブルテレビインターネット事業者にお問い合わせください。

ADSLのとき

お使いのADSL(エーディーエスエル)モデムに[Ether(イーサー)]や[LAN(ラン)]、[10BASE-T(テンベースティー)]などと書かれたイーサネット端子はありますか？
モデムの側面やモデムに付属されている取扱説明書などをご覧になってください。

↓ **ない**

お手持ちのADSLモデムは使えません。
イーサネット端子があるADSLモデムに変更してください。

↓ **ある**

「ADSLのとき」(☞ 29ページ)をご覧になり、本機とADSLモデムをつなぎ、電源を入れます。

↓

「LAN(ラン)回線（アドレス手動/DHCP(ディーエッチシーピー)）を使って接続する」(☞44ページ)をご覧になり、本機を設定します。その際、手順6（☞44ページ）で「自動設定(DHCP)」にチェックし、[OK]を選びます。

↓

「ホームページを見てみよう！」(☞ 68ページ)をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。

↓ **ホームページが正しく表示された場合**

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

↓ **「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合**

本機とADSLモデムが正しく設置、接続されていますか？
ベースステーション、ADSLモデムの電源は入っていますか？

↓ **いいえ** →「ADSLのとき」(☞ 29ページ)へ戻る

↓ **はい**

ADSL事業者から指定される「接続ID」やパスワードを確認してください。
「LAN回線(PPPoE(ピーピーピーオーイー))を使って接続する(☞ 46ページ)」をご覧になり、ネットワークの設定をしてください。

↓

再度、「ホームページを見てみよう！」(☞ 68ページ)をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。

↓ **ホームページが正しく表示された場合**

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

↓ **ホームページが正しく表示されなかった場合**

ご利用のADSL事業者にお問い合わせください。

ご注意

- すべてのADSL事業者のPPPoE接続を保証するものではありません。
- 接続のための専用ソフトをインストールする必要がある場合、本機ではインターネットに接続できないことがあります。詳しくは、ADSL事業者にお問い合わせください。

つづく

ISDNのとき

ISDN回線の接続に使っている機器は？
お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ダイヤルアップルーター/ISDN対応ルーター

本機と接続できます。
ただし、下記のご注意に該当するときは、本機でルーター本体の設定ができません。パソコンなどを使ってルーターの設定をしてください。詳しくは、ルーターの取扱説明書、またはルーターの製造元にお問い合わせください。

ターミナルアダプター（TA）

ターミナルアダプターのアナログポートを使って本機と接続できます。
この場合、アナログ電話回線の通信速度による通信になります。
接続方法については「ISDN回線を使ってアナログ接続するとき」（☞ 32ページ）をご覧ください。

「ISDN回線を使ってデジタル接続するとき」（☞ 31ページ）をご覧になり、本機とルーターを接続し、電源を入れます。
フレッツISDNをご利用の場合は、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。

「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞ 44ページ）をご覧になり、本機を設定します。その際、手順6（☞ 44ページ）で「自動設定（DHCP）」にチェックし、[OK]を選びます。

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

お使いのルーターの取扱説明書をご覧になり、本機のインターネットチャンネルでルーター本体の設定をしてください。（☞ 30ページ）

ご注意

次のような場合は、本機ではルーターの設定ができません。パソコンを使ってルーターの設定をしてください。
- フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブなど、本機にない装置を使って設定を行う場合
- ソフトのインストールが必要な場合
- ルーターの設定にシリアル端子やUSB端子が必要な場合

フレッツISDNをご使用の場合、ダイアルアップルーターはフレッツISDN対応のものをご使用ください。

ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき

「ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき」(☞29ページ) をご覧になり、本機やルーター、その他の機器をつなぎ、電源を入れます。

↓

「LAN(ラン)回線 (アドレス手動/DHCP(ディーエッチシーピー)) を使って接続する」(☞44ページ) をご覧になり、本機を設定します。手順6 (☞44ページ) で「自動設定 (DHCP)」にチェックし、[OK] を選びます。

↓

ルーターの設定をします。
その際、ルーターのLAN側の設定でDHCP機能を使うように設定してください。
ルーターが下記のご注意に該当するときは、本機でルーターの設定ができません。パソコンを使って設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書、またはルーターの製造元にお問い合わせください。

↓

「ホームページを見てみよう！」(☞68ページ) をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて [更新] を選びます。

- **ホームページが正しく表示された場合**
  ↓
  インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

- **「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合**
  ↓
  本機とルーターなどの機器が正しく設置、接続されていますか？ベースステーション、ルーターなどの機器の電源は入っていますか？
  - **はい**
    ↓
    正しく設定してもインターネットに接続できない場合は以下のことが考えられます。ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。
    - DHCPサーバーのエラー
    - 1契約1端末しかインターネット接続を認めていない

    （→ ルーターの設定へ戻る）
  - **いいえ**（→ 最初の手順へ戻る）

ご注意

次のような場合は、本機ではルーターの設定ができません。パソコンを使ってルーターの設定をしてください。

- フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブなど、本機にない装置を使って設定を行う場合
- ソフトウェアのインストールが必要な場合
- ルーターの設定にシリアル端子やUSB端子が必要な場合

つづく

インターネットにつなぐための準備をする（つづき）

アナログ電話回線（モデム）のとき

「アナログ電話回線（モデム）のとき」(☞33ページ～34ページ）をご覧になり、本機と電話回線をつなぎ、電源を入れます。

↓

プロバイダから指定されている「接続ID」や「パスワード」などの設定値を確認してください。
「アナログ電話回線（モデム）を使って接続する」(☞ 41ページ）をご覧になり、本機を設定してください。

↓

インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。

準備 9

回線の設定をする

アナログ電話回線（モデム）を使って接続する

付属のテレホンコードを使って、本機の回線端子からアナログ電話回線（モデム）を通じてインターネットに接続する場合の設定です。

1 次のことを確認する。

- テレホンコードはつながっていますか？
- ベースステーションの電源は入っていますか？

2 インデックス画面を表示する。

3 設定 を選ぶ。

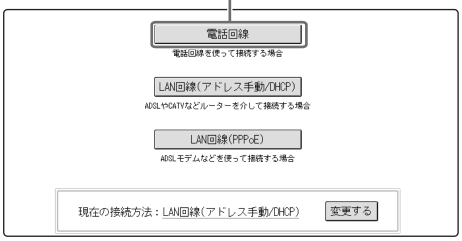
「設定 一覧」画面が表示されます。

4 回線 を選ぶ。

「設定 回線」画面が表示されます。

5 電話回線 を選ぶ。

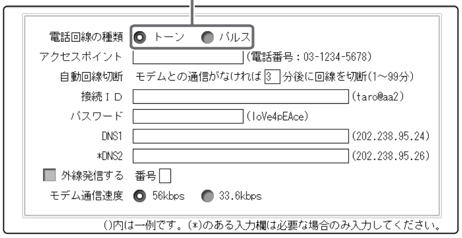
電話回線



「電話回線」画面が表示されます。

6 電話回線の種類を選ぶ。

「トーン」または「パルス」のどちらかを選びます。



ちょっと一言

「トーン」と「パルス」について

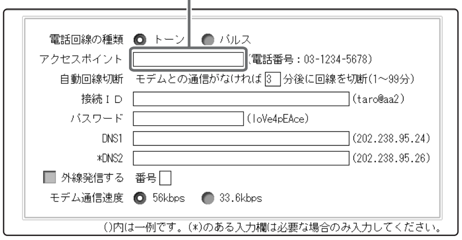
電話回線にはトーン回線とパルス回線の2種類があります。電話機の数字ボタンを押したときに聞こえてくる音で区別します。
「トーン」：ピポパという音がします。
「パルス」：カチカチカチという音がします。
また、お使いの電話機やファクシミリなどの設定が「トーン」または「PB」になっているときは「トーン」、「20pps」や「10pps」になっているときは「パルス」です。

7 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力する。

プロバイダから指定されたインターネット接続用の電話番号の設定です。

「アクセスポイント」欄を選んで、キーボードで電話番号を入力します。

電話番号を入力します。



ちょっと一言

入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞131ページ）をご覧ください。

つづく

ご注意

- ここにはご家庭の電話番号を入力しないでください。
- 本機は一般の電話回線用のため、ビジネスホンなどでは使用できない場合があります。家庭用の電話機が使える回線であるか確認してください。

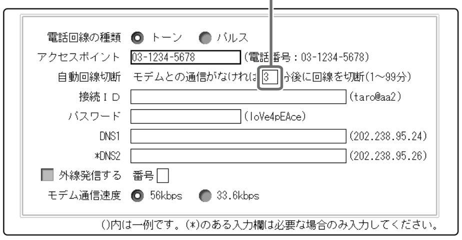
8 自動的に電話回線を切断するまでの時間を入力する。

電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットに接続してからモデムとの通信がなくなったときに、自動的に回線を切るまでの時間を設定します。

お買い上げ時は3分に設定されています。

「モデムとの通信がなければ」の横の空欄を選んで、キーボードで入力します。1分〜99分まで設定できます。

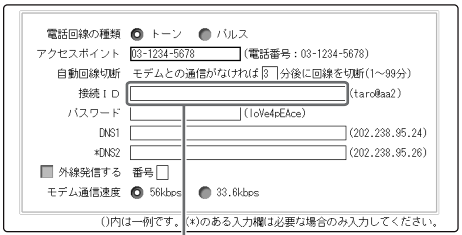
1〜99を入力します。



9 接続IDを入力する。

インターネットに接続するとき、利用者本人であることを確認するための設定です。

「接続ID」欄を選んで、キーボードで入力します。

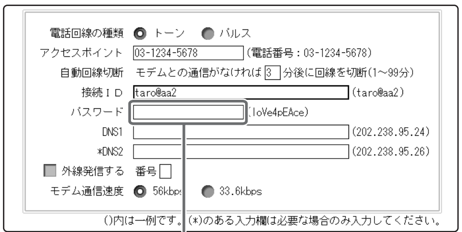


接続IDを入力します。

10 インターネット接続用パスワードを入力する。

利用者本人であることを確認するためのパスワードです。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。



パスワードを入力します。

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「接続ID」の別の呼びかた

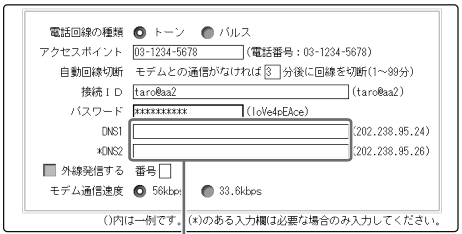
「ユーザー名」、「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」、「ログインID」、「接続アカウント」

「インターネット接続用パスワード」の別の呼びかた

「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」、「ログインパスワード」

11 DNS1📖、DNS2📖を入力する。

「DNS1」「DNS2」欄を選んで、キーボードでプロバイダから指定された数字（0.0.0.0〜255.255.255.255）を入力します。

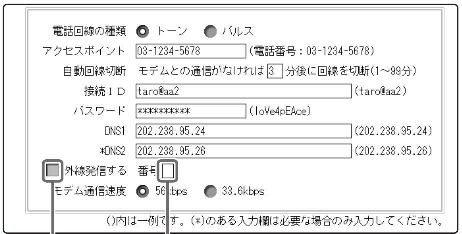


DNS1、DNS2を入力します。

12 外線発信の設定をする。

▶ 外線発信番号（0や9）が必要なときの設定です。

「外線発信」の□に✓をつけてから、「番号」欄を選んで、キーボードで入力します。



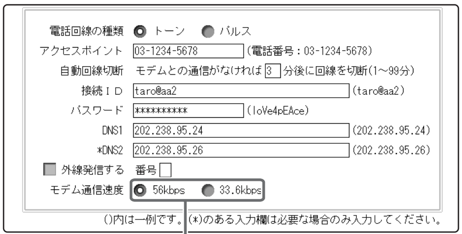
0〜9を入力します。

ここに✓をつけます。

13 モデムの通信速度を選ぶ。

▶ 本機に内蔵のモデムの通信速度を設定します。

通常は56kbpsを選びます。
通信が不安定なときは、33.6kbpsにします。



どちらかを選びます。

ちょっと一言

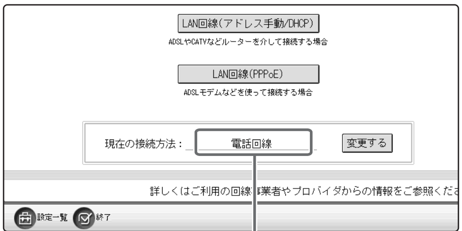
設定した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞245ページ）に書き写しておきましょう。

14  を選ぶ。



OK

「設定 回線」画面に戻り、「現在の接続方法：電話回線」と表示されます。



電話回線

📖 **「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた**

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

DNS1：「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」
DNS2：「ネームサーバー」、「セカンダリDNSサーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

つづく

ご注意

「電話回線」を正しく設定しても、いったん「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面や「LAN回線（PPPoE）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞48ページ）に従って、「現在の接続方法」を「電話回線」に戻してください。

LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する

ルーターを使用するときは、必ずこの設定が必要です。

1 **次のことを確認する。**

- イーサネットケーブルはつながっていますか？
- ベースステーションの電源は入っていますか？

2 **インデックス画面を表示する。**

3 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

4 回線 **を選ぶ。**

「設定 回線」画面が表示されます。

5 LAN回線(アドレス手動/DHCP) **を選ぶ。**

LAN回線（アドレス手動/DHCP）



「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面が表示されます。

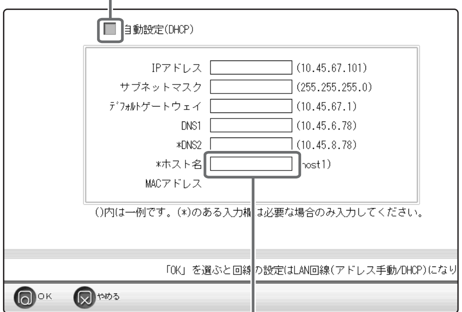
6 **お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使用する場合は、「自動設定（DHCP）」の□に✓をつける。**

▶ DHCPサーバーは必要な設定値を自動的に割り当てるための仕組みです。

ご注意

プロバイダからホスト名を指定されているときは、「自動設定（DHCP）」に✓をつける前に「ホスト名」欄に指定された名前を入力してください。

ここに✓をつけます。



ホスト名

お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使わない場合

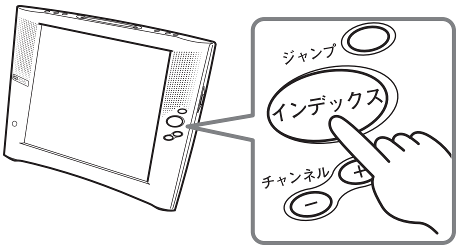
「自動設定（DHCP）」に✓をつけずに手順12に進んでください。

ちょっと一言

自動設定（DHCP）を選んだときは
このあと、手順7～10を行い、一度インターネットに接続します。インターネットに接続することにより、DHCPサーバーから「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。DHCPサーバーによっては「DNS」も自動的に割り当てられます。

7 OK を選ぶ。

8 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。



インデックス画面が表示されます。

9 インデックス画面から を選ぶ。

10 「アドレスを入力してホームページを表示させよう」（☞69ページ）の手順1から8を見て、エアボードのホームページ「http://www.sony.co.jp/airboard」を表示させる。

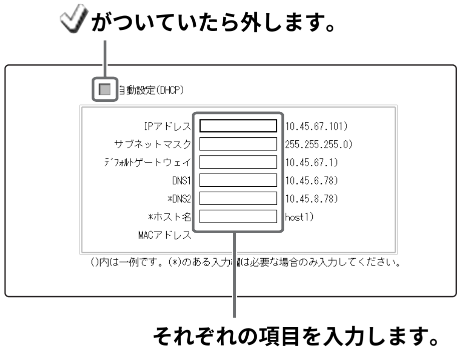
エアボードのホームページが表示された場合は
回線の設定は終了です。

「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合は

お使いのプロバイダの資料をご覧になり、引き続き、次の手順を行ってください。

11 「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞44ページ）の手順1～5を行い「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面を表示する。

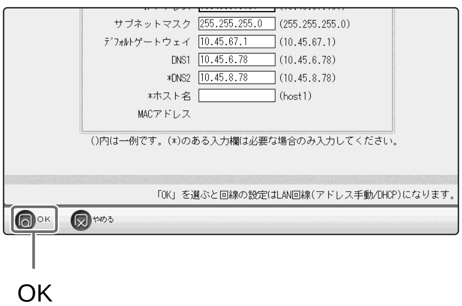
12 プロバイダの資料をご覧になり、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「DNS1」、「DNS2」、「ホスト名」を入力する。



ちょっと一言

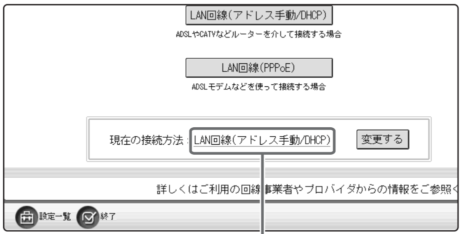
設定した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞245ページ）に書き写しておきましょう。

13 OK を選ぶ。



つづく

「設定 回線」画面に戻り、「現在の接続方法：LAN回線（アドレス手動/DHCP）」と表示されます。



LAN回線（アドレス手動/DHCP）

ご注意

「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」を正しく設定しても、いったん「電話回線」画面や「LAN回線（PPPoE）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞48ページ）に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」に戻してください。

LAN回線（PPPoE（ピーピーピーオーイー））を使って接続する

1 **次のことを確認する。**

- イーサネットケーブルはつながっていますか？
- ベースステーションの電源は入っていますか？

2 **インデックス画面を表示する。**

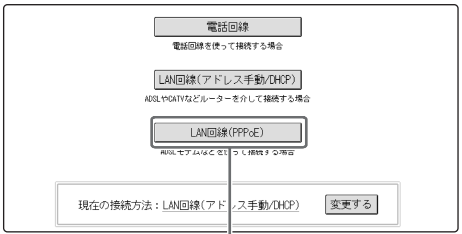
3 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

4 **回線 を選ぶ。**

「設定 回線」画面が表示されます。

5 **LAN回線（PPPoE） を選ぶ。**



LAN回線（PPPoE）

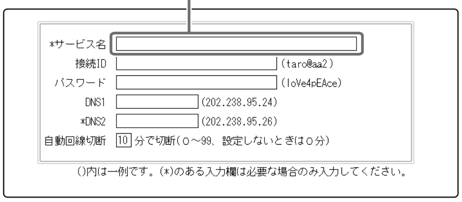
「LAN回線（PPPoE）」画面が表示されます。

6 **プロバイダのサービス名を入力する。**

▶ プロバイダを識別する名称です。

プロバイダによって入力が不要な場合もあります。プロバイダから入力の指示があるときのみ、「サービス名」欄を選んで、キーボードで入力します。

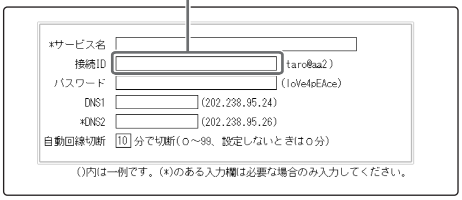
サービス名を入力します。



7 接続ID📖を入力する。

▶ インターネットに接続するとき利用者本人であることを確認するための設定です。

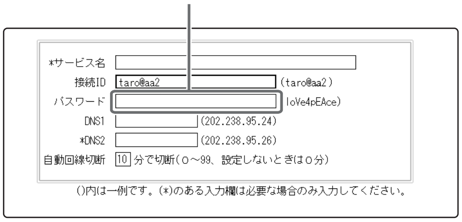
「接続ID」欄を選んで、キーボードで入力します。



8 インターネット接続用パスワード📖を入力する。

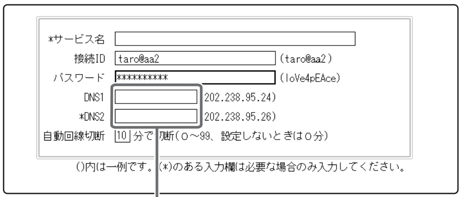
▶ 利用者本人であることを確認するための設定です。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。



9 DNS1📖、DNS2📖を入力する。

「DNS1」、「DNS2」欄を選んで、キーボードでプロバイダから指定された数字（0.0.0.0～255.255.255.255）を入力します。

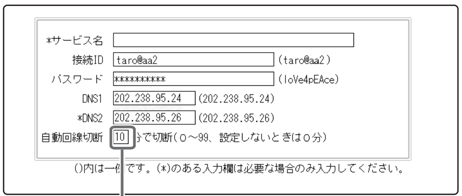


10 自動的にネットワークとの接続を切断するまでの時間を入力する。

▶ インターネットに接続してから自動的にネットワークとの接続を切るまでの時間を設定します。

「自動回線切断」欄を選んで、キーボードで0分～99分を入力します。

自動的に切断しないときは0分に設定してください。



それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

📖「接続ID」の別の呼びかた

「ユーザー名」、「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」、「ログインID」、「接続アカウント」

📖「パスワード」の別の呼びかた

「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」、「ログインパスワード」

📖「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた

DNS1：「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

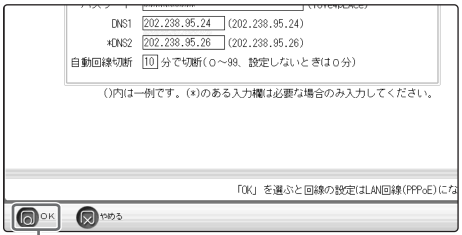
DNS2：「ネームサーバー」、「セカンダリDNSサーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

つづく

ちょっと一言

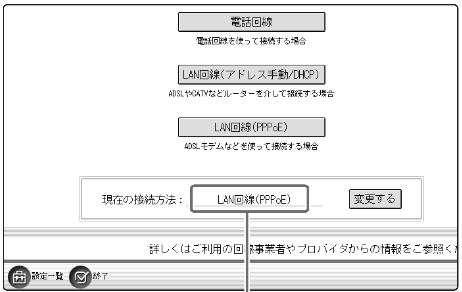
設定した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞245ページ）に書き写しておきましょう。

11 OK **を選ぶ。**



OK

「設定 回線」画面に戻り、「現在の接続方法：LAN回線（PPPoE）」と表示されます。



LAN回線（PPPoE）

ご注意

「LAN回線（PPPoE）」を正しく設定しても、いったん「電話回線」画面や「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞右欄）に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線（PPPoE）」に戻してください。

接続方法を変更する

本機に電話回線、LAN回線など複数の接続をしているとき、回線の設定内容を変更せずに、接続方法だけを切り換えられます。切り換えのたびに入力する必要はありません。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 回線 **を選ぶ。**

「設定 回線」画面が表示されます。

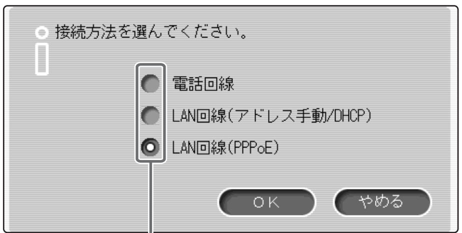
4 変更する **を選ぶ。**



変更する

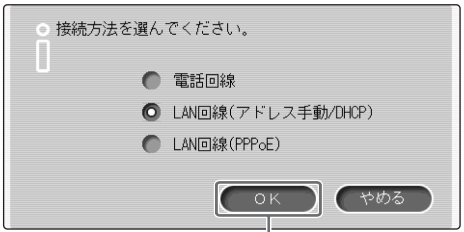
変更内容を確認する画面が表示されます。

5 接続方法を選ぶ。



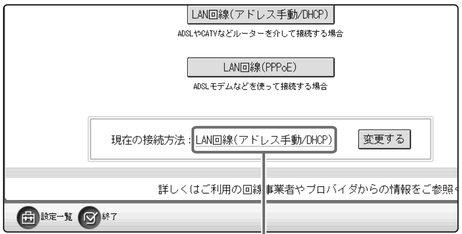
いずれかを選びます。

6 OK **を選ぶ。**



OK

「設定 回線」画面に戻ります。接続方法が切り換わり、「現在の接続方法」に変更した方法が表示されます。



選択した接続方法が表示されます。

準備 10 インターネットを見るための設定をする

インターネットにつないだとき、初めに表示されるホームページを設定したり、プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 インターネット **を選ぶ。**

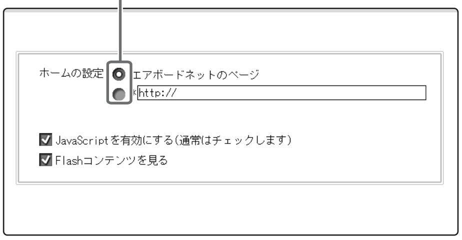
「設定 インターネット」画面が表示されます。

4 ホームページ **を選ぶ。**

「ホームページ」画面が表示されます。

5 ホームを設定する。

どちらかを選びます。



「エアボードネット」以外のホームページを設定する場合は、「エアボードネットのページ」の下の欄を選んで、キーボードでホームページのアドレス（URL）を入力します。

つづく

💡 **ちょっと一言**

- JavaScriptを使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときは、「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずしてください。
- Flashを使ったホームページを表示したくないときは、「Flashコンテンツを見る」のチェックをはずしてください。
- 設定した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞245ページ）に書き写しておきましょう。

6 [OK] **を選ぶ。**

「設定 インターネット」画面に戻ります。

7 [プロキシ] **を選ぶ。**

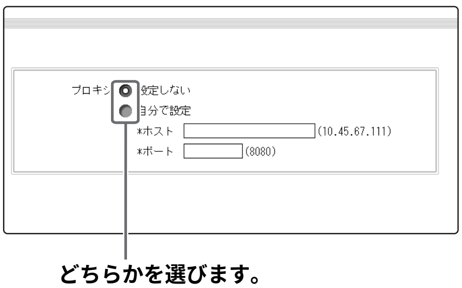
「プロキシ」画面が表示されます。

8 プロキシの設定を選ぶ。

「設定しない」を選ぶと、プロシキサーバーを経由せず、直接インターネットに接続します。
「自分で設定」を選ぶと、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続します。

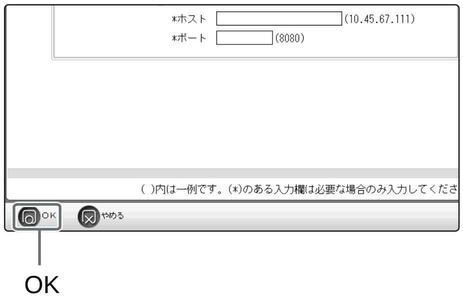
💡 **ちょっと一言**

お使いのプロバイダによって入力の要、不要が異なります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。



「自分で設定」を選んだ場合は、キーボードを使って「ホスト」と「ポート」を入力します。

9 [OK] **を選ぶ。**



「設定 インターネット」画面に戻ります。

準備 11
メールを送受信するための設定をする

メールを送信するには、お使いのプロバイダの設定を本機に登録する必要があります。ご利用のプロバイダからの資料にしたがって設定してください。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

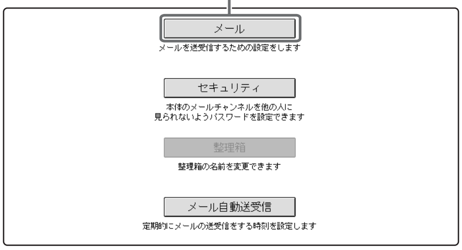
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 メール を選ぶ。

「設定 メール」画面が表示されます。

4 メール を選ぶ。

メール



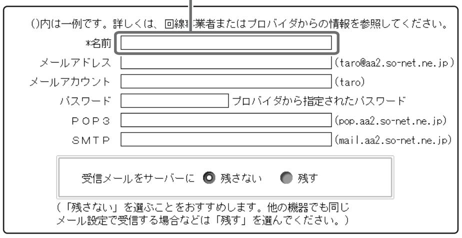
「メール」画面が表示されます。

5 名前を入力する。

▶ ご自分が送るメールの差出人の欄に入力した名前が表示されます。

「名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

名前を入力します。



ちょっと一言

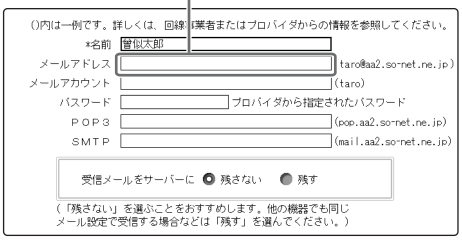
通常はご自分の名前を入力します。

6 メールアドレスを入力する。

▶ 受取人がメールを開いたときにメールの差出人のアドレスとして表示されます。

「メールアドレス」欄を選んで、キーボードで入力します。

メールアドレスを入力します。

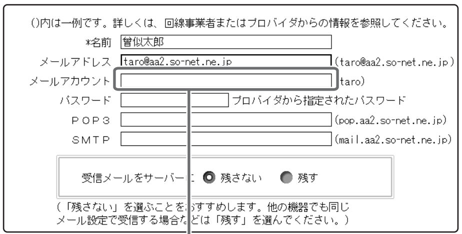


つづく

7 メールアカウント📖を入力する。

▶ メールの送信者が利用者本人であることを確認するための設定です。

「メールアカウント」欄を選んで、キーボードで入力します。



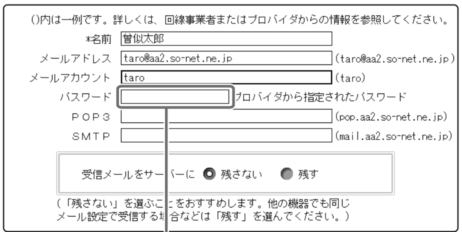
メールアカウントを入力します。

8 メール用パスワード📖を入力する。

▶ メールの送受信者が利用者本人であることを確認するためのパスワードです。

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

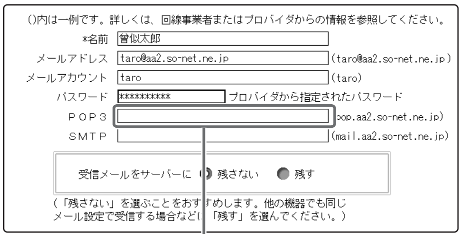


パスワードを入力します。

9 POP3（ポップ）サーバー📖を入力する。

▶ メール受信用のサーバーを指定します。

「POP3」欄を選んで、キーボードで入力します。

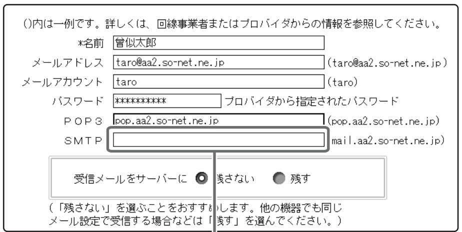


サーバー名を入力します。

10 SMTP（エスエムティーピー）サーバー📖を入力する。

▶ メール送信用のサーバーを指定します。

「SMTP」欄を選んで、キーボードで入力します。



サーバー名を入力します。

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

📖 **「メールアカウント」の別の呼びかた**

「ユーザー名」、「POPアカウント」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」

📖 **「メール用パスワード」の別の呼びかた**

「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」

📖 **「POP3サーバー」の別の呼びかた**

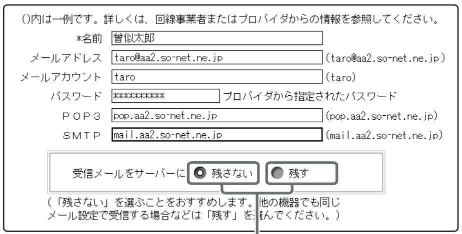
「POPサーバー」、「メール受信サーバー」

📖 **「SMTPサーバー」の別の呼びかた**

「メール送信サーバー」

11 受信メールをサーバーに残すか、残さないかを選ぶ。

通常は「残さない」を選びます。
同じメールを他の機器（パソコンなど）でも受信したい場合は、「残す」を選びます。
お買い上げ時には「残さない」に設定されています。



どちらかを選びます。

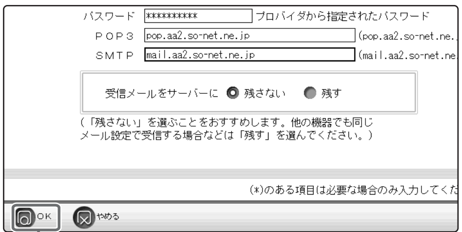
ご注意

「残す」に設定すると、同じメールが何回も受信されることがあります。

ちょっと一言

設定した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞245ページ）に書き写しておきましょう。

12  を選ぶ。

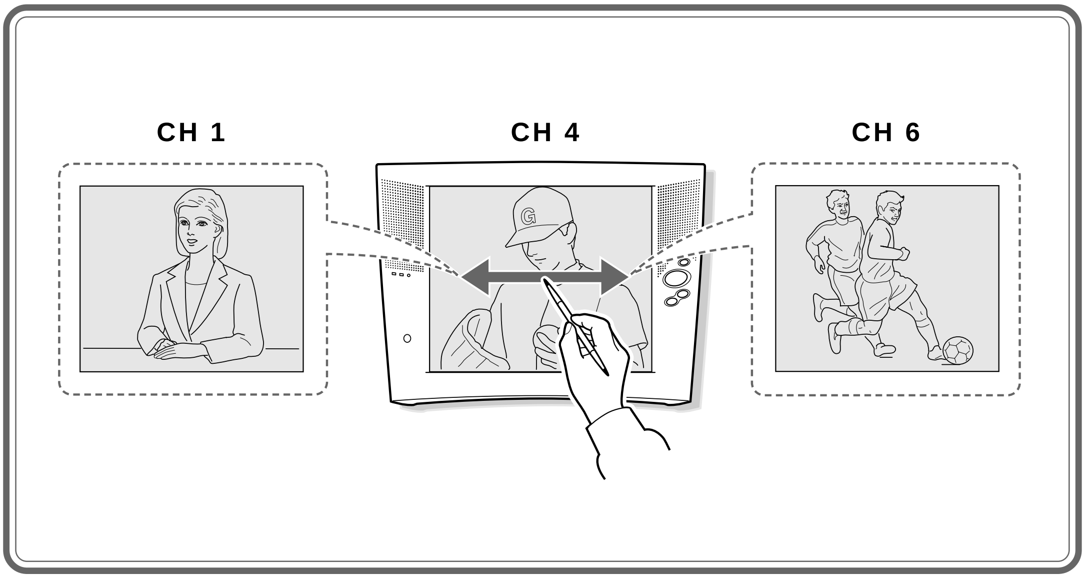


OK

「設定 メール」画面に戻ります。

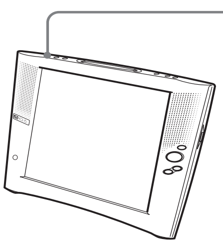
テレビ/ビデオ

エアボードでは、タッチペンで画面を左右になぞるだけでテレビチャンネルを切り換えたり、テレビの1場面を止めたり保存したりできます。エアボードならではのひとあじ違ったテレビやビデオの見かたができます。



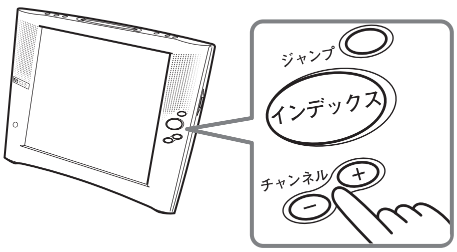
テレビを見る

1 **モニター上部の［電源］ボタンを押して、電源を入れる。**



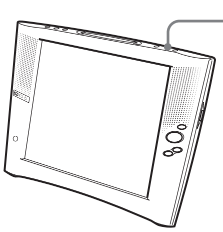
電源ランプが緑色に点灯します。

2 **モニター右側の［チャンネル＋/－］ボタンを押して、見たいテレビチャンネルを選ぶ。**



選んだチャンネルが表示されます。

3 **モニター上部の［音量＋/－］ボタンを押して、音量を調節する。**

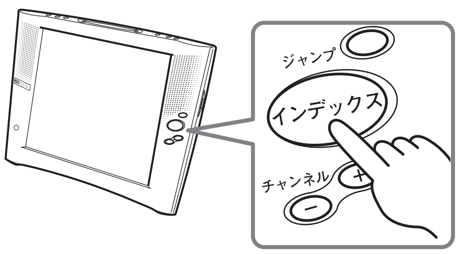


ちょっと一言

- 付属のリモコンの[**チャンネル**+/–]、[**音量**+/–]ボタンを使っても同じ操作ができます。ただし、リモコンの[**チャンネル**+/–]ボタンで選べるのは、テレビチャンネルだけです。
- モニター左側の⏻(スタンバイ)ランプ点灯中は、リモコンの[**電源**]ボタンを押すと、モニターの電源が入ります。また、リモコンのチャンネル数字ボタンや[**チャンネル**+/–]ボタンを押しても、モニターの電源が入り、テレビのチャンネルも選べます（チャンネルポン機能）。モニター上部の[**電源**]ボタンを押すと、⏻ランプは消え、電源が切れます。電源を入れるには、もう一度モニター上部の[**電源**]ボタンを押してください。

インデックス画面からチャンネルを選ぶには

1 モニター右側の［**インデックス**］ボタンを押す。



インデックス画面が表示されます。

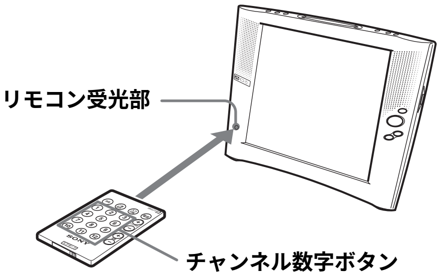
2 見たいテレビチャンネルを選ぶ。



付属のリモコンのチャンネル数字ボタンを使ってチャンネルを選ぶには

モニターのリモコン受光部に向けて、1〜12のチャンネル数字ボタンを押す。

チャンネル数字ボタンに設定されているテレビチャンネルが選べます。



ちょっと一言

チャンネル数字ボタンで選べるチャンネルを変更するには、「テレビチャンネルを手動で設定する」（☞20ページ）をご覧ください。

ご注意

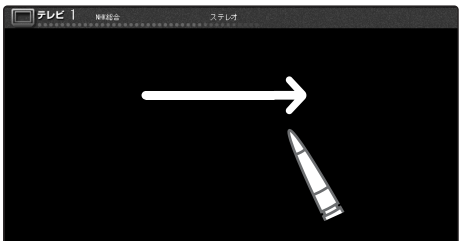
別売りのお風呂ジャケットIDTA-FP1を使用中は付属のリモコンは使えません。

タッチペンでチャンネルを選ぶには [チャンネルスライド]

1 モニターにテレビチャンネルを表示する。

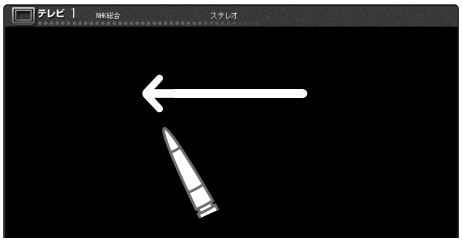
2 タッチペンでモニター画面を左右になぞる。

タッチペンで左から右へなぞると



[**チャンネル+**]ボタンを押したときと同じように、次のチャンネルが表示されます。

タッチペンで右から左へなぞると



[**チャンネル－**]ボタンを押したときと同じように、前のチャンネルが表示されます。

タッチペンで画面をなぞり続けるとチャンネルが次々と変わります。

ちょっと一言

- チャンネルスライド操作で選べるのは、テレビチャンネルだけです。
- チャンネルスライド操作がまったくできないときは、「設定 テレビ/ビデオ」画面の「チャンネルスライド」が「無効」になっていないか確認してください。

インデックス画面から「ビデオ」表示を消すには

使っていないビデオチャンネルをインデックス画面に表示しないように設定できます。

1 インデックス画面を表示する。

2 [**設定**] を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 [**テレビ/ビデオ**] を選ぶ。
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 [**ビデオ**] を選ぶ。
ビデオチャンネルリストが表示されます。

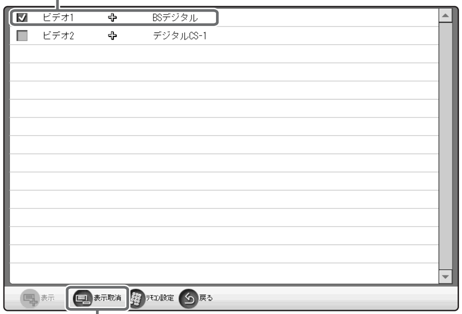
ちょっと一言

ビデオチャンネルリストは、「設定 一覧」画面から[**本体の設定**]－[**インデックス**]－[**ビデオ**]と選んでも表示できます。

つづく

5 表示を消したい番号の左の□を選んで✓をつけ、**［表示取消］**を選ぶ。

ここに✓をつけます。



表示取消

6 「インデックス表示を取り消してよろしいですか？」のメッセージが出たら[OK]を選ぶ。
リストの「インデックス表示」から✚が消えます。

7 **［戻る］**を選ぶ。
「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

「ビデオ」表示をもう一度出すには、上記の手順5で表示を出したいビデオチャンネルに✓をつけ、**［表示］**を選んだ後、［OK］を選びます。

ちょっと一言
インデックス画面に表示されていないビデオチャンネルは、モニター右側の[**チャンネル**+/–]ボタンでも選べません。

音を消すには

モニター上部の**［消音］**ボタンを押す。
画面上部に消音が点滅します。

再び音を出すには、もう一度**［消音］**ボタンを押すか、モニター上部の**［音量＋］**ボタンを押します。

ちょっと一言
- 消音中は画面上下のガイド表示が常に表示されます。
- 付属のリモコンの[**消音**]ボタンや[**音量＋**]ボタンを使っても同じ操作ができます。

1つ前に見ていたチャンネルを見るには

モニター右側の**［ジャンプ］**ボタンを押す。
1つ前に見たチャンネルが表示されます。

つないだ機器の映像を見る

1 **入力切換用のボタンを使って、見たい機器の画面を選ぶ。**

次の方法で選べます。

– モニター右側の**［チャンネル**+/–**］**ボタンをくり返し押してモニター画面に**［ビデオ**1**］**、または**［ビデオ**2**］**を表示する。

– 付属のリモコンの[**入力切換**]ボタンを押してモニター画面に**［ビデオ**1**］**、または**［ビデオ**2**］**を表示する。

– インデックス画面の**［ビデオ❶］**、または**［ビデオ❷］**ボタンを選ぶ。

2 **つないだ機器を操作する。**（☞195ページ）

ご注意
つないだ機器を本機で操作するためにはAVマウスの接続と設定が必要です。「画面上のリモコンで他機器を操作する」（☞188ページ）をご覧になって接続と設定を行ってください。

ちょっと一言
インデックス画面に**［ビデオ❶］**や**［ビデオ❷］**が表示されないときは、「インデックス画面から「ビデオ」表示を消すには」（☞57ページ）をご覧になって、ビデオ表示をもう一度出すように設定を変更してください。

画質を調整する

テレビチャンネルとビデオチャンネルの画質が同時に調整されます。

1 **画質調整 を選ぶ。**

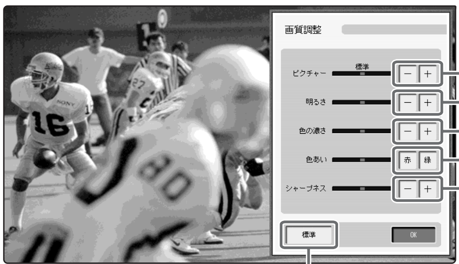


画質調整

「設定 画質」画面が表示されます。

2 **[−] や [＋]、[赤] や [緑] を選んで、各項目のレベルを調整する。**

[標準] を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。



−/+

標準

赤/緑

設定項目	[−] を選ぶと	[＋] を選ぶと
ピクチャー	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	淡くなる	濃くなる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

設定項目	[赤] を選ぶと	[緑] を選ぶと
色合い	赤みがかる	緑がかる

3 **OK を選ぶ。**

テレビまたはビデオチャンネルに戻ります。

画面のバックライトの明るさを調整するには

モニター左側面の **[☼(明るさ調整)]** つまみを上下に動かして調整する。

このとき、インターネットチャンネルやメールチャンネル、アルバムチャンネルなど、すべての画面の明るさが同時に調整されます。

音質を調整する

テレビチャンネルとビデオチャンネルの音質が同時に調整されます。

1 **音質調整 を選ぶ。**



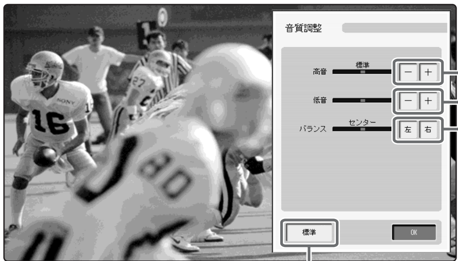
音質調整

「設定 音質」画面が表示されます。

2 **[－]や[＋]、[左]や[右]を選んで、各項目を調整する。**

[標準]を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。

－/＋



標準　左/右

設定項目	[－] を選ぶと	[＋] を選ぶと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる

設定項目	[左] を選ぶと	[右] を選ぶと
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる

3 **OK を選ぶ。**

テレビまたはビデオチャンネルに戻ります。

テレビを子画面で見る［子画面］

インターネットチャンネルやメールチャンネル、アルバムチャンネルを見ているとき、または設定画面で操作を行っているとき、テレビチャンネルやビデオチャンネルを子画面に表示できます。子画面の映像を消すこともできます。

子画面入 を選ぶ。

子画面 入



画面右下に、テレビまたはビデオチャンネルで最後に見ていたチャンネルが子画面表示されます。

子画面 操作ボタン



子画面

子画面のチャンネルを変えるには

子画面 操作ボタンの[−]または[＋]で選ぶ。

全画面で見るには

子画面 操作ボタンの[全画面]を選ぶ。

子画面の音だけを聞くには

子画面 操作ボタンの[音のみ]を選ぶ

再び子画面を出すには[子画面]を選ぶ。

子画面を消すときは

子画面 操作ボタンの[切]を選ぶ。

ご注意

- 外部入力機器がつながっていなかったり、外部入力機器の電源が入っていなかったりしたときに子画面にビデオチャンネルを選ぶと、子画面には黒い画面が表示されます。
- インターネットのホームページのリンクなどが子画面の後ろに隠れているときに子画面を押すと、インターネットのホームページのリンクが押されたことになり、リンクでつながっているホームページなどが表示されます。
- 子画面表示中に付属のリモコンの[**チャンネル**+/–]ボタンやチャンネル数字ボタン、[**入力切換**]ボタンを押すと、子画面表示は消え、テレビチャンネルやビデオチャンネルが全画面表示されます。

静止画にする［画面メモ］

テレビ番組に表示されるメールアドレスやホームページのアドレスなどを書き留めるのに便利です。

[画面メモ] を選ぶ。



画面メモ

画面が停止します。音声は通常通り聞こえます。

通常の画面に戻るには、画面下部の**［メモ解除］**を選びます。

静止画を保存する［画面保存］

テレビの画面を静止画として本体または“メモリースティック”のアルバムに保存し、後でいつでも見ることができます。「画面メモ」で静止画にしているときも保存できます。

保存したい画面が表示されたとき、または画面メモ中に 画面保存 を選ぶ。



画面保存

見ていたテレビ画面が本体のアルバムに保存されます。

保存した画像を見るには

1 **［インデックス］** ボタンを押す。
インデックス画面が表示されます。

2 **［アルバム］** を選ぶ。
「画像の一覧」画面が表示されます。



最後に保存した画像がアルバムの左上に表示されます。画像の中央を押すと拡大表示されます。

ちょっと一言

アルバムについて詳しくは112ページをご覧ください。

ご注意

- ワイヤレス通信の状態が悪いと、ノイズが入った画面がそのまま保存されます。
- ビデオチャンネルの画面は、保存できません。

“ メモリースティック ”に保存するには

1 本機に“ メモリースティック”を挿入する。
（☞146ページ）

2 保存したい画面が表示されたとき、または画面メモ中に 画面保存 を選ぶ。
見ていたテレビ画面が“ メモリースティック ”のアルバムに保存されます。

音声を切り換える［二重音声］

二か国語放送など二重音声放送のときに、
聞きたい音声を選べます。

二重音声 をくり返し押す。



二重音声

押すたびに、「主」→「副」→「主／副」→「主」の順に切り換わります。

ちょっと一言

ステレオ放送のときは、「ステレオ」と表示されます。

ちょっと一言

- 本機に付属のリモコンの[**二重音声**]ボタンを使っても同じ操作ができます。
- ビデオ入力につないだ機器の二重音声切り換えは、つないでいる機器に付属のリモコンで行ってください。また、モニター画面上に表示されるリモコンの[**音声切換**]からも切り換えできます。

自動で電源を切る［スリープ］

スリープ機能を使うと、本機をつけたまま寝てしまっても設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると自動的に電源が切れ、スタンバイモードになります。
テレビチャンネルやビデオチャンネル以外のチャンネルを使用しているときでもスリープは働きます。

ご注意

ベースステーションの電源は切れません。

1 **テレビ、またはビデオ1、ビデオ2チャンネルを表示する。**

2 **スリープ を選ぶ。**



スリープ

「設定 スリープタイマー」画面が表示されます。

3 **電源を切る時間を「30分後」、「60分後」、または「90分後」から選ぶ。**

いずれかを選びます。



スリープを設定しないときは、「設定しない」を選びます。

テレビ／ビデオ

つづく

自動で電源を切る
[スリープ]（つづき）

4 セット **を選ぶ。**



セット

スリープタイマーが動き始め、元のチャンネルに戻ります。

スリープ設定時間が近づくと

設定時間の3分前に、「スリープにより、3分後にモニターの電源が切れます。「やめる」を選ぶとスリープを解除します。」というメッセージが表示されます。

スリープ設定時間が経過すると

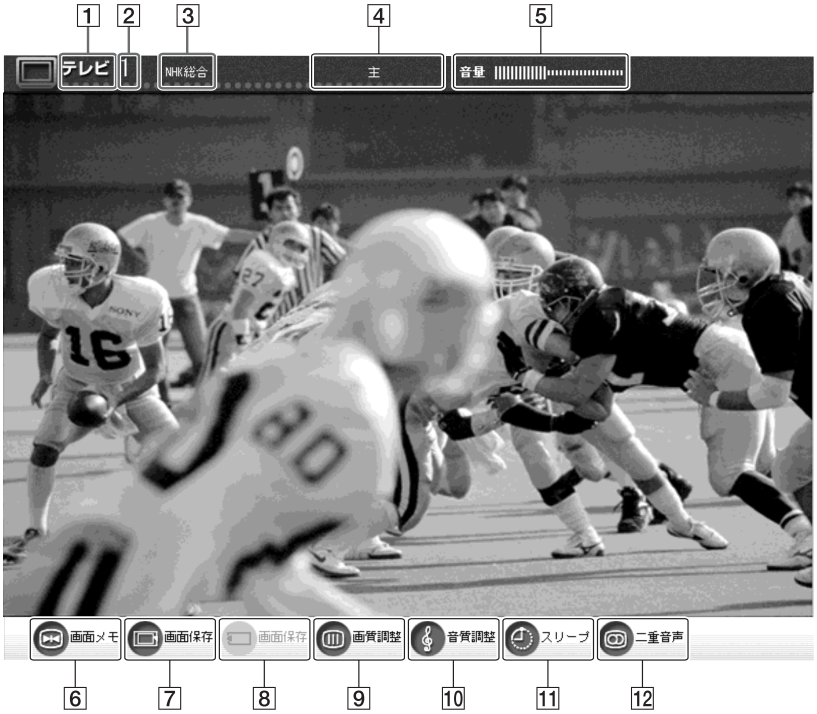
モニターの電源が切れ、⏻(スタンバイ)ランプが点灯します（スタンバイモード）。
⏻ランプ点灯中は、リモコンの［**電源**］ボタンやチャンネル数字ボタン、［**チャンネル**+/–］ボタンを押すと電源が入ります。

ちょっと一言

スタンバイモードのとき、モニターの電源を切るには、モニター上部の［**電源**］ボタンを押します。
電源を入れるには、⏻ランプ消灯後にもう一度モニターの［**電源**］ボタンを押してください。

テレビ/ビデオ チャンネル画面の各部の名前

テレビチャンネル画面の各部の名前



1 **テレビチャンネル表示**

2 **テレビのチャンネル番号**

3 **放送局名**

4 **二重音声表示**（☞63ページ）
二重音声放送のとき、「主」、「副」、「主／副」のいずれかが表示されます。
ステレオ放送のときは「ステレオ」と表示されます。

5 **消音/音量表示**（☞56、58ページ）

6 **画面メモ**（☞61ページ）
静止画にします。

7 **画面保存（本体用）**（☞62ページ）
静止画を本体のアルバムに保存します。

8 **画面保存（“メモリースティック”用）**（☞62ページ）
静止画を“メモリースティック”に保存します。

9 **画質調整**（☞59ページ）

10 **音質調整**（☞60ページ）

11 **スリープ**（☞63ページ）
自動的に電源を切る時間を設定します。

12 **二重音声**（☞63ページ）
二重音声放送時、音声を切り換えます。

画面上下のガイド表示について

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
タッチペンで画面に触れると、再度表示できます。

ちょっと一言

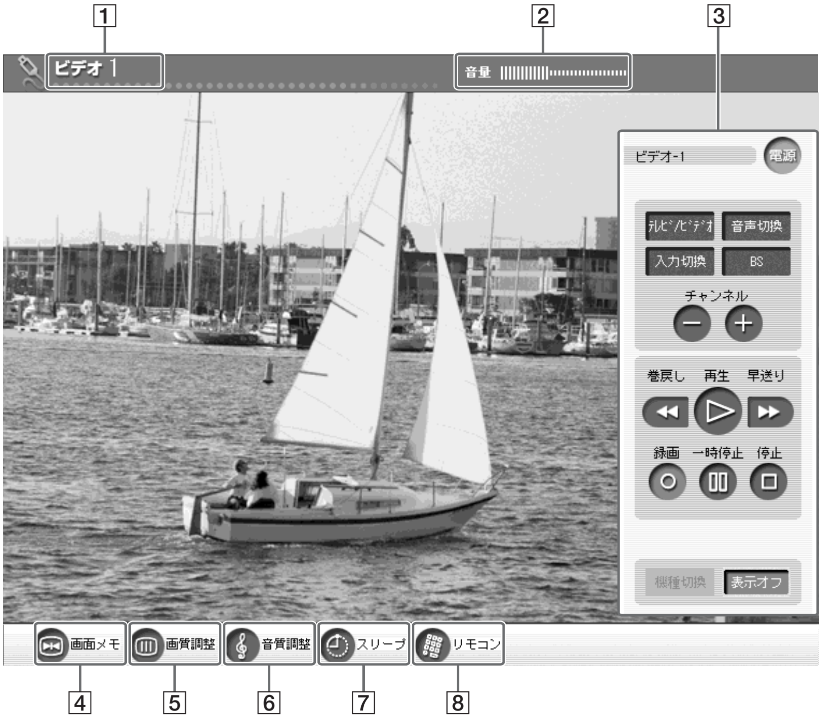
モニターが圏外にあるときや消音中は、ガイド表示が常に表示されています。

つづく

テレビ/ビデオチャンネル画面の各部の名前（つづき）

ビデオチャンネル画面の各部の名前

ビデオ1、ビデオ2チャンネル画面に共通です。



1 **ビデオチャンネル表示**
　（ビデオ1またはビデオ2）

2 **音量表示**

3 **画面上のリモコン**（☞195ページ）
　つないだ機器を操作できます。

4 **画面メモ**（☞61ページ）
　静止画にします。

5 **画質調整**（☞59ページ）

6 **音質調整**（☞60ページ）

7 **スリープ**（☞63ページ）
　自動的に電源を切る時間を設定します。

8 **リモコン**（☞195ページ）
　ビデオ1またはビデオ2に設定されているリモコンを表示します。

画面上下のガイド表示について

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
タッチペンで画面に触れると、再度表示できます。

ちょっと一言

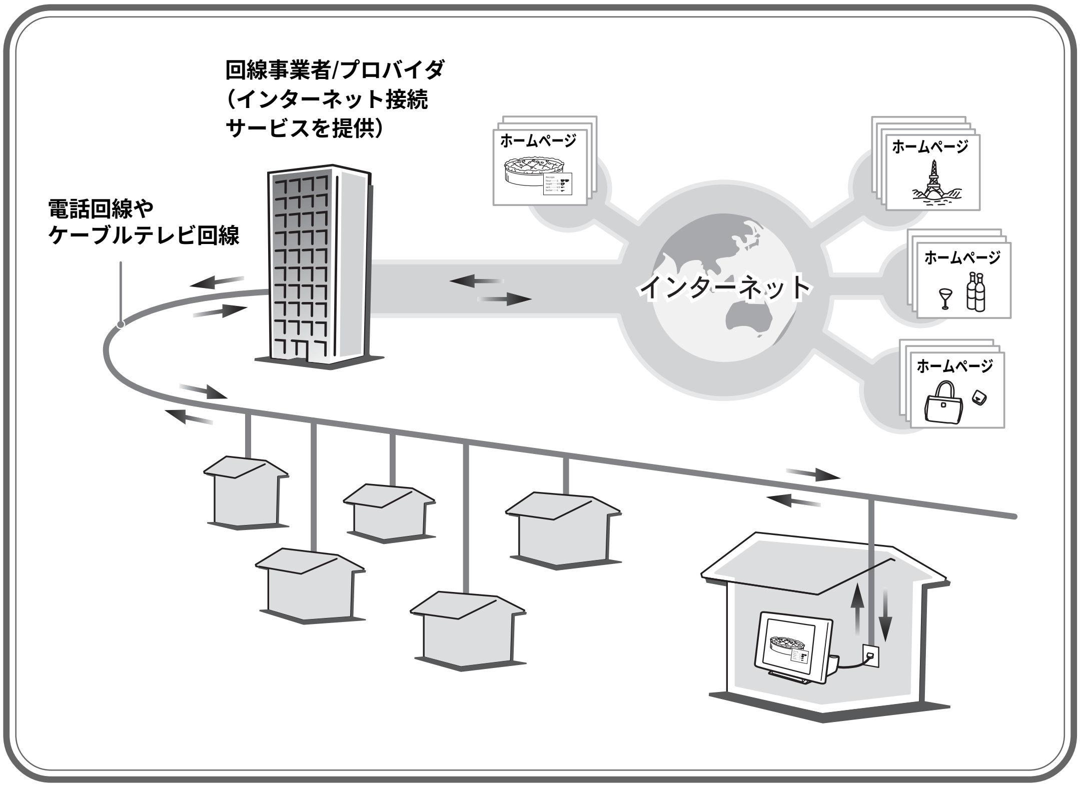
モニターが圏外にあるときや消音中は、ガイド表示が常に表示されています。

ご注意

パソコンのモニターなどに使用されているノンインターレース信号は、本機のモニターでは表示できません。

インターネット

「インターネット」は、世界中のコンピューターが網の目のようにつながっていて、情報が行き交う通信網です。
エアボードをインターネットにつなぐと、いつでも好きな時間に、世界中で発信されている情報から必要なものを探したり、その場にいながら買い物をしたり(オンラインショッピング)、世界中の人々と「手紙」(電子メール)をやり取りできます。



ご注意

インターネットを楽しむには、インターネットへ接続するサービスを提供する会社(プロバイダや回線事業者)と契約し、電話回線やケーブルテレビ回線を使って接続する必要があります。
まず、「接続と準備」(☞7ページ)をご覧になって「インターネットやメールをするための接続と設定」を行ってください。

ホームページを見てみよう！

ホームページ
インターネット上での情報発信ページで、写真やイラスト、文字などの情報を満載したインターネット上の雑誌や新聞、本のようなものです。

ユーアールエル
アドレス (URL)
インターネット上にあるホームページの住所です。「http://」で始まるアルファベットと数字記号の組み合わせで表されます。アドレスを入力することで、見たいホームページを直接表示できます。URL (Uniform Resource Locator) とも呼ばれます。



更新
ホームページは内容が随時更新されていきます。最新情報を本機に読み込んで表示することを更新といいます。

リンク
選ぶと、関連（リンク）した新しいホームページに進める「下線付きの青文字」や「画像」などです。自動的に相手先にメール（手紙）を送るためのメール作成画面に切り換わるリンクもあります（☞73ページ）。

インターネットを楽しむときに、気をつけよう！

個人情報を求められたり、商品を購入したりするときは、🔒を確認

インターネットでは、まれに情報が誤って漏れたり盗まれたりする可能性があります。本機では、情報を暗号化して漏洩しないSSLに対応しています。SSLに対応しているホームページのときにはインターネットチャンネルのアドレス欄右横に🔒が表示されます。懸賞などの応募やアンケートなどで、氏名や住所、電話番号などの個人情報を記入するときや、商品購入のためにクレジットカード番号を入力するときは、必ず🔒を確認しましょう。

有料のホームページもあります

ホームページの中には、インターネット接続料とは別にお金がかかるページもあります。詳しくは、該当ホームページで確認してください。

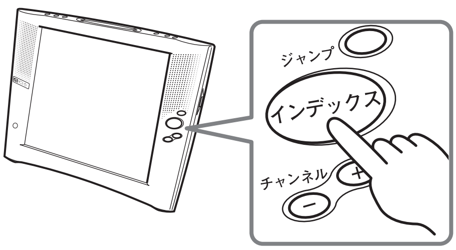
本人確認(ユーザー認証)が必要なホームページを見終わったら…

プライバシー保護のために、ユーザーID（本人の名前など）とパスワード（暗証番号）を入力してログインし、本人と確認されて初めて表示するホームページがあります。このページを見終わったら、画面にログアウトボタンがある場合は、必ず「ログアウト」ボタンを選んで他のページに進んでください。他の人があなたの個人的な情報を見てしまう恐れがあるためです。

インターネットチャンネルに切り換えよう

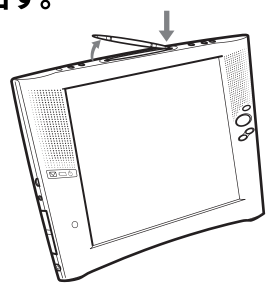
ホームページを見るには、まずインターネットチャンネルに切り換えます。

1 **モニターの右側にある[インデックス]ボタンを押す。**



インデックス画面が表示されます。

2 **モニター上部からタッチペンを取り出す。**



3 **インターネットチャンネルを選ぶ。**



インターネットチャンネルが表示されます。

ちょっと一言

モニター右側の[**チャンネル**+/–]ボタンをくり返し押しても表示できます。

アドレスを入力してホームページを表示させよう

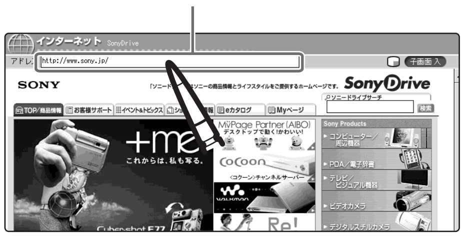
ホームページのアドレス（URL）を直接入力して、ホームページを表示してみましょう。
ここでは、例として、エアボードのホームページのアドレス「http://www.sony.co.jp/airboard」を表示します。

ちょっと一言

文字の入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞131ページ）をご覧ください。

1 **アドレス入力欄を選ぶ。**

アドレス入力欄



画面上に英数キーボードが表示されます。

2 **キーボードの[全選択]を選ぶ。**



アドレス入力欄のアドレス全体が選択されます。



つづく

3 キーボードの[http://]を押す。



アドレス入力欄に「http://」と入力されます。



ちょっと一言

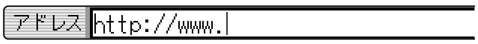
ホームページのアドレス（URL）は、必ず、この「http://」で始まるアルファベットと数字記号の組み合わせで表されます。「:」をコロン、「/」をスラッシュと呼びます。この他に、アドレスには「__」(アンダーバー)、「~」(チルダ)などの記号も使われます。

ホームページのアドレスは、住所が「都道府県」の後に「市町村、丁目、番地」と続くように、コロンやスラッシュなどで区切られた部分ごとに意味があります。

4 キーボードの[www.]を押す。



「http://」の後に「www.」と入力されます。



ちょっと一言

ホームページのアドレスの多くが「http://」の後に「www.」(world wide web:ワールド ワイド ウェブの略)と続きます。「.」をドット（またはピリオド）と呼びます。

5 キーボードを[s]、[o]、[n]、[y]の順で押す。



「www.」の後に「sony」と入力されます。



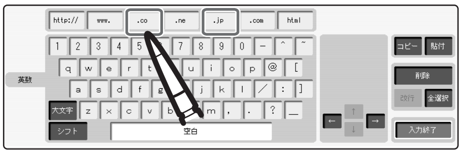
ご注意

まちがえて入力したときは［**削除**］をくり返し選びます。
I（カーソル）の左の文字が、［**削除**］を選ぶごとに１文字ずつ消えます。

ちょっと一言

「www.」の後に、そのページ特有の名前（会社名や組織名、個人ページ名）などが続きます。

6 キーボードの[.co]、[.jp]を押す



「sony」の後に「.co.jp」と入力されます。

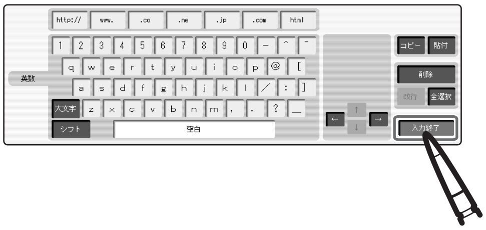


7 **以下、キーボードで1字ずつ「/airboard」と入力する。**

これでエアボードのホームページのアドレスが入力されました。入力したアドレスに間違いがないか確かめてみましょう。



8 **正しく入力されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。**



キーボードが消え、エアボードのホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。読み込み中は画面左上の（インターネットマーク）が回っています。完了するとエアボードのホームページが表示され、は止まります。

ちょっと一言

エアボードのホームページのアドレス「http://www.sony.co.jp/airboard」を入力すると、アドレス入力欄には「http://www.sony.co.jp/airboard/indexlite.html」と表示され、エアボードのホームページが表示されます。

ご注意

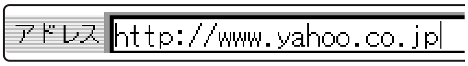
漢字やかな、スペースが使用されているアドレスは、表示できないことがあります。

見たいホームページを探してみよう

ホームページのアドレスをそのたびに入力するのは面倒なものです。また、見たいホームページのアドレスがわからないときもあります。
そんなときは、見たいホームページを探すための「検索サービス」のホームページを大いに活用しましょう。「検索サービス」のホームページでは、知りたい情報のキーワード（言葉や見出し）を入力したり、知りたいテーマやトピックスを選んだりすると、自動的に条件にあったホームページを探して、一覧で表示してくれます。

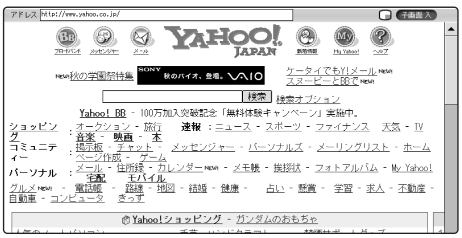
ここでは、「Yahoo! JAPAN」という代表的な「検索サービス」を利用して、エアボードのホームページを探してみましょう。

1 **「アドレスを入力してホームページを表示させよう」(☞69ページ)の方法を使い、アドレス入力欄に「Yahoo! JAPAN」のアドレス「http://www.yahoo.co.jp」を入力する。**



2 **正しく入力されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

「Yahoo! JAPAN」のホームページが表示されます。



つづく

3 ［検索］の左横の空欄を選ぶ。

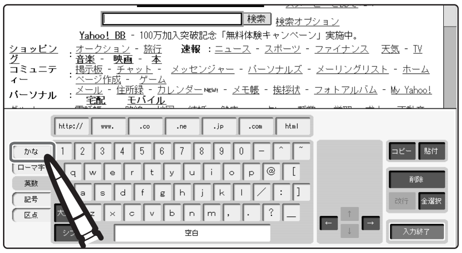


画面上にキーボードが表示されます。

空欄の中に、知りたい情報のキーワードを入れます。

今回は、「エアボード」と入力していきます。

4 キーボードの かな を選ぶ。



5 キーボードの え と あ を順に選ぶ。

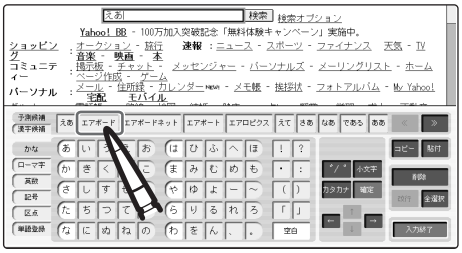


キーボードの上にいくつかの語句の候補が表示されます。

ご注意

予測一覧に表示される語句の候補は一例です。

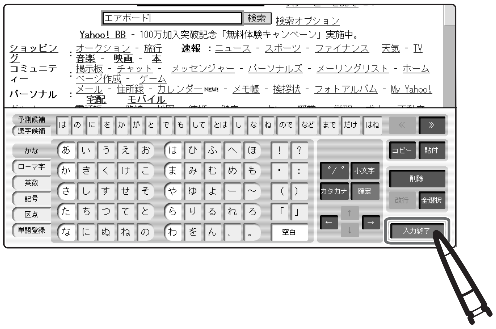
6 予測一覧から[エアボード]を選ぶ。



ちょっと一言

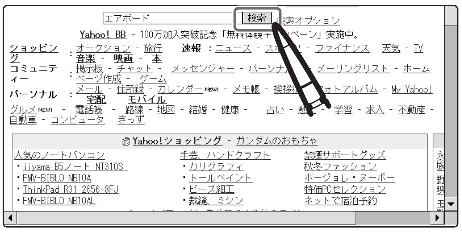
予測一覧に表示されないときは、「えあぼーど」と入力し、［カタカナ］キーを選んで変換します。

7 キーボードの 入力終了 を選ぶ。

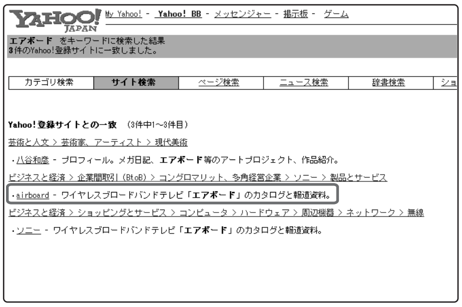


これでキーワードの入力が終わりました。では実際に検索してみましょう。

8 画面上の[検索]ボタンを選ぶ。



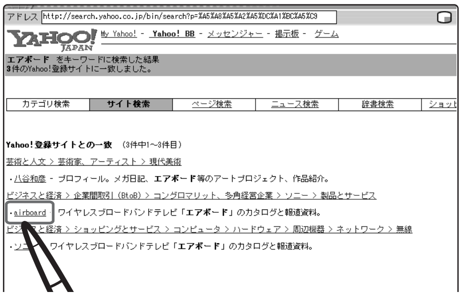
しばらくすると検索結果画面が表示されます。



9 青色の文字「airboard」を選ぶ。

ちょっと一言

「airboard」のように、選ぶと関連した新しいホームページに進める「下線付きの青文字」や「画像」などを「リンク」と呼びます。自動的に相手先にメール（手紙）を送るためのメール作成画面に切り換わるリンクもあります。



しばらくするとエアボードのホームページに切り換わります。

ちょっと一言

画像がたくさん入っているなど、情報量の多いホームページを表示するには時間がかかり、絵や文章が途切れて見えたりしますが故障ではありません。ホームページが表示されても一部絵が欠けて見えたり、文字が正しく表示されないときは、画面下部にある［**更新**］を選んでもう一度ホームページを読み込みます。

以上が検索サービスを利用したホームページの探しかたです。
検索サービスは、今回例に挙げたYahoo! JAPANのほかにもたくさんありますので、探してみてください。

ちょっと一言

「JavaScriptのwindow.openを使用したホームページがあります。置き換えて表示しますか？」というメッセージが表示されたときは

本機では、ホームページを見ようとしたときにそのページがJavaScriptのwindow.openを使っている場合、このメッセージが表示されます。［OK］を選ぶとホームページが置き換わって表示され、［**やめる**］を選ぶと現在のホームページがそのまま表示されます。
［OK］を選んで見たいホームページが表示されなかったとき（たとえば、広告のみのページが表示される場合があります）は、［**戻る**］ボタンで今まで見ていたホームページに戻り、見たいホームページを再度選び直して、メッセージが表示されたら［**やめる**］を選んでください。

インターネットナンバーを使ってホームページを表示させるには

本機は、ホームページごとに決められた数字（インターネットナンバー）を入力するだけでホームページを表示できるインターネットナンバーサービスに対応しています。
インターネットナンバーはインターネットナンバー（株）が提供しているサービスです。

インターネットナンバーの例：

100000（So-netのホームページ）

888（インターネットナンバー株式会社のホームページ）

ここでは、インターネットナンバーを入力してSo-netのホームページを表示してみましょう。

1 アドレス入力欄を選ぶ。
画面上に英数キーボードが表示されます。

2 キーボードの[**全選択**]を選ぶ。
アドレス全体が選択されます。

3 キーボードの[1] [0] [0] [0] [0] [0]を順番に押す。
100000はSo-netのホームページのインターネットナンバーです。



つづく

ホームページを見てみよう！（つづき）

アドレス入力欄に「100000」と表示されます。



4 正しく表示されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。
キーボードが消え、So-netのホームページの読み込みが始まります。読み込みが完了するとSo-netのホームページが表示されます。

ちょっと一言

- インターネットナンバーは雑誌などに掲載されています。
- 本機には、インターネットナンバー番号集が付属されています。
- インターネットナンバーサービスには、郵便番号を入力してその場所の地図を表示する、便利なサービスもあります。

ご注意

インターネットナンバーを使って表示できるのは、インターネットナンバーに登録されているホームページだけです。

ホームに登録したホームページを見る［ホーム］

インターネットチャンネルの「ホーム」ボタンを押すと、「ホーム」として登録してあるホームページが必ず表示されます。お買い上げ時はエアボードネットのホームページが「ホーム」に設定してあります。（☞49ページ、「インターネットを見るための設定をする」）

1 **インターネットチャンネルを表示する。**

2 ホーム **を選ぶ。**



「ホーム」に登録したホームページが表示されます。

ちょっと一言

- 最初に表示される「ホーム」のページは、前回読み込んだ古い内容の場合があります。最新の情報に更新するには**［更新］**を選んでください。
- 本機では、Cookieを自動的に受け付けています。

ホームページの アドレスを登録する ［マーク］

好みのホームページの アドレスを登録する

よく見るホームページやお気に入りのホームページは、毎回アドレスを入力したり、「検索サービス」のホームページで探したりするのは、面倒です。
そこで、よく見るホームページのアドレスを登録（マーク）しておけば、すぐに表示できます。本機には最大50件のホームページのアドレスを登録できます。

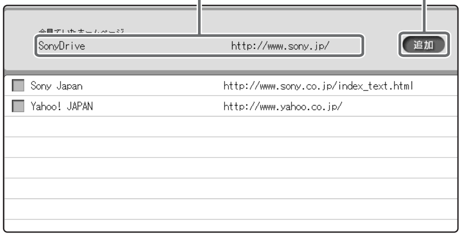
1 **登録したいホームページを表示する。**

2 **マーク を選ぶ。**



「マークの一覧」画面が表示され、ホームページのタイトルとアドレスが「今見ていたホームページ」の下に表示されます。

3 **追加 を選ぶ。**



「今見ていたホームページ」のタイトルとアドレスが「マークの一覧」に登録され、手順1で表示していたホームページに戻ります。

ご注意

登録できるマークの数（50件）を超えた場合は、「登録したマークを消去するには」（☞76ページ）で不要なマークを消して登録し直してください。マークを残したいときは、あらかじめ“メモリースティック”にマークをコピーしてから、本機のマークを消してください。（☞155ページ）

ちょっと一言

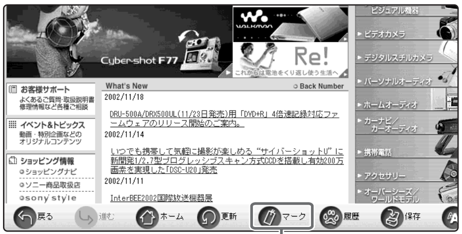
- 登録したホームページのタイトルを変更できます。（☞76ページ）
- ホームページのアドレスは、“メモリースティック”にも登録できます。また、“メモリースティック”に登録したアドレスを本機にコピーしたり、本機に登録したアドレスを“メモリースティック”にコピーすることもできます。（☞154ページ）

つづく

ホームページのアドレスを登録する［マーク］（つづき）

マークに登録したホームページを見る

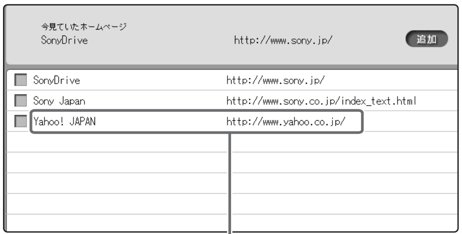
1 **マーク を選ぶ。**



マーク

「マークの一覧」画面が表示されます。
最後に見たホームページのタイトルとアドレスが一番上に表示されます。

2 **「マークの一覧」の中から見たいホームページのアドレスを選ぶ。**



ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示できません。）

選んだホームページが表示されます。

ちょっと一言
"メモリースティック"に登録したホームページを見るには、「マークの一覧」画面下部の［**切換え**］を選びます。詳しくは、「"メモリースティック"にホームページのアドレスを登録する（マーク）」（☞154ページ）をご覧ください。

マークに登録したホームページのタイトルを変更するには

1 「マークの一覧」画面の中からタイトルを変えたいマークの□を選び、✓をつける。
タイトルは1つずつ変更できます。

2 画面下部にある［**名称変更**］を選ぶ。
「タイトルの変更」画面が表示されます。

3 「タイトル」の欄に新しいタイトルを入力する。
「タイトル」欄を選んで、キーボードで入力します。

ちょっと一言
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

4 ［OK］を選ぶ。

登録したマークを消去するには

1 「マークの一覧」画面で消去したいマークの□を選び、✓をつける。
一度に2つ以上のマークを消去するときは、それぞれに✓をつけます。

2 ［**消去**］を選ぶ。

ホームページを保存する［保存］

ホームページを保存する

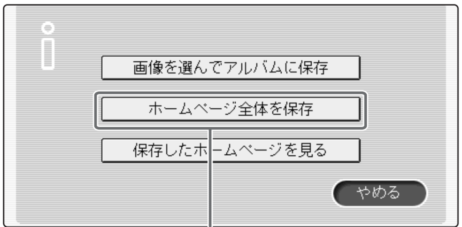
表示しているホームページの内容を、そのまま保存できます。一度保存しておくと、インターネットにつなぐことなく、見たいときにゆっくり見ることができます。

1 ホームページを表示しているときに、 を選ぶ。



保存

2 [ホームページ全体を保存]を選ぶ。



ホームページ全体を保存

ホームページが保存され、手順1で表示していたホームページに戻ります。

ちょっと一言

“メモリースティック”が入っていると**[ホームページ全体を保存]**を選んだとき、「ホームページをどちらに保存しますか？」と表示されます。保存したいほうを選んでから[OK]**を**選びます。詳しくは、「“メモリースティック”にホームページを保存する**[保存]**」（☞156ページ）をご覧ください。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は保存できません。保存できないときは、手順2の画面で**[ホームページ全体を保存]**が薄く表示されます。**[やめる]**を選んでホームページの表示画面に戻り、読み込みが完全に終わってから再度**[保存]**を選んでください。

ちょっと一言

[履歴]、[マーク]、[保存]の違いと使いかた

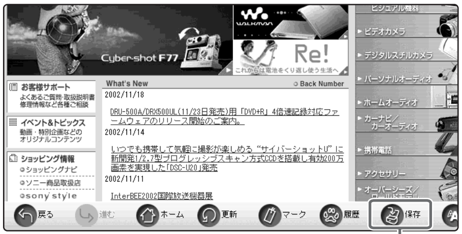
[マーク]：ホームページのアドレスを登録します。よく見るホームページのアドレスを登録しておくと、アドレスを入力する手間が省けて便利です。

[履歴]：表示したホームページのアドレスを自動的に記録します。履歴がいっぱいになると、古いものから自動的に消去されます。

[保存]：ホームページの画面を保存します。インターネットに接続することなく、いつでも保存したページを見ることができます。

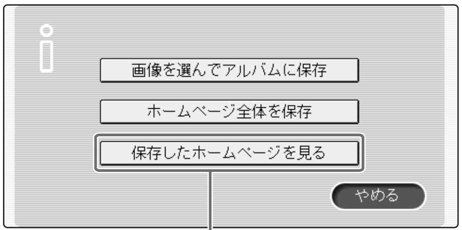
保存したホームページを見る

1  **を選ぶ。**



保存

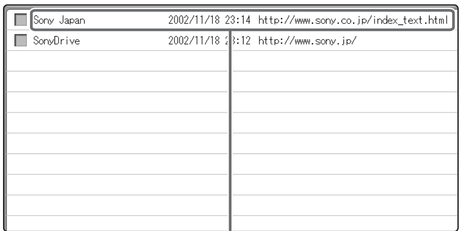
2 **[保存したホームページを見る]を選ぶ。**



保存したホームページを見る

「保存したホームページの一覧」画面が表示されます。

3 **一覧の中から見たいホームページを選ぶ。**



ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示されません。）

選んだホームページが表示されます。

ちょっと一言
“メモリースティック”に保存したホームページを見るには、「保存したホームページの一覧」画面下部の[**切換え**]を選びます。

ホームページのタイトルを変更するには

1 「保存したホームページの一覧」画面の中からタイトルを変えたいマークの□を選び、✓をつける。
タイトルは1つずつ変更できます。

2 画面下部にある[**名称変更**]を選ぶ。
「タイトルの変更」画面が表示されます。

3 「タイトル」の欄に新しいタイトルを入力する。
「タイトル」欄を選んで、キーボードで入力します。

ちょっと一言
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

4 [OK]を選ぶ。

保存したホームページを消去するには

1 「保存したホームページの一覧」画面で消去したいマークの□を選び、✓をつける。
一度に2つ以上のマークを消去するときは、それぞれに✓をつけます。

2 **[消去]** を選ぶ。

保存したホームページの並び順を変えるには（ソート）

「保存したホームページの一覧」画面上部の[**タイトル**]、[**保存日時**]、[**アドレス**]ボタンを選ぶ。

[**タイトル**]：ホームページが、アルファベット → ひらがな → カタカナ → 漢字順に並びます。
[**保存日時**]：保存した日時の新しい順に並びます。
[**アドレス**]：ホームページのアドレスがABC順に並びます。

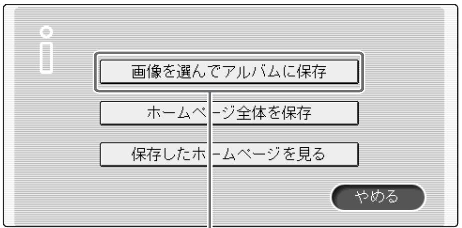
ホームページの画像をアルバムに保存する

1 **ホームページを表示しているときに、保存 を選ぶ。**



保存

2 **[画像を選んでアルバムに保存]を選ぶ。**



画像を選んでアルバムに保存

手順1で表示していたホームページに戻り、画面上部（「インターネット」表示の右側）に「保存したい画像を選んでください」と表示されます。

3 **保存したい画像の上を選ぶ。**

選ばれた画像に枠がつき、「選択した画像をアルバムに保存しますか？」と表示されます。

ちょっと一言

“メモリースティック”が入っていると、画像を選んだとき、「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。保存したいアルバムを選んでから[OK]を選びます。

4 **OK を選ぶ。**

画像がアルバムに保存され、手順1の画面に戻ります。

ちょっと一言

[**やめる**]を選ぶと、画像を選び直せます。

ちょっと一言

本機では、MPEG1方式の動画も保存できます。

保存した画像を見るには

1 インデックス画面を表示する。

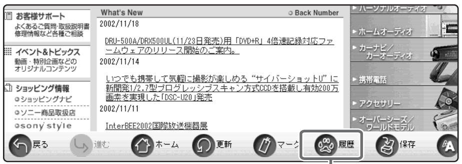
2 アルバムチャンネルを選ぶ。

「画像の一覧」画面が表示されます。
保存した画像は、一覧の中に表示されます。

過去に表示したホームページを見る［履歴］

過去に表示したホームページのアドレスは、最新の50件までが履歴として自動的に記録されます。「履歴の一覧」からアドレスを選ぶだけでホームページを見ることができます。アドレスを入力する必要がなく便利です。

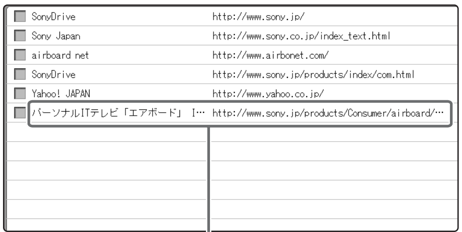
1 **履歴 を選ぶ。**



履歴

「履歴の一覧」画面が表示されます。

2 **「履歴の一覧」の中から見たいホームページを選ぶ。**



ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示されません。）

選んだホームページが表示されます。

ちょっと一言

- 「履歴の一覧」の中からホームページのアドレスを選んだ場合、読み込んだ時点のホームページが表示されることがあります。最新のホームページを見たい場合は、画面下部にある[**更新**]を選んでください。
- 履歴が50件を越えた場合、古いものから順に削除されます。
- 「履歴の一覧」の中から選んだホームページの内容が本機に記録されていない場合は、「インターネットに接続しますか？」というメッセージが表示されます（電話回線またはPPPoEで接続している場合のみ）。インターネットに接続すると、最新のページが表示されます。

履歴の一覧のアドレスを消去するには

1 消去したいホームページの□を選び、✓をつける。
一度に2つ以上のホームページを選ぶときは、それぞれに✓をつけます。

2 画面下部にある[**消去**]を選ぶ。

過去に表示したホームページをキャッシュから消去するには

表示したホームページの内容は、いったん本機の中に取り込まれ、回線を接続しなくても表示できます。これを「キャッシュ」といいます。キャッシュの中身は、一定量以上になると日付の古いものから順に自動的に消されますが、以下の操作ですべてのキャッシュを消去できます。

1 インデックス画面を表示する。

2 [**設定**]を選ぶ。

3 [**インターネット**]を選ぶ。
「設定 インターネット」画面が表示されます。

4 [**キャッシュ消去**]を選ぶ。
メッセージが表示されます。

5 [OK]を選ぶ。
自動的にモニターの電源が切れ、再度入ります。この間にキャッシュの内容がすべて、消去されます。

ご注意

消去されるキャッシュの量によっては、自動的にモニターの電源が入るまで、しばらく時間がかかることもあります。そのままお待ちください。

サービスチャンネルを使ってホームページを見る

インデックス画面のサービスチャンネルのアイコンを選ぶと、インターネットへ接続して特定のホームページを表示します。
本機には、出荷時にいくつかのサービスチャンネルが登録されています。

サービスチャンネルの例*：



サービスチャンネル



エアボードネットのホームページにジャンプします。

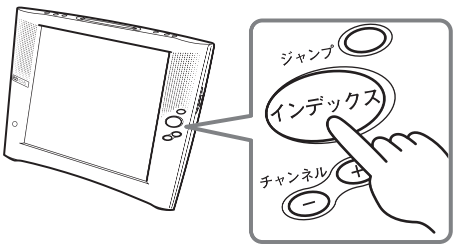


So-netのホームページにジャンプします。

＊実際に本機に登録されているものとは異なる場合があります。

サービスチャンネルから ホームページを表示する

1 **モニターの右側の[インデックス]ボタンを押す。**



インデックス画面が表示されます。

2 **サービスチャンネルのアイコンを選ぶ。**



インターネットへ接続して、選んだホームページが表示されます。

ご注意

モニター右側の[**チャンネル**+/–]ボタンを押してもサービスチャンネルに切り換えできません。

サービスチャンネルを追加する

エアボードネットにある「サービスチャンネルダウンロード」画面から、好みのサービスチャンネルをいくつでもダウンロードして、本機に登録できます。
詳しくは、エアボードネットのホームページ（http://www.airbonet.com）をご覧ください。

つづく

サービスチャンネルを使ってホームページを見る（つづき）

インデックス画面にサービスチャンネルを表示する

本機に登録したサービスチャンネルの中から、最大5個のアイコンをインデックス画面に表示できます。

1 **インデックス画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

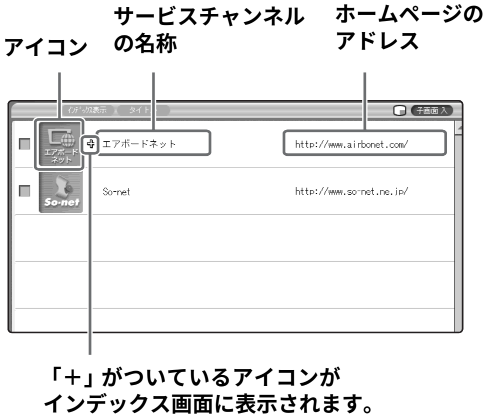
3 **本体の設定 を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

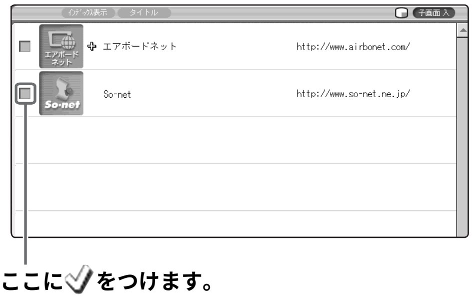
4 **インデックス を選ぶ。**

5 **サービスチャンネル を選ぶ。**

「設定 本体の設定 インデックス」画面にサービスチャンネルの一覧が表示されます。



6 **インデックス画面に表示したいアイコンの□を選び、✓をつける。**



一度に2つ以上のアイコンを表示させたいときは、それぞれに✓をつけます。

7 **表示 を選ぶ。**



選んだアイコンの後ろに「+」がつきます。

8 **戻る を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

インデックス画面を表示して、設定したサービスチャンネルのアイコンが表示されることを確かめてみましょう。

インデックス画面のサービスチャンネル表示をやめるには

1 「設定 本体の設定 インデックス」画面を表示する。（☞82ページ）

2 表示をやめたいアイコンの□を選んで、✓をつける。
後ろに「＋」がついているサービスチャンネルがインデックス画面に表示されています。
一度に2つ以上のアイコンの表示をやめたいときは、それぞれに✓をつけます。

3 [**表示取消**]を選ぶ。
「インデックス表示を取り消してよろしいですか？」というメッセージが表示されます。

4 [OK]を選ぶ。
アイコンの後ろの「＋」が消えます。
これでインデックス画面にアイコンが表示されなくなります。

サービスチャンネルの登録を消すには

ご注意

いったん登録を消すと、そのサービスチャンネルを再び表示するには、エアボードネットからのダウンロードが必要となります。

1 「設定 本体の設定 インデックス」画面を表示する。（☞82ページ）

2 消したいアイコンの□を選んで、✓をつける。
一度に2つ以上のアイコンを消したいときは、それぞれに✓をつけます。

3 [**消去**]を選ぶ。
「チェックした項目を消去しますか？」というメッセージが表示されます。

4 [OK]を選ぶ。
選んだサービスチャンネルが一覧から消えます。

インターネット接続中の画面表示と切断のしかた

インターネットへの接続のしかたによって、接続中の表示と切断のしかたが異なります。

ネットワークの設定	接続中の画面とランプの表示			切断方法
	モニターの接続表示	モニターの回線ランプ	ベースステーションの回線ランプ	
「電話回線」	 表示	点灯	点灯	モニターの[**切断**]ボタンを押す
「LAN回線（PPPoE）」	 表示	点灯	点灯	モニターの[**切断**]ボタンを押す
「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」	表示なし	消灯	点灯	ルーターを使っている場合はルーター側で切断する
ISDN回線（ISDNルーター使用）のとき「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」	表示なし	消灯	点灯	ISDNルーター側で切断する（モニターの[**切断**]ボタンは使わない）

ちょっと一言

接続開始から接続中になるまでの接続準備状態では、ベースステーションの回線ランプが点滅します。

ご注意

お使いの回線事業者やプロバイダにより、契約上、同時に1つの端末しかインターネットに接続できないことがあります。詳しくは回線事業者またはプロバイダに確認してください。この場合、パソコンなど別の端末をインターネットに接続したいときは、モニター上部の[**切断**]ボタンを押して、本機のインターネット接続を切断してください。

インターネットチャンネル画面の各部の名前



1 **インターネットマーク**
ホームページなどを読み込んでいる（ダウンロードしている）ときは、このマークが動きます。

2 **インターネットチャンネル表示**

3 **アドレス入力欄**（☞69ページ）
現在見ているホームページのアドレスが表示されます。他のホームページを表示させるときは、ここにアドレスを入力します。

4 SSL**マーク**（☞68ページ）
SSL対応のホームページのとき、このマークが表示されます。

5 **接続中表示**（☞84ページ）
「電話回線」で接続しているときは 00:00:31 が、「LAN回線（PPPoE）」で接続しているときは 接続中 が表示されます。
回線の設定を「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」に設定しているときは何も表示されません。

6 **戻る**
1つ前のページに戻ります。

7 **進む**
次のページに進みます。

8 **ホーム**（☞74ページ）
ホームに登録したホームページを表示します。

9 **更新**（☞74ページ）
現在表示しているアドレスのホームページを読み込んで、最新のホームページを表示します。
（**停止**：ホームページの読み込みをやめます）

10 **マーク**（☞75ページ）
表示しているホームページのアドレスを登録します。また登録されたホームページの一覧を表示します。

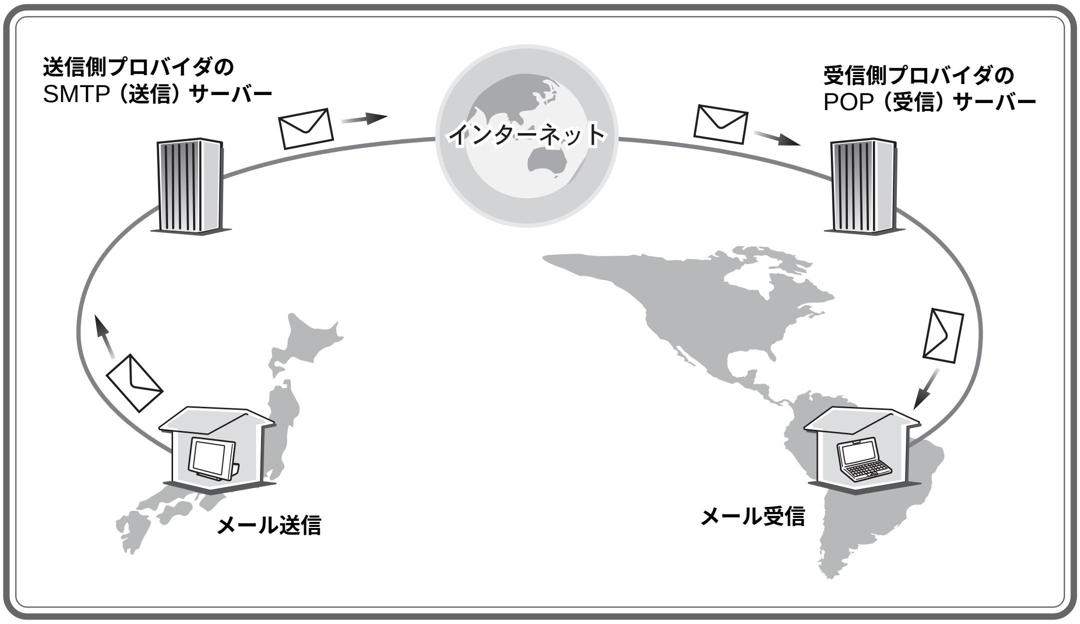
11 **履歴**（☞80ページ）
履歴にあるホームページのアドレスの一覧を表示します。

12 **保存**（☞77ページ）
ホームページの画面やホームページ内の画像を保存します。ホームページの画面を保存しておくと、インターネットに接続することなく、保存したページを見ることができます。

13 **文字を大（小）**
画面上の文字の大きさを変えます。

メール

「メール」(電子メール、Eメール) は、インターネットを使って、文章の情報を世界中のコンピューターなどとやりとりできます。
エアボードでは、１通のメールを複数の相手に同時に送ったり、デジタルスチルカメラで撮影した画像や手書きのメモなどの情報を同封（添付）して、送ったり受け取ったりできます。



ご注意

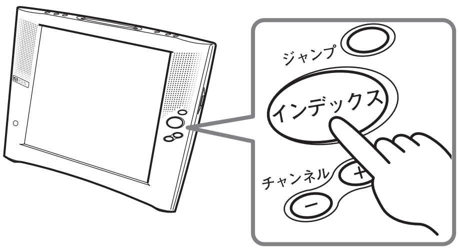
メールを楽しむには、インターネットへ接続するサービスを提供する会社(プロバイダや回線事業者)と契約し、電話回線やケーブルテレビ回線を使って接続する必要があります。
まず、「接続と準備」(☞7ページ)をご覧になって「インターネットやメールをするための接続と設定」を行ってください。

メールを書いて送ってみよう！

メールチャンネルを開いてみよう

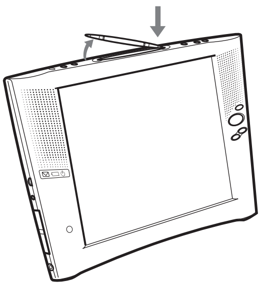
メールチャンネルに切り換えると、メールを書いたり送受信したりできます。

1　モニターの右側の[インデックス]ボタンを押す。



インデックス画面が表示されます。

2　モニター上部からタッチペンを取り出す。



3　メールチャンネルを選ぶ。



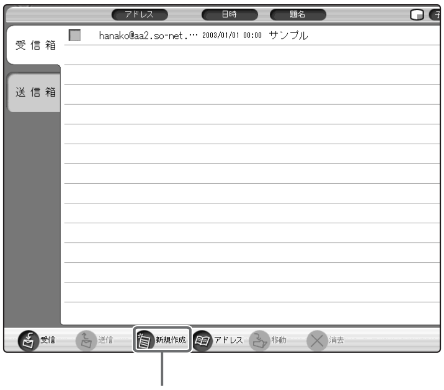
メールチャンネルが表示されます。

ちょっと一言

モニター右側の[**チャンネル＋/－**]ボタンをくり返し押しても表示できます。

4 

を選ぶ。



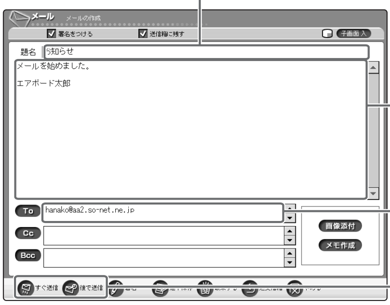
新規作成

「メールの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

[**新規作成**]ボタンが表示されていないときは、[**送受信箱**]を選ぶと[**新規作成**]ボタンを表示できます。

メール作成画面の例



題名を入力する（☞89ページ）：用件を短く、分かりやすい言葉で入力します。

メールを書く（☞89ページ）：メールの本文を書きます。相手が読みやすいように、適当に改行してください。送り主が誰であるか分かるように、メールの最後に署名を付けることもできます。（☞90ページ）

宛先を入力する（☞91ページ）：送り先のメールアドレスを半角英数字で入力します。

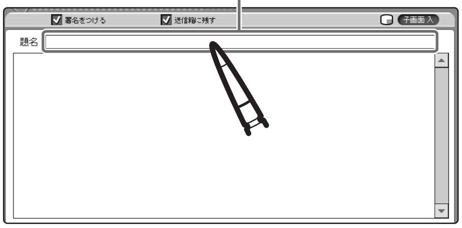
メールを送信する（☞92ページ）：すぐに送信するか後で送信するかのどちらかを選びます。

題名を入力しよう

メールの題名はわかりやすく、短くまとめるのがコツです。ここでは例として、題名を「お知らせ」と入力します。

1 **題名欄を選ぶ。**

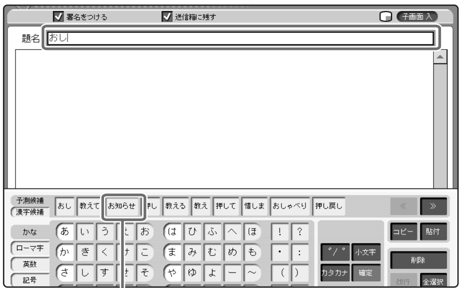
ここを選びます。



画面上にキーボードが表示されます。

2 **キーボードで「お」、「し」、「ら」、「せ」と入力する。**

「予測候補」の右横に「お知らせ」と表示されたら、「お知らせ」を選ぶ。



ここを選びます。

ちょっと一言

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

3 **キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

これで題名が入力できました。
次はメールの本文を書きましょう。

メールの本文を書こう

画面上の文字は、紙よりも読みづらいものです。メールの本文は、改行を適当に入れ、相手が読みやすいようにします。
ここでは例として、「メールを始めました。」と入力します。

ちょっと一言

本機は、文字入力を終了したとき、一定の文字数を超えると、自動的に改行を入れます。

1 **文章入力欄を選ぶ。**

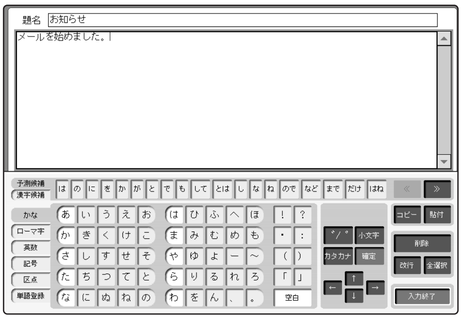
ここを選びます。



2 **キーボードで「メールを始めました。」と入力する。**

ちょっと一言

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

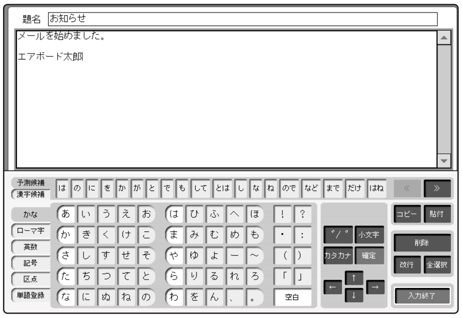


これで文章が入力されました。

続いて、このメールの送信元が誰かわかるように、署名（例：「エアボード太郎」）を付けます。

つづく

3 **[改行]を2回選んでから、キーボードを使って「エアボード太郎」と入力する。**



これで署名ができあがりました。

ちょっと一言

署名は別に保存し、繰り返し使えます。詳しくは、「署名を保存するには」（☞下記）をご覧ください。

4 **キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

これでメールの本文ができました。
続いて宛先を入力します。

署名を保存するには

送信元の名前やメールアドレスなどの情報を「署名」として保存し、メールの文末に入れることができます。

1 画面下部にある **[署名]** を選ぶ。
「署名の編集」画面が表示されます。

2 「署名」欄に入力する。

3 [OK] を選ぶ。
署名が保存されます。

ご注意

「署名」はニックネームや氏名など他の人に知られてもよい情報にしましょう。むやみに、住所や電話番号、会社名などの個人情報を署名として保存したり、メールの最後に付けたりすることはお勧めできません。インターネットでは、お客様の個人情報が誤って流れたりする可能性があるためです。

保存した署名をメールに付けるには

お買い上げ時は、「署名を保存するには」で作成した署名が自動的に本文の後に入って送信されるように設定されています。
署名を入れないようにするには、「メールの作成」画面上部にある **[署名をつける]** の✓を消してください。

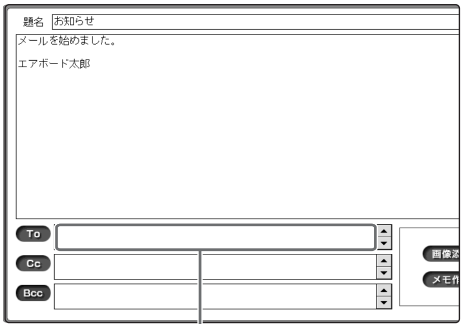
ご注意

保存した署名をメールに付けるときは、文章中に署名を入力しないでください。二重に署名が入ってしまいます。

宛先を入力しよう

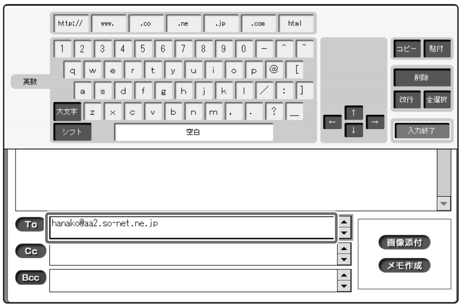
メールの題名と本文が書き終わったら、宛先(メールアドレス)を入力します。メールアドレスは、@(アットマーク)を間にはさんだ半角のアルファベットと数字記号の組み合わせです。手紙の住所と同じように、1文字まちがえても相手に届かないので、正確に入力しましょう。ここでは、例として、ソニー花子さん（hanako@aa2.so-net.ne.jp）に送ります。

1 **To（宛先）欄を選ぶ。**



ここを選びます。

2 **キーボードで「hanako@aa2.so-net.ne.jp」と入力する。**



ちょっと一言

あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておけば（☞ 102ページ）、簡単に入力できます。

宛先欄の左の[To]を選んで「宛先の選択」画面を表示し、宛名を直接選ぶか、宛名の前の□に✓をつけてから[To]を選ぶと宛先が入力されます。

3 **キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

これで宛先が入力できました。
続いてメールを送信します。

宛先を入力するときのコツ

１通のメールを複数の相手に同時に送りたいときは？

「To」や「Cc」、[Bcc]など送信先の欄で、メールアドレスとメールアドレスの間に、半角の「,」(コンマ)を入れて、宛先を入力します。

To と Cc 、 Bcc の違いって何？

[To]：メールを送りたい相手先（宛先）です。

[Cc]：カーボンコピー（Carbon copy：カーボン紙で複写する）の意味で、メールのコピーを送りたい相手先（「To」以外の人）です。

[Bcc]：ブラインドカーボンコピー（Blind carbon copy：隠れたカーボンコピー）の意味です。「To」や「Cc」に入力したアドレスは、メールを受け取った全員に表示されますが、「Bcc」に入力したアドレスは、メールを受け取った全員からは見えません。

どの宛先に入力してもメールは届きますが、「To」、「Cc」、「Bcc」のどれで受け取るかで、相手の受け取りかたが異なることがあります。うまく使い分けましょう。

つづく

メールを書いて送ってみよう！（つづき）

メールを送信しよう

メールは一度送信してしまうと、取り消せません。送信を行う前に、もう一度メールの内容に間違いがないか確認しましょう。

すぐ送信 または 後で送信 を選ぶ。



すぐ送信　後で送信

[すぐ送信]を選ぶと

選んだ瞬間に送信を始めます。

[後で送信]を選ぶと

一度送信箱に保存され、送信箱のメールの左端に と表示されます。次に[**すぐ送信**]や受信箱、送信箱、整理箱の[**送信**]を選んだときに送信されます。また、メールの自動送受信が設定されているときにも、設定時間になると送信されます。

ご注意

メールアドレスを入力しないと、**[すぐ送信]** や **[後で送信]** は選べません。

ちょっと一言

送信箱や受信箱を表示するには

画面下部の **[送受信箱]** を選びます。その後、**[送信箱]** タブを選ぶと送信箱が、**[受信箱]** タブを選ぶと受信箱が表示されます。

送信箱や受信箱のリストの並び順を変えるには（ソート）

アドレス	メールアドレスがABC順に並びます。
日時	日付の新しい順に並びます。
題名	アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字順に並びます。

送信箱にある［後で送信］に指定されたメールをすべて送信するには

画面下部にある **[送信]** を選ぶ。

送信箱からメールを消去するには

1 消去したいメールの□（チェックボックス）を選び、✓（チェックマーク）をつける。

2 **[消去]** を選ぶ。

ちょっと一言

送信したメールは送信箱に残るように設定されています。「メールの作成」画面上部の **[送信箱に残す]** の✓を消してから送信すると、送信箱に残らずに消去されます。

メールの送信が失敗したときは

送信箱のメールの左端に が表示され、以下のときに送られます。

- 次に「メールの作成」画面で **[すぐ送信]** を選んだとき
- 送信箱で **[送信]** を選んだとき
- 自動送受信が設定されていて、設定時間になったとき

ご注意

メールが送信されるとき、「To」にメールアドレスが正しく入力されていないメールがあると、エラーメッセージが表示され、送信されません。また、複数のメールを送信するときに、メールアドレスが正しく入力されていないメールが送信箱のリストの途中にあると、それ以降のメールは送信されません。この場合は、送信箱を開き、送信されなかったメールのアドレスを確認し、正しく入力してください。

作成途中のメールを保存するには [途中保存]

[途中保存] を選ぶ。
送信箱が表示され、途中保存したメールの左端に が表示されます。

ちょっと一言
「送受信箱」を選んでも途中保存されます。

途中保存したメールを再び作成するには、再び作成するメールを直接選んで、文章を編集します。元の文章に戻すには、画面下部にある **[やめる]** を選んでください。

作成途中のメールや途中保存したメールを消すには

- **メール作成中は**
  作成途中のメール作成画面下部にある **[破棄する]** を選ぶ。
- **送信箱から消すには**
  送信箱リストの中から消したいメールの を選んで をつけ、**[消去]** を選ぶ。

メールで画像を送ってみよう [画像添付]

ふつうの手紙に写真や絵を同封するように、メールでも、デジタルスチルカメラで撮影した画像を同封（添付）して送れます。
送りたい画像は、本機の「アルバム」に保存されている画像から選べます。

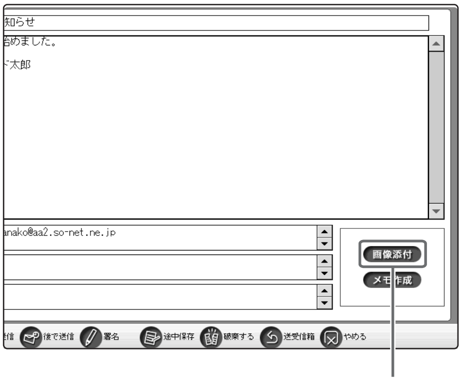
ご注意
1 つのメールに添付できる画像は12枚までです。また、添付する画像の合計サイズが4MBを超えると送信できません。画像のファイルサイズはアルバムの **[詳細]** で確認できます。（☞114ページ）

ちょっと一言
“メモリースティック”やメモリーカードの画像をメールに添付するには、153ページをご覧ください。

1 **メールの題名と本文、宛先を入力する。**

「メールチャンネルを開いてみよう」から「宛先を入力しよう」（☞88～91ページ）をご覧ください。

2 **画像添付 を選ぶ。**



画像添付

「画像の選択」画面が表示されます。

メール

メールを書いて送ってみよう！（つづき）

3 送りたい画像の□に✓をつける。

今回は「サンプル 海」という名前の画像を送ってみましょう。



2枚以上の画像を添付したいときは、添付したい画像にすべて✓をつけてください。

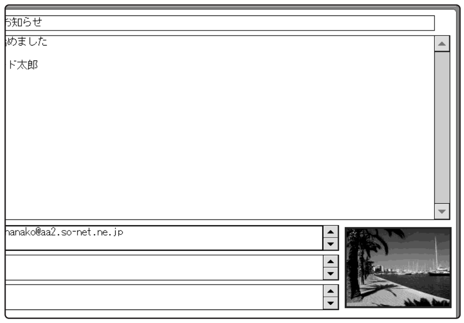
ちょっと一言

- 画像に触れると画像を拡大表示できます。拡大表示をやめるには、もう1回画像に触れます。
- “ メモリースティック ”やメモリーカードのアルバムからの画像も送れます。（☞153ページ）

4 添付を選ぶ。



「メールの作成」画面に選んだ画像が表示されます。



ちょっと一言

複数の画像を添付するときは、最初に選んだ画像が「メールの作成」画面に表示されます。

5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。

送信のしかたがわからない場合は「メールを送信しよう」（☞92ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「画像の選択」画面には、メールに添付できる画像のみ表示されます。
- 相手が受け取ったメールに表示される名前は、画像の名前ではなく「ファイル名」（☞114ページ）です。
- 画像ファイルが添付されているメールを送受信する場合、画像ファイルのサイズにより、送受信にしばらく時間がかかることがあります。

送る画像を確認するには

1 「メールの作成」画面で添付画像に触れる。



「添付した画像の一覧」画面が表示されます。

2 確認したい画像に触れる。



画像が拡大表示されます。
送る画像が複数の場合は、拡大表示画面下部の[**次画像**]や[**前画像**]を選ぶと、画像が次々と確認できます。

3 [**戻る**]を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

送る画像を追加するには

一度に複数の画像を送れます。

1 「添付した画像の一覧」画面を表示する。

2 [**添付追加**]を選ぶ。
「画像の選択」画面が表示されます。

3 追加したい画像の□に✓をつける。

4 [**添付**]を選ぶ。
「添付した画像の一覧」画面の先頭に、追加した画像が表示されます。

5 [**戻る**]を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

画像添付を取り消すには

1 「添付した画像の一覧」画面を表示する。

2 添付を取り消したい画像の□に✓をつける。

3 [**添付取消**]を選ぶ。
「この画像の添付を取り消します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

4 [OK]を選ぶ。
選んだ画像が消えた「添付した画像の一覧」画面に戻ります。

5 [**戻る**]を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

つづく

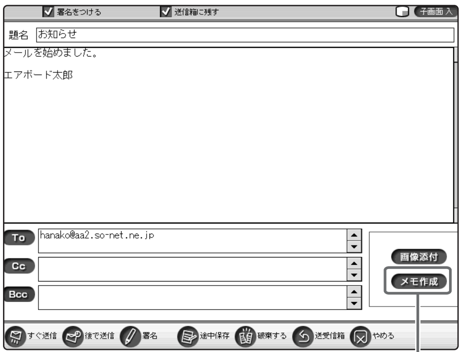
手書きのメールも送ってみよう [メモ作成]

写真などの画像だけではなく、手書きの絵や文字もメールで送れます。

1 メールの題名と本文、宛先を入力する。

「メールチャンネルを開いてみよう」から「宛先を入力しよう」（☞88〜91ページ）をご覧ください。

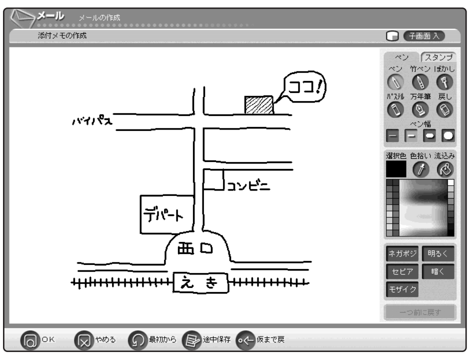
2 メモ作成 を選ぶ。



メモ作成

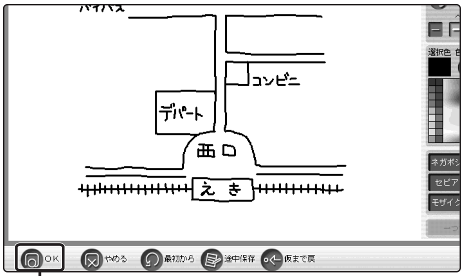
「添付メモの作成」画面が表示されます。

3 絵や文字を描く。



絵の描きかたについて詳しくは、「お絵かきパレットの使いかた」（☞116ページ）をご覧ください。

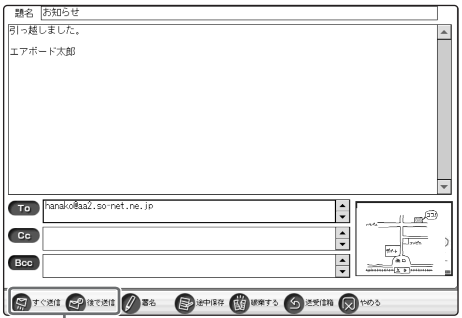
4 OK を選ぶ。



OK

描いた絵が「メールの作成」画面のメモ作成欄に表示されます。

5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。



[すぐ送信] か [後で送信] を選びます。

詳しくは、「メールを送信しよう」（☞92ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

手書きのメモも、添付画像と同じ操作で拡大表示して確認したり、送る画像を追加したり、添付を取り消すことができます。（☞ 95ページ）

複数のメモを一度に送るには

複数のメモを作成して一度に送ることができます。添付画像を選んだあとでメモ作成することもできます。

1. １枚目のメモ作成を行う、または画像を添付する。
2. 「添付した画像の一覧」画面を表示する。
3. [**メモ作成**]を選ぶ。
「添付メモの作成」画面が表示されます。
4. 送りたいメモを作成し、[OK]を選ぶ。
「添付した画像の一覧」画面の先頭に、作成したメモが表示されます。
5. [**戻る**]を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

作成したメモをアルバムに保存するには

1. 「添付した画像の一覧」画面を表示する。
2. 保存したいメモ画像の□に✓をつける。
3. [**保存**]を選ぶ。
「コピーしました。」と表示されます。
4. [OK]を選ぶ。

ちょっと一言

“メモリースティック”が入っていると、[**保存**]を選んだとき、「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。保存したいアルバムを選んでから[OK]を選びます。

届いたメールを見てみよう！

メールを受信しよう [受信]

送られてきたメールがあるかどうか受信箱で確認しましょう。

ご注意

本機は、新着メールを自動的に通知しませんが、モニターの電源が切れているときに、設定した時間に新着メールがあるかどうかチェックする「自動送受信」機能があります。（☞107ページ）「自動送受信」機能でメールを受信すると、モニター左側の✉ランプが赤色で点灯します。

1 

を選ぶ。

受信箱の画面に切り換わり、新たに届いたメールには、受信箱のメールの横に✉（未開封）マークがつきます。



ご注意

モニターの左側の✉ランプは、[**受信**]を選んでメールを受信しても点灯しません。このランプは、メール自動送受信用です。

つづく

届いたメールを見てみよう！（つづき）

2 （未開封）マークのついているメールを選ぶ。

未開封マーク



ここを選びます。

メールの内容が表示されます。

ちょっと一言

一度メールの内容を表示した後は、 ランプと（未開封）マークは消え、受信箱のメールの文字の色が青から黒になります。

ご注意

- 受信メールに画像などの添付ファイルがある場合、受信にしばらく時間がかかることがあります。
- 本機で表示できない添付書類が送られてきたときは、リストの横にが表示されます。メールをパソコンなどに転送し、添付書類をご覧ください。

受信したメールを消去するには

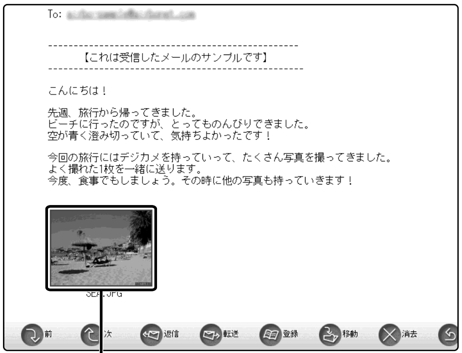
消去したいメールを表示し、画面下部にある**[消去]**を選ぶ。または、受信箱を表示し、消去したいメールのを選んでをつけてから、**[消去]**を選ぶ。

受信したメールの文中にホームページのアドレスが青色で表示されているときは

ホームページのアドレスを選ぶと、インターネットチャンネルに切り換わり、そのホームページが表示されます。

メールで送られてきた画像を拡大するには

メールに添付された画像を選ぶと拡大表示されます。**[戻る]**を選ぶと、元の画面に戻ります。



ここを選びます。　拡大



ご注意

MPEG１方式の動画やGIF形式のアニメを添付したメールを受け取ると、1コマ目の画像のみがメール画面に表示されます。メールチャンネルでは動画は再生できません。画像を選んで拡大し、**[保存]**を選んでアルバムに動画を保存してください。その後、アルバムチャンネルから動画再生してください。（☞119ページ）

メールで送られてきた画像をアルバムに保存するには

1 添付された画像を選んで拡大表示する。

2 **[保存]**を選ぶ。
アルバムに保存されます。

ちょっと一言

“メモリースティック”が入っていると、**[保存]**を選んだとき、「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。保存したいアルバムを選んでから[OK]を選びます。

返事を書いてみよう [返信]

先ほど受信したメールに返事を書いてみましょう。受信したメールの文面を引用して返事を書けます。

1　受信箱を表示する。

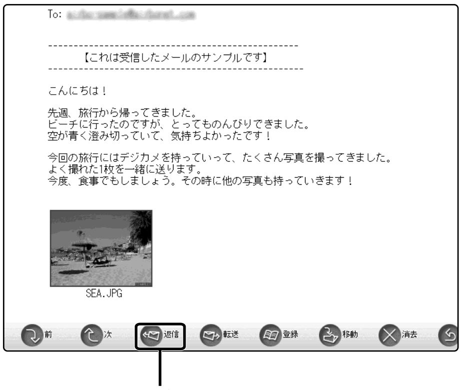
2　返事を書きたいメールを選ぶ。



ここを選びます。

受信したメールの内容が表示されます。

3　 を選ぶ。



返信

返信用の「メールの作成」画面が表示されます。

返信先のメールアドレスがすでに自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

題名の文頭には返信を表す「RE:」が、受信した文面の行頭には「>」（引用符）が自動的につきます。

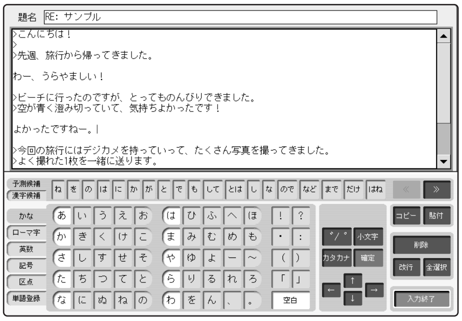
返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。

「どのように返信しますか？」というメッセージが表示されたときは

返信するメールの宛先が複数の場合表示されます。「全員に返信してみよう」（☞100ページ）の手順4の操作を行ってください。

4　返信する文章を入れる。

キーボードで入力してください。



5　 または  を選んで送信する。



すぐ送信　後で送信

メール

つづく

届いたメールを見てみよう！（つづき）

全員に返信してみよう

メールは、宛先が自分の他、複数の人にも送られる場合があります。メールが送られた全員に、一度に返信できます。

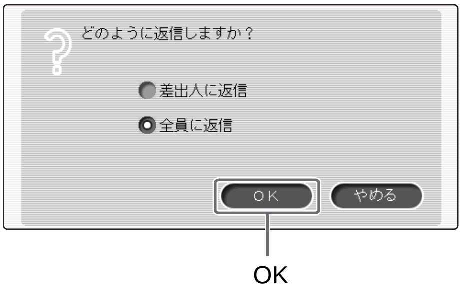
1 **受信箱を表示する。**

2 **返事を書きたいメールを選ぶ。**

3 **［返信］を選ぶ。**

メール宛先が複数の場合、「どのように返信しますか？」というメッセージが表示されます。

4 **[全員に返信]を選んで［OK］を選ぶ。**



全員に返信用の「メールの作成」画面が表示されます。

「To」には元のメールの差出人と、元のメールで「To」に入っていた方のメールアドレスがすべて自動的に入力されます。

「Cc」には受信したメールの「Cc」に入っていた方のメールアドレスがすべて自動的に入力されます。

ご注意

受信したメールの「Bcc」にメールアドレスが入っていても、「Bcc」には入力されません。

題名の文頭には返信を表す「RE:」が、受信した文面の行頭には「>」が自動的に付きます。返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。

受信したメール
To：**自分、Aさん、Bさん**
Cc：**Dさん**
差出人：Zさん

↓ **全員に返信**

返信するメール
To：**Zさん、Aさん、Bさん**
Cc：**Dさん**
差出人：自分

ちょっと一言

元のメールの差出人にだけ返信したいときは
[全員に返信]の代わりに、**[差出人に返信]**を選びます。

特定の方には返信したくないときは
[全員に返信]を選んだ後、「To」または「Cc」の欄で返信したくない方のメールアドレスをなぞって黒く反転させ、キーボードの**[削除]**を選びます。

さらに返信したい方を追加したいときは
「To」や「Cc」、「Bcc」に追加したい方のメールアドレスを入力します。

5 **返信する文章を入力する。**

キーボードで入力してください。

6 **［すぐ送信］または［後で送信］を選んで送信する。**

届いたメールを他の人に送ってみよう [転送]

届いたメールを他の人にも読んで欲しいときは、メールを「転送」します。
「転送」とは、ある人から届いたメールを他の人に送ることをいいます。

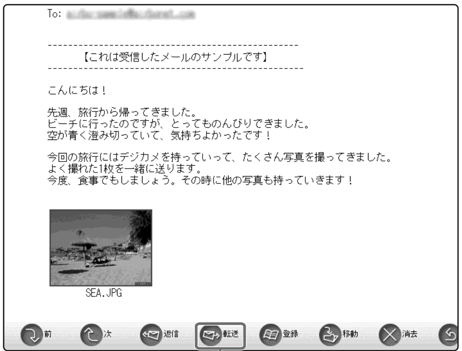
1 **受信箱を表示する。**

2 **転送したいメールを選ぶ。**



ここを選びます。

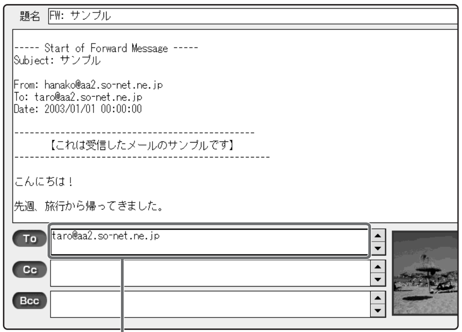
3 **転送 を選ぶ。**



転送

転送用の「メールの作成」画面が表示されます。
元のメールの受信情報と文面が自動的に入力されます。題名の文頭には転送を表す「FW:」が自動的に付きます。文章を付け加えて転送したい場合は、キーボードで文章を入力します。

4 **宛先を入力する。**



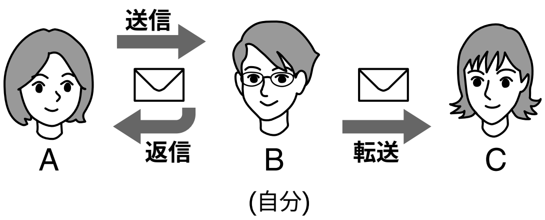
ここに入力します。

5 **すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。**

ちょっと一言

返信・転送について

「返信」とは、Aさんから自分に送られたメールに対し、自分がAさんに返事を書くことです。
「転送」とは、Aさんから自分に送られたメールを、自分がCさんにそのまま送ることです。



アドレス帳を使う

あらかじめメールアドレスをアドレス帳に登録しておけば、メール作成時にアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、簡単で正確です。

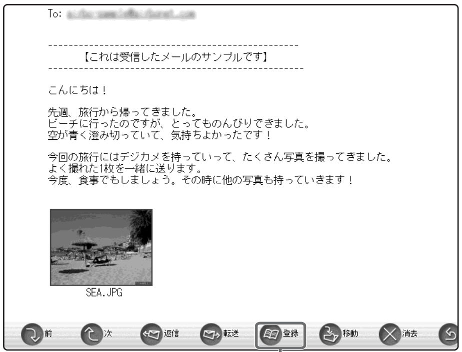
アドレスを登録する [登録]

1 **受信箱または送信箱を表示する。**

2 **アドレス帳に登録したいメールアドレスの入っている送信済みメール、または受信メールを表示する。**

3 

を選ぶ。



登録

「アドレスの登録」画面が表示され、メールアドレス入力欄にメールアドレスが入力されます。

ちょっと一言

受信メールを表示しているときは、差出人のメールアドレスが登録されます。

送信済みメールを表示しているときは、「To」と「Cc」、「Bcc」に表示されているメールアドレスがすべてアドレス帳に登録されます。グループをまとめて登録したいときに便利です。

4 **ニックネーム入力欄にメールアドレスのニックネームを入力する。**

「ニックネーム」欄を選んで、キーボードで入力します。

ちょっと一言

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

ニックネームって、どう付ければいい？

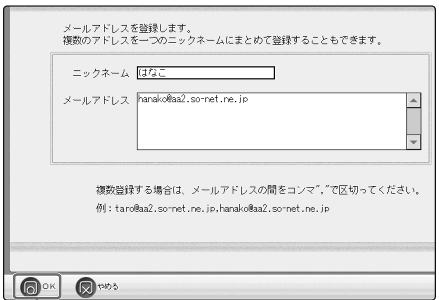
例えば、hanako@aa2.so-net.ne.jpというメールアドレスのニックネームを「はなこ」にすれば、アドレス帳に「はなこ」と表示されます。相手が受け取ったメールにはニックネームは表示されませんので、本名でもニックネーム（あだ名）でも、あなたが識別しやすい名前にしましょう。

ニックネーム入力欄



5 

を選ぶ。



OK

手順1で表示したメールの画面に戻ります。

ちょっと一言

アドレス帳のリストでは、アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字順にニックネームが並びます。

メールアドレスを直接アドレス帳に入力して登録するには

1 受信箱または送信箱を表示し、**[アドレス]** を選ぶ。
「アドレス帳」画面が表示されます。

2 **[新規作成]** を選ぶ。
「アドレスの登録」画面が表示されます。

3 「ニックネーム」欄にメールアドレスのニックネームを、キーボードで入力する。

ちょっと一言
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」(☞123ページ)をご覧ください。

4 メールアドレス入力欄にメールアドレスを入力する。
同じニックネームに複数のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスとメールアドレスの間にコンマ(,)を入れて区切ります。

ちょっと一言
入力のしかたについて詳しくは、「英数字を入力してみよう」(☞131ページ)をご覧ください。

5 [OK] を選ぶ。

アドレス帳を変更するには

1 **[アドレス]** を選んで、「アドレス帳」画面を表示する。

2 内容を変更したいメールアドレスを選ぶか、メールアドレスの□を選んで✓をつけ、**[編集]** を選ぶ。
「アドレスの編集」画面が表示されます。

3 キーボードを使って項目を変更する。

4 [OK] を選ぶ。

アドレス帳からメールアドレスを消すには

1 **[アドレス]** を選んで、「アドレス帳」画面を表示する。

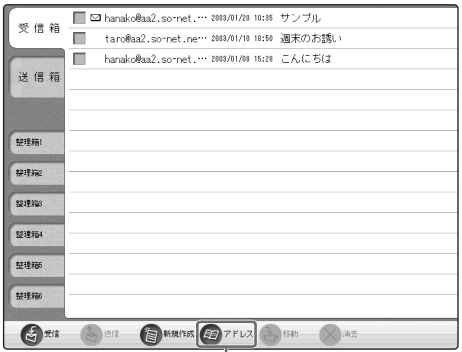
2 消去したいメールアドレスの□を選んで✓をつける。

3 **[消去]** を選ぶ。

アドレス帳から登録した送り先を選ぶ [アドレス]

1 **受信箱または送信箱を表示する。**

2 **アドレス を選ぶ。**

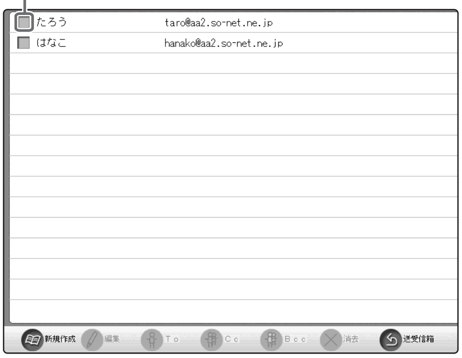


アドレス

「アドレス帳」画面が表示されます。

3 **使いたいメールアドレスの□を選んで✓をつける。**

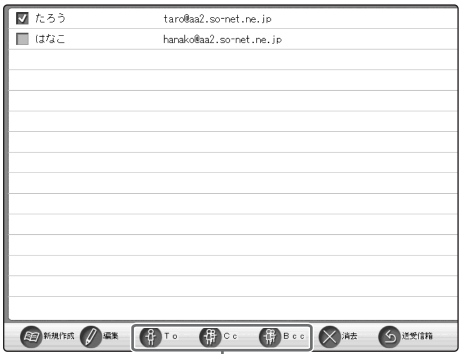
ここに✓をつけます。



メール

つづく

4 **To、Cc またはBcc を選ぶ。**



To、Cc、**または**Bcc

メールアドレスが自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

メールを作成してください。

ちょっと一言

メールの新規作成画面からアドレス帳を利用するには

宛先覧左のToやCc、Bccを選び「宛名の選択」画面で宛名の前の□に✓をつけてから、画面下部のTo、CcまたはBccを選びます。

メールチャンネルのパスワードを設定する

本機のメールチャンネルを他人に見られないように、パスワード（暗証番号）を設定します。

ご注意

入力したパスワードは忘れないでください。
パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要です。ご注意ください。

ちょっと一言

[ミーメール]用“メモリースティック”のメールチャンネルにもパスワードを設定できます。パスワードを設定したい“メモリースティック”を本機に挿入してから、以下の手順を行ってください。

1 **モニターの右側の[インデックス]ボタンを押してインデックス画面を表示する。**

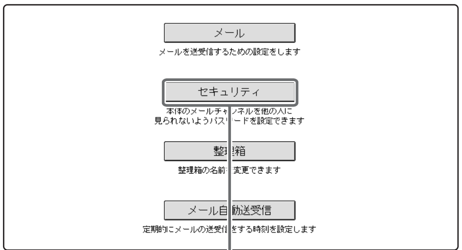
2 **設定を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **メールを選ぶ。**

「設定 メール」画面が表示されます。

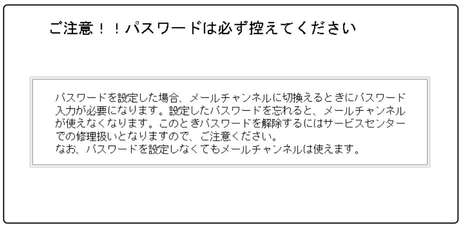
4 **セキュリティを選ぶ。**



セキュリティ

「セキュリティ」画面が表示されます。

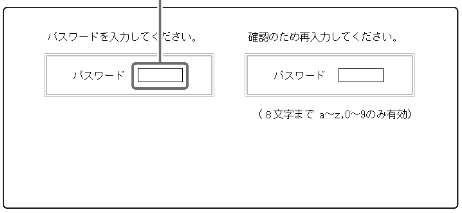
5 [OK] **を選ぶ。**



「セキュリティ　パスワード登録」画面が表示されます。

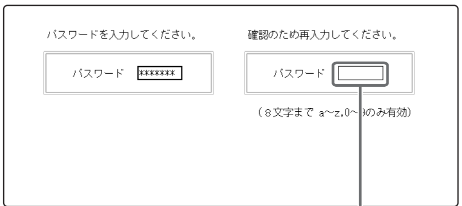
6 **パスワードを入力する。**

ここに入力します。



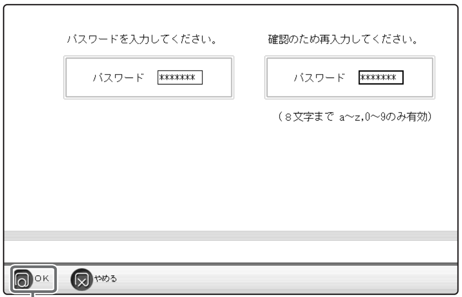
キーボードで半角英数字を8文字以内で入力します。入力した文字は＊で表示されます。

7 **確認のため、もう一度同じパスワードを入力する。**



ここに入力します。

8 [OK] **を選ぶ。**

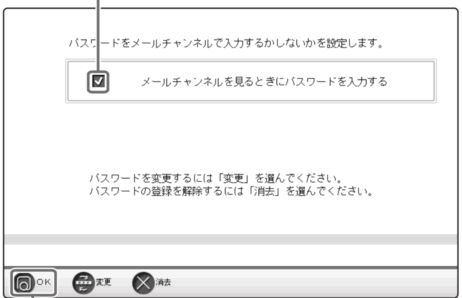


OK

「パスワード設定」画面が表示されます。

9 **「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」に ✓ がついていることを確認してから、** [OK] **を選ぶ。**

ここを確認します。



OK

「設定 メール」画面に戻ります。

メール

つづく

メールチャンネルのパスワードを変更するには

1 インデックス画面を表示する。

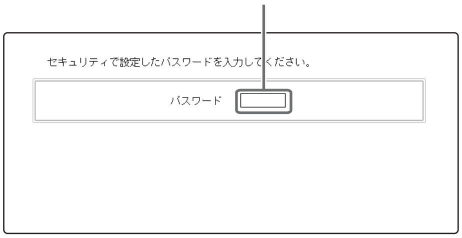
2 **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **［メール］**を選ぶ。
「設定 メール」画面が表示されます。

4 **［セキュリティ］**を選ぶ。
「設定 セキュリティ」画面が表示されます。

5 変更前のパスワードを入力する。

ここに入力します。

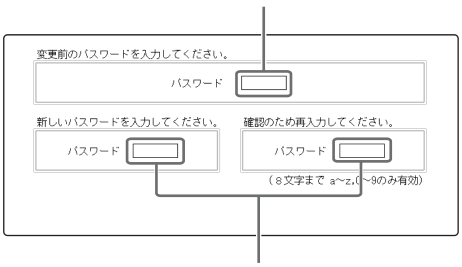


6 ［OK］を選ぶ。
「パスワード設定」画面が表示されます。

7 **［変更］**を選ぶ。
「パスワード変更」画面が表示されます。

8 変更前のパスワードと、新しいパスワードをキーボードで半角英数字8文字以内で入力する。

変更前のパスワードを入力します。



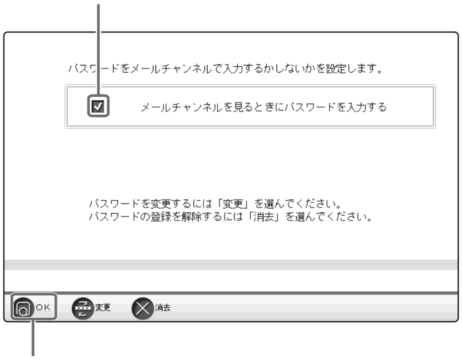
新しいパスワードを入力します。

ご注意
入力したパスワードは忘れないでください。パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要ですのでご注意ください。

9 ［OK］を選ぶ。
「パスワード設定」画面が表示されます。

10 「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」がチェックされていることを確認してから、［OK］を選ぶ。

ここを確認します。



OK

「設定 メール」画面に戻ります。

11 **［終了］**を選ぶ

パスワードを消去するには

「メールチャンネルのパスワードを変更するには」の手順7（☞左記）で**［消去］**を選ぶ。

メールを自動で送受信する

1日最高3回まで自動的に電子メールを送受信できます。

ご注意

- メール自動送受信は、モニターの電源が切れているときのみ行われます。バッテリーが入っていない状態でACアダプターを抜いたり、クレードルやベースステーションから外したためにモニターの電源が切れたときは、メール自動送受信は行われません。
- モニターのバッテリーの残量がなくなったとき、またはモニターが「圏外」の場所にあるときはメール自動送受信は行われません。メール自動送受信するときは、必ずモニターをクレードルまたはベースステーションに戻してください。
- メール自動送受信を行う時刻を、おはようタイマー(☞172ページ)で設定した時刻またはその1分前に設定すると、おはようタイマーが優先され、メール自動送受信は行われません。また、メール自動送受信が行われているときにおはようタイマーで設定した時刻になると、メール自動送受信は中断されます。
- モニターのバッテリー残量がなくなった状態で2～3日放置すると、本機の時計の日付と時刻がリセットされ、メール自動送受信が行われません。
  2～3日放置してリセットされてしまった場合は、本機の時計を再設定してください。(☞25ページ)

1 **モニターの右側の［インデックス］ボタンを押して、インデックス画面を表示する。**

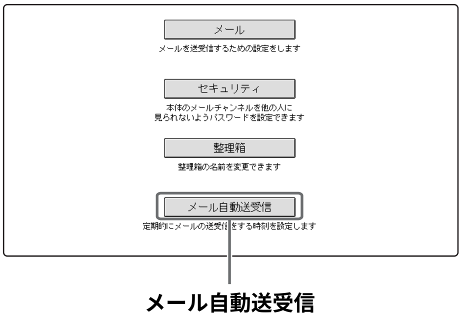
2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **メール を選ぶ。**

「設定 メール」画面が表示されます。

4 **メール自動送受信 を選ぶ。**



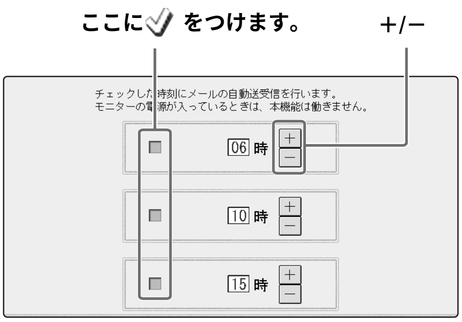
「メール自動送受信」画面が表示されます。

5 **＋ または － を使って時刻を設定してから、時刻の左側の □ を選んで、✓ をつける。**

3つの時刻まで設定できます。

ご注意

✓ をつけないと、メール自動送受信はできません。



6 OK を選ぶ。



「設定 メール」画面に戻ります。モニター左側の✉ランプが緑色に点灯します。

メール自動送受信の設定を有効にするには

モニターの電源を切ります。

ちょっと一言

- 電話回線またはPPPoEで接続しているときにメール自動送受信が設定されていると、モニター上部の回線ランプが緑色に点灯します。
- 新着メールがあるときは、✉ランプが赤く点灯します。

自動送受信設定をやめるには

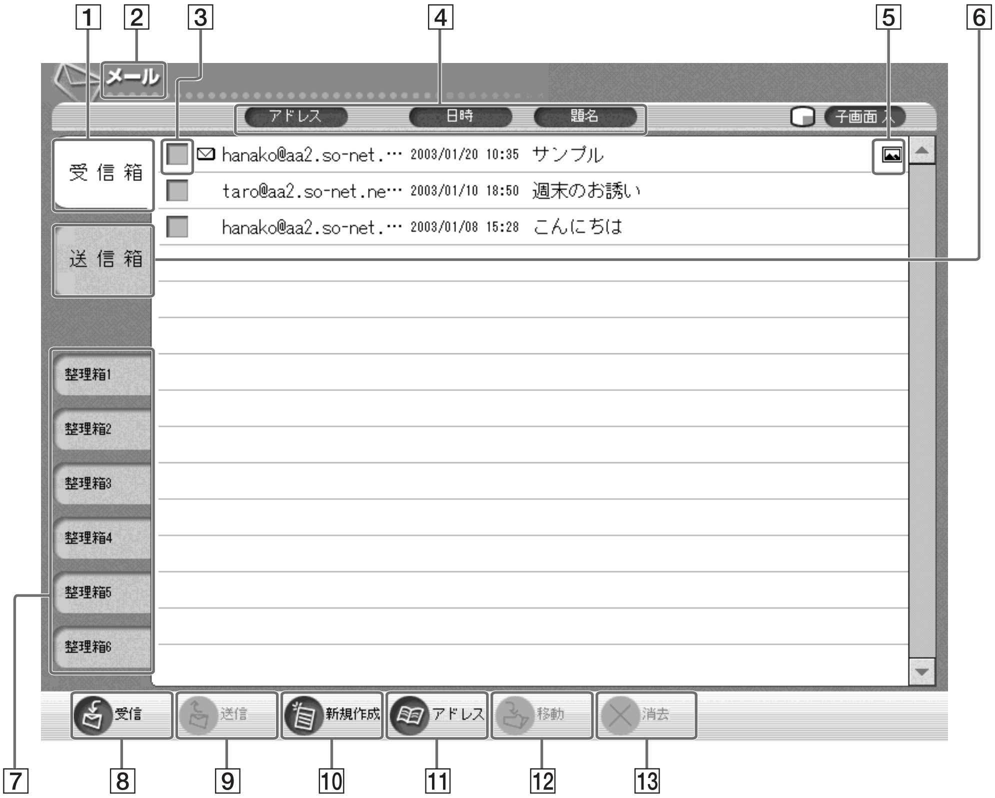
「メールを自動で送受信する」の手順5で、設定をやめたい時刻の✓を消してから［OK］を選ぶ。

ご注意

- 以下のとき、メール自動送受信は働きません。
  - モニターの電源が入っている。
  - バッテリーが入っていない状態でACアダプターを抜いてモニターの電源を切った。
  - バッテリーが入っていない状態でクレードルやベースステーションから外してモニターの電源を切った。
  - バッテリーを外してモニターの電源を切った。
  - モニターのバッテリーの残量がなくなっている。
  - モニターが圏外にある。
  - ベースステーションにテレホンコードやイーサネットケーブルがつながっていない。
  - ベースステーションの電源が切れている。
  - ベースステーションの電源コードが抜かれている。
  - モデムやルーターの電源が切れている。
  - ［ミーメール］用“メモリースティック”が挿入されている。
  - 本体容量（メモリ）がいっぱいになっている。（☞180ページ）
- メール自動送受信中にモニター上部にある**［電源］**ボタンを押すと、メール自動送受信が中断され、電源が切れます。
- 通信エラーやアクセスポイントが混雑していてメール自動送受信ができなかったときは、最大2回、10分おきに再度メール自動送受信を行います。
  メール自動送受信できなかったときは、モニターの電源を入れたときに画面上部に「メール自動送受信失敗」と表示されます。
  音量を調節したり、“メモリースティック”を入れたりすると「メール自動送受信失敗」の表示は消えます。

メールチャンネル画面の各部の名前

送受信箱画面



1 **受信箱タブ**（☞92ページ）
受信メール（送られてきたメール）の一覧を表示します

2 **メールチャンネル表示**

3 □ **（チェックボックス）**
選ぶたびに✓がついたり消えたりします。

4 **ソートボタン**（☞92ページ）
アドレス、日時または題名の各項目ごとにメールを並び変えられます（ソート）。

5 **添付画像ファイル**（☞93ページ）

6 **送信箱タブ**（☞92ページ）
送信済みメール・送信待ちメール・途中保存メールの一覧を表示します。

7 **整理箱タブ**（☞152ページ）
“ メモリースティック ”を挿入したときに表示されます。受信、送信したメールを整理できます。

8 **受信**（☞97ページ）
メールを受信します。

9 **送信**（☞92ページ）
送信待ちのメールを送信します。

10 **新規作成**（☞88ページ）
メールを作成します。

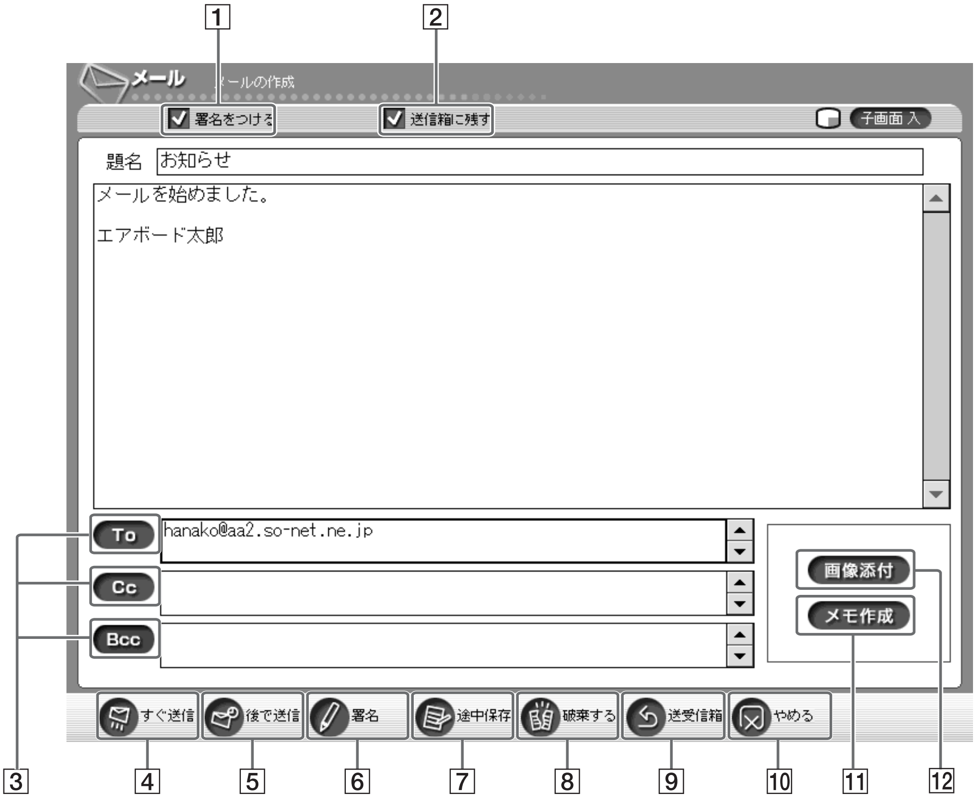
11 **アドレス**（☞103ページ）
アドレス帳を表示します。

12 **移動**（☞152ページ）
✓をつけたメールを整理箱などへ移動します。

13 **消去**（☞92、93、98ページ）
□に✓をつけたメールとそのメールに添付されているファイルを消去します。

つづく

メール作成画面



1 **署名をつける**（☞90ページ）
送信するメールに、登録した署名を自動的につけます。

2 **送信箱に残す**（☞92ページ）
送信済みのメールを送信箱に残します。

3 To、Cc、Bcc（☞91ページ）
宛名を選ぶためにアドレス帳を表示します。

4 **すぐ送信**（☞92ページ）
作成したメールをすぐ送信します。

5 **後で送信**（☞92ページ）
作成したメールを一度送信箱に保存します。

6 **署名**（☞90ページ）
署名を編集します。

7 **途中保存**（☞93ページ）
作成途中のメールを送信箱に保存します。

8 **破棄する**（☞93ページ）
表示しているメールを破棄します。

9 **送受信箱**（☞109ページ）
送信箱、受信箱、整理箱を表示します。

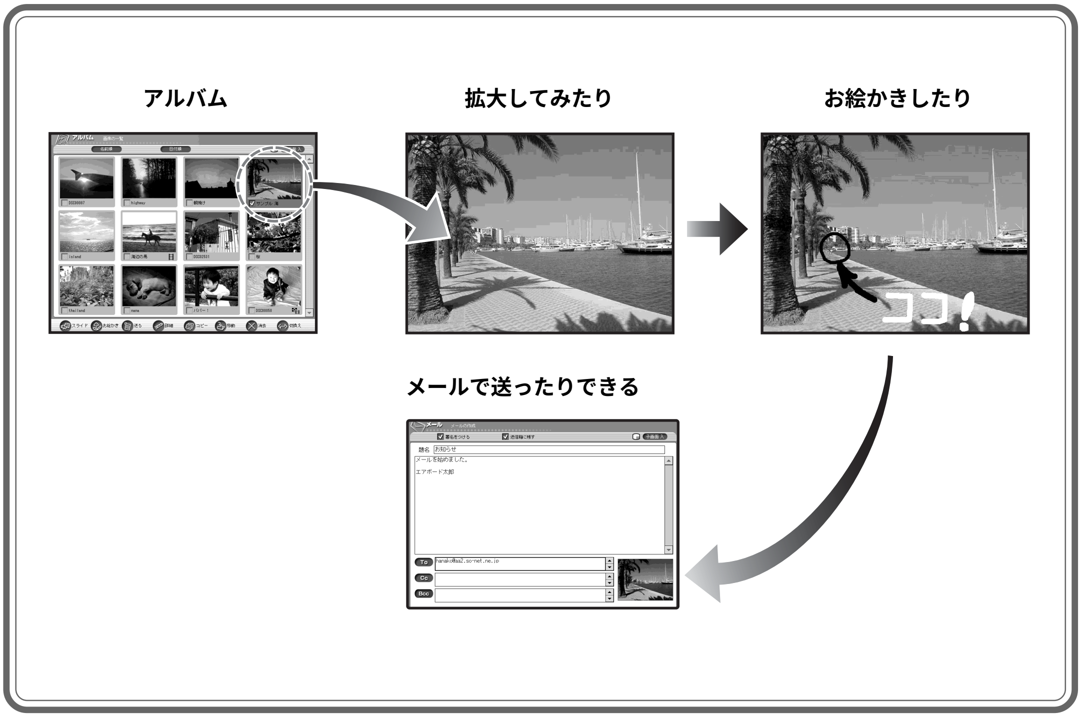
10 **やめる**（☞93ページ）
メールの作成を中止します。

11 **メモ作成**（☞96ページ）
手書きの絵や文字を作成してメールに添付します。

12 **画像添付**（☞93ページ）
メールに画像を添付します。

アルバム

エアボードのアルバムでは、メールで送られてきた画像やデジタルカメラで撮った写真、インターネットから取り込んだホームページ上の画像、テレビの画像などをまとめて保存できます。また、アルバムに保存されている画像をメールに添付して送ったり、内蔵の「お絵かき」機能で、アルバムに保存されている画像に絵や文字などを描き加えたり、白紙画面に絵や文字を描いたりできます。



アルバムの画像を見る

画像の一覧を表示する

アルバムチャンネルで本体や“メモリースティック”、メモリーカードに保存した画像の一覧を表示できます。

1 **インデックス画面を表示する。**

2 **アルバムチャンネルを選ぶ。**



「画像の一覧」画面が表示されます。



画像の並び順を変えるには（ソート）

[名前順]：アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字順に左上から並びます。

[日付順]：更新日時の新しい順に左上から並びます。

“メモリースティック”やメモリーカードに保存した画像を表示するには

“メモリースティック”やメモリーカードを入れ、画面下部の**[切換え]**を選びます。“メモリースティック”やメモリーカードに保存した画像を別の保存場所にコピーしたり、画像の保存場所を移動することもできます。詳しくは、「“メモリースティック”やメモリーカードに保存した画像を表示する」（☞158ページ）をご覧ください。

画像を消すには

1 「画像の一覧」画面の中から消去したい画像の□を選び、✓をつける。

2 **［消去］**を選ぶ。

拡大画像を見る

1 **「画像の一覧」画面を表示する。**

2 **拡大したい画像を直接選ぶ。**

画像か名前を選びます。
（□は選ばない。）



画像が拡大表示されます。

ご注意

画像によっては拡大表示に数十秒ほどかかることがありますが、この間、他の操作はできません。

ちょっと一言

子画面を表示中に拡大表示を行うと、子画面の音声は再生されたままになります。

3 拡大表示をやめるには、画像の左右下隅以外の部分に触れる。



ここ以外に触れます。

「画像の一覧」画面に戻ります。

拡大画像を切り換えるには



左下隅を選ぶと1つ前の画像に切り換わります。最初の画像まで表示されると、最後の画像に戻ります。

右下隅を選ぶと次の画像に切り換わります。最後の画像まで表示されると、最初の画像に戻ります。

ちょっと一言

画像の□を選んで✓をつけてから［**詳細**］を選び、［**拡大表示**］を選んでも画像を拡大表示できます。この場合、拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れると「画像の詳細」画面に戻ります。

画像を回転するには

1 「画像の一覧」画面の中から回転したい画像の□を選び、✓をつけてから[**詳細**]を選ぶ。
「画像の詳細」画面が表示されます。

2 [**回転**]を選ぶ。
[**回転**]を選ぶたびに、画像が右回りに90°ずつ回転します。

3 [OK]を選ぶ。
「画像の一覧」画面に戻ります。

ご注意

- 回転させた画像は、本機では回転して表示されますが、他の機器では回転して表示されません。
- MPEG1方式、アニメGIF形式の画像は回転できません。

小さな画像を画面いっぱいに拡大するには

お絵かきした画像やサイズの小さい画像（640×480ドット以上、800×600ドット未満）の場合、拡大表示したときに周りに黒い枠が表示されます。画面全体に拡大表示するように設定できます。

ご注意

画面全体に拡大した場合、サイズの小さい画像ほど画質が悪くなります。

1 インデックス画面を表示する。

2 [**設定**]を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 [**アルバム**]を選ぶ。
「アルバムの設定」画面が表示されます。

4 画面下部の「**黒枠表示される画像を画面いっぱいに表示**(640×480**以下の画像は除く**)」の□に✓をつける。

つづく

画像の詳細を表示する

画像の名前やファイル名、サイズ、撮影日時、更新日時などを表示できます。

1 **「画像の一覧」画面を表示する。**

2 **詳細を表示したい画像の□（チェックボックス）を選び、✓（チェックマーク）をつける。**

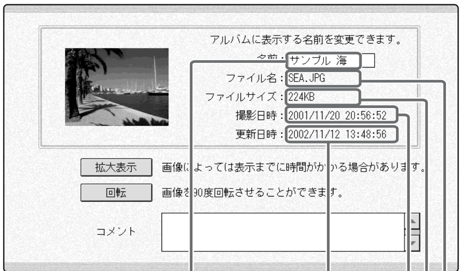


ご注意

複数の画像に✓がついていると詳細が表示できません。他の画像の✓ははずしてください。

3 **画面下部の[詳細]を選ぶ。**

「画像の詳細」画面が表示されます。



ちょっと一言

撮影日時はデジタルカメラで撮影した画像のみ表示されます。

4 **[OK]を選ぶ。**

「画像の一覧」画面に戻ります。

画像の名前を変更するには

それぞれの画像に1つずつ名前を付けられます。この名前を変更しても「ファイル名」は変更されません。また、メールに添付したときは、送信先には「ファイル名」が表示されます。

1 「画像の一覧」画面の中から名前を変更したい画像の□を選び、✓をつけてから **[詳細]** を選ぶ。
「画像の詳細」画面が表示されます。

2 「名前」欄を選んで、キーボードで名前を入力する。

ちょっと一言
入力について詳しくは、「文字入力（☞123ページ）をご覧ください。

3 [OK]を選ぶ。

画像にコメントをつけるには

それぞれの画像の情報を「コメント」欄に入力できます。

1 「画像の一覧」画面の中からコメントをつけたい画像の□を選び、✓をつけてから **[詳細]** を選ぶ。

「画像の詳細」画面が表示されます。

2 「コメント」欄を選んで、キーボードでコメントを入力する。

ちょっと一言
- 入力したコメントは、本機でのみ見られます。
- 入力について詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

3 [OK]を選ぶ。

画面に絵を描く［お絵かき］

アルバムに保存されている画像や白い画面に絵や文字を描いて、アルバムに保存できます。

1 **「画像の一覧」画面を表示する。**

2 **お絵かきしたい画像を1つだけ選び、□に✓をつける。**

白い画面にお絵かきしたいときはすべての画像の✓をはずしてください。

3 **［お絵かき］を選ぶ。**

「アルバム お絵かき」画面に選択した画像が拡大表示されます。

ご注意

複数の画像に✓がついているときは、［お絵かき］が選べません。

ちょっと一言

小さいサイズの画像を選ぶと、画像のまわりに余白ができます。余白の部分にも絵や文字を描き込めます。

4 **画面右側のお絵かきパレットを使って、絵や文字を描く。**



お絵かきパレット

お絵かきパレットの使いかたについて詳しくは、「お絵かきパレットの使いかた」(☞116ページ) をご覧ください。

5 **お絵かきが完成したら［保存］を選ぶ。**



保存

「画像の一覧」画面に戻ります。

お絵かきした画像は、元の画像とは別の画像として、JPEG形式でアルバムの先頭に保存されます。

ちょっと一言

お絵かきの途中で保存したいときは、「お絵かき」画面の［**仮決め**］で一時保存しておき、最後に［**保存**］で保存することをおすすめします。

お絵かき中の画像を一時的に保存するには

「お絵かき」画面下部の［**仮決め**］を選びます。あとで途中保存した状態に戻すには、画面下部の［**仮まで戻**］を選びます。

お絵かきを最初からやり直すには

「お絵かき」画面下部の[**最初から**]を選びます。お絵かきする前の画像の状態に戻ります。

あなたが撮影、制作した画像以外は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

つづく

画面に絵を描く［お絵かき］（つづき）

お絵かきパレットの使いかた

[ペン]パネル

絵や文字をペンで描くには

1 ペンの種類を選ぶ。
「ペン」、「竹ペン」、「パステル」、「万年筆」が選べます。

2 **[ペン幅]**で、使いたいペンの太さを選ぶ。

3 カラーパレットを選んで、**[選択色]**ボックスに使いたい色を表示する。

4 画面上に絵や文字を描く。

画像全体に効果をつけるには

お絵かきした画像全体に効果をつけられます。

[明るく]：タッチするたびに画像全体の色が明るくなります。

[暗く]：タッチするたびに画像全体の色が暗くなります。

[ネガポジ]：タッチするたびに画像全体の色が反転します。

[セピア]：タッチすると画像全体がセピア色（茶色っぽい色）になります。

[モザイク]：タッチするたびに画像全体がモザイク状になります。1～10回目まではタッチするたびにモザイクが大きくなります。11回目にタッチするとモザイクなしに戻ります。

ひとつ前の画像の状態に戻すには

[一つ前に戻す]を選ぶ。
お絵かきした画像が最後の操作の前の状態に戻ります。



画像をぼかすには

[ぼかし]を選び、タッチペンでぼかしたい部分をこする。
こすった部分にぼかし効果が入ります。

描いた線や文字を消すには

1 **[戻し]**を選ぶ。

2 **[ペン幅]**で消す幅の太さを選ぶ。

3 タッチペンで消したい部分をこする。
消しゴムのように描いた線や文字が消えます。

画像の中の色と同じ色を使うには（色拾い）

1 **[色拾い]**を選ぶ。

2 画像の中の使いたい色にタッチする。
[選択色]ボックスにタッチした色が表示され、画像の中の色に一番近い色で描けます。

描いた図形全体に色を塗るには

円や多角形など、閉じた図形の全体に色をつけることができます。

1 ペンで色を流し込みたい図形を描く。

2 **[流込み]**を選ぶ。

3 図形の内側を選ぶ。
図形全体に色が塗られます。

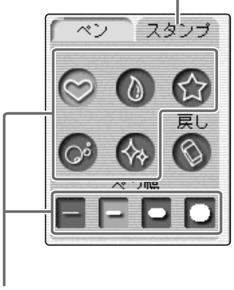
ご注意

次のような場合は、図形でなく画面全体に色が塗られますのでご注意ください。
- 図形が閉じていないとき
- 閉じた図形を描いたあとで流し込む色を変えたとき
- スタンプやパステルで図形を描いたとき

[スタンプ]パネル

5種類のマークをスタンプのように1つずつ押したり、連続模様として描いたりできます。
[**スタンプ**]タブを選ぶと「スタンプ」パネルが表示されます。

[**スタンプ**]タブ



スタンプを使うには

1 使いたいスタンプの種類を選ぶ。

2 [**ペン幅**]でスタンプの大きさを選ぶ。

3 カラーパレットを選んで、[**選択色**]ボックスに使いたい色を表示する。

4 タッチペンで画面にタッチする、または画面上でタッチペンを動かす。
選んだスタンプが描けます。

メールで画像を送る

アルバムチャンネルから画像を選び、メールに添付して送れます。

1 **「画像の一覧」画面を表示する。**

2 **メールに添付したい画像の□を選び、✓をつける。**

2枚以上の画像を添付するときは、それぞれに✓をつけます。



ここに✓をつけます。

ご注意

- 1つのメールに添付できる画像は12枚までです。ただし、添付する画像の合計サイズが4MBを超えると送信できません。画像のファイルサイズは「画像の詳細」画面（☞114ページ）で確認できます。
- 画像サイズが4MB以上の画像には、画像名の右側に（メール送信不可）マークがつきます。

3 **送る を選ぶ。**

「メールの作成」画面が表示されます。
複数の画像を添付するときは、最初に✓をつけた画像が「メールの作成」画面に表示されます。



送る

つづく

アルバム

メールで画像を送る（つづき）

ちょっと一言

2番目以降の画像を確認するときは、「メールの作成」画面の画像を選んで「添付した画像の一覧」画面を表示します。

4 **メールを書いて送る。**
(☞88ページ)

拡大画像を順番に見る［スライドショー］

アルバム内の画像を次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。

1 **「画像の一覧」画面を表示し、画像の✓をすべて消す。**

2 **画面下部の スライド を選ぶ。**



スライド

アルバム用の画像すべての拡大画像が次々と自動的に切り換わって表示されます。（スライドショー）

3 **スライドショーをやめるには、拡大画像に触れる。**

「画像の一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

アルバム内のアニメGIF形式の画像やMPEG1方式の動画は、1コマ目だけをスライドショーで表示します。

ご注意

拡大表示できない画像がスライドショーに含まれているときは、その画像をとばして次の画像を表示します。アルバムの中のすべての画像が拡大表示できない場合は、スライドショーが開始されません。

好きな画像を好きな順番で表示するには

1 「画像の一覧」画面を表示し、スライドショーで表示したい画像の□に表示したい順番に✓をつける。

2 [**スライド**]を選ぶ。
✓をつけた画像だけが選んだ順番で次々と表示されます。

ご注意

- 1枚だけに✓をつけて[**スライド**]を選ぶと、同じ画像が表示され続けます。
- 拡大表示できない画像は、その画像をとばして、次の画像を表示します。

画像が切り換わる時間を変えるには

設定画面で変更します。

1 インデックス画面を表示する。

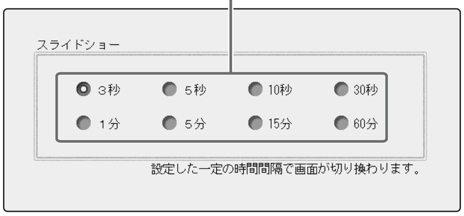
2 [**設定**]を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 [**アルバム**]を選ぶ。
「アルバムの設定」画面が表示されます。

4 [**スライドショー**]を選ぶ。
「スライドショー」画面が表示されます。

5 画像が切り換わる時間を選ぶ。

いずれかを選びます



ご注意

サイズの大きな画像が含まれている場合、次の画像へ切り換わるのに、選んだ時間より長くかかることがあります。

6 [OK]を選ぶ。

動画を見る [動画再生]

アルバムに保存した動画を再生します。（音声は出ません。）
本機では、MPEG1方式の動画を再生できます。

ご注意

- 本機では、「.mpg」以外の拡張子がついたMPEG1方式の動画は再生できません。
- 本機では横400ドット、縦250ドットを超える大きさの動画は再生できません。サイバーショットやハンディカムで撮影した動画はこの範囲内のため再生できますが、パソコンで作成した動画はこの範囲を超えると再生できません。
- アニメGIFの表示方法は、静止画と同じです。

1 **「画像の一覧」画面を表示する。**

2 **再生したい動画を直接選ぶ。**

動画は、画像名の右側に 🎞 が表示されています。

「動画再生」画面が表示され、再生が始まります。





：再生を一時停止します。もう一度選ぶと再生が再開します。



：再生を止めます。



：再生を再開します。

アルバム

つづく

動画を見る［動画再生］（つづき）

[**一時停止**]または[**停止**]を選ぶまで繰り返し再生されます。

[**戻る**]を選ぶと、「画像の一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

「画像の一覧」画面で、動画に✓をつけてから[**詳細**]を選び、「画像の詳細」画面で[**動画再生**]を選んでも再生できます。この場合、動画再生画面で[**戻る**]を選ぶと、「画像の詳細」画面に戻ります。

ちょっと一言

- 再生バー表示は、現在再生中の位置の目安となります。
- 動画のサイズが大きいときは、本来の再生速度よりゆっくりと再生されることがあります。

連続写真を見る［コマ送り再生］

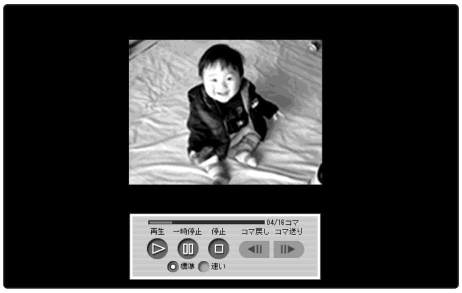
ソニー製デジタルスチルカメラDSC-P7/P9/F77/FX77などに搭載されているマルチ連写撮影モードで写した画像をコマ送り再生できます。

1 「画像の一覧」画面を表示する。

2 再生したい画像を直接選ぶ。

マルチ連写画像は、画像名の右側に が表示されています。

「コマ送り再生」画面が表示され、再生が始まります。



[**再生**]：再生中以外に選ぶと再生が始まります。

[**一時停止**]：再生を一時停止します。もう一度選ぶと再生が再開します。

[**停止**]：再生を止めて最初のコマに戻ります。

[**コマ戻し**]：一時停止中や停止中に選ぶと前のコマに戻ります。タッチし続けると次々と前のコマへ切り換わります。

[**コマ送り**]：一時停止中や停止中に選ぶと次のコマに進みます。タッチし続けると次々と先のコマへ切り換わります。

[**標準**]/[**速い**]:再生速度を切り換えます。

3 「コマ送り」再生を終了するときは[戻る]を選ぶ。

「画像の一覧」画面に戻ります。

16コマすべてを表示するには

「コマ送り再生」画面下部の[**コマ一覧**]を選ぶ。
いずれか1コマの画像に触れると「コマ送り再生」画面に戻ります。

1コマを保存するには

「コマ一覧」画面で保存したいコマを選び、「コマ送り再生」画面下部の[**コマ保存**]を選ぶ。
選んだコマがアルバムに保存されます。

ちょっと一言
「コマ送り再生」画面で保存したいコマで一時停止し、[**コマ保存**]を選ぶことができます。

アルバムチャンネル画面の各部の名前



1 **アルバムチャンネル表示**

2 **ソートボタン（☞112ページ）**
名前順または更新日付順に画像を並べ変えられます。

3 **画像**
直接選ぶと画像が拡大表示されます。

4 **□（チェックボックス）**
選ぶたびに✓がついたり消えたりします。

5 **スライド（☞118ページ）**
アルバム内の全画像、または✓をつけた画像を自動的に次々と表示します（スライドショー）。

6 **お絵かき（☞115ページ）**
絵や文字を描きます。

7 **送る（☞117ページ）**
✓をつけた画像をメールに添付します。

8 **詳細（☞114ページ）**
✓をつけた画像の名前の変更や拡大表示（動画表示）をしたり回転します。また、画像のファイルサイズや、撮影日時、更新日時などを表示します。

9 **コピー（☞159ページ）**
✓をつけた画像を本体、または“メモリースティック”、メモリーカードへコピーします。

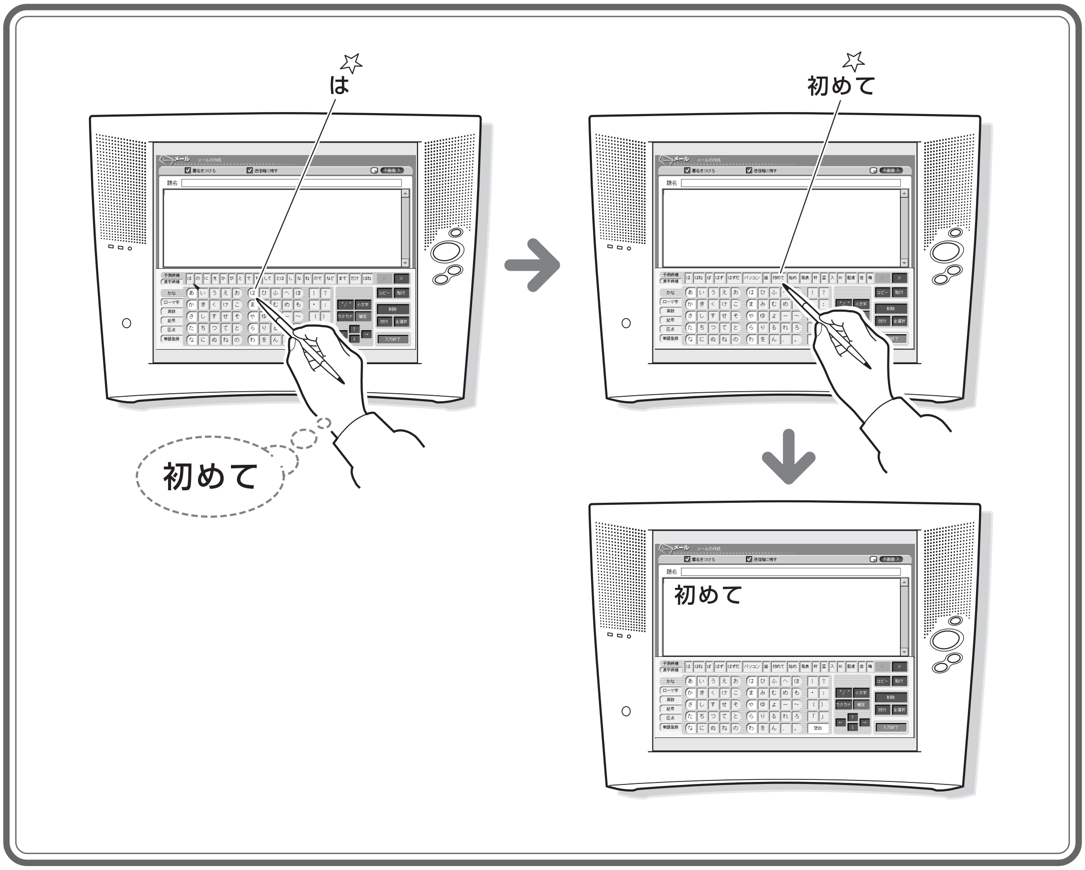
10 **移動（☞160ページ）**
✓をつけた画像を本体、または“ メモリースティック ”、メモリーカードへ移動します。

11 **消去（☞112ページ）**
✓をつけた画像を消去します。

12 **切換え（☞112ページ）**
本体と“メモリースティック”、メモリーカードの画面を切り換えます。

文字入力

文字入力には、エアボードのモニター画面に表示されるキーボードを使います。入力欄を選ぶと、キーボードが自動的にモニター画面に表示されます。
エアボードのキーボードには予測入力（POBox）機能があります。予測入力機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、一覧表示から選んだ単語から文脈を予測していく機能です。さらに、よく使う単語も学習しますので、キーボードを打つ回数が減り便利です。
また、市販のキーボードをつないで使うこともできます。



予測入力（POBox）の使いかた

予測入力（POBox*）の使いかたは2通りあり、組み合わせて使うと便利です。

❶ 単語の最初の1文字を入力すると、その文字で始まる単語が予測候補一覧に表示されます。

❷ 予測候補一覧から一度単語を選ぶと、その単語から予測される次の単語が予測候補一覧に表示されます。

例として「富士山に登った」と入力してみます。

1 ［ふ］を選ぶ。

［富士山］［分］［部］

「ふ」「ぶ」「ぷ」から始まる単語が予測候補一覧に表示されます。

「富士山」がすぐに見つからない場合でも、順に「し」、「さ」と入力していくと、「富士山」が予測候補一覧に出てきます。

2 予測候補一覧の中から［富士山］を選ぶ。

［は］［の］［に］［を］［が］

「富士山」に続くであろうと予測される単語が予測候補一覧に表示されます。

3 予測候補一覧の中から［に］を選ぶ。

［関して］［対する］［ついて］

「に」に続くであろうと予測される単語が予測候補一覧に表示されます。

4 ［の］を入力し、［登った］を選ぶ。

［登った］

「登った」がすぐに見つからない場合でも、順に「の」、「ほ」、「つ」、「た」と入力すると予測候補一覧に表示される確率が高くなります。

ご注意

予測入力機能はかな入力（☞125ページ）とローマ字入力（☞128ページ）のときのみ使えます。

予測入力機能を使わずに文字を入力したいときは、本機のキーボードの設定を連文節変換に変更してください。（☞138ページ）

＊ POBoxはPredictive Operation Based On eXampleの略です。

文字を入力してみよう

予測入力機能を使って文章を入力してみましょう。

かな入力で文字を入力しよう

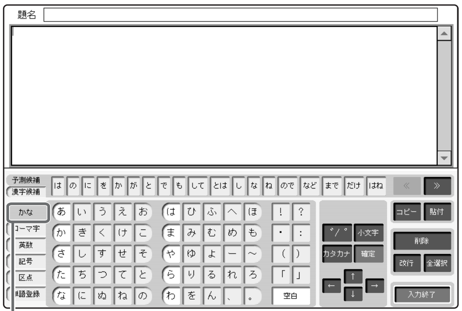
例として、「メールの作成」画面で「プレゼントをありがとう」を入力してみます。

1 **メールチャンネルを選び、「メールの作成」画面を表示する。**
（☞88ページ）

2 **文字入力欄を選ぶ。**

キーボードが表示されます。

3 **かな を選ぶ。**



かな

かなキーボードが表示されます。

4 **キーボード上部の予測候補一覧に「プレゼント」が表示されるまで、順に ふ 、 れ 、 せ 、 ん 、 と を選ぶ。**

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

予測候補の絞り込み例

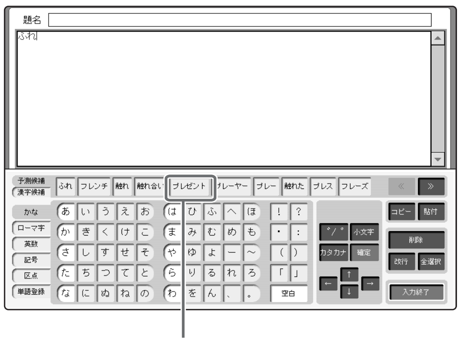
- 「ふ」を入力したときの予測候補例：
  「ふ」「富士山」「分」「振込」
- 「ふれ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれ」「プレーヤー」「フレンチ」
- 「ふれせ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれせ」「プレゼント」

ちょっと一言

［ふ］を選ぶと、予測候補には「ふ」のほか、「ぷ」、「ぶ」、「フ」、「プ」、「ブ」が表示されます。したがって、「ふ」を「プ」に変えなくても、「ふれせんと」と選んでいくと「プレゼント」という予測候補が表示されるはずです。

もし予測候補に表示されなかった場合は、一度、濁点や小文字を正しく最後まで入力した後、予測候補から選んでください。一度選んだ単語は、次回から濁点、小文字を気にせずに入力しても予測候補に表示されます。

5 **プレゼント を予測候補一覧から選ぶ。**

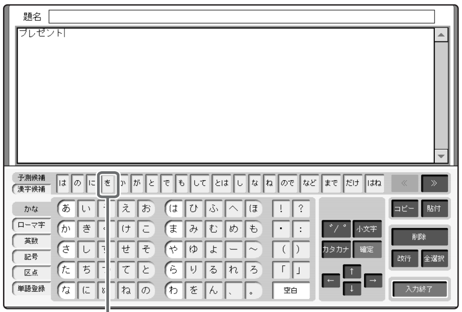


プレゼント

黒字で「プレゼント」が入力されます。

つづく

6 **予測候補一覧の中に、目的の を があれば選ぶ。**

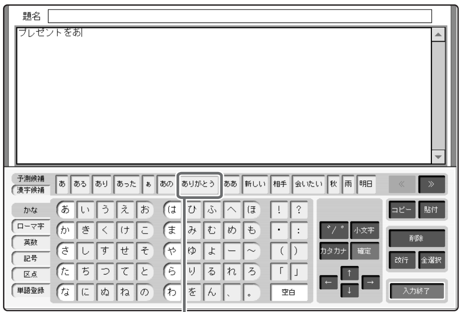


なければ、キーボードの **[を]** と **[確定]** を選びます。
黒字で「を」が入力されます。

ちょっと一言

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

7 **予測候補一覧の中に、目的の ありがとう があれば選ぶ。**



なければ、順にキーボードの **[あ]**、**[り]**、**[か]**、**[と]**、**[う]** を選び、予測候補一覧に「ありがとう」が表示されたら選びます。
黒字で「ありがとう」が入力されます。

顔文字を入力するには

メールなどでよく使われる顔文字も予測候補一覧から選べます。

1 顔文字の「(^o^)／」を入力するために か、お、え、み を選ぶ。

「かおえみ」とひらがなで入力すると、予測候補一覧に顔文字が表示されます。顔文字は「かおえみ」の他に以下のようなものがあります。

顔文字辞書

- 「かおえみ」を入力したときの予測候補：「(^o^)／ 」、「(^_^)」、「(^。^)」…
- 「かおこまり」を入力したときの予測候補：「(>__<)」、「(・・:)」、「(^_^;)」…
- 「かおむひょうじょう」を入力したときの予測候補：「(-.-)」、「(°_°)」、「(・_・)」…
- 「かおおどろき」を入力したときの予測候補：「(・o・)」、「(° 0 °)」、「(@__@)」
- 「かおあいさつ」を入力したときの予測候補：「(＾.＾)／~~~」、「m（_ _）m」、「<（_ _）>」…

ちょっと一言

顔文字は、ローマ字キーボードや英数キーボード（大文字/小文字）を使って、[(]、[^]、[>] などを選んでも入力できます。

2 (^o^)／ を選ぶ。

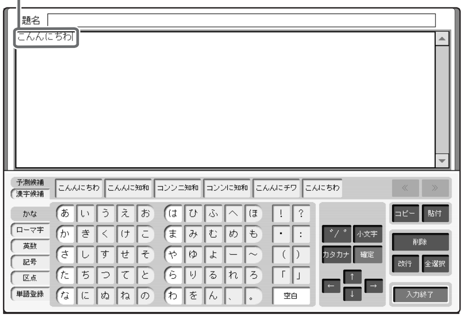


黒字で「(^o^)／」が入力されます。

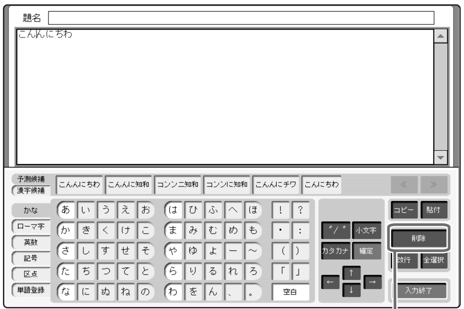
文字を削除したいときは

1 **←、→、↑、↓を使うか、直接画面に触れて、削除したい文字の右側に「I」(カーソル)を置く。**

削除したい文字の側右を選びます。



2 **削除を選ぶ。**



削除

文字が削除されます。

ちょっと一言

続けて文字を消したいときは［**削除**］を押し続けます。

一度に複数の文字を削除したいときは

削除したい文字をすべてタッチペンでなぞって反転してから［**削除**］を選ぶ。
黒字で表示されているときのみ一度に複数の文字を削除できます。

一度にすべての文字を削除したいときは

[**全選択**]を選んで文字入力欄のすべての文字を反転してから［**削除**］を選ぶ。

文字を削除すると同時に文字を入力するには

削除したい文字をすべて反転してから、次に入力したい文字を入力する。

例：「今週末**キャンプ**に行きます」を
「今週末**山登り**に行きます」に変更する

→「キャンプ」を反転してから「山登り」を入力する。
「キャンプ」が削除されると同時に「山登り」が入力されます。

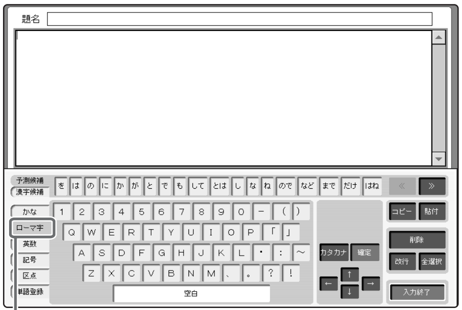
つづく

ローマ字入力で文字を入力してみよう

例として「ラッキーな一日だったね」を入力してみます。
小文字や濁点・半濁点の入力のしかたなどは236ページの「ローマ字対照表」をご覧ください。

236ページの「ローマ字対照表」をご覧ください。

1 **ローマ字 を選ぶ。**



ローマ字

ローマ字キーボードが表示されます。

2 **キーボード上部の予測候補一覧に「ラッキー」が表示されるまで、順に R 、 A 、 K 、 K 、 I 、 ー を選ぶ。**

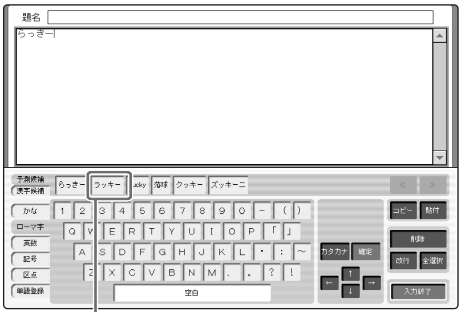
選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

ちょっと一言

- ら行は［R］＋母音（［A］［I］［U］［E］［O］）を選びます。
- 小文字の「っ」は次の子音を2つ重ねて選ぶと入力できます。

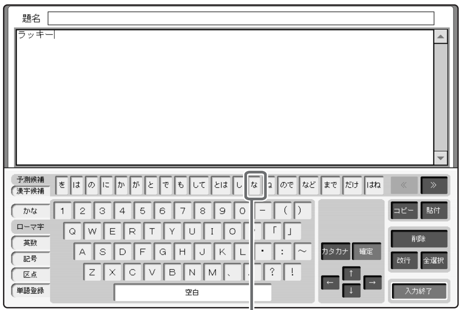
3 **ラッキー を予測候補一覧から選ぶ。**



ラッキー

黒字で「ラッキー」が入力されます。

4 **予測候補一覧の中に目的の な があれば選ぶ。**



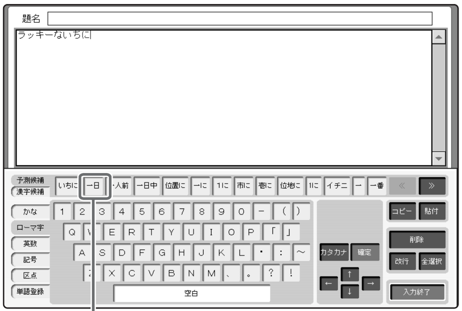
な

なければ、キーボードの［N］、［A］、**［確定］**を選びます。
黒字で「な」が入力されます。

ちょっと一言

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

5 予測候補一覧の中に目的の 一日 があれば選ぶ。

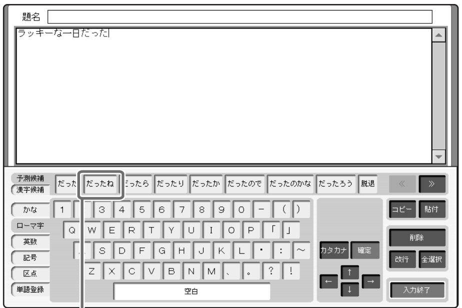


一日

なければ、順にキーボードの［I］、［T］、［I］、［N］、［I］、［T］、［I］を選び、予測候補一覧に「一日」が表示されたら選びます。

黒字で「一日」が入力されます。

6 予測候補一覧の中に目的の だったね があれば選ぶ。



だったね

なければ、順にキーボードの［D］、［A］、［T］、［T］、［A］、［N］、［E］を選び、予測候補一覧に「だったね」が表示されたら選びます。

黒字で「だったね」が入力されます。

ちょっと一言

キーボードの［D］、［A］、［T］、［T］、［A］、［N］、［E］を選んでいく途中で、予測候補一覧に「だった」が表示されたら選び、［N］、［E］と選んで少ない手順で入力することもできます。

つづく

入力した文字を変換してみよう

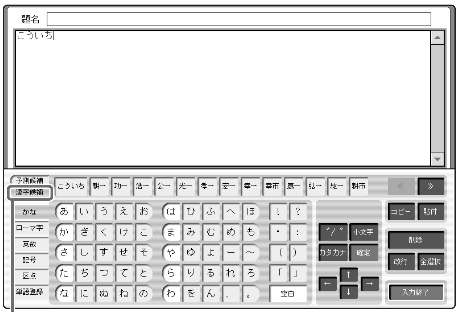
今までは予測候補の中から目的の単語を表示できましたが、中には予測候補に表示されない単語があります。このようなときには、入力した文字を直接単語や漢字に変換します。

漢字に変換しよう

例として「こういち」を漢字に変換してみます。

1 **「こういち」と入力します。**

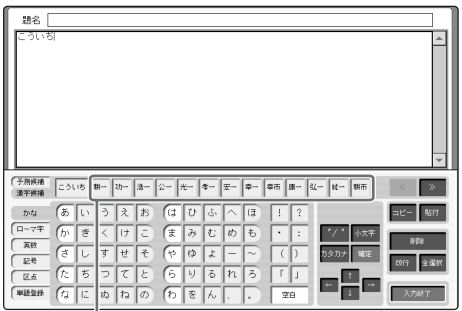
2 **漢字候補 を選ぶ。**



漢字候補

「こういち」の漢字候補一覧が表示されます。

3 **漢字候補一覧から選ぶ。**



漢字候補一覧

選んだ漢字が黒字で入力されます。

カタカナに変換してみよう

例として「さんきゅー」をカタカナに変換してみます。

1 **「さんきゅー」と入力します。**

2 **カタカナ を選ぶ。**



カタカナ

青字で「サンキュー」が入力されます。

3 **確定 を選ぶ。**



確定

黒字で「サンキュー」が確定されます。

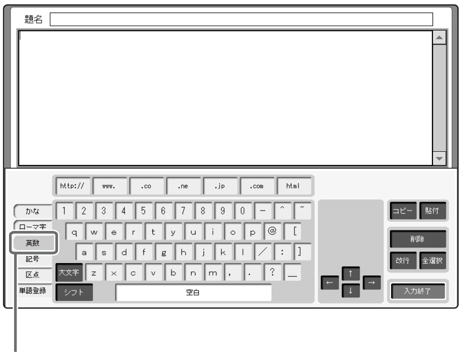
ひらがなに戻したいときは

手順3でカタカナへの変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、**[カタカナ]** を選ぶ。もう一度 **[カタカナ]** を選ぶとひらがなになります。一度カタカナに確定された文字（画面上で黒く表示される文字）は **[カタカナ]** を選んでもひらがなに戻せません。

英数字を入力してみよう

今までは「ひらがな」「カタカナ」「漢字」を入力しましたが、英数字はこれらの方法では入力できませんでした。ここでは例として、英数字で「Number 1」と入力してみましょう。英数字はすべて半角になります。

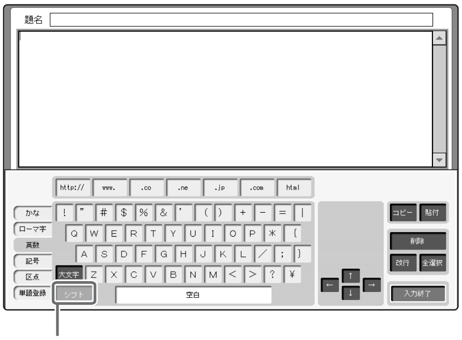
1 英数 **を選ぶ。**



英数

「英数キーボード」が表示されます。

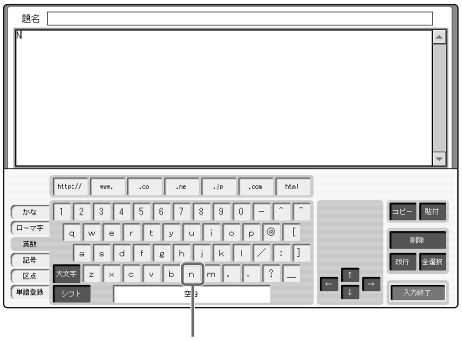
2 シフト **を選ぶ。**



シフト

「大文字キーボード」が表示されます。

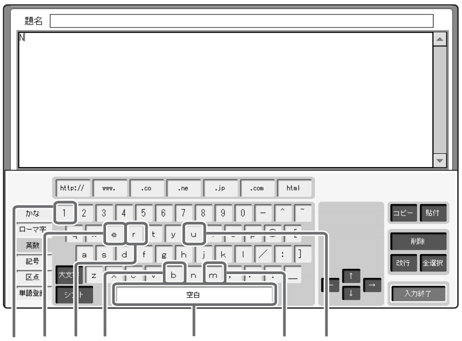
3 N **を選ぶ。**



N

「N」が入力され、「小文字キーボード」に戻ります。

4 **順に** u 、 m 、 b 、 e 、 r 、 空白 、 1 **を選ぶ。**



1　e　r　b　**空白**　m　u

「umber 1」が入力されます。

大文字の入力について

大文字の入力のしかたには2通りあります。

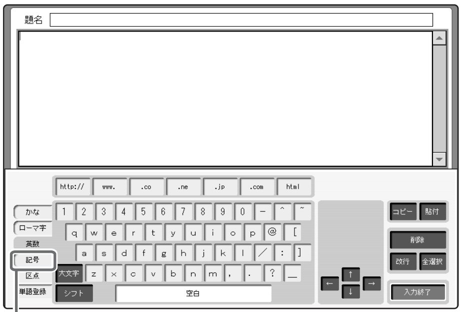
- **［シフト］を選んだ場合：**一度「大文字キーボード」が表示され、1文字選んだ後は「小文字キーボード」に戻ります。単語の冒頭の大文字を入力するときに便利です。
- **［大文字］を選んだ場合：**「大文字キーボード」が表示されます。もう一度**［大文字］**を選ぶと「小文字キーボード」になります。大文字を2つ以上入力するときに使います。

つづく

記号を入力しよう

記号はすべて全角になります。

1 **キーボードの 記号 を選ぶ。**



記号

「記号キーボード」が表示されます。

2 **記号キーボードを選ぶ。**

「記号キーボード」は5種類あります。

図形・矢印 （○、★、〒、△など）

線カッコ点 （［、］、；、”など）

数字・文字 （３、々など）

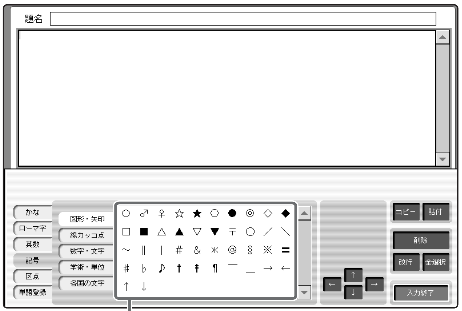
学術・単位 （%、℃、±、√など）

各国の文字 （Β、α、Ω、Жなど）



記号キーボード

3 **記号を入力する。**



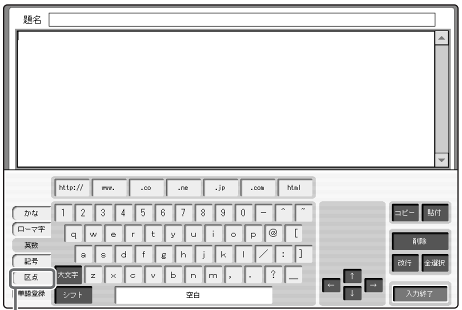
ここから選びます。

区点コードを使って入力しよう

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は区点コードを使って入力できます。「区点コード表」を使って文字を入力してみましょう。
区点コードは、付属の「区点コード表」をご覧ください。

例として「栞」（しおり）を入力してみます。

1 キーボードの 区点 を選ぶ。



「区点キーボード」が表示されます。

2 数字ボタンを使って区点コード番号を入力する。

「区点コード」の空欄に4桁の数字を入力します（例：5957）。



3 「文字」に漢字が表示されたら、選ぶ。



漢字が入力されます。

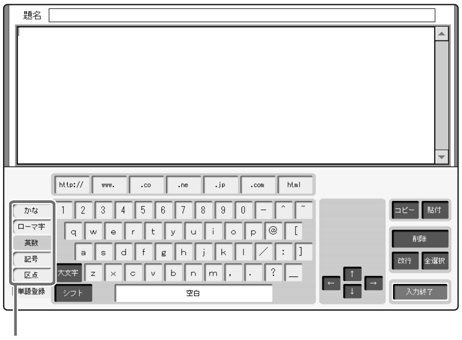
区点コードを間違って入力したときは

[クリア] を選ぶ。
また、4桁入力した後に、数字ボタンを選んでも最初から入力できます。

予測入力を使わずに文字を入力してみよう

今までは予測入力を使って文字を入力してきましたが、この機能を使わずに文字を入力することもできます。
予測入力機能を使わないときは、連文節変換機能を使います。
キーボードを連文節変換機能に設定しておいてください。（「市販のキーボードを使う」（☞138ページ）

1 **キーボードを選ぶ。**



キーボードを選びます。

選んだキーボードが表示されます。

2 **入力する。**

入力のしかたは下記をご覧ください。

ひらがなのままにするには

［確定］を選ぶ。

漢字に変換するには

正しい漢字が表示されるまで**［変換］**をくり返し選んでから**［確定］**を選ぶ。
1つ前の変換候補を表示したいときは［前候補］を選びます。

カタカナに変換するには

［カタカナ］を選んでから**［確定］**を選ぶ。
詳しくは、「カタカナに変換してみよう」（☞130ページ）をご覧ください。

小文字に変換するには

［小文字］を選んでから**［確定］**を選ぶ。

文節を変更するには

長い文章を一度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。
例として「今朝は医者にいきました。」と変換された文章を「今朝歯医者に行きました。」に変更してみます。

1 ひらがなで「けさはいしゃにいきました。」と入力する。
2 **［変換］**を選ぶ。
「今朝は医者にいきました。」が表示されます。
3 **［文節縮］**を1回選ぶ。
「けさ歯医者にいきました。」が表示されます。
4 **［変換］**を選ぶ。
「今朝歯医者にいきました。」が表示されます。
5 **［後の文節］**を2回選ぶ。
「今朝歯医者にいきました。」が表示されます。
6 **［変換］**を選ぶ。
「今朝歯医者に行きました。」が表示されます。

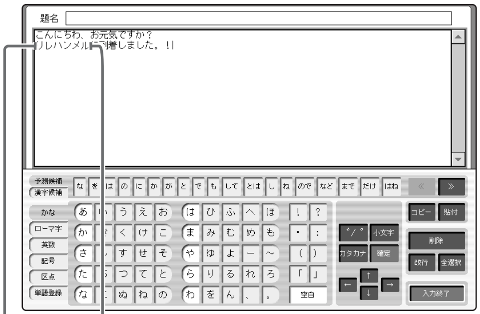
－**［前の文節］**＝1つ前の文節に移動します。
－**［後の文節］**＝1つ後の文節に移動します。
－**［文節縮］**＝文節を短くします。
－**［文節伸］**＝文節を長くします。

選んだ文章を他の場所にも使う［コピー/貼付］

文章をコピー（複写）して他の場所に貼り付けられます。似た文章や同じ文章をくり返し入力する必要がなく便利です。
単語だけでなく、文章ごとコピーして貼り付けられます。

1 コピーしたい単語または文章を、すべてタッチペンでなぞって反転する。

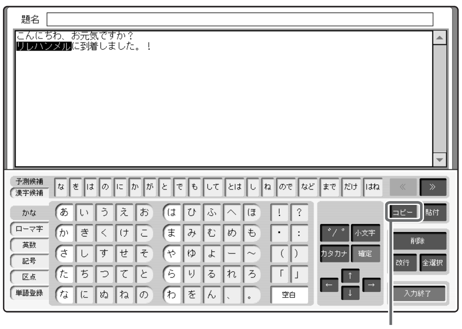
❶から❷までをなぞります。



ちょっと一言

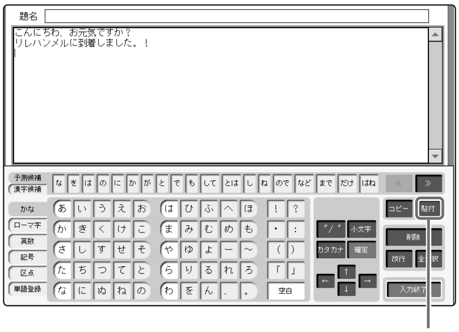
文字入力欄のすべての文字をコピーしたいときは[**全選択**]を選びます。すべての文字が反転します。

2 コピー を選ぶ。



3 貼り付けたい位置に「|」（カーソル）を置く。

4 貼付 を選ぶ。



単語または文章が貼り付けられます。

ご注意

コピーした文字列が貼り付け先の入力欄より長い場合、表示しきれず、文字列の最後しか表示されないときがあります。キーボードの[←]を押すと、貼り付けられた文字を確認できます。

よく使う単語を登録する［ユーザー辞書］

あらかじめよく使う単語を予測入力機能の辞書に登録しておけば、早く予測候補に表示されるので便利です。

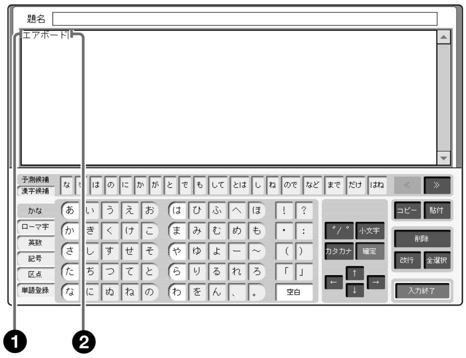
ご注意

キーボードが「連文節変換」(☞138ページ)に設定されているときは、単語登録はできません。

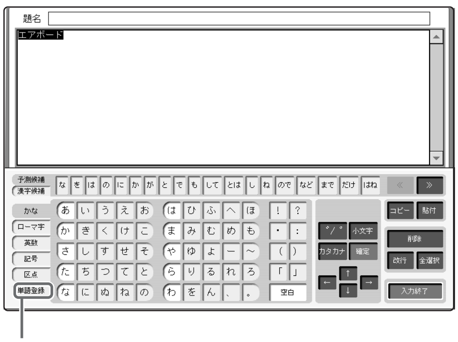
1 予測入力キーボードを表示する。

2 登録したい単語をすべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。



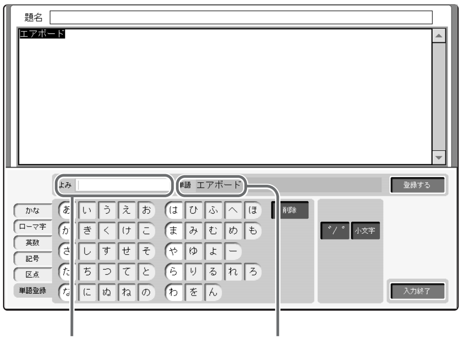
3 単語登録 を選ぶ。



キーボード上部に単語が表示されます。

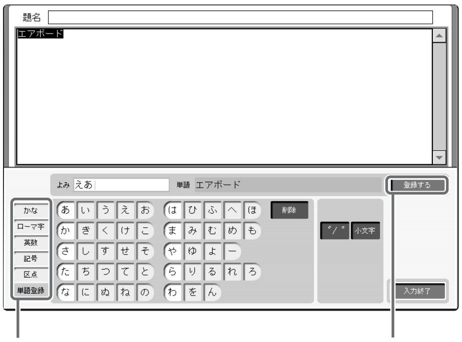
4 登録する単語の読みを入力する。

キーボードを使って「よみ」の横の入力欄にひらがなで入力します。



「よみ」が入力されます。

5 登録する を選ぶ。



単語が登録されます。

ご注意

- **［登録する］**を選ぶ前にキーボード一覧から好みのキーボード（かな、ローマ字、英数、記号）を選ぶと単語登録は中止されます。
- 登録したい単語を反転させてから**［単語登録］**を選ばないと登録できません。

設定画面で単語を登録するには

1 インデックス画面を表示する。

2 **[設定]** を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **[本体の設定]** を選ぶ。
「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 **[文字入力]** を選ぶ。
「設定 本体の設定 文字入力」画面が表示されます。

5 **[単語登録]** を選ぶ。
「設定 本体の設定 単語登録」画面が表示されます。

6 **[新規作成]** を選ぶ。
「単語登録」画面が表示されます。

7 読み入力欄に登録する単語の読みを入力する。
「よみ」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってひらがなで入力します。

8 単語入力欄に登録する単語を入力する。
「単語」の横の空欄を選んで、キーボードを使って単語を入力します。
入力が終了したらキーボードの **[入力終了]** を選びます。

9 [OK] を選ぶ。

登録した単語やその読みを変更するには

1 上記の「設定画面で単語を登録するには」の手順1〜5を行う。

2 変更したい単語のリスト部分を選ぶか、☐に✓をつけてから **[編集]** を選ぶ。
「単語登録」画面が表示されます。

3 単語やその読みを変更する。

4 [OK] を選ぶ。

登録した単語を消去するには

1 「設定画面で単語を登録するには」の手順1〜5を行う。

2 消去したい単語の☐に✓をつける。

3 **[消去]** を選ぶ。

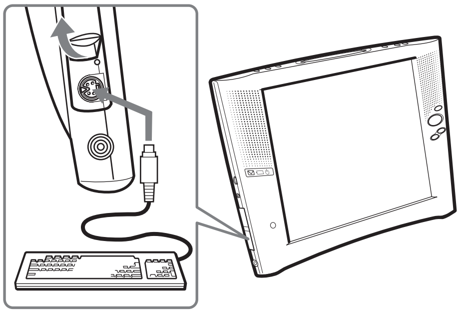
市販のキーボードを使う

本機左側面にあるキーボード端子（PS/2端子）に別売りのパソコン用キーボードをつなぎ、キーボードの設定を変更すると、文字を入力できます。別売りのキーボードをつないだときも画面上のキーボードは使えます。一部のキーボードでは機能が使えない場合があります。

キーボードをつなぐ

1 **キーボードをつなぐ。**

モニター左側面にある **［キーボード］** 端子に市販のキーボードをつなぎます。



市販のキーボード

2 **インデックス画面を表示する。**

3 **［設定］を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

4 **［本体の設定］を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

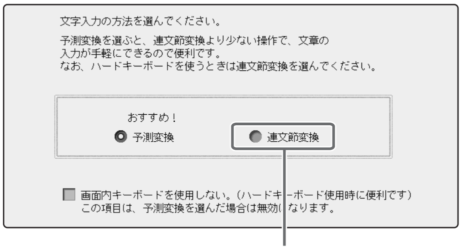
5 **［文字入力］を選ぶ。**

「文字入力」画面が表示されます。

6 **［キーボード］を選ぶ。**

「キーボード」画面が表示されます。

7 **［連文節変換］を選ぶ。**



ここを選びます。

8 **［OK］を選ぶ。**

これで設定ができました。

ご注意

- 別売りのキーボードを使う場合、本機の予測入力機能は使えません。また、キーボード画面で「予測変換」が選ばれていると、別売りのキーボードは使えません。
- USB端子を使って接続するキーボードは使えません。

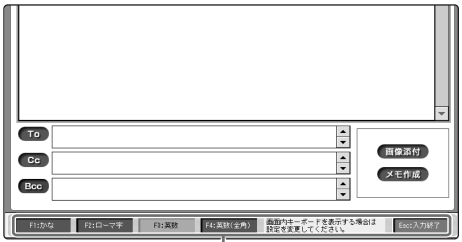
文字を入力する

画面の文字入力欄をタッチペンで選んでから別売りのキーボードを使って入力する。
入力欄を移動するときは、移動先の文字入力欄をタッチペンで選んでください。

ちょっと一言
入力のしかたについて詳しくは、つないだキーボードの取扱説明書をご覧ください。

画面上のキーボードを使用しないときは

「キーボードをつなぐ」(☞138ページ) の手順7で「連文節変換」がチェックされているか確認してから、**[画面内キーボードを使用しない]** の□に✓をつけます。
画面上のキーボードを消しているときは下の画面が表示されます。



市販キーボード操作用画面

市販のキーボードのキーを押したり、画面下部の市販キーボード操作用キーを選ぶと、キーの働きが変更できます。

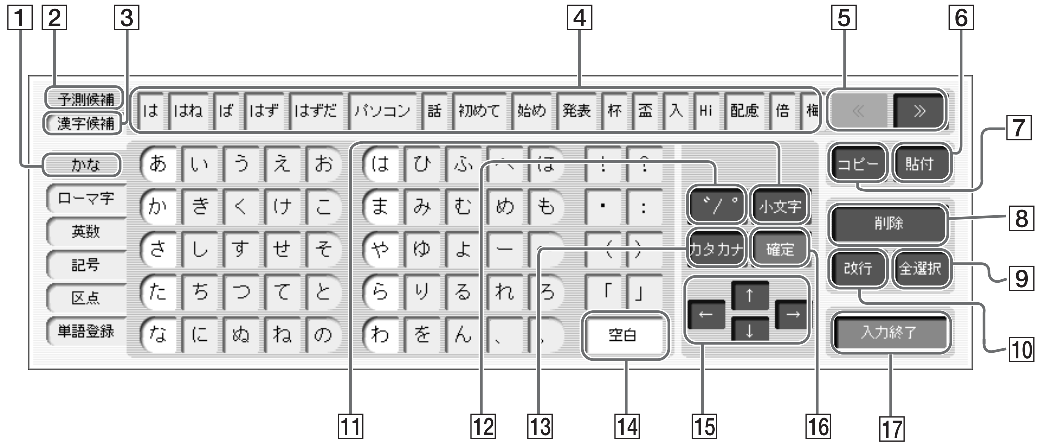
市販のキーボードのキー	画面のキー	キーの働き
F1	F1:かな	かなを入力する。
F2	F2:ローマ字	ローマ字を入力する。
F3	F3:英数	半角の英数字を入力する。
F4	F4:英数（全角）	全角の英数字を入力する。
F6	－	入力した確定前の文字をひらがなにする。
F7	－	入力した確定前の文字をカタカナにする。
Esc	Esc:入力終了	この画面を消す。
半角/全角	－	英数入力モードで全角と半角を切り換える。
Alt＋カタカナ ひらがな	－	かな入力とローマ字入力を切り換える。
Ctrl＋半角/全角	－	英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。
Alt＋半角/全角	－	英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。
Tab	－	入力終了
Ctrl＋A	－	全選択
Ctrl＋X	－	カット
Ctrl＋C	－	コピー
Ctrl＋V	－	ペースト
Shift＋←/↑/→/↓	－	反転

ご注意

- 画面上のキーボードを併用しているときは市販のキーボードのF4(全角/半角)は使えません。
- 市販のキーボードを使っているときはタブ(Tab)キーによる入力欄の移動はできません。
- 文字を変換した後にBack Spaceキーを押しても、変換する前の状態には戻りません。

キーボードの各部の名前

かなキーボード



1 **かな**（☞125ページ）
かなキーボードを表示します。

2 **予測候補**（☞125ページ）
予測候補一覧を表示します。

3 **漢字候補**（☞130ページ）
読みと一致した単語や漢字などを表示します。

4 **予測候補一覧**

5 **<</>>**
<<：前の候補一覧を表示します。
>>：次の候補一覧を表示します。

6 **貼付**（☞135ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 **コピー**（☞135ページ）
文字をコピーします。

8 **削除**（☞127ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

9 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

10 **改行**
改行します。

11 **小文字**
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

12 **"/°**
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

13 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

14 **空白**
全角スペースを挿入します。

15 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

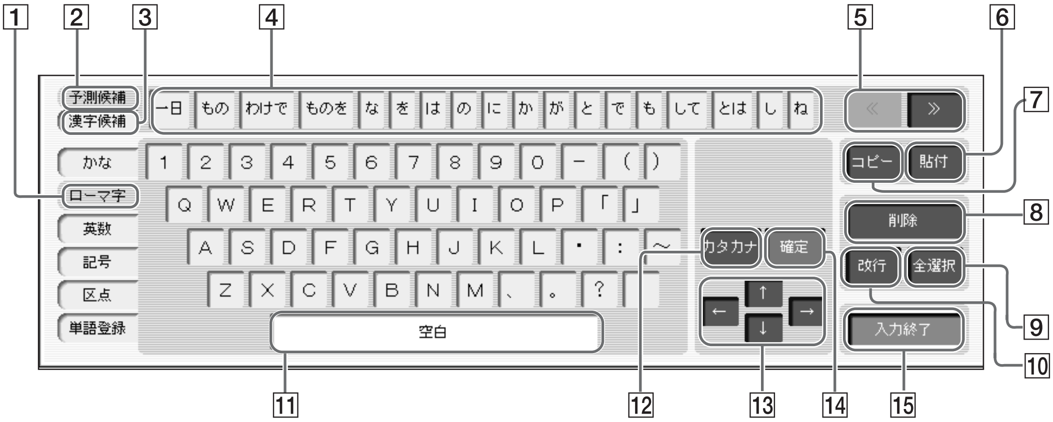
16 **確定**
予測候補や漢字候補から選ばずに、ひらがなやカタカナの確定、小文字や濁点・半濁点への変換の確定をするときに選びます。

17 **入力終了**
キーボードを消します。

ご注意

- **[カタカナ]**や**[小文字]**、["/°]は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- [←]/[↑]/[→]/[↓]は、入力した文字の変換を確定した後にのみ働きます。
- メールアドレスなど半角の英数字（記号や空白などを含む）を入力したい場合は、**[英数]**を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。

ローマ字キーボード



1 **ローマ字**（☞128ページ）
ローマ字キーボードを表示します。

2 **予測候補**（☞125ページ）
予測候補一覧を表示します。

3 **漢字候補**（☞130ページ）
読みと一致した単語や漢字などを表示します。

4 **予測候補一覧**

5 **<</>>**
<<：前の候補一覧を表示します。
>>：次の候補一覧を表示します。

6 **貼付**（☞135ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 **コピー**（☞135ページ）
文字をコピーします。

8 **削除**（☞127ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

9 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

10 **改行**
改行します。

11 **空白**
全角スペースを挿入します。

12 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

13 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

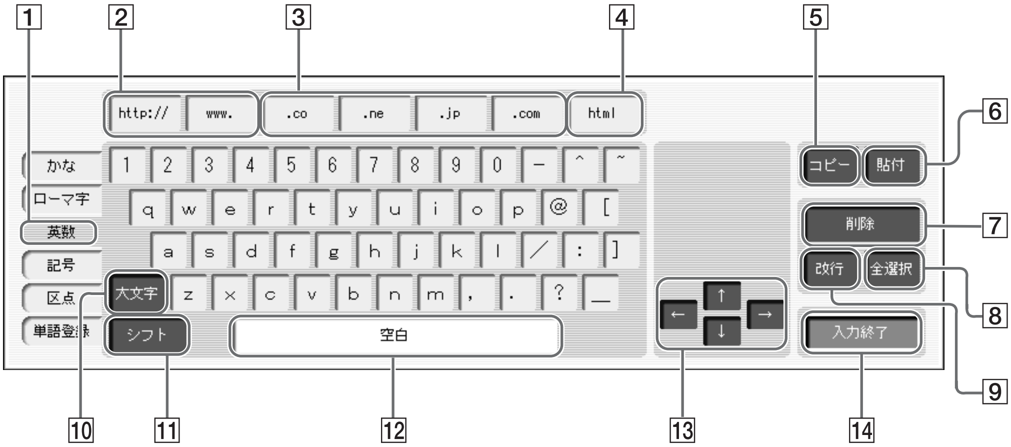
14 **確定**
予測候補や漢字候補から選ばずに、ひらがなやカタカナの確定、小文字や濁点・半濁点への変換の確定をするときに選びます。

15 **入力終了**
キーボードを消します。

ご注意

- **[カタカナ]**は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- メールアドレスなど半角の英数字（記号や全角などを含む）を入力したい場合は、**[英数]**を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。
- 全角の英字を入力したい場合は、**[記号]** を選び、**[各国の文字]** を選んで入力してください。

英数キーボード



1 **英数**(☞131ページ)
英数キーボードを表示します。

2 http://、www.
ホームページのアドレスを入力するときに使います。

3 .co、.ne、.jp、.com
ホームページのアドレスやメールアドレスを入力するときに使います。

4 html
ホームページのアドレスを入力するときに使います。

5 **コピー**(☞135ページ)
文字をコピーします。

6 **貼付**(☞135ページ)
コピーした文字を貼り付けます。

7 **削除**(☞127ページ)
「**I**」(カーソル)の前の文字、または反転された文字を削除します。

8 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

9 **改行**
改行します。

10 **大文字**
大文字キーボードを表示します。

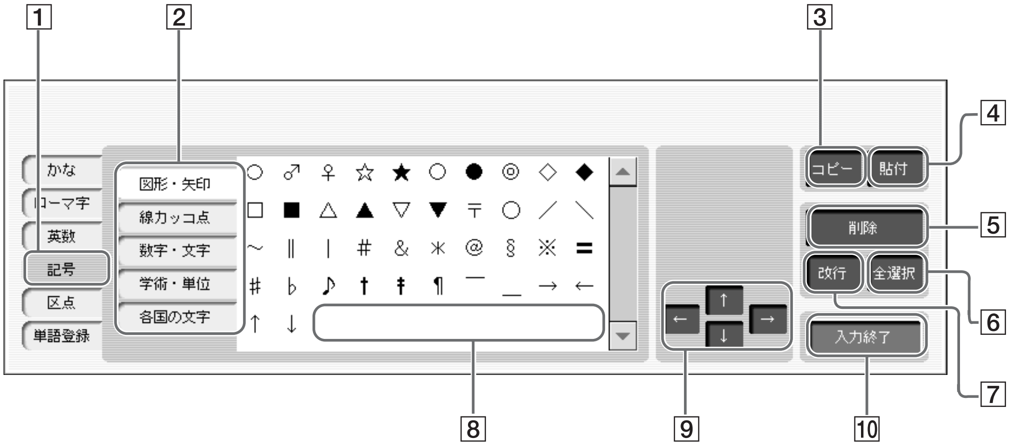
11 **シフト**
大文字キーボードを表示し、1文字選んだ後は、小文字キーボードを表示します。

12 **空白**
半角スペースを挿入します。

13 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

14 **入力終了**
キーボードを消します。

記号キーボード



1 **記号**（☞132ページ）
記号キーボードを表示します。

2 **記号キーボード切り換え**

3 **コピー**（☞135ページ）
文字をコピーします。

4 **貼付**（☞135ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

5 **削除**（☞127ページ）
「I」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

6 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

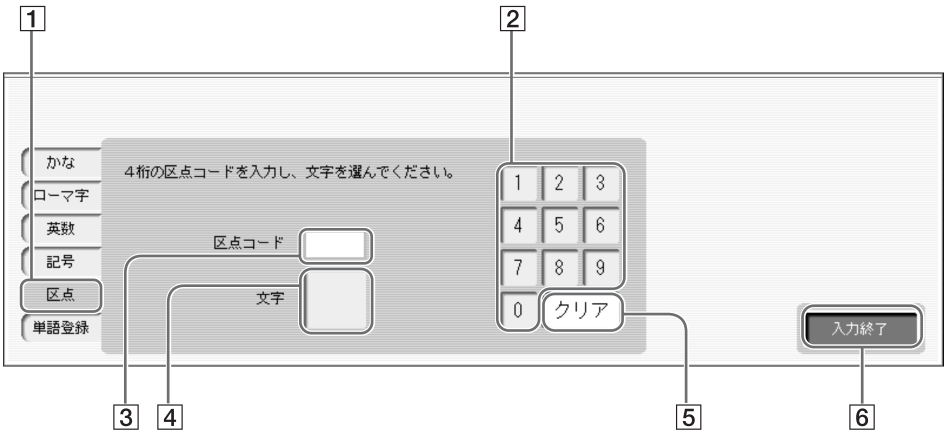
7 **改行**
改行します。

8 **スペース**
全角スペースを入力します。

9 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

10 **入力終了**
キーボードを消します。

区点キーボード



1 **区点**（☞133ページ）
区点キーボードを表示します。

2 **数字ボタン**
区点コード番号を選びます。

3 **区点コード**
入力した区点コードが表示されます。

4 **文字**
入力した区点コードに対応した文字が表示されます。

5 **クリア**
区点コード（クリア）されます。

6 **入力終了**
キーボードを消します。

つづく

キーボードの各部の名前（つづき）

連文節キーボード（かなキーボードの例）



1 **キーボード選択**
キーボードを選びます。

2 **数字ボタン**
全角の数字を入力します。

3 **前の文節/後の文節**（☞134ページ）
前の文節/次の文節に移動します。

4 **文節縮/文節伸**（☞134ページ）
文節を短く/長くします。

5 **貼付**（☞135ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

6 **コピー**（☞135ページ）
文字をコピーします。

7 **削除**（☞127ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字を削除します。

8 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

9 **改行**
改行します。

10 **前候補**
前の変換候補を表示します。

11 **変換**
入力した文字を漢字に変換します。

12 **゛/゜**
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

13 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

14 **空白**
全角スペースを挿入します。

15 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

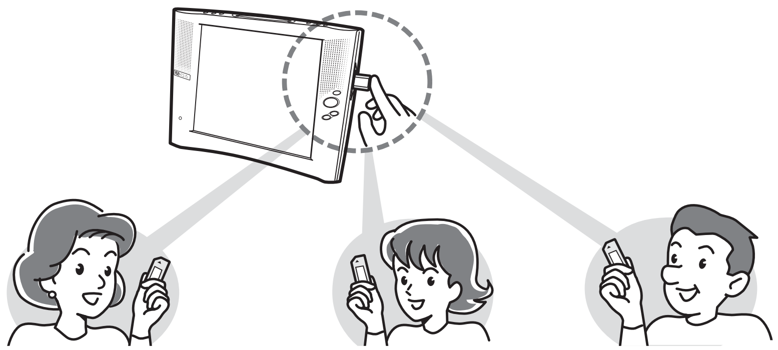
16 **確定**
漢字に変換せずにひらがなのまま入力したり、変換した文字を確定するときに使います。

17 **小文字**
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

18 **入力終了**
キーボードを消します。

“メモリースティック”とメモリーカード

別売りの“メモリースティック”（“Memory Stick”）は、小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディアです。着脱可能な外部記録メディアとしてデータの保存にお使いいただけます。“メモリースティック”を使えば、１台のエアボードを家族で共有して、ひとりひとりの好みの画像やメールを管理できます。
また、USB接続対応のメモリーカードリーダー/ライター*をつないでメモリーカードに画像を保存することもできます。
＊ 本機に対応しているメモリーカードリーダー/ライターのみ使用できます。



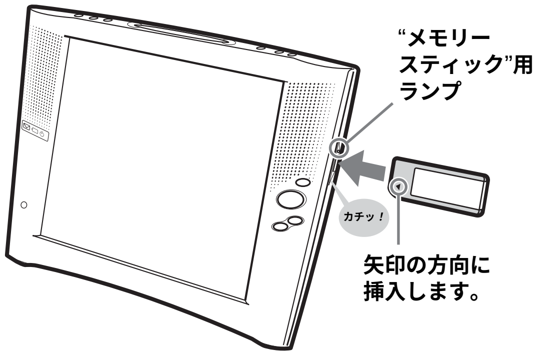
“メモリースティック”と外部メモリーカードでできること

	“メモリースティック”	外部メモリーカード
テレビチャンネル	テレビの静止画像を保存する	–
インターネットチャンネル	ホームページのアドレス（マーク）を保存する	–
	ホームページを保存する	–
	ホームページ上の画像を保存する	–
メールチャンネル	添付画像を保存する	–
	メモを保存する	–
	メールを整理箱に保存する	–
	自分専用のメールチャンネル[**ミーメール**]を使う	–
	保存された画像をメール添付する	
アルバムチャンネル	保存された画像を表示する	
	アルバムにある画像を保存する	
	画像をコピーしたり、移動したりする	
	保存された画像をメール添付する	

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”を入れるには

モニター右側面にあるメモリースティックスロットに、カチッと音がするまで一気に挿入する。

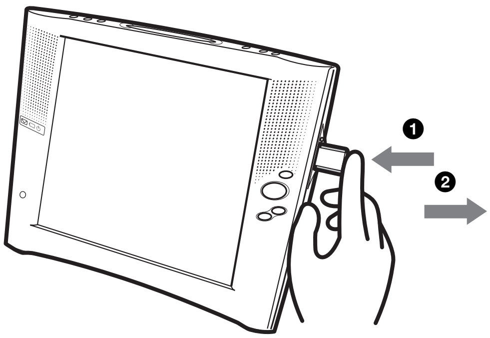


ちょっと一言

本機と“メモリースティック”の間で情報のやりとりがあるときは、“メモリースティック”用ランプが赤く点灯します。

“メモリースティック”を取り出すには

“メモリースティック”を軽くモニター側に押してから（❶）、指を添えたまま取り出す（❷）。

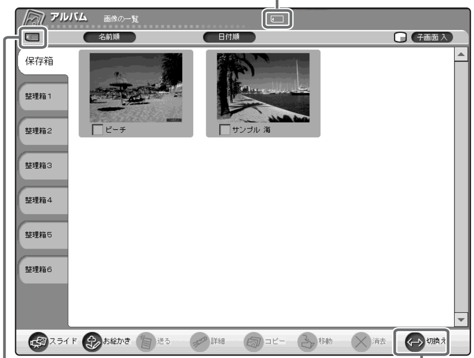


ご注意

- 以下のような場合、“メモリースティック”を抜き挿ししたり、本機の電源を切るようなことは、絶対にやめてください。
  - “メモリースティック”用ランプが赤く点灯しているとき
  - メールなどのデータを“メモリースティック”に移動しているとき
  - 画像やメールなどのデータを“メモリースティック”にコピーしているとき
  - “メモリースティック”内のデータを消去しているとき
  - **[ミーメール]**で、メールの作成や送受信をしているとき
  - “メモリースティック”を初期化しているとき
  - “メモリースティック”内のメールなどのデータを印刷しているとき
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中（“メモリースティック”用ランプ点灯中）に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切ったり、ACアダプターを抜いたり、クレードルやベースステーションからモニターを外したり、バッテリーがなくなって本機の電源が切れたりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

“メモリースティック”の内容を表示している画面について

“メモリースティック”が挿入されていると、ここに または ([ミーメール] 用) が表示されます。



切換え

“メモリースティック”の内容を表示していると、ここに が表示されます。

が表示されないときは、画面下部にある[**切換え**]を選んでください。[**切換え**]をくり返し選ぶと、本体の内容を表示する画面と“メモリースティック”の内容を表示する画面が交互に入れ替わります。

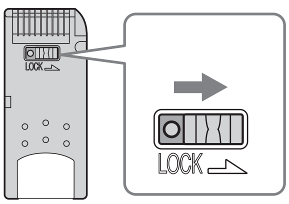
ちょっと一言

メモリーカードも挿入されているときは、本体、“ メモリースティック ”、メモリーカードの内容が次々と入れ替わります。

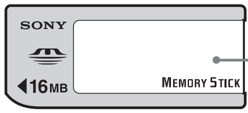
記録されている画像を誤って消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。

“メモリースティック” 裏



“メモリースティック”についてのご注意



ラベル貼り付け部
専用ラベルをはみ出さないように貼ってください。

取り扱いについて

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- お子さまの手の届く場所に放置しないでください。

使用場所について

以下の場所での使用や保存は避けてください。

－ 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
－ 直射日光のあたる場所
－ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

データについて

- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、画像やメールなどデータの記録や編集、消去ができなくなります。本体のデータを“メモリースティック”へ移動やコピーをしたり、“メモリースティック”内のデータを消去する場合は、「LOCK」をはずしてください。また[**ミーメール**]でメールの作成や送受信をするときも、「LOCK」をはずしてください。
- 大切なデータは、パソコンなどを使って他の“メモリースティック”やハードディスクにコピーし、保存(バックアップ)しておくことをおすすめします。
- “メモリースティック”に保存したパソコンのメールソフトのデータは、本機のメールチャンネルでは見られません。
- “メモリースティック”内の「MAIL」フォルダ(MSSONYフォルダ中のAIRBOARDフォルダの中にあります。)にパソコンなどを使ってコピーされたデータは、“メモリースティック”を本機に挿入したとき、消去されます。

メモリーカードを使う

モニター左側面にあるUSB端子に市販のメモリーカードリーダー/ライターをつなぎ、コンパクトフラッシュやSDメモリーカードなどに本機や“メモリースティック”から画像を保存できます。

本機につながるメモリーカードリーダー/ライター

メーカー名	機種名
ハギワラシスコム	HBC-USM1 HBC-UCF1 HBC-UC1 HBC-USD1

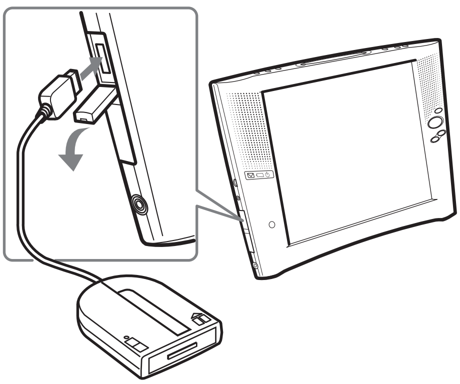
2002年12月現在

本機で使えるメモリーカード
スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカード

ちょっと一言
つながるメモリーカードリーダー/ライターの最新情報は、エアボードのホームページの「Q & A」(http://www.sony.co.jp/airboard/QA)で確認できます。

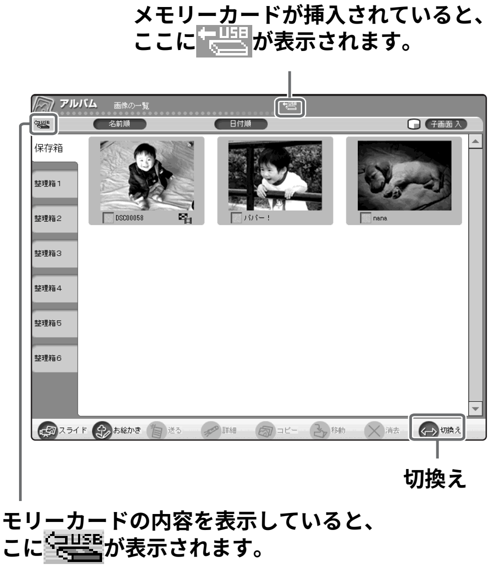
メモリーカードリーダー/ライターをつなぐ

モニター左側面のUSB端子にメモリーカードリーダー/ライターをつなぎます。



メモリーカードの内容を表示している画面について

本機につないだメモリーカードリーダー/ライターにメモリーカードを挿入すると、モニター画面に以下の表示が出ます。



が表示されないときは、画面下部にある[**切換え**]を選んでください。[**切換え**]をくり返し選ぶと、本体の内容を表示する画面とメモリーカードの内容を表示する画面が交互に入れ替わります。

ちょっと一言
“メモリースティック”も挿入されているときは、本体、“メモリースティック”、メモリーカードの内容が次々と入れ替わります。

ご注意

- メモリーカードリーダー/ライターを接続したとき、接続した機器が認識されるまで時間がかかることがあります。
- メモリーカードリーダー/ライターを経由して画像の読み込みをしているとき、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

自分専用の“メモリースティック”を作成する [ミーメール]

“メモリースティック”を自分専用のメールチャンネル[**ミーメール**]として使えます。[**ミーメール**]用“メモリースティック”に自分専用のメールの基本設定情報を記録します。
この“メモリースティック”を本機に挿入することで、メールチャンネルが自分専用になります。

ご注意

- [**ミーメール**]の設定をすでにしている“メモリースティック”や、メールデータの入っている整理箱を保存している“メモリーティック”を使って、新たに[**ミーメール**]を作成すると、先に入っていたメールデータや、[**ミーメール**]の設定は消えてしまいます。[**ミーメール**]の作成をする前に、使用する“メモリースティック”の内容をもう一度ご確認ください。
- [**ミーメール**]用“メモリースティック”に入っている設定情報などをパソコンなどを使ってコピーすることはできません。
  [**ミーメール**]用“メモリースティック”を作成するには、本機でもう一度[**ミーメール**]の設定をしてください。
- [**ミーメール**]の場合も本体の回線設定がそのまま使用されます。

1 **“メモリースティック”を挿入する。**

2 **インデックス画面を表示する。**

3 **設定 を選ぶ。**

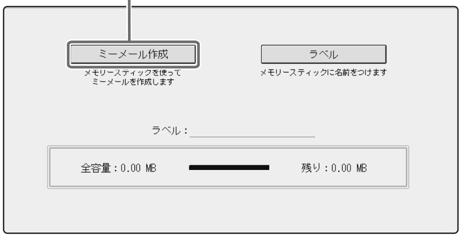
「設定 一覧」画面が表示されます。

4 **メモリーカード を選ぶ。**

「設定　メモリーカード」画面が表示されます。

5 **ミーメール作成 を選ぶ。**

ミーメール作成

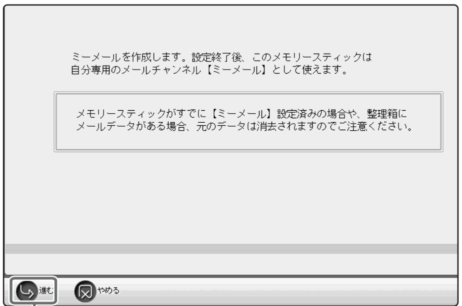


「 ミーメール作成」画面が表示されます。

ご注意

「ミーメール作成」画面に表示される注意書きは必ず、よくお読みください。

6 **進む を選ぶ。**



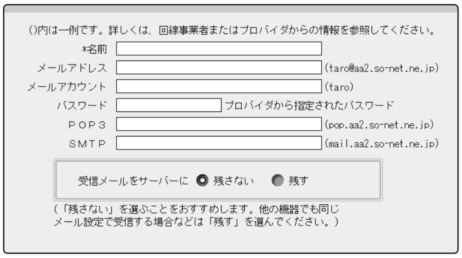
進む

「 メール」画面が表示されます。

つづく

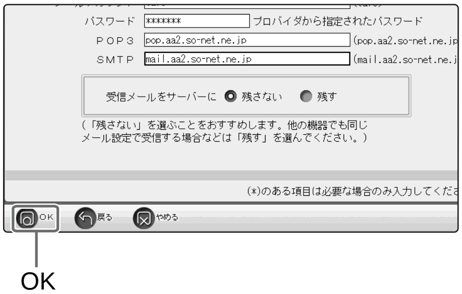
自分専用の“メモリースティック”を作成する[ミーメール]（つづき）

7 **自分専用のメール情報を入力する。**



各項目の入力のしかたは、「準備11：メールを送受信するための設定をする」の手順5～11（☞51~53ページ）をご覧ください。

8 **OK を選ぶ。**



「ミーメールを作成しました。メールを自分専用に使えます。」のメッセージが表示されます。

9 **OK を選ぶ。**

[ミーメール]用“メモリースティック”が作成されると、（通常“メモリースティック”）表示が（**[ミーメール]**用“メモリースティック”）表示に変わります。

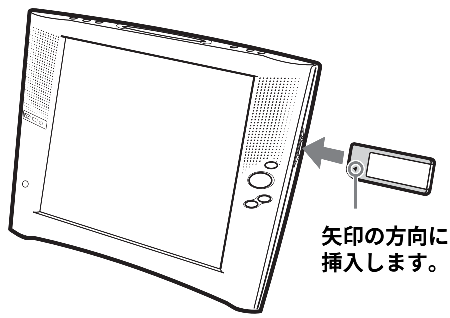
ご注意

ミーメール作成追加に失敗したときは、「メモリースティック書き込み中にエラーが起きました。」というメッセージが表示されます。[OK]を選んで、もう一度手順5（☞149ページ）からやり直してください。

ミーメールでメールを使う

[**ミーメール**]用“メモリースティック”を使うと、自分専用のメールチャンネルが使えます。
メールの内容が[**ミーメール**]用“メモリースティック”に保存されるため、“メモリースティック”を抜けば本機にはメールの内容が表示されません。家族の中で本機のメールチャンネルを使い分けたいときに便利です。

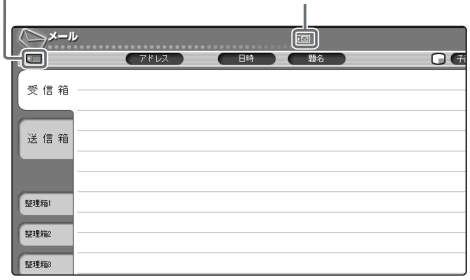
本機右側面のメモリースティックスロットに、[ミーメール]用“メモリースティック”を挿入する。



（[**ミーメール**]用“メモリースティック”）が画面に表示され、本機の設定が、[**ミーメール**]を作成したときの内容に切り換わります。

“メモリースティック”の内容を表示していることを示す

[ミーメール]を使っていることを示す



[**ミーメール**]に切り換わったときのメールの操作については、「メール」（☞88ページ）をご覧ください。

[ミーメール]用“メモリースティック”を作成するには

「自分専用の“メモリースティック”を作成する[**ミーメール**]」（☞149ページ）をご覧ください。

ご注意

- [**ミーメール**]でメールを作成したり、送受信したりする場合は、“メモリースティック”の「LOCK」をはずしてください。（☞147ページ）
- [**ミーメール**]用“メモリースティック”を抜くと、メールの設定が[**ミーメール**]の設定から本機の設定に切り換わります。
- [**ミーメール**]用“メモリースティック”を入れてインターネットを使用したときの履歴は、本機の履歴に残ります。履歴を残したくないときは、履歴を消去してください。（☞80ページ）
- [**ミーメール**]ではメールの自動送受信はできません。
- [**ミーメール**]用“メモリースティック”に入っている設定情報は、パソコンでコピーできません。
- [**ミーメール**]用“メモリースティック”に保存されているメールの内容は、パソコンで見ることができます。
- 本機では[**ミーメール**]も本体で設定した回線を使用します。他のエアボード（IDT-LF1/LF1E/LF2）で作成したミーメール用“メモリースティック”を本機に挿入すると「ミーメールが挿入されました。本機で回線に接続するときは、本体の回線設定を利用します。」と表示されます。
- [**ミーメール**]用の"メモリースティック"を使っているときは、[**回線**]の設定やインターネットの[**プロキシ**]の設定はできません。

“メモリースティック”でメールを整理する[整理箱]

メールを整理箱に移動する

保存されているメールを“メモリースティック”の「整理箱」に移動してメールを分類できます。

1 **“メモリースティック”を挿入する。**

2 **メールチャンネルの受信箱または送信箱を表示する。**

3 **整理箱に移動したいメールの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）をつける。**

ここに✓をつけます。



4 

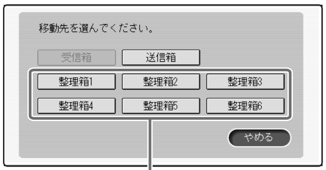
を選ぶ。



移動

メッセージが表示されます。

5 **移動先を選ぶ。**



どれかを選びます。

選択したメールが“メモリースティック”の整理箱に移動します。

ご注意

メールの移動中に“メモリースティック”を抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。

整理箱内のメールを消去するには

1 消去したいメールを含む整理箱を選ぶ。
選んだ整理箱が表示されます。

2 消去したいメールの□に✓をつける。

3 [**消去**]を選ぶ。

整理箱に名前を付けるには

1 インデックス画面を表示する。

2 [**設定**]を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 [**メール**]を選ぶ。
「設定 メール」画面が表示されます。

4 [**整理箱**]を選ぶ。
「 整理箱」画面が表示されます。

5 名前を付けたい整理箱の横の入力欄を選んで、キーボードを使って名前を変更する。

6 [**戻る**]を選ぶ。

ちょっと一言

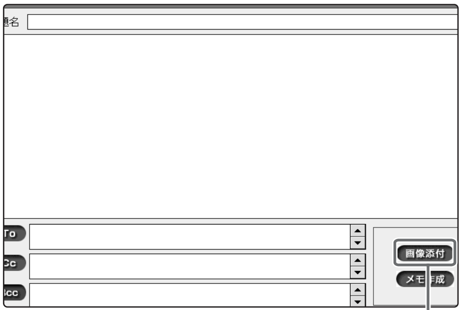
整理箱内のメールをパソコンで確認するときは、“メモリースティック”の中の「LFmailxx」（xxは任意の数字）というフォルダを検索してください。
パソコンでメールを編集すると、そのメールは、“メモリースティック”を本機に挿入したとき、消去される場合がありますので、ご注意ください。

“メモリースティック”やメモリーカードの画像をメールに添付する

1 **“メモリースティック”やメモリーカードを挿入する。**

2 **メールチャンネルで 新規作成 を選ぶ。（☞88ページ）**

3 **画像添付 を選んで「画像の選択」画面を表示する。**



4 **切換え を選ぶ。**



[**切換え**]を選ぶたびに本体、“メモリースティック”、メモリーカードの「画像の選択」画面に切り換わり、そこに保存されている画像が表示されます。

5 **添付する画像の□に✓をつける。**



6 **添付 を選ぶ。**

画像の添付された「メールの作成」画面に戻ります。

ちょっと一言

アルバムチャンネルの「画像の一覧」画面からメールに画像を添付することもできます。（☞117ページ）

メールに添付されてきた画像を“メモリースティック”に保存するには

1 受信箱や整理箱から画像の添付されたメールを選ぶ。
メールの内容が表示されます。

2 画像を選ぶ。
画像が拡大表示されます。

3 本機に“メモリースティック”を挿入し、[**保存**]を選ぶ。
「どちらのアルバムに保存しますか？」というメッセージが表示されます。

4 [**メモリースティック**]を選んでから、[OK]を選ぶ。

アルバムチャンネルを表示し、[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面を表示すると、“メモリースティック”に保存されたことが確認できます。

ご注意

この方法では外部メモリーカードには保存できません。メモリーカードに保存したいときは、いったん本体か“メモリースティック”に保存してからメモリーカードにコピーしてください。（☞159ページ）

“メモリースティック”にホームページのアドレスを登録する［マーク］

好みのホームページのアドレスを“メモリースティック”に登録したり、登録したホームページを見たりできます。

1 **“メモリースティック”を挿入する。**

2 **インターネットチャンネルで登録したいホームページを表示する。**

3 **［マーク］を選んで「マークの一覧」画面を表示する。**



マーク

本体の「マークの一覧」画面が表示されていたら、**［切換え］**を選んで「マークの一覧」画面を表示します。

4 **［追加］を選ぶ。**



マークが登録され、手順2で表示したホームページに戻ります。

ちょっと一言

“メモリースティック”に登録したマークのタイトルを変更したり、登録したマークを消去したりできます。「マークに登録したホームページのタイトルを変更するには」(☞76ページ) または「登録したマークを消去するには」(☞76ページ) の手順にしたがってください。
その際、「マークの一覧」画面を表示して操作してください。

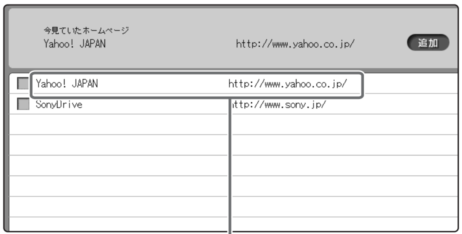
“メモリースティック”に登録したアドレスのホームページを見るには

1 本機に“メモリースティック”を挿入する。

2 インターネットチャンネルを表示する。

3 [**マーク**]を選ぶ。
本体の「マークの一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

4 見たいホームページのマークを選ぶ。
選んだホームページが表示されます。



ここを選びます。（ を選んでも表示できません。）

本体に登録したアドレスを“メモリースティック”にコピーするには

1 “メモリースティック”を挿入する。

2 インターネットチャンネルで[**マーク**]を選ぶ。
「マークの一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで本体の「マークの一覧」画面を表示する。

3 “メモリースティック”にコピーしたいマークのにをつける。

4 [**コピー**]を選ぶ。
「チェックした項目を本体からメモリースティックにコピーします。」というメッセージが表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

6 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

[**切換え**]を選んで「マークの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

“メモリースティック”に登録したアドレスを本体にコピーするには

1 “メモリースティック”を挿入する。

2 インターネットチャンネルで[**マーク**]を選ぶ。
本体の「マークの一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

3 本機にコピーしたいマークのにをつける。

4 [**コピー**]を選ぶ。
「チェックした項目をメモリースティックから本体にコピーします。」というメッセージが表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

6 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

[**切換え**]を選んで本体の「マークの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

“ メモリースティック ” にホームページを保存する[保存]

表示しているホームページの内容を、そのまま“ メモリースティック ”に保存できます。

1 **“ メモリースティック ”を挿入する。**

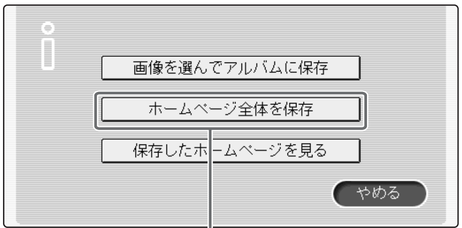
2 **インターネットチャンネルでホームページを表示する。**

3 **[保存]を選ぶ。**



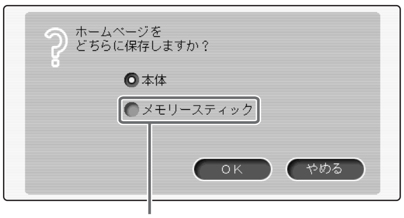
保存

4 **[ホームページ全体を保存]を選ぶ。**



ここを選びます。

5 **[メモリースティック]を選ぶ。**



ホームページ全体を保存

ちょっと一言

本体に保存するときは[**本体**]を選びます。

6 **[OK]を選ぶ。**

ホームページが保存され、手順3で表示していたホームページに戻ります。

ご注意

- ホームページの読み込みが完了していない場合は保存できません。保存できないときは、手順4の画面で[**ホームページを保存**]が薄く表示されます。[**やめる**]を選んでホームページの表示画面に戻り、読み込みが完全に終わってから再度[**保存**]を選んでください。
- アドレスが同じ場合、内容が違うホームページでも保存できないことがあります。

ちょっと一言

“ メモリースティック ”に保存したホームページのタイトルを変更したり、消去したり、並び順を変えたりできます。「ホームページのタイトルを変更するには」(☞78ページ)、「保存したホームページを消去するには」(☞78ページ)、または「保存したホームページの並び順を変えるには（ソート）」(☞78ページ）の手順にしたがってください。その際、「保存したホームページの一覧」画面を表示して操作してください。

“ メモリースティック ”に保存したホームページを見るには

1 “ メモリースティック ”を挿入する。

2 インターネットチャンネルで[**保存**]を選ぶ。

3 [**保存したホームページを見る**]を選ぶ。
「保存したホームページの一覧」画面が表示されます。
本体の「保存したホームページの一覧」画面が表示されていたら[**切換え**]を選んで「保存したホームページの一覧」画面を表示する。

4 一覧の中から見たいホームページのリスト部分を選ぶ。

選んだホームページが表示されます。

本体に保存したホームページを“ メモリースティック ”にコピーするには

1 “ メモリースティック ”を挿入する。

2 インターネットチャンネルで[**保存**]を選ぶ。

3 [**保存したホームページを見る**]を選ぶ。

「保存したホームページの一覧」画面が表示されます。
「保存したホームページの一覧」画面が表示されていたら[**切換え**]を選んで本体の「保存したホームページの一覧」画面を表示します。

4 コピーしたいホームページのにをつける。

5 [**コピー**]を選ぶ。

「チェックした項目を本体からメモリースティックにコピーします。」というメッセージが表示されます。

6 [OK]を選ぶ。

「コピーしました。」のメッセージが出たら[OK]を選ぶ。

[**切換え**]を選んで「保存したホームページの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

“ メモリースティック ”に保存したホームページを本体にコピーするには

1 “ メモリースティック ”を挿入する。

2 インターネットチャンネルで[**保存**]を選ぶ。

3 [**保存したホームページを見る**]を選ぶ。

「保存したホームページの一覧」画面が表示されます。
本体の「保存したホームページの一覧」画面が表示されていたら[**切換え**]を選んで「保存したホームページの一覧」画面を表示します。

4 コピーしたいホームページのにをつける。

5 [**コピー**]を選ぶ。

「チェックした項目をメモリースティックから本体にコピーします。」というメッセージが表示されます。

6 [OK]を選ぶ。

「コピーしました。」のメッセージが出たら[OK]を選ぶ。

[**切換え**]を選んで本体の「保存したホームページの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

“ メモリースティック ” やメモリーカードに保存した画像を表示する

“ メモリースティック ”やメモリーカードには、メールに添付されてきた画像、ホームページで保存した画像など、いろいろな画像をアルバム保存することができます。ここでは、保存されている画像を見る方法を説明します。

1 **“ メモリースティック ”やメモリーカードを挿入する。**

2 **アルバムチャンネルで「画像の一覧」画面を表示する。**

本体の「画像の一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面、または「USB 画像の一覧」画面を表示します。



切換え

3 **見たい画像を直接選ぶ。**

ここを選びます。



画像が拡大表示されます。

4 **「画像の一覧」画面に戻るには、拡大された画像の左右下隅以外に触れる。**

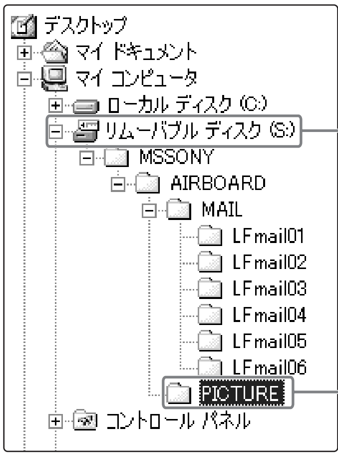


ここ以外に触れます。

ちょっと一言

- パソコンで作成した画像を本機のアルバムチャンネルで表示する場合、画像を“メモリースティック”やメモリーカード内の以下のフォルダにコピーしてください。

  パソコンのフォルダ例:



“メモリースティック”またはメモリーカード

このフォルダ内にコピーします。

- “メモリースティック”やメモリーカード内に上記フォルダが存在しないときは、パソコンでフォルダを作成するか、本機、あるいは本機に接続したメモリーカードリーダー/ライターに“メモリースティック”やメモリーカードを一度挿入すると、自動的にフォルダが作成されます。
- 本機のアルバムの画像を“メモリースティック”やメモリーカードに保存してパソコンで確認するときも、上記フォルダを参照してください。

ご注意

- デジタルスチルカメラDSC-P7/P9/F77/FX77などのEメールモードで撮影した画像を本機のアルバムチャンネルで表示すると、同じ画像が2つ表示されますが、これらの画像を拡大表示すると異なった大きさで表示されます。このとき、大きい画像を消去すると、“メモリースティック”をデジタルスチルカメラに戻したときに画像が表示されなくなりますのでご注意ください。
- ファイル名に全角の文字が使われている画像をパソコンから“メモリースティック”やメモリーカードにコピーした場合、その画像は本機のアルバムチャンネルでは表示できないことがあります。
- パソコンで初期化した“メモリースティック”やメモリーカードに保存されている画像は、本機で表示できないことがあります。“メモリースティック”やメモリーカードは、本機で初期化してください。(☞162ページ)
- 本機では(社)日本電子工業振興会の規格(DCF:Design rule for Camera File system)で記録された画像を表示できますが、この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDCF-D700/D770などで記録された画像は表示できないことがあります。

本体、“メモリースティック”、メモリーカード間で画像をコピーするには

1 “メモリースティック”やメモリーカードを挿入する。

2 アルバムチャンネルでコピーしたい画像が保存されている「画像の一覧」画面を表示する。
別の「画像の一覧」画面が表示されていたら、**[切換え]**を選んで「画像の一覧」画面を切り換えます。

3 コピーしたい画像の□に✓をつける。

4 **[コピー]** を選ぶ。

“メモリースティック”とメモリーカードが両方とも挿入されているときは、「どちらのアルバムにコピーしますか？」というメッセージが表示されます。コピーしたい場所を選んでから[OK]を選びます。
“メモリースティック”かメモリーカードのどちらか一方だけ挿入されているときは「チェックした項目をxxxxからxxxxにコピーします。」というメッセージが表示されますので、[OK]を選びます。

5 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

[切換え]を選んでコピー先の「画像の一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

ちょっと一言

- “メモリースティック”やメモリーカードに画像をコピーすると、「保存箱」に入ります。「整理箱」に入れるには、「保存箱」から「整理箱」に移動します。(☞160ページ、「“メモリースティック”やメモリーカードで画像を整理する[整理箱]」)
- 同じファイル名の画像がすでにある場合はファイル名の最後に「^」と「数字」が付きます。

“メモリースティック”やメモリーカードで画像を整理する[整理箱]

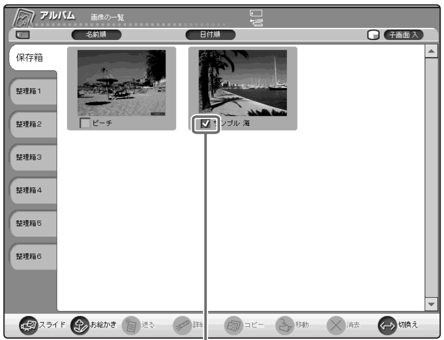
“メモリースティック”やメモリーカードに画像を保存したりコピーしたりすると、「保存箱」に入ります。画像を「保存箱」から“メモリースティック”やメモリーカードの「整理箱」に移動して整理できます。

1 **“メモリースティック”やメモリーカードを挿入する。**

2 **アルバムチャンネルで移動したい画像が保存されている「画像の一覧」画面を表示する。**

別の「画像の一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面を切り換えます。

3 **移動したい画像の□に✓をつける。**



ここに✓をつけます。

4  **を選ぶ。**

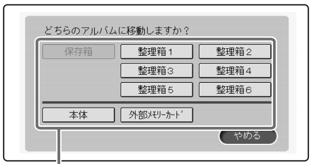


移動

「どちらのアルバムに移動しますか？」というメッセージが表示されます。

5 **移動したい場所を選ぶ。**

例：“メモリースティック”の保存箱から移動するとき



どれかを選びます。

6 **「移動しました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。**

移動先の「画像の一覧」画面を表示すると、移動されたことが確認できます。

ご注意

画像が保存されている場所により、移動できる場所が異なります。移動できる場所は、手順5の画面に表示されます。一般に、本体から移動するときや別のメディア（“メモリースティック”またはメモリーカード）へ移動するときは、「保存箱」にだけ移動できます。同じメディア内で移動するときは、「保存箱」と「整理箱」に移動できます。

“メモリースティック”やメモリーカードの整理箱に名前を付けるには

1 インデックス画面を表示する。

2 [**設定**]を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 [**アルバム**]を選ぶ。
「設定 アルバム」画面が表示されます。

4 [**整理箱**]を選ぶ
「メモリースティック（整理箱）」または「外部メモリーカード（整理箱）」画面が表示されます。[**切換え**]を選んで名前を付けたい整理箱の画面を表示します。

5 名前を付けたい整理箱の横の入力欄を選んで、キーボードを使って名前を変更する。

6 [**戻る**]を選ぶ。

"メモリースティック"やメモリーカードにラベルを付ける

本機では"メモリースティック"やメモリーカードに名前（ラベル）を登録することができます。ラベルを付けると、画面上部の（または）、の横にラベルが表示されます。

ここにラベルが表示されます。



1 **インデックス画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **メモリーカード を選ぶ。**

「設定 メモリーカード」画面が表示されます。
"メモリースティック"やメモリーカードが両方とも挿入されているときは、**［切換え］**を選んで「 メモリースティック」または「 外部メモリーカード」画面を表示します。

4 **ラベル を選ぶ。**

ラベル作成画面が表示されます。

5 **「ラベル」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってラベル名を入力する。**

ここに入力します。



6 **OK を選ぶ。**

ラベル作成画面に戻り、ラベル欄に入力したラベル名が表示されます。

“メモリースティック”やメモリーカードを初期化する

本機を使って“メモリースティック”やメモリーカードを初期化するときは、以下の操作にしたがってください。

ご注意

- 本機で初期化すると、記録されているデータはすべて消去されます。本機以外で記録したデータも消去されます。[**ミーメール**]用“メモリースティック”も初期化すると[**ミーメール**]ではなくなります。初期化する前に内容を確認してください。
- “メモリースティック”やメモリーカードは必要なとき以外は初期化しないでください。

1 **インデックス画面を表示する。**

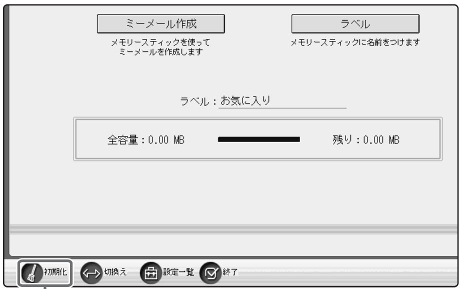
2 **設定を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **メモリーカードを選ぶ。**

「設定 メモリーカード」画面が表示されます。
“メモリースティック”やメモリーカードが両方とも挿入されているときは、**[切換え]** を選んで「 メモリースティック」または「 外部メモリーカード」画面を表示します。

4 **初期化を選ぶ。**



初期化

ご注意

初期化中は“メモリースティック”やメモリーカードを絶対に抜かないでください。

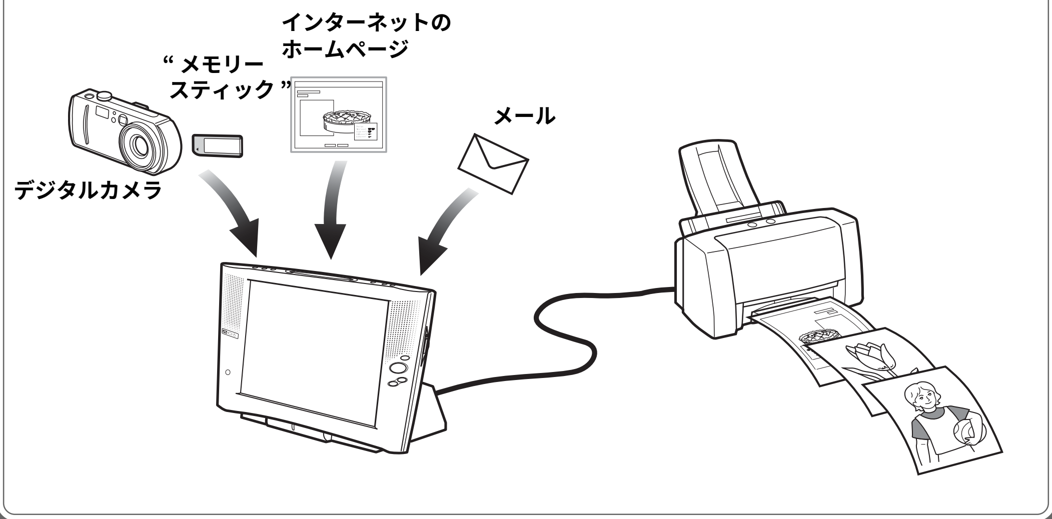
5 **「初期化が終了しました。」と表示されたら OK を選ぶ。**

ご注意

- “メモリースティック”やメモリーカードをパソコンで初期化すると、本機で使えなくなる場合があります。その場合は、“メモリースティック”やメモリーカードに記録されているデータをパソコンなどでバックアップをとったうえで本機で初期化し直してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、初期化できません。

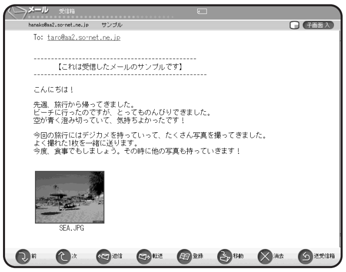
印 刷

エアボードのベースステーションにプリンターを接続すると、アルバムに保存した画像やメール、インターネットのホームページなどを印刷することができます（「標準印刷」）。また、モニターに映るテレビなどの画面をそのまま印刷できる「見たまま印刷」もできます。

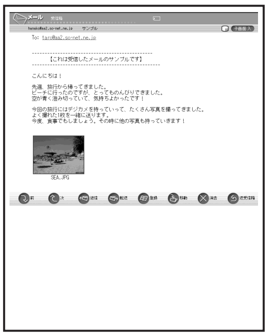


受信メールの印刷例

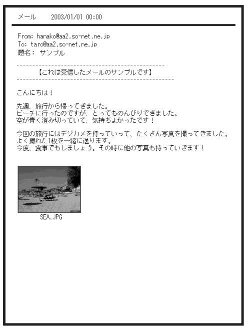
モニター画面



「見たまま印刷」



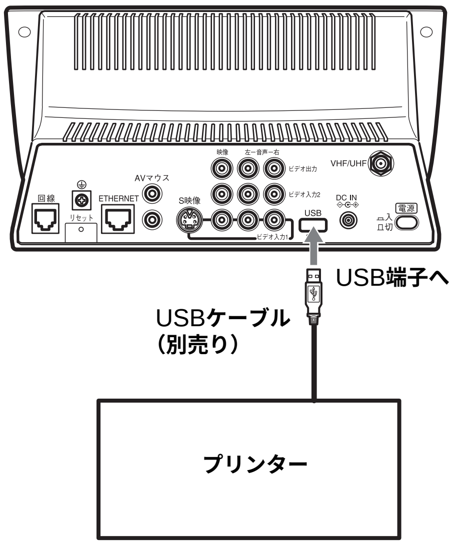
「標準印刷」



プリンターをつなぐ

ベースステーションのUSB端子にプリンターをつなぎます。プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ベースステーション背面



ご注意

- 次のときはUSBケーブルの抜き差しをしないでください。
  ーベースステーションの電源コードをつないでから電源ランプが緑に点灯するまでの間
  ープリンターで印刷中
  USBケーブルはベースステーションやプリンターの電源が入っているときでもケーブルの抜き差しができます。ただし、上記の場合にケーブルの抜き差しを行うと、本機やプリンターが正しく動作しなくなる場合があります。
- ベースステーションやプリンターの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから5秒以上の間隔をあけて差してください。抜いてすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。
- ベースステーションのUSB端子には、対応プリンター以外のプリンターやプリンター以外の機器は接続しないでください。
- ポータブルのUSB端子にはつながないでください。

本機につながるプリンター

メーカー名	機種名
ソニー	MPR-501、MPR-505
キヤノン	BJ S300、BJ S330、BJ S500、BJ S530、BJ S700、PIXUS 550i、PIXUS 850i
エプソン	PM-730C、PM-740C、PM-780C、PM-780CS、PM-830C、PM-840C、PM-870C、PM-890C
日本ヒューレットパッカード	deskjet 845c、deskjet 948c、deskjet 990cxi、deskjet 5551

2002年12月現在

ちょっと一言

つながるプリンターの最新情報は、エアボードのホームページの「Q＆A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA）で確認できます。

キヤノンとソニーのプリンターをお使いのかたへ

プリンターを接続し、お使いになる前に、エアボードのホームページの「Q＆A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA）の「プリンターメンテナンス」、または「保存したホームページを見る」（☞78ページ）の手順3の一覧からお使いになる機種用の「プリンターメンテナンス」のページを選び、**[プリントヘッド位置調整]** を行ってください。また、プリンターを使用していてインクづまりしたときも、こちらのホームページからクリーニングを行えます。

印刷できる紙とサイズ

メーカー名	用紙サイズ	用紙設定	使用可能な用紙
ソニー/キヤノン	A4縦/横	普通紙	一般的な普通紙
		高品位用紙	プロフェッショナルフォトペーパーA4
	ハガキ縦/横	普通紙	官製はがき（普通紙）
		高品位用紙	インクジェット官製はがき（コーティング面）
			プロフェッショナルフォトはがき
			光沢はがき
エプソン	A4縦/横	普通紙	一般的な普通紙
		高品位用紙	スーパーファイン専用紙
			スーパーファイン専用紙2
	ハガキ縦/横	普通紙	官製はがき（普通紙）
		高品位用紙	インクジェット官製はがき（コーティング面）
			スーパーファイン専用ハガキ
			フォト・クォリティ・カード2
ヒューレット・パッカード	A4縦/横	普通紙	一般的な普通紙
			インクジェット用上質普通紙
		高品位用紙	フォト用紙
			プレミアムインクジェット専用紙
	ハガキ縦/横	普通紙	官製はがき（普通紙）
		高品位用紙	インクジェット官製はがき（コーティング面）

印刷する

「見たまま印刷」では、**[印刷]**ボタンを押す瞬間にモニターに表示されている画面がそっくりそのまま印刷されます。
「標準印刷」では、モニターに表示されている画像や文書などを印刷します。

ご注意

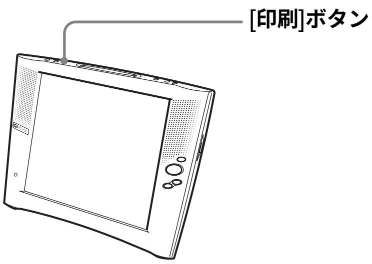
選べる印刷の種類や、用紙サイズ、紙の種類は印刷する画面によって異なります。選べない項目は、印刷の選択画面で で表示されます。

1 プリンターの電源を入れ、用紙をセットする。

A4用紙、ハガキのいずれかをセットしてください。用紙のセットのしかたはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

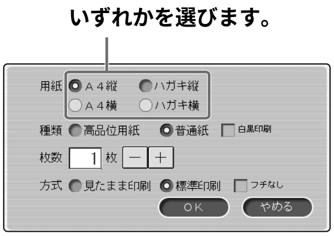
2 印刷したい画面をモニターに表示する。

3 モニター上部の[印刷]ボタンを押す。

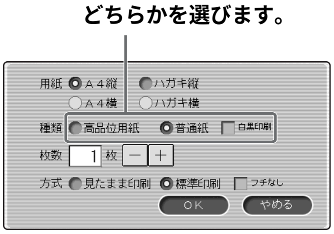


印刷の選択画面が表示されます。

4 用紙のサイズを選ぶ。



5 紙の種類を選ぶ。



ちょっと一言

- **[高品位用紙]**とは、プリンターメーカーの専用紙やインクジェットはがきなどです。
- **[白黒印刷]**は、**[普通紙]**を選んだときのみ、選べます。

6 印刷枚数を選ぶ。



7 [見たまま印刷]または[標準印刷]を選ぶ。



ちょっと一言

- **[フチなし]**はフチなし印刷に対応しているプリンターを接続している場合のみ表示されます。また、**[標準印刷]**の場合のみ、選べます。
- フチなし印刷は、用紙のサイズに合わせて余白が出ないように画像をはみ出して印刷します。

8 OK を選ぶ。



OK

印刷が始まります。

ちょっと一言

- テレビやビデオ、動画を印刷する場合、[**印刷**]ボタンを押した瞬間の画面が印刷されます。
- 子画面を表示しているときに[**印刷**]ボタンを押すと、子画面は消え、印刷終了後に再び表示されます。子画面は印刷されません。
- 「インク切れ」などのエラーメッセージが表示された場合は、プリンターの取扱説明書をご覧になって対処してください。
- ホームページによっては、画面を切り換えても同じアドレスで表示されるものがあります。「標準印刷」でそのようなホームページを印刷した場合、印刷終了後に最初に表示した画面に自動的に切り換わります。

ご注意

- モニターが圏外にあるときは印刷できません。
- 印刷中は「印刷中」のメッセージが画面に表示され、他の操作はできません。
- 印刷中にプリンターの電源を切らないでください。
- 印刷中にプリンターのUSBケーブルを抜かないでください。
- 印刷中は、“メモリースティック”やメモリーカードを抜き挿ししないでください。印刷が中断されます。
- ホームページの読み込み中は印刷できません。

印刷例

ご注意

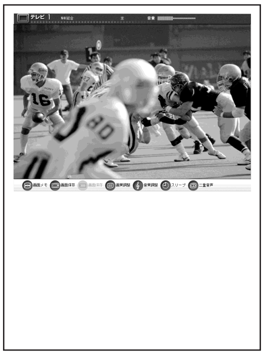
プリンターの機種によって、印刷されるイメージが異なる場合があります。

「見たまま印刷」

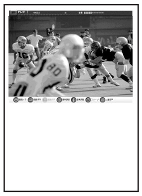
「見たまま印刷」できる画面：
以下の画面を除くすべての画面
ー 画質調整、音質調整、スリープタイマー、チャンネル設定変更、ワイヤレス通信調整、おはようタイマーの拡大画像表示を除く
対応用紙サイズ：
A4縦、ハガキ縦、A4横、ハガキ横

用紙のサイズに合わせて、画面に表示されている通りに印刷されます。

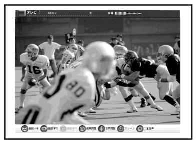
A4縦



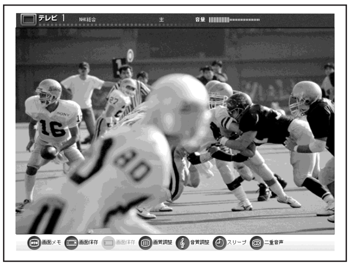
ハガキ縦



ハガキ横



A4横



ご注意

テレビを見ながら設定する画面（スリープタイマーなど）は「見たまま印刷」できません。

印刷

つづく

「標準印刷」

「標準印刷」できる画面：
テレビチャンネル（テレビ画像）
ビデオチャンネル（再生画像）
インターネットチャンネル（ホームページの画面、履歴の一覧、マークの一覧、保存したホームページの一覧）
メールチャンネル（受信箱や送信箱、整理箱にあるメール、作成中のメール、アドレス帳）
アルバムチャンネル（画像の一覧、拡大表示）
対応用紙サイズ：
A4縦、A4横、ハガキ縦、ハガキ横

画面全体の印刷例

左上を起点として、用紙に入る範囲が印刷されます。

ご注意

- 印刷内容が用紙サイズを超えてしまった場合、その部分は印刷されません。
- 「標準印刷」の場合、用紙サイズ「A4横」は、テレビやビデオ、アルバムの拡大画像にのみ対応しています。

〈インターネットチャンネル〉

ホームページ印刷例

A4縦



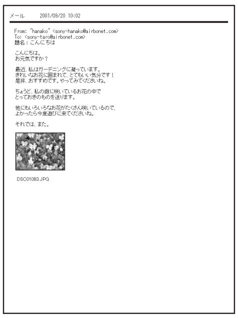
ハガキ縦



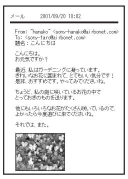
〈メールチャンネル〉

メール印刷例

A4縦



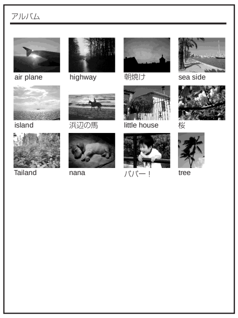
ハガキ縦



〈アルバムチャンネル〉

画像一覧印刷例

A4縦

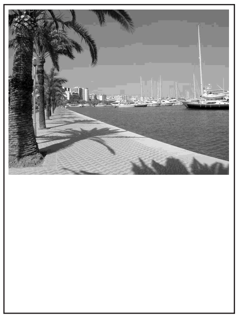


ハガキ縦



拡大表示印刷例

A4縦/ハガキ縦
横長、縦長の画像とも、左上を起点として印刷されます。





A4横/ハガキ横
横長、縦長の画像とも、中央を起点として印刷されます。





ご注意

プリンターの機種によって、印刷されるイメージが異なる場合があります。

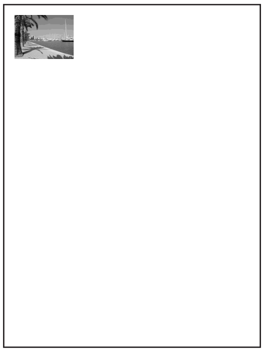
アルバムの「画像の一覧」の印刷例

✓をつけた画像のみが印刷されます。

モニター
画面



「標準印刷」



複数のフレームから構成されているホームページを印刷する

インターネットのホームページの中には、いくつかの部分を組み合わせて1ページを構成しているものがあります。この各部分をフレームといいます。「標準印刷」では、フレームごとに印刷を行います。

エアボードのホームページの例



複数のフレームから構成されています。

1 「印刷する」の手順1〜8（☞166ページ〜167ページ）を行う。
手順8で[OK]を選ぶと画面上部（「インターネット」表示の右側）に、「印刷したい部分（フレーム）を選んでください」と表示されます。

2 ホームページの印刷したい部分を選ぶ。
選んだ部分に枠が表示され、「選択した部分（フレーム）を印刷しますか？」というメッセージが表示されます。

3 [OK]を選ぶ。
枠で囲まれた部分が印刷されます。

別の部分（フレーム）を印刷するには、[**やめる**]を選び、印刷したい部分を選び直します。

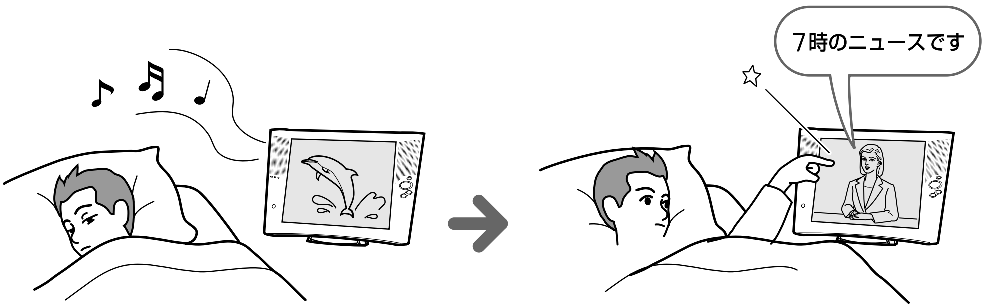
ご注意

- インターネットのホームページ上にあるサイズの大きな画像は、「標準印刷」できない場合があります。ホームページの画像をアルバムに保存する（☞79ページ）と、「見たまま印刷」も「標準印刷」もできます。ただし、アルバムの画像でも、サイズの大きい画像は印刷できない場合があります。
- インターネットのホームページ上にあるFlashコンテンツやJavaScriptの結果などは印刷できません。

あなたが撮影、制作した画像以外は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

その他の設定

ここでは、これまでの章で説明していないエアボードの機能をまとめて説明します。
エアボードの便利な機能に「おはようタイマー」があります。「おはようタイマー」を設定すると、お好みの画像と音でお目覚めでき、しかもモニターの画面にタッチするだけで、朝一番に見たいテレビチャンネルやインターネットのホームページに切り換わります。



おはようタイマーを設定する

おはようタイマーを設定すると、設定した時刻の1分前に自動的に電源が入ります。設定時刻になると、設定した画像が表示され、設定した音が鳴ります。
おはようタイマーを止めると、設定したテレビチャンネルやインターネットのホームページに自動的に切り換わります。

おはようタイマーを設定する

おはようタイマーの設定の前に

- 本機の時計が正しく設定されていることを確認してください。（☞25ページ、「時計を合わせる」）
- モニターのバッテリーの残量がなくなったとき、おはようタイマーは起動しません。おはようタイマーを起動するときは、必ずモニターをクレードルかベースステーションに戻してください。
- モニターのバッテリー残量がなくなった状態で2〜3日放置すると、本機の時計の日付と時刻がリセットされ、おはようタイマーが起動しません。2〜3日放置してリセットされてしまった場合は、本機の時計を再設定してください。（☞25ページ）

1 **インデックス画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **本体の設定 を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 **時計 を選ぶ。**

5 **おはようタイマー を選ぶ。**

「おはようタイマー」画面が表示されます。

6 **［入］を選ぶ。**

入

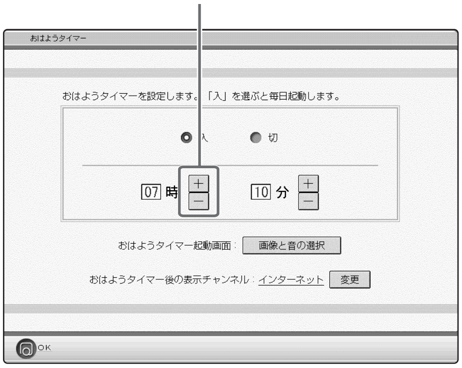


画面右上に（アイコン）が表示されます。

7 **おはようタイマーで電源が入る時刻を設定する。**

＋ または － を使って設定します。

+/–



ちょっと一言

本機の時計の現在時刻から2分以上あとの時刻を設定してください。現在時刻の1分後を設定した場合、おはようタイマーで設定した画像が表示され、設定した音が鳴り始めるのは、24時間1分後です。

8 画像と音の選択 を選ぶ。



画像と音の選択

画像と音の選択画面が表示されます。

おはようタイマーの画像



おはようタイマーの音　おはようタイマーの音量

ちょっと一言

[画像と音の確認]ボタンを選ぶと、現在設定されているおはようタイマーの画像が拡大表示され、設定されている音が鳴ります。拡大画像に触れると、画像と音の選択画面に戻ります。

9 おはようタイマーの画像を変更するときは、変更 を選ぶ。

変更

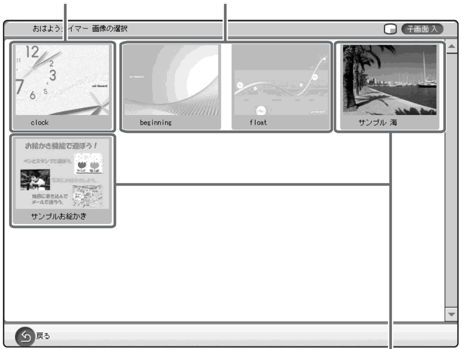


「おはようタイマー 画像の選択」画面が表示されます。

10 おはようタイマーで電源が入ったときに表示される「画像」を選ぶ。

おはようタイマー用に保存されている画像と本体のアルバムに保存されている画像の中から選べます。

初期画像　おはようタイマー用画像



本体のアルバムに保存されている画像

画像を選ぶと、画像と音の選択画面に戻り、選んだ画像が表示されます。

11 おはようタイマーで電源が入ったときに鳴る「音」を選ぶ。

音の一覧の右側のスクロールバーを上下にスクロールして選びます。



音を選びます。

つづく

おはようタイマーを設定する（つづき）

12 **おはようタイマーの「音量」を選ぶ。**



音量を選びます。

ちょっと一言
おはようタイマーの音量は、本体の音量とは別に設定されます。

13 OK **を選ぶ。**

「おはようタイマー」画面に戻ります。

14 **おはようタイマーのチャンネルを設定するために** 変更 **を選ぶ。**



変更

おはようタイマーチャンネル設定画面が表示されます。

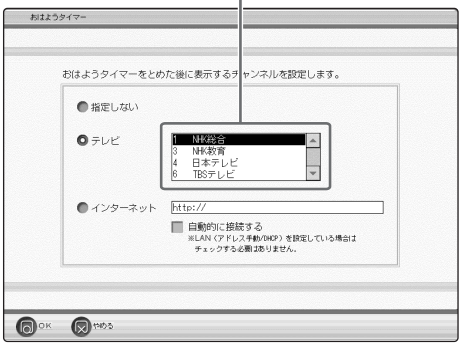
15 **おはようタイマーをとめた後に表示するチャンネルを設定する。**

いずれかを選びます。

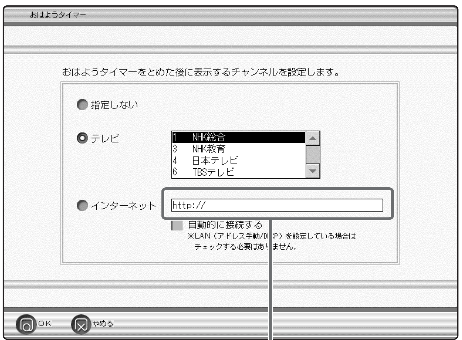


［テレビ］を選んだときは、一覧からテレビチャンネルを選びます。

テレビチャンネルを選びます。



インデックス画面に表示されているチャンネルが選べます。
［インターネット］を選んだときは、表示したいホームページのアドレスをキーボードで入力します。



ホームページのアドレスを入力します。

ちょっと一言

- **[指定しない]** を選ぶと、おはようタイマーをとめたあと、電源を切る前に表示していたチャンネルが表示されます。
- **[インターネット]** を選んだとき、電話回線やLAN回線（PPPoE）を使用しているときは、**[自動的に接続する]** の□に✓をつけると、おはようタイマーをとめたあと「インターネットに接続しますか？」というメッセージを表示せず、自動的にインターネットに接続します。

16 **[OK] を選ぶ。**

「おはようタイマー」画面に戻ります。

使わない音を消すには

1. 画像と音の選択画面を表示する。
2. 音の一覧から消したい音を選ぶ。
3. **[消去]** を選ぶ。
4. [OK] を選ぶ。
   指定した音が消去されます。

ご注意

- お買い上げ時に一覧に表示されている音は消去できません。
- 一度消去した音は元に戻せません。

おはようタイマーを起動する

モニターの電源を切る。

おはようタイマーの設定時刻の1分前に電源が入ります。設定時刻になると、設定した画像が表示され、設定した音が鳴ります。

以下のいずれかを行うと、設定したチャンネルが表示されます。

– モニター画面に触れる

– モニターの上部または右側にあるボタン（電源ボタン以外）を押す

– 付属のリモコンの電源ボタン以外のボタンを押す

ご注意

おはようタイマーは、モニターの電源が切れているときのみ起動します。バッテリーを外してモニターの電源を切ったり、バッテリーが入っていない状態でACアダプターを抜いたり、クレードルやベースステーションから外したためにモニターの電源が切れたときは、おはようタイマーは起動しません。

ちょっと一言

おはようタイマーが起動して画像が表示され、音が鳴りはじめてから5分間操作しないと、自動的に電源が切れます。

ご注意

- おはようタイマーの設定時刻の1分前にモニターの電源が入っていると、おはようタイマーは起動しません。
- おはようタイマーの設定時刻の1分前に電源が入ったあとで **[電源]** ボタンを押すと、おはようタイマーは中断され、電源が切れます。
- メール自動送受信を行う時刻を、おはようタイマーで設定した時刻またはその1分前に設定すると、おはようタイマーが優先され、メール自動送受信は行われません。また、メール自動送受信が行われているときにおはようタイマーの設定した時刻になると、メール自動送受信は中断されます。

省エネタイマーの時間を設定する

本機をしばらく使わないとき、省エネタイマーが働いて本機のバッテリーの消費電力を少なくするように設定できます。省エネタイマーが働くと、画面は真っ暗になります。

1 **インデックス画面を表示する。**

2 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 本体の設定 **を選ぶ。**

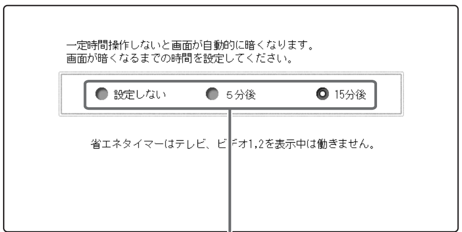
「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 省エネタイマー **を選ぶ。**

「省エネタイマー」画面が表示されます。

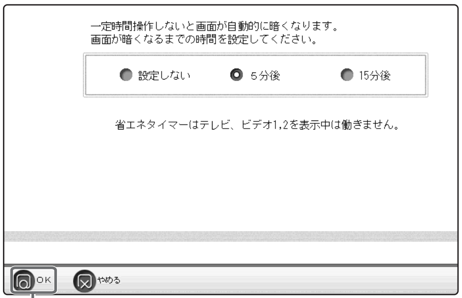
5 **タイマーを実行する時間を変更する。**

「設定しない」、「5分後」、または「15分後」のいずれかを選びます。



ここから選びます。

6 OK **を選ぶ。**



OK

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

本機を何も操作しないまま省エネタイマーで設定した時間がたつと、画面が真っ暗になります。以下のいずれかを行うと省エネタイマーは解除され、画面は元に戻ります。

- 画面に触れる
- モニターの上部または右側にあるボタン（電源ボタン以外）を押す（電源ボタンを押すと電源が切れます）
- 接続した市販のキーボードを操作する

ご注意

- 省エネタイマーは、テレビチャンネルやビデオチャンネルをご覧になっているときや子画面が表示されているとき、スライドショー動作中は実行されません。ただし、子画面で音のみを聞いているときは実行されます。
- 省エネタイマーが働いているときは、メールを書いている途中で保存せずに電源を切ると、そのメールは消えてしまいます。

操作音を消す

ここでは本機を操作するときの操作音を消す方法を説明します。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

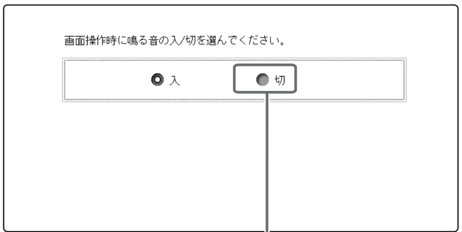
3 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 操作音 を選ぶ。

「操作音」画面が表示されます。

5 [切] を選ぶ。



切

6 OK を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

操作音を出すには

「操作音を消す」の手順5で **[入]** を選ぶ。

ワイヤレスチャンネルを変更する

ワイヤレス通信中、悪い通信状態が数秒間続くと、本機は、自動的に最適なワイヤレスチャンネルに変更しますが、以下のときは、手動でワイヤレスチャンネルを変更します。

– テレビの画像の乱れが気になる
– 手動で最適なワイヤレスチャンネルを設定したい
– 本機の近くに同じ周波数を使っている機器がある
– パソコンをベースステーションに無線接続する

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

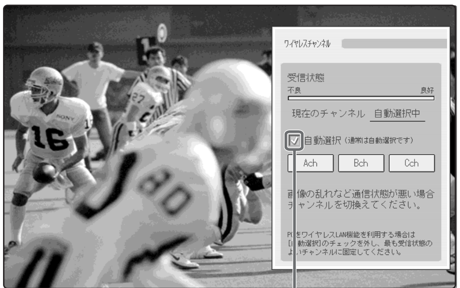
3 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

4 ワイヤレスチャンネル を選ぶ。

「ワイヤレスチャンネル」画面が表示されます。

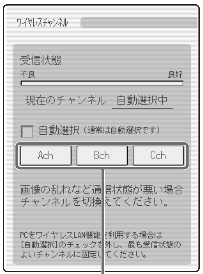
5 [自動選択]の□を選んで✓を消す。



この✓を消します。

その他の設定

6 **画面を見ながら受信状態の良好なワイヤレスチャンネルを選ぶ。**



ここから選びます。

メッセージが表示されます。

ご注意

「圏外」表示の出ないところで行ってください。

7  **を選ぶ。**



戻る

「設定 一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

- 本機では2.4GHz帯の無線周波数を使用しています。Achには1チャンネル、Bchには6チャンネル、Cchには11チャンネルが割り当てられています。「自動選択」をチェックしていると、本機が自動的に最適なワイヤレスチャンネルを選択します。
- 近距離で本機を2台以上使用する場合は、「自動選択」の✓をはずしてそれぞれ別のワイヤレスチャンネルを選んでください。

近くでワイヤレスLANを使用するときは

近くで「2.4GHz、IEEE802.11b」準拠のワイヤレスLANのアクセスポイントを使用するときは、本機の「ワイヤレスチャンネル」画面の **［自動選択］** をチェックした状態で、ワイヤレスLANのアクセスポイントのチャンネルを1、6、11のいずれかに設定してください。
それでも本機の画像などが正しく表示されないときは、本機の「ワイヤレスチャンネル」画面の **［自動選択］** の✓をはずし、ワイヤレスLANで設定しているチャンネル以外のチャンネルに変更してください。
たとえば、ワイヤレスLANのアクセスポイントが1チャンネル（Ach）であれば、本機はBch（6チャンネル）またはCch（11チャンネル）に設定します。

ご注意

ここで言っているアクセスポイントは、本機ベースステーションのワイヤレスLANアクセスポイント機能のことではありません。

ちょっと一言

ワイヤレスLANの設定について詳しくは、エアボードのホームページの「Q & A」(http://www.sony.co.jp/airboard/QA)をご覧ください。

本機のベースステーションとパソコンを連携して使う[PC関連設定]

本機のベースステーションとパソコンを連携して使うと、次のことができます。

- 本機のベースステーションをワイヤレスLANのアクセスポイントとして利用できます。
- 本機のベースステーションと同じLAN上にあるパソコンから、ベースステーションにつないだプリンターを使って印刷できます。

ワイヤレスLANを利用してPCをインターネットに接続するには

ワイヤレスLAN PCカードを取り付けたパソコンをインターネットに接続するとき、本機のベースステーションをワイヤレスLANのアクセスポイントとして利用できます。パソコンは、ワイヤレス通信で本機のベースステーションを経由してインターネットに接続します。

ワイヤレスLANを利用するには、パソコンにワイヤレスLAN PCカード（IEEE802.11b準拠）をインストールし、Windows環境やインターネット接続の設定、アクセスポイントの設定をする必要があります。また、本機側でも、「設定一覧」画面から［PC**関連設定**］－［**ワイヤレスLAN**］画面を表示し、本機をアクセスポイントとして動作させるための設定が必要です。

ベースステーションと同じLAN上にあるパソコンからベースステーションに接続されたプリンターを使って印刷するには

ベースステーションと同じLAN上にあるパソコンから、ベースステーションに接続されているプリンターで印刷することができます。印刷するには、本機側で、「設定一覧」画面から[PC**関連設定**]－[LAN**からの印刷**]画面を表示し、「ベースステーションに接続したプリンターをLAN（有線）のPCから利用」で[**する**]を選びます。

ご注意

マンションなどの集合住宅で、同じ回線事業者やプロバイダと集合契約している場合は、他の世帯で使われているPCからも本機につないだプリンターから印刷されてしまう可能性があります。
LAN上のPCから印刷したいときのみ「利用する」を選び、印刷が終わったら「利用しない」を選ぶことをおすすめします。
回線状況について詳しくは、マンションや集合住宅のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ワイヤレスLANやプリンターの設定について詳しくは、エアボードのホームページの「Q & A」(http://www.sony.co.jp/airboard/QA)をご覧ください。

本機をお買い上げ時の設定に戻す

本機を初期化することにより、お買い上げ時の設定に戻すことができます。
初期化すると、本機に保存されたデータはすべて消去されます。

ちょっと一言

メールチャンネルのサンプルメールやアルバムチャンネルのサンプル画像も消去されます。

初期化の前に

- ベースステーションの電源が入っているかを確認し、ベースステーションの近くで行ってください。
- 初期化を行っている間はバッテリーをはずさないでください。
- 初期化の途中でモニターが再起動されますが、初期化終了のお知らせが表示されるまで、そのままお待ちください。

1 **ベースステーションの電源は［入］、モニターの［電源］は［切］にする。**

2 **モニター上部の［消音］、［音量－］、［電源］ボタンを同時に押す。**

このとき、［**消音**］と［**音量－**］ボタンは押し続けてください。「設定 初期化」画面が表示されます。

3 **OK を選ぶ。**

モニターが自動的に再起動し、初期化されます。

メモリの残量を確認する

本体や“メモリースティック”、メモリーカードに残っているメモリの容量を確認できます。

1 インデックス画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

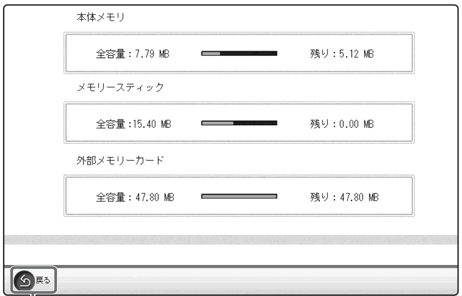
3 本体の設定 を選ぶ。

「本体の設定」画面が表示されます。

4 容量(メモリ) を選ぶ。

「容量（メモリ）」画面にメモリの「全容量」と「残り」が表示されます。

5 戻る を選ぶ。



戻る

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

ちょっと一言

「メモリースティック」と「外部メモリーカード」の容量は、“ メモリースティック ”やメモリーカードを挿入しているときのみ表示されます。

ご注意

- “メモリースティック”やメモリーカード表面に記載されている容量と実際に使用できる容量は異なります。画面上の「全容量」に表示された容量分のみ使用できます。
- 本体メモリや“メモリースティック”、メモリーカードの中には、設定データなどお客様自身で消去できないデータも含まれています。

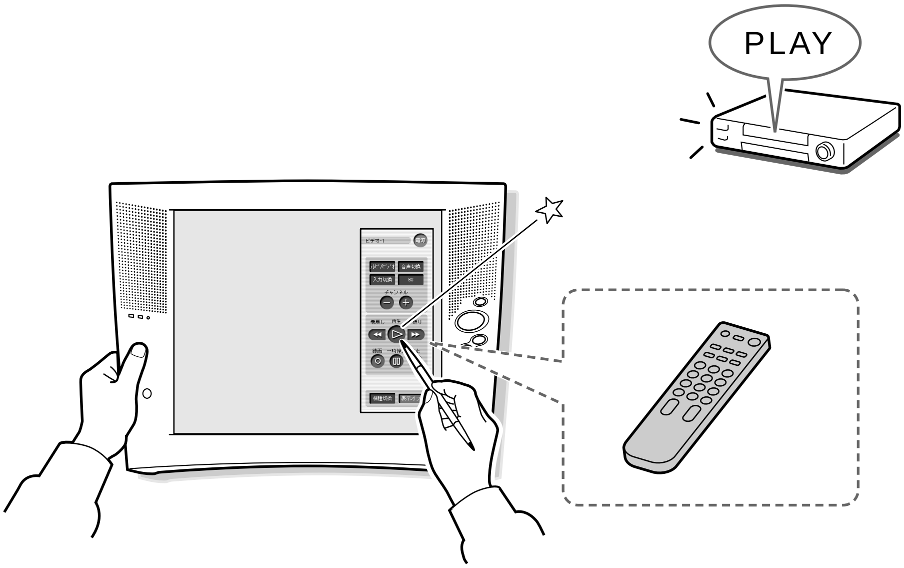
メモリの残量を増やすには

本体メモリの「残り」が少なくなったときは、次の方法で不要なデータを削除するとメモリの残量が増えます。

— キャッシュの消去（☞80ページ、「過去に表示したホームページをキャッシュから消去するには」）
— 送信メールの削除（☞92ページ、「送信箱からメールを消去するには」）
— 受信メールの削除（☞98ページ、「受信したメールを消去するには」）
— アルバム画像の削除（☞112ページ、「画像を消すには」）

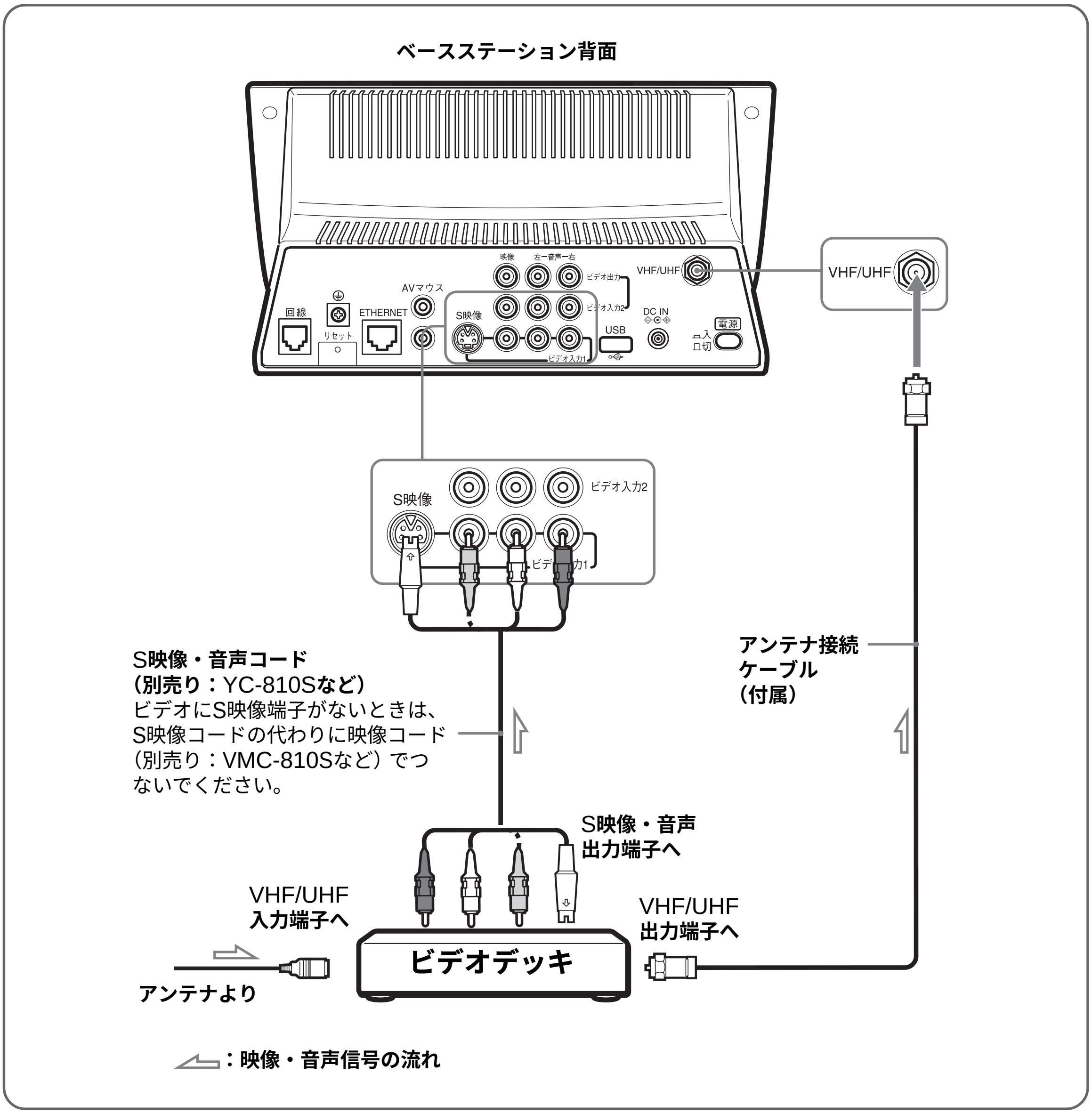
他機との接続と設定

この章では、ビデオデッキなど、他の機器とのつなぎかたについて説明しています。
接続した機器はエアボードのモニター画面に表示されるリモコンで操作できます。このための設定のしかたやリモコンの機能についても説明しています。



ビデオをつなぐ

ビデオデッキをつなぎます。ビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。



S映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

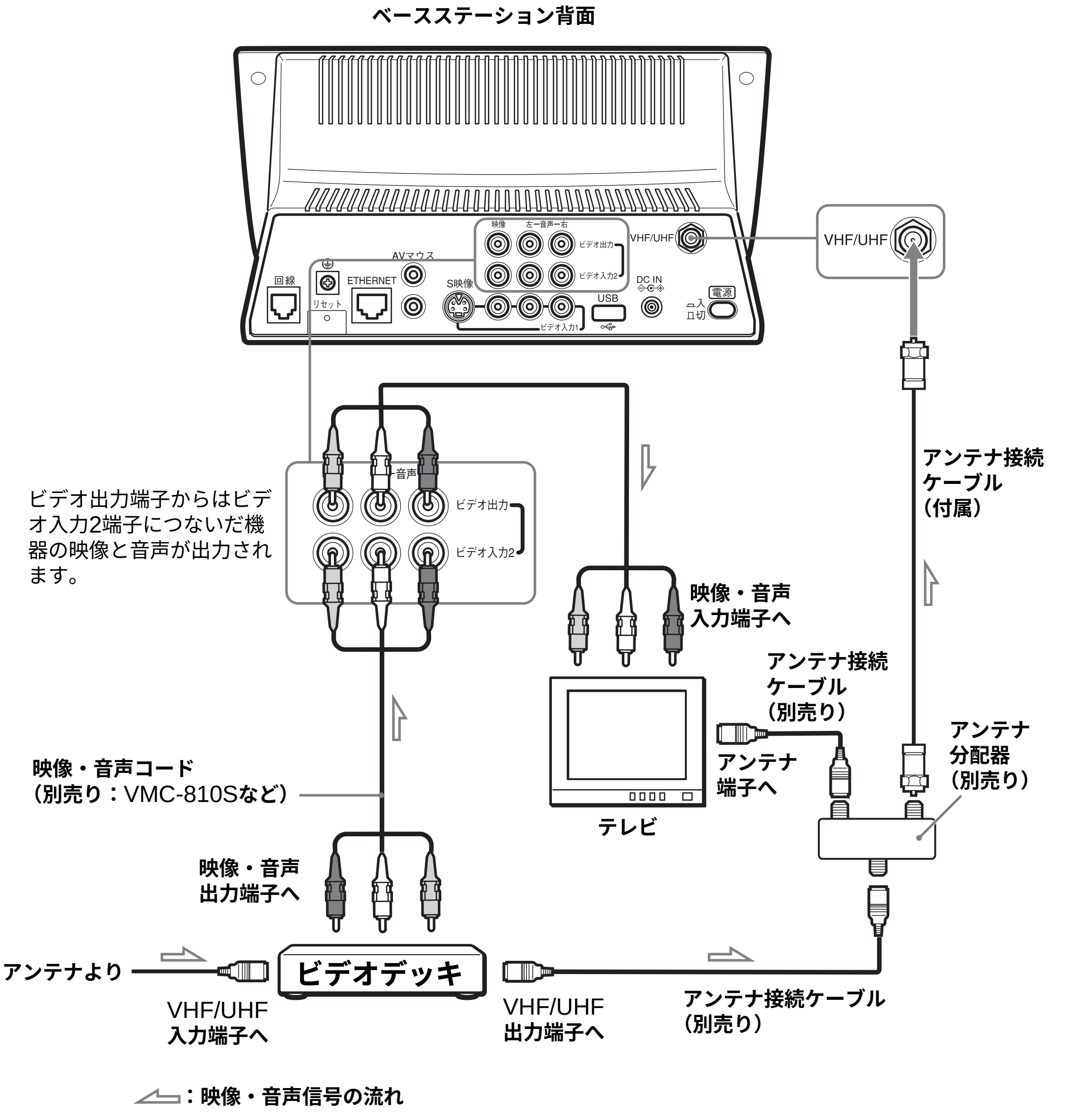
よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS映像端子につないでください。
S映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

ビデオを見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ❶**］ボタンを選びます。
また、本機のモニター画面にビデオデッキ用のリモコンを表示して操作できます。

テレビの映像・音声入力端子へビデオをつなぐときは

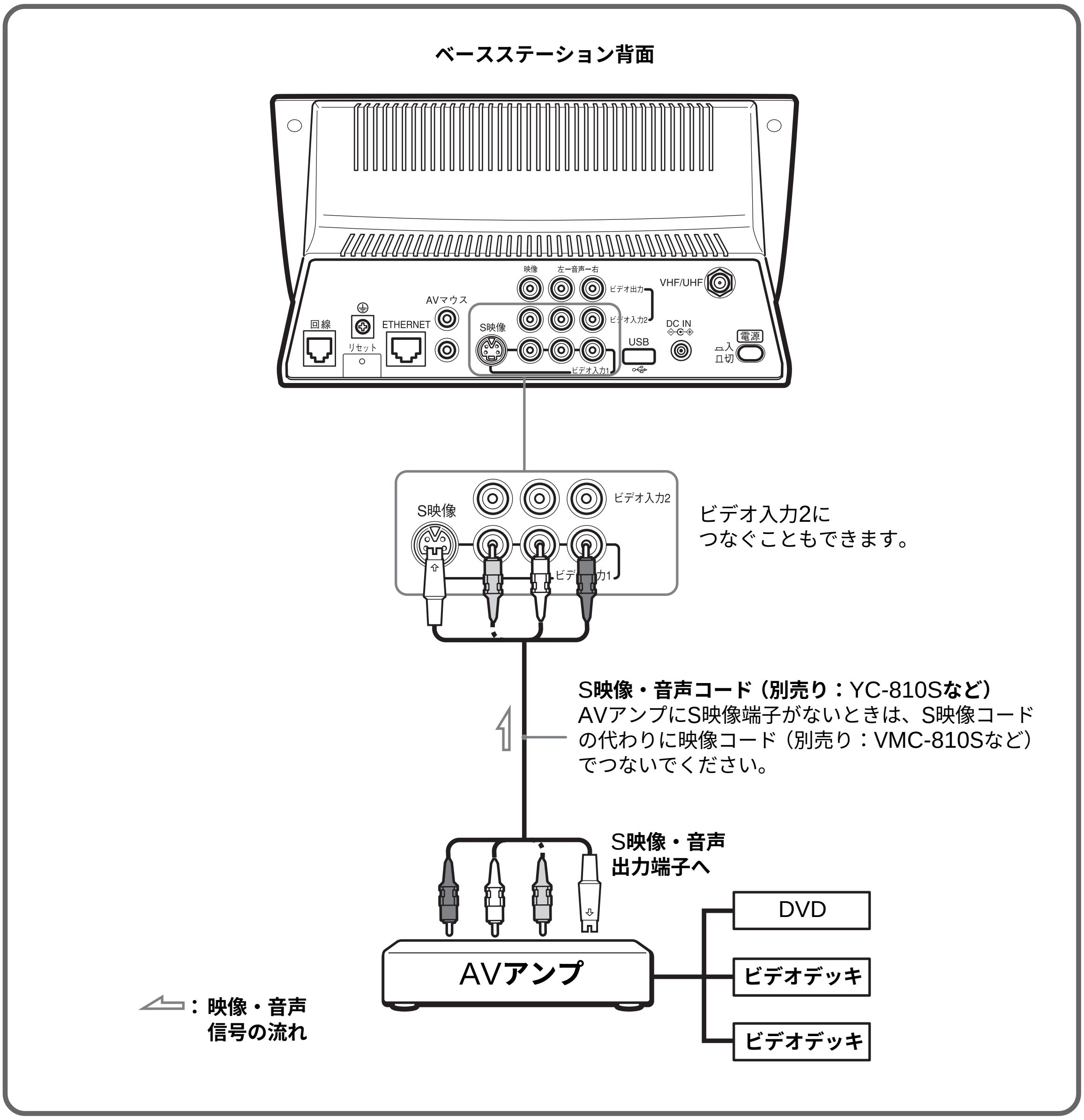
ビデオを本機のビデオ入力2端子へつなぎ、本機のビデオ出力端子をテレビの映像・音声入力端子へつなぎます。



ビデオを見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ2」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ❷**］ボタンを選びます。
また、本機のモニター画面にビデオデッキ用のリモコンを表示して操作できます。

AVアンプをつなぐ



AVアンプからの映像を見るには

モニター右側の［**チャンネル+/–**］ボタンを押して「ビデオ1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ❶**］ボタンを選びます。
また、本機のモニター画面にAVアンプ用のリモコンを表示して操作できます。

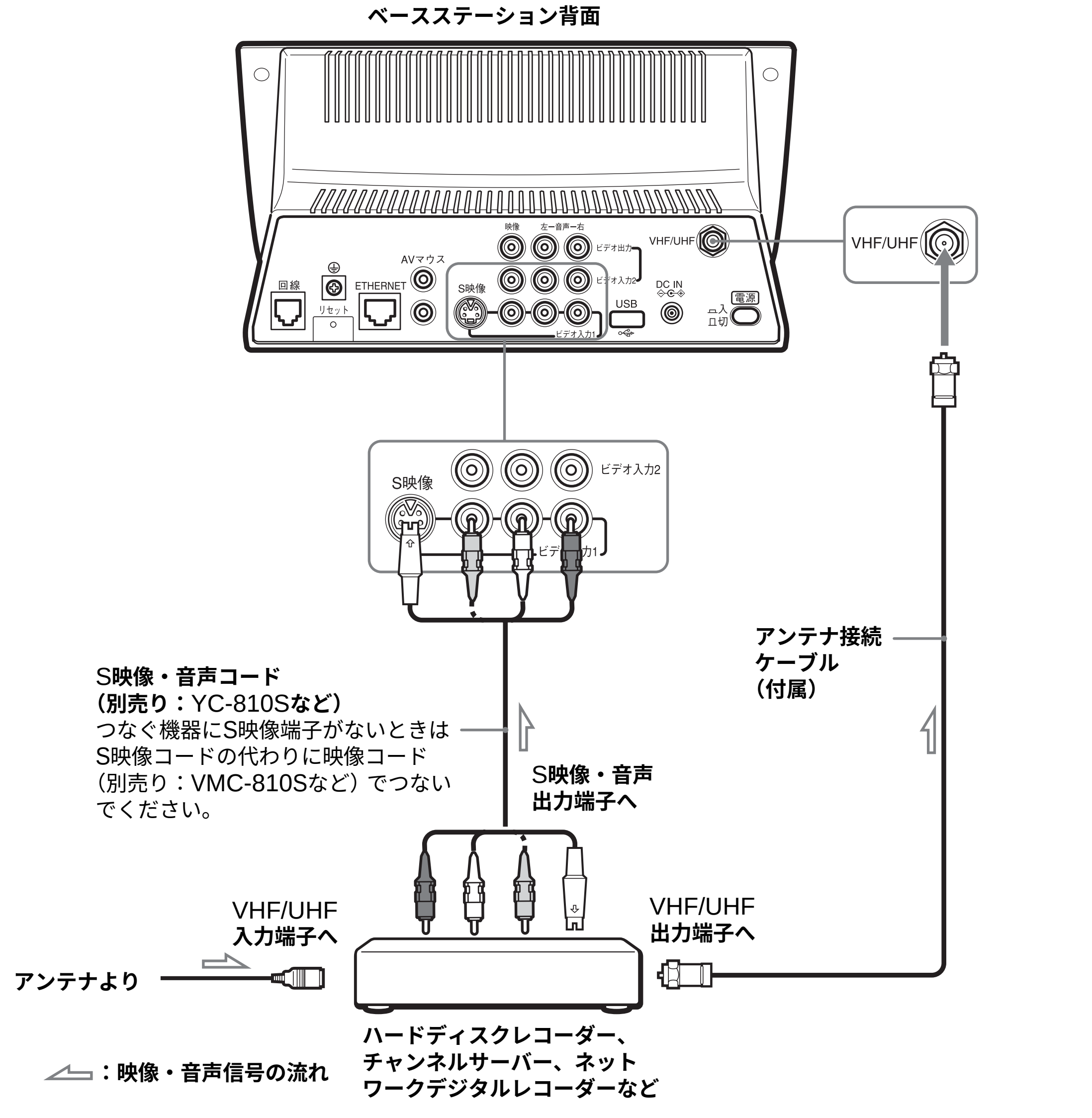
ちょっと一言

AVアンプをビデオ入力2端子につないだときは「ビデオ2」を選びます。

ビデオ以外の録画機器をつなぐ

ハードディスクレコーダーやチャンネルサーバー、ネットワークデジタルレコーダーをつなぐ

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

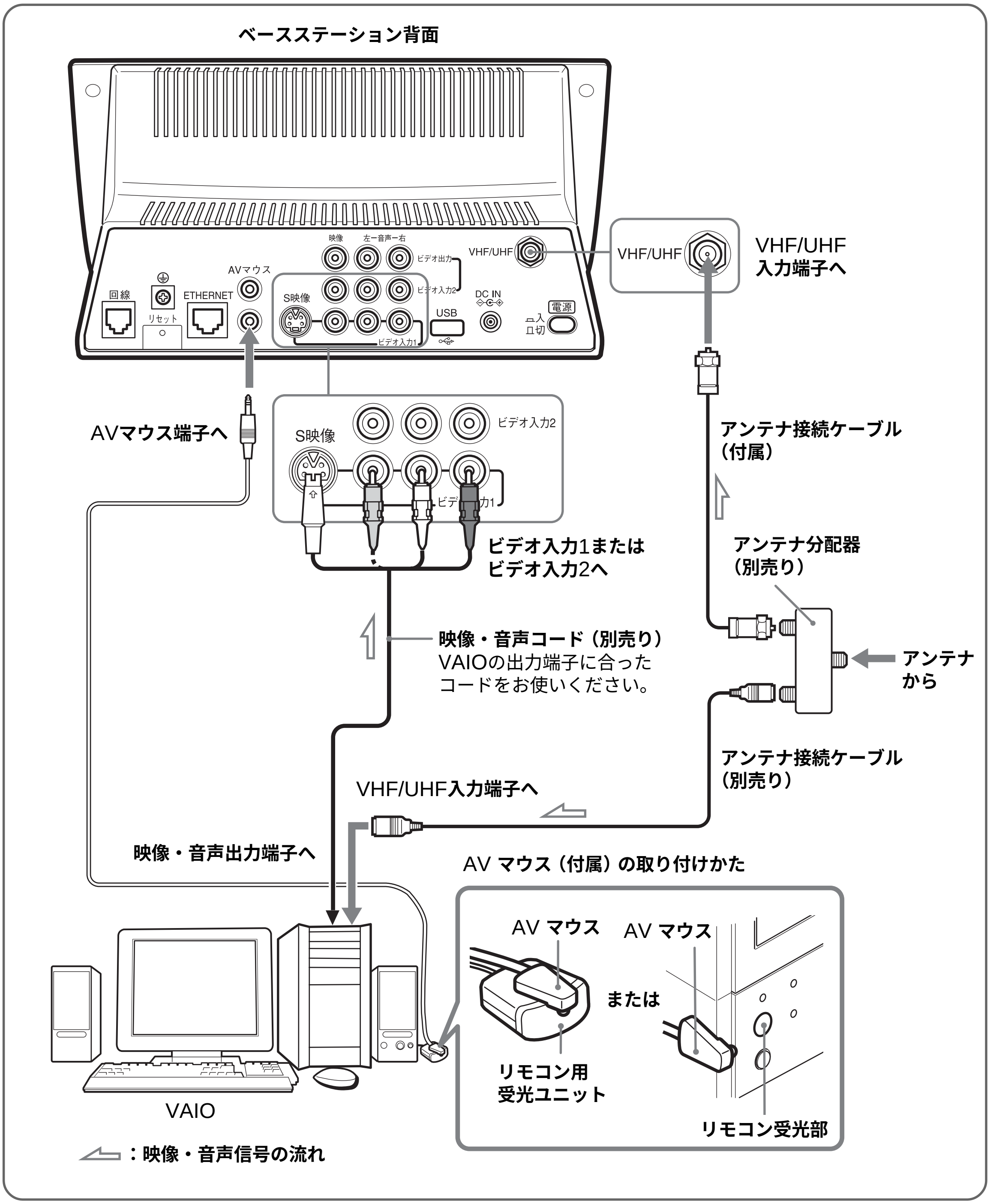


つないだ機器で録画した番組を見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ❶**］ボタンを選びます。

VAIOをつなぐ

映像・音声出力端子のあるVAIOをつなげます。



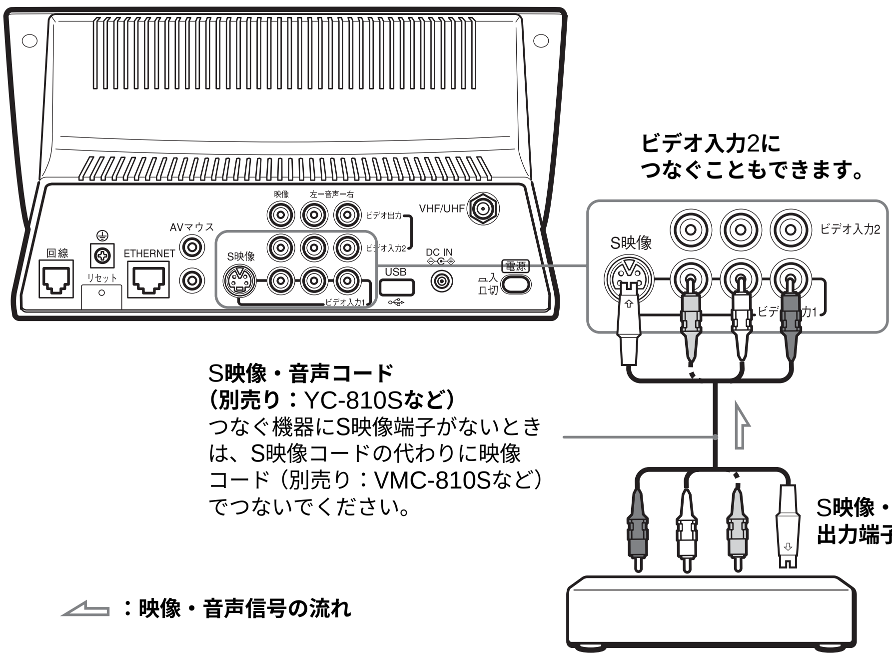
ご注意

AVマウスは、VAIOに接続した付属のリモコン用受光ユニット、
またはVAIO本体のリモコン受光部のそばに取り付けてください。

その他の機器をつなぐ

BSデジタルチューナー（BS•110度CSデジタルハイビジョンチューナー）やデジタルCSチューナー、ケーブルテレビのホームターミナル、DVDプレーヤー、DVDレコーダーなどがつなげます。
つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ベースステーション背面



DVDプレーヤー、DVDレコーダー、BSデジタルチューナー（BS•110度CSデジタルハイビジョンチューナー）、デジタルCSチューナー、ケーブルテレビのホームターミナルなど

つないだ機器の映像を見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ❶**］ボタンを選びます。
本機のモニター画面に、つないだ機器用のリモコンを表示して操作できます。

ちょっと一言

ビデオ入力2端子につないだときは「ビデオ2」を選びます。

デジタルCS放送を見るには

デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。

ケーブルテレビ放送を見るには

ケーブルテレビ会社と受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容を見ることができないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ご注意

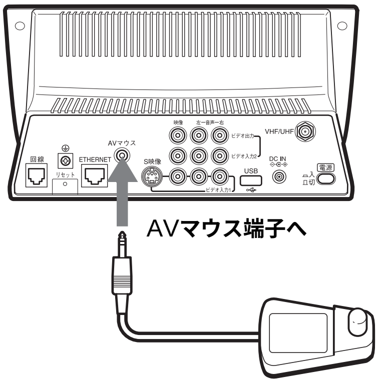
DVDプレーヤーをビデオデッキ経由で本機につないだときは、ビデオデッキの録画防止機能（コピーガード）が働き、DVDの映像が乱れたり、暗くなったりすることがあります。DVDプレーヤーは本機のビデオ入力端子に直接つないでください。

画面上のリモコンで他機器を操作する

ベースステーションにつないだ機器を画面上のリモコンで操作するための設定を行います。付属のAVマウスをつないだ機器に取り付けて操作します。
各機器の接続については、182ページ～187ページをご覧ください。

AVマウスの接続、設定をする

1 付属のAVマウスをベースステーションのAVマウス端子につなぐ。

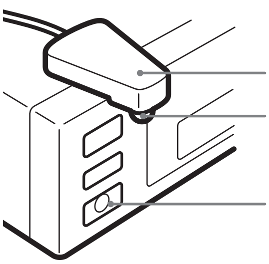


2 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

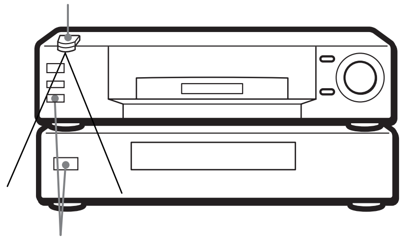
つないだ機器のリモコン受光部位置をその機器の取扱説明書で確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。



1台のAVマウスで2台の機器をコントロールするときは、AVマウスと機器を以下のように配置します。



ちょっと一言

- AVマウスがつないだ機器に届かない場合は、別売りの接続コードRK-G131（3m）で延長してください。
- ビデオなど、ソニー製品のリモコン受光部にはⓇマークが付いています。

3 インデックス画面を表示する。

4 設定 を選ぶ。

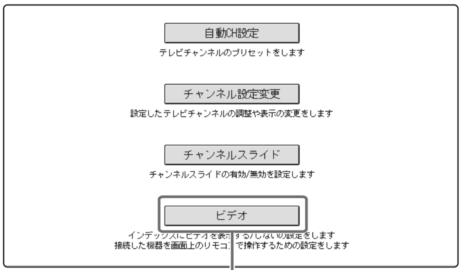


「設定 一覧」画面が表示されます。

5 **テレビ/ビデオ を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

6 **ビデオ を選ぶ。**



ビデオ

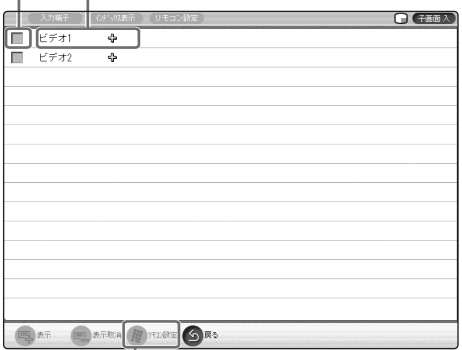
ビデオチャンネルリスト画面が表示されます。

7 **[ビデオ1](または[ビデオ2])のリスト部分を選ぶか、左の□を選んで✓をつけてから、リモコン設定 を選ぶ。**

▶ 機器をつないだ方のビデオチャンネルを選びます。

ここに✓をつけます。

リスト部分



リモコン設定

「設定 ビデオ1」または「設定 ビデオ2」画面が表示されます。

8 **上部中央の「メーカー」リストの中からつないだ機器のメーカー名を選ぶ。**

「メーカー」リスト

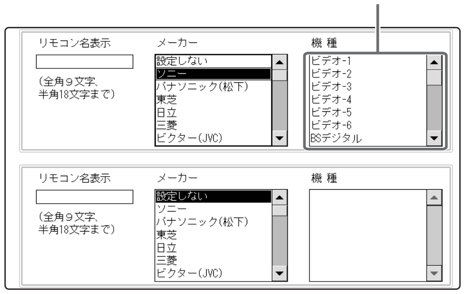


右上に「機種」リストが表示されます。

9 **右上の「機種」リストの中からつないだ機器を選ぶ。**

同じ機種がいくつかある場合は、-1から順番に設定してください。

「機種」リスト



「リモコン名表示」の欄に、選んだ機種名が表示されます。リモコン名は、画面上にリモコンを表示したときに表示されます。

リモコン名を変えるには、「リモコン名表示」の下の空欄を選んで、キーボードを使って変更します。

他機との接続と設定

つづく

ちょっと一言

キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字入力」（☞123ページ）をご覧ください。

1つの端子に外部入力機器を2台つなぐときは

本機に直接接続した機器を1台目として設定をしてください。

ビデオデッキとDVDなどが一体になった機器をつなぐときは

画面上部の「機種」リストから（一体型）と表示された機器を選ぶ（例：ソニー「ビデオ+DVD（一体型）」）と、画面の下側の「リモコン名表示」、「メーカー」、「機種」欄にも選んだ機器が自動的に表示されます。この場合、画面上のリモコンの［**デッキ切換**］ボタンを押してビデオ用のリモコンとDVD用のリモコンを切り換えて操作できます。

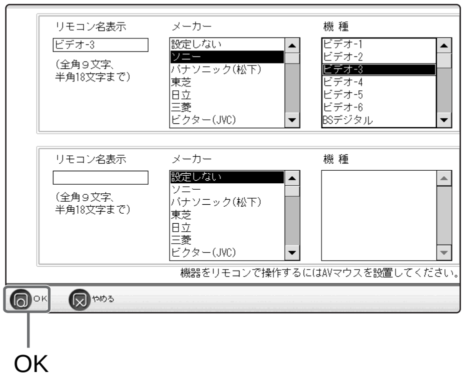
ソニーのネットワークデジタルレコーダーをつなぐときは

画面上部の機種リストから「NDR」を選ぶと、画面下部の「メーカー」、「機種」欄にも自動的に「ソニー」と「NDR」が表示されます。また、画面上部の「リモコン名表示」には「HDD(NDR)」、画面下部には「DVD (NDR)」と表示されます。この場合、画面上のリモコンの［**デッキ切換**］ボタンを押してHDD（ハードディスク）用とDVD用のリモコンを切り換えて操作できます。

ご注意

一体型の機器やネットワークデジタルレコーダーは、画面上部のリストにのみ表示されます。画面下部のリストには表示されません。

10 OK を選ぶ。



ビデオチャンネルリスト画面に戻ります。

11 戻る を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

12 終了 を選ぶ。

インデックス画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

13 ビデオ1（またはビデオ2）チャンネルを表示する。

14 リモコン を選ぶ。

15 リモコンの電源をくり返し押して、つないだ機器の電源入/切を確認する。



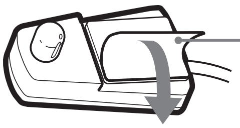
つないだ機器の電源入/切が確認できないときは、つないだ機器のメーカーまたは機種の設定が合っていない可能性があります。「AVマウスの接続、設定をする」の手順8（☞189ページ）からやり直してください。

それでも電源入/切が確認できないときは、本機のリモコン設定に対応していない機器です。

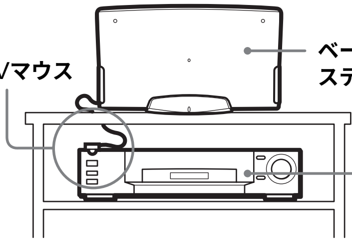
ご注意

「操作できる機種一覧」（☞210ページ）に記載されているメーカーの機器でも、一部操作できない機種もあります。

16 確認ができたら、AVマウス裏面のシールをはがす。



17 「AVマウスの接続、設定をする」の手順2（☞188ページ）で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。



ご注意

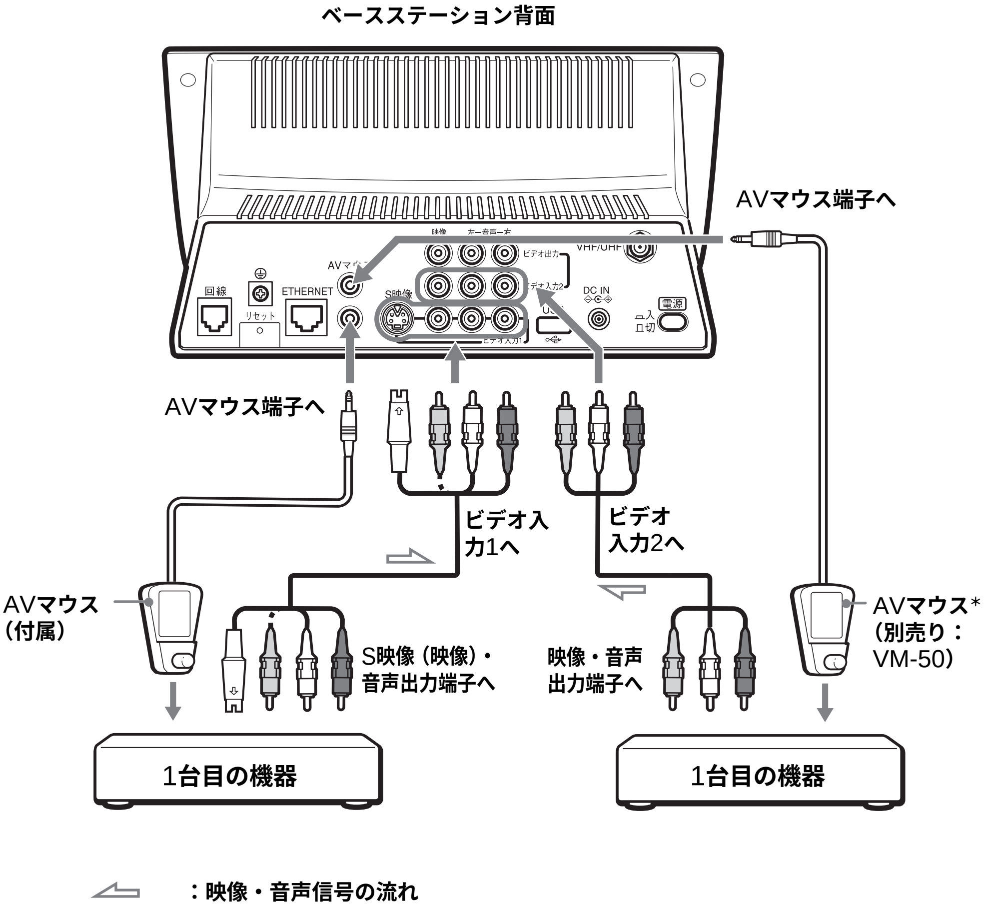
モニターの画面に「圏外」表示されているときは、リモコンボタンの表示がうすくなり、選べなくなっています。「圏外」表示が消えてから操作してください。

他機との接続と設定

つづく

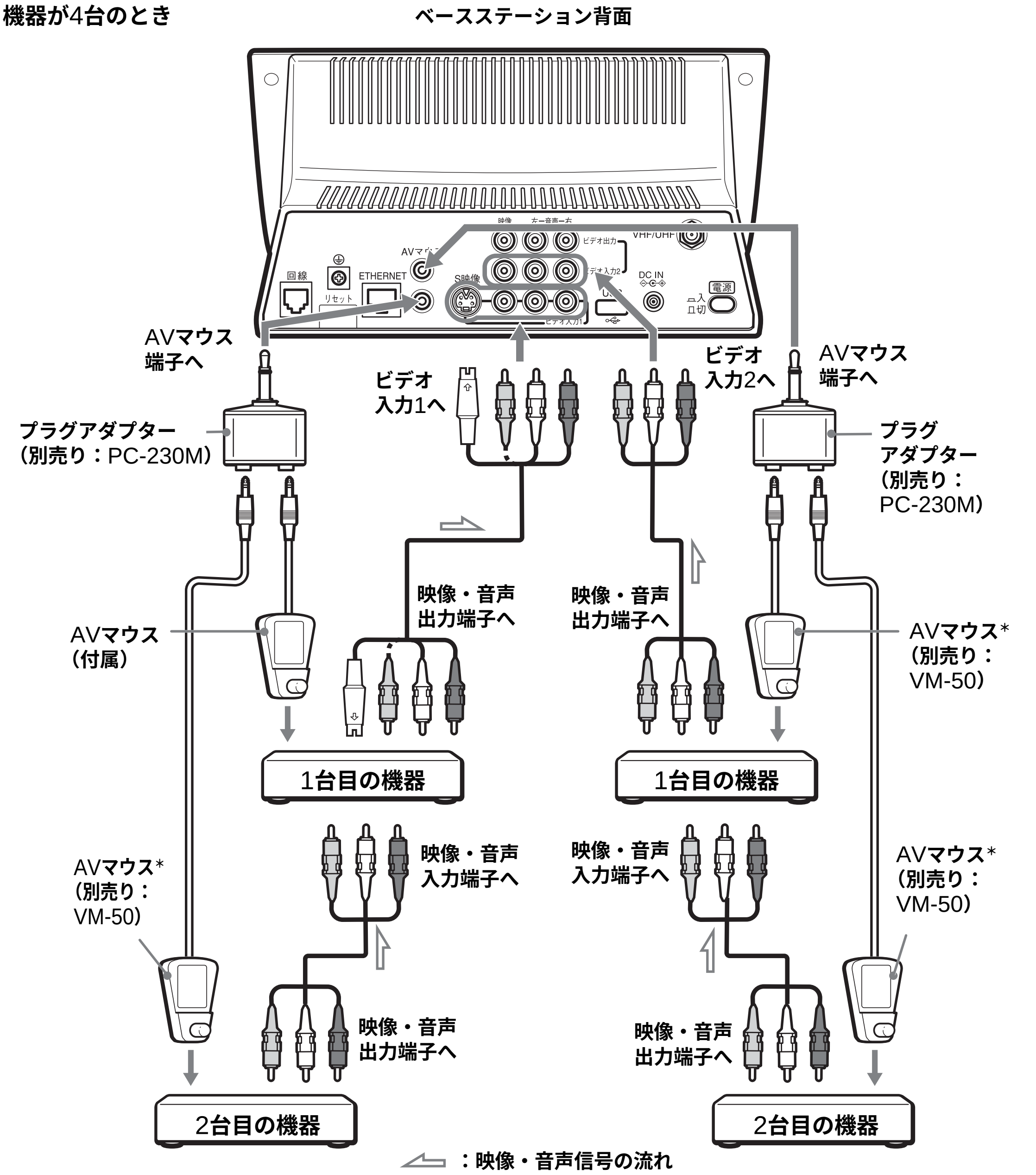
2台以上の機器にAVマウスを取り付ける

機器が2台のとき



＊ 1台のAVマウスのリモコン発光部が2台の機器のリモコン受光部にあたるように設置すれば、別売りのAVマウスを使わずに、付属のAVマウス1台だけで他の機器をコントロールすることも可能です。
（☞188ページ）

機器が4台のとき



ご注意

プラグアダプターを1つの入力に、重ねて2つ以上つながないでください。正常に動作しないことがあります。

＊1台のAVマウスのリモコン発光部がすべての機器のリモコン受光部にあたるように設置すれば、別売りのAVマウスを使わずに、付属のAVマウス1台だけで他の機器をコントロールすることも可能です。（☞188ページ）

つづく

画面上のリモコンで他機器を操作する（つづき）

2台以上の機器の設定をするには

設定する前に、「2台以上の機器にAVマウスを取り付ける」（☞192ページ〜193ページ）に従って機器を接続しておいてください。

1 「AVマウスの接続、設定をする」の手順4〜9（☞188ページ〜189ページ）を行い、1台目の機器を設置する。

2 「設定 ビデオ１」（または「設定 ビデオ2」）画面の下側の「メーカー」リストから2台目の機器（1台目の機器を経由してつないだ機器）のメーカーを選ぶ。

3 画面右下の「機種」リストの中から2台目の機器を選ぶ。
「リモコン名表示」欄に選んだ機種名が表示されます。

4 「AVマウスの接続、設定をする」の手順10〜15（☞190ページ）を行う。

5 AVマウスを、それぞれの機器の取り付け予定位置に固定する。

ご注意

つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、画面上のリモコンに表示されているボタンでも、つないだ機器にない機能については操作できません。

各機器の画面上のリモコンの機能

つないだ機器によって、表示されるリモコンが異なります。リモコンの使いかたについては、それぞれの表をご覧ください。画面上にリモコンが表示されていないときは、**［リモコン］**を選んでリモコンを表示してください。

ご注意

基本的には、つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、つないだ機器にない機能はボタンが画面上のリモコンに表示されていても、操作できません。

ビデオ



ボタン	機能
電源	ビデオの電源オン/オフ
テレビ/ビデオ	テレビ/ビデオ切り換え
音声切換	音声多重放送時の切り換え
入力切換	ビデオデッキへの入力の切り換え
BS	衛星放送受信
チャンネル－/＋	チャンネルの切り換え
	巻戻し
	再生
	早送り
	録画
	停止
	一時停止
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

つづく

BSデジタルチューナー（BS･110度CSデジタルハイビジョンチューナー）

[カーソル] タブと **[10キー]** タブで操作できる機能が変わります。



[カーソル] タブ

ボタン	機能
電源	BSデジタルチューナーの電源オン/オフ
番組表	番組表の表示
MYプラス	MYプラス画面の表示
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
戻る	前の画面に戻る
メニュー	メニュー画面の表示
衛星切換	衛星の切り換え
画面表示	画面表示を出す
ラジオ/データ	テレビ/ラジオ/独立データの切り換え
番組説明	詳しい番組情報の表示
映像切替	複数の映像信号の切り換え
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
d（連動データ）	連動データ放送画面の表示
カラーボタン	連動データ放送画面の操作
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊ 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

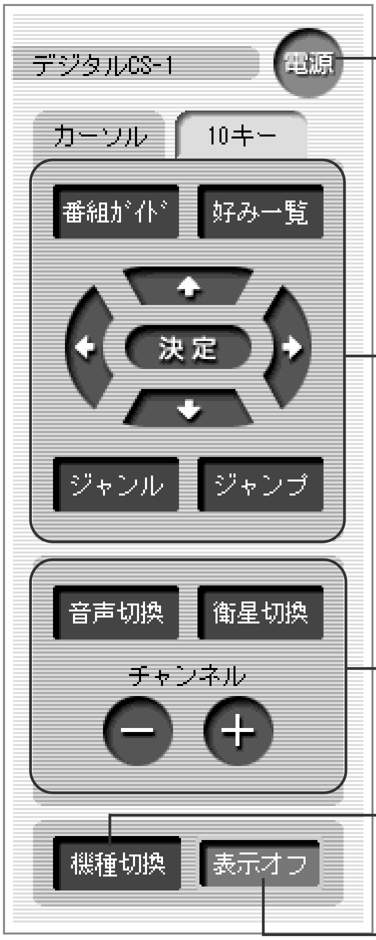


[10キー] タブ

ボタン	機能
1〜12	数字ボタン
10キー	10キーモードへの切り換え
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

デジタルCS（スカイパーフェクTV!）チューナー/ケーブルテレビのホームターミナル

[カーソル] タブと **[10キー]** タブで操作できる
機能が変わります。



[カーソル] タブ

ボタン	機能
電源	デジタルCSチューナー、ケーブルテレビのホームターミナルの電源オン/オフ
番組ガイド	番組表の表示
好み一覧	「好み一覧」に登録したチャンネルの選択
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
ジャンル	ジャンルの表示
ジャンプ	1つ前に見ていたチャンネルに戻す
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
衛星切換	衛星の種類切り換え
チャンネル−/＋	デジタルCSチューナー、ケーブルテレビのホームターミナルのチャンネル−/＋
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊2台目の機器を設定しているときのみ有効です。



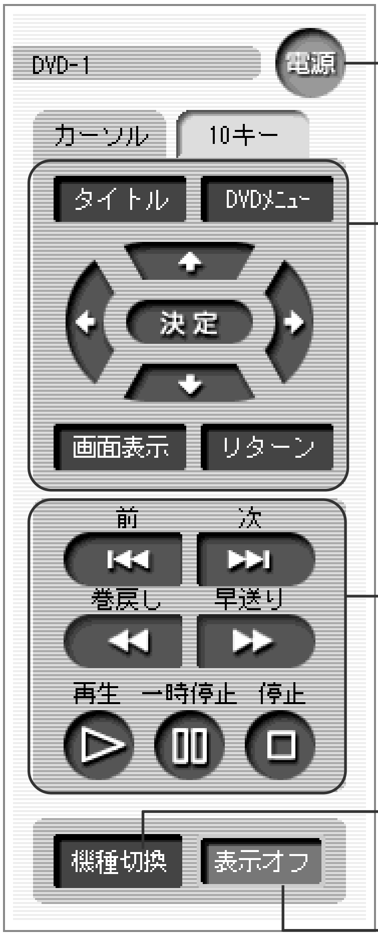
[10キー] タブ

ボタン	機能
0〜9	数字ボタン
選局	数字ボタンを押した後このボタンを選ぶとチャンネルが切り換わる

つづく

DVDプレーヤー

[カーソル] タブと **[10キー]** タブで操作できる機能が変わります。



[カーソル] タブ

ボタン	機能
電源	DVDの電源オン/オフ
タイトル	タイトル再生
DVDメニュー	DVDメニューの表示
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
画面表示	画面表示を出す
リターン	1つ前の画面に戻る
	再生中にチャプターや映像を戻す
	再生中にチャプターや映像を進める
	巻戻し（2倍速）
	早送り（2倍速）
	再生
	一時停止
	停止
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊ 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。



[10キー] タブ

ボタン	機能
0〜9	数字ボタン
決定	設定値を確定する
クリア	選んだ設定値を取り消す

DVDレコーダー

[メニュー] タブと **[録画]** タブで操作できる機能が変わります。



[メニュー] タブ

ボタン	機能
電源	DVDレコーダーの電源オン/オフ
トップメニュー	トップメニューの表示
メニュー	メニューの表示
タイトル	タイトル再生
プレイリスト	プレイリスト画面の表示
⏮	再生中にチャプターや映像を戻す
⏭	再生中にチャプターや映像を進める
⏪	早戻し
⏩	早送り
▷	再生
⏸	一時停止
■	停止
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
リターン	1つ前の画面に戻る
ツール	ツール画面の表示
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊ 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。



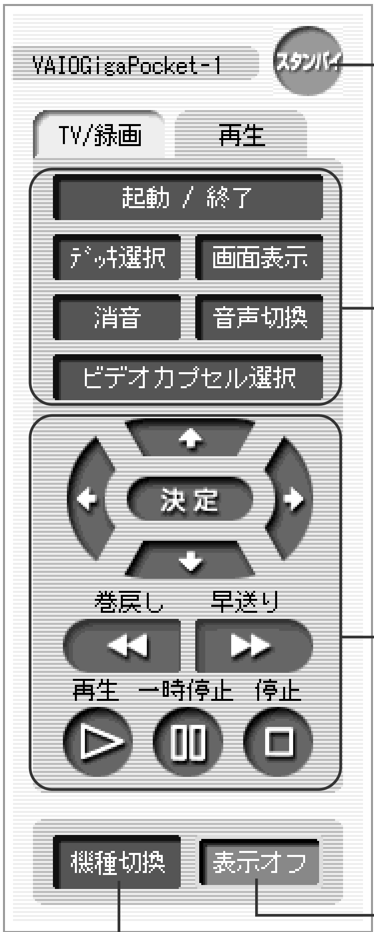
[録画] タブ

ボタン	機能
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
入力切換	DVDレコーダーへの入力の切り換え
システムメニュー	システムメニューの表示
録画モード	録画モードの切り換え
画面表示	画面表示の切り換え
時間表示	時間表示への切り換え
○	録画
⏸	録画一時停止
■	録画停止
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

つづく

VAIO Giga（ギガ） Pocket（ポケット）

[**再生**]タブと[TV/**録画**]タブで操作できる機能が変わります。

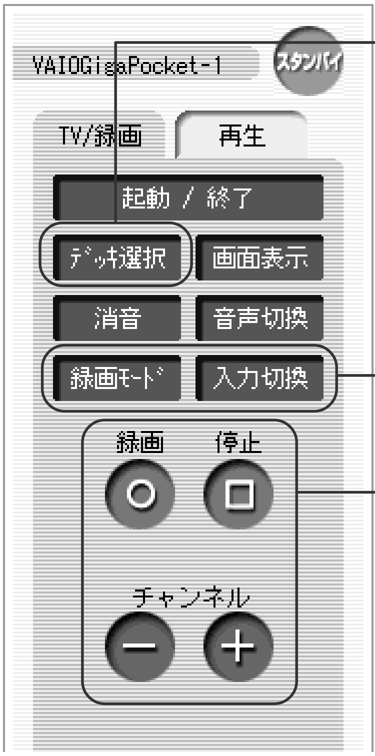


[再生]タブ

ボタン	機能
スタンバイ	Windowsのスタンバイ/スタンバイからの起動*1
起動/終了	Giga Pocketの起動/終了
デッキ選択(VIDEO)*2	TV/録画デッキと再生デッキの交互切り換え
画面表示	録画/再生状態をエアボード上に表示
消音	VAIOにつないだスピーカー音声の消音
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
ビデオカプセル選択(メニュー)	ビデオカプセル選択画面表示の入/切
↑/↓/←/→	ビデオカプセルの選択
決定	設定値の確定
◀◀	巻戻し
▶▶	早送り
▷	再生
❚❚	再生一時停止
■	再生停止
表示オフ	リモコンの表示を消す
機種切換	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え

*1 スタンバイ状態で**[スタンバイ]**ボタンを押したときの動作はVAIOの設定により、異なります。

*2 VIDEOボタンは、「TV/録画」デッキが表示されているとき、「再生」デッキへ切り換えます。



[TV/**録画**]**タブ**

ボタン	**機能**
デッキ選択 (TV)*	TV/録画デッキと再生 デッキの交互切り換え
録画モード	録画モードの切り換え
入力切換 (TV入力)	VAIOの外部入力端子へ 接続した機器の映像への 切り換え
	録画
	録画停止
チャンネル－/+	チャンネルの切り換え

＊　TVボタンは、「再生」デッキが表示されているとき、「TV/録画」デッキへ切り換えます。

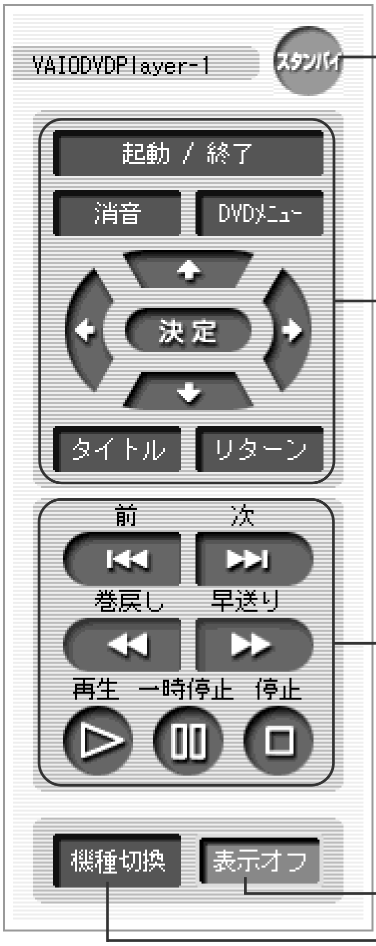
ちょっと一言

- [TV/**録画**]タブと[**再生**]タブは、リモコンの画面を切り換えるものです。Giga Pocketの「TV/録画」デッキと「再生」デッキを切り換えるには、[**デッキ選択**]ボタンを使ってください。
- エアボード上のリモコンの[**画面表示**]ボタンを選ぶと、エアボードモニターに録画や再生の状態が表示され、現在Giga Pocketで選ばれているデッキの状態を確認できます。
- 録画中にGiga Pocketを終了することはできません。録画を停止してから、Giga Pocketを終了してください。

つづく

画面上のリモコンで他機器を操作する（つづき）

VAIO DVD Player（プレーヤー）



ボタン	機能
スタンバイ	Windowsのスタンバイ/スタンバイからの起動*1
起動/終了	DVD再生ソフトの起動/終了
消音	VAIOにつないだスピーカー音声の消音
DVDメニュー	DVDメニューの表示
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
タイトル	タイトル再生
リターン	1つ前の画面に戻る
 *2	再生中にチャプターや映像を戻す
 *2	再生中にチャプターや映像を進める
 *2	巻戻し
 *2	早送り
	再生
	一時停止
	停止
表示オフ	リモコンの表示を消す
機種切換	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え

*1 スタンバイ状態で**[スタンバイ]**ボタンを押したときの動作はVAIOの設定により、異なります。

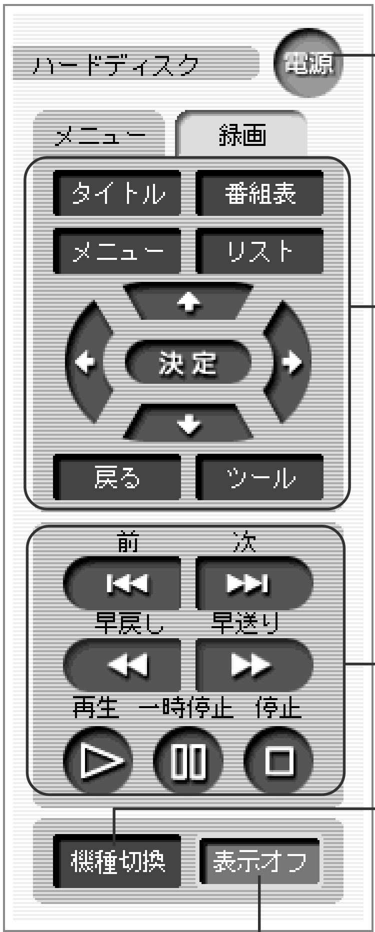
*2 VAIO DVD Player–2を選んだとき、これらのボタンの機能は以下のとおりです。

 ：長く押すと巻戻し、短く押すと再生中にチャプターや映像を戻す

 ：長く押すと早送り、短く押すと再生中にチャプターや映像を進める

ハードディスクレコーダー

[メニュー] タブと **[録画]** タブで操作できる機能が変わります。



[メニュー] タブ

ボタン	機能
電源	ハードディスクレコーダーの電源オン/オフ
タイトル	タイトル(録画した番組)の再生
番組表	番組表の表示
メニュー	メニュー画面の表示
リスト	リスト画面の表示
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
戻る	前の画面に戻る
ツール	ツール画面の表示
⏮	再生中に前のタイトルに戻る
⏭	再生中に次のタイトルに進む
⏪	早戻し
⏩	早送り
▷	再生
⏸	一時停止
■	停止
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊ 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。



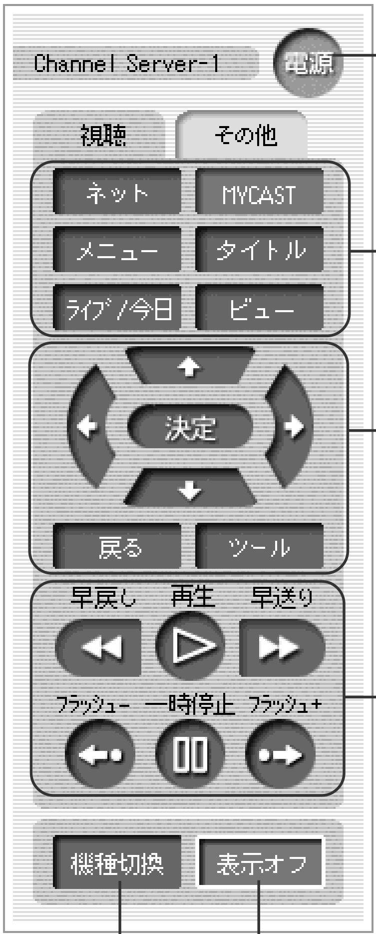
[録画] タブ

ボタン	機能
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
入力切換	入力端子の映像への切り換え
画面表示	カウンターやハードディスクの残量表示
録画モード	録画モードの切り換え
○	録画
■	録画停止
⏸	録画一時停止
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

つづく

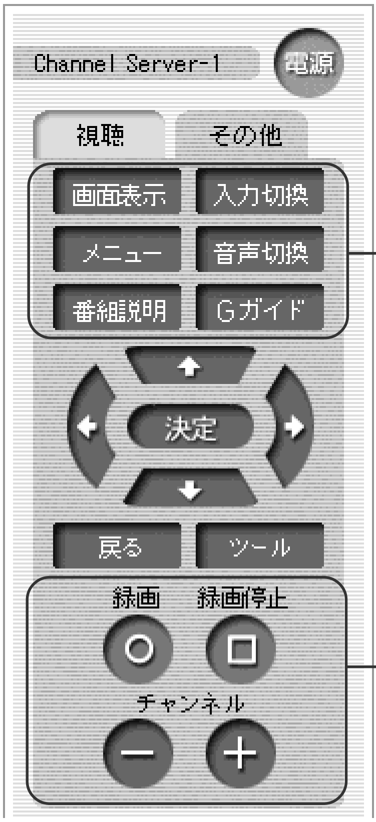
チャンネルサーバー

[**視聴**]タブと[**その他**]タブで操作できる機能が変わります。



[視聴]タブ

ボタン	機能
電源	チャンネルサーバーの電源オン/オフ
ネット	「カモン！マイキャスター」の表示
MYCAST	おすすめコミュニケーションの操作
メニュー	メニュー画面の表示
タイトル	タイトル一覧画面の表示
ライブ/今日	現在放送中の番組への切り換え
ビュー	ノーマルビュー、高速プレビュー、リストビューの切り換え
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
戻る	1つ前の画面に戻る
ツール	ツール画面の表示
	早戻し
	再生
	早送り
	約15秒前の画面に戻る
	再生一時停止
	約15秒後の画面に進む
表示オフ	リモコンの表示を消す
機種切換	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え



[その他]タブ

ボタン	機能
画面表示	画面表示の切り換え
入力切換	チャンネルサーバーへの入力切り換え
メニュー	メニュー画面の表示
音声切換	音声多重放送時の音声切り換え
番組説明	詳しい番組情報の表示
Gガイド	時刻別番組表の表示
	録画
	録画停止
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

つづく

ネットワークデジタルレコーダー（NDR）

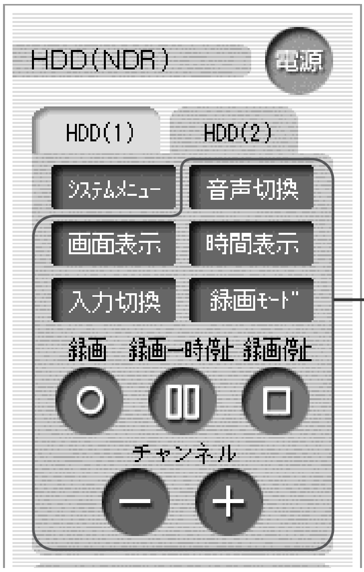
HDD（ハードディスク）用とDVD用のリモコンを[**デッキ切換**]ボタンで切り換えます。

HDD（ハードディスク）用リモコン

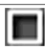


HDD(1)タブ

ボタン	機能
電源	ネットワークデジタルレコーダーの電源オン/オフ
システムメニュー	システムメニュー画面の表示
タイトルリスト	タイトルリスト画面の表示
	前のタイトルやチャプターに戻る
	次のタイトルやチャプターに進む
	早戻し
	早送り
	再生
	再生一時停止
	再生停止
	約10秒前の画面に戻る
	約10秒後の画面に進む
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
戻る	1つ前の画面に戻る
ツール	ツールメニューの表示
デッキ切換	ハードディスク/DVDの切り換えとリモコンの切り換えを同時に行う
	**「デッキ切換」**ボタンで表示されるデッキの映像と画面上のリモコンが一致しないときに選ぶと映像が切り換わる
表示オフ	リモコンの表示を消す



HDD(2)タブ

ボタン	機能
音声切換	音声切り換え
画面表示	画面表示の切り換え
時間表示	ハードディスクの残量表示を出す
入力切換	ネットワークデジタルレコーダーへの入力の切り換え
録画モード	録画モードの切り換え
	録画
	録画一時停止
	録画停止
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

DVD用リモコン





＊ネットワークデジタルレコーダーNDR-XR1では、このボタンは使えません。

DVD(1)タブ

ボタン	機能
電源	ネットワークデジタルレコーダーの電源オン/オフ
トップメニュー	タイトルメニューの表示
メニュー	DVD独自のメニューの表示
⏮	再生時に前のタイトルやチャプターに戻る
⏭	再生時に次のタイトルやチャプターに進む
◀◀	早戻し
▶▶	早送り
▶	再生
⏸	再生一時停止
■	再生停止
←•	約10秒前の画面に戻る
•→	約10秒後の画面に進む
↑/↓/←/→	カーソルの移動
決定	設定値の確定
戻る	1つ前の画面に戻る
ツール	ツールメニューの表示
デッキ切換	ハードディスク/DVDの切り換えとリモコンの切り換えを同時に行う
表示オフ	リモコンの表示を消す
⟲	**[デッキ切換]** ボタンで表示されるデッキの映像と画面上のリモコンが一致しないときに選ぶと映像が切り換わる

DVD(2)タブ

ボタン	機能
システムメニュー	システムメニュー画面の表示
タイトルリスト	タイトルリスト画面の表示
音声切換	音声の切り換え
字幕	字幕の切り換え
入力切換	ネットワークデジタルレコーダーへの入力の切り換え
録画モード＊	録画モードの切り換え
●＊	録画
⏸＊	録画一時停止
■＊	録画停止
チャンネル–/+	チャンネルの切り換え

つづく

AVアンプ



ボタン	機能
電源	アンプの電源オン/オフ
ビデオ1	アンプの入力切換：ビデオ1
ビデオ2	アンプの入力切換：ビデオ2
DVD	アンプの入力切換：DVD
TV/SAT	アンプの入力切換：テレビ、BS/CSチューナー
チューナー	アンプの入力切換：チューナー
シフト/バンド	プリセット切換/バンド切換
消音	消音
プリセット–/+	プリセットチャンネルの選択
音量–/+	音量調整
機種切換*	ビデオ入力1、2端子に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え
表示オフ	リモコンの表示を消す

＊2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

一体型機器のリモコン

下記のボタン以外のボタンの機能は、195ページ～208ページの単独の機器のリモコンと同じです。

例：ビデオ（一体型）



ボタン	機能
	**［デッキ切換］**ボタンで表示されるデッキの映像と画面上のリモコンが一致しないときに選ぶと映像が切り換わる
デッキ切換	一体型に入っている2つの機器の画像とリモコンを同時に切り換える

つづく

操作できる機種一覧

本機の画面上のリモコンで操作できる機種については以下の表をご覧ください。

メーカー名	機種名
ソニー	ビデオ–1〜–6 BSデジタル デジタルCS–1〜–3 ケーブルテレビ DVD–1〜–4 DVDレコーダー–1〜–3 VAIO Giga Pocket–1,–2 VAIO DVD Player–1,–2 ハードディスク Channel Server–1〜–3 NDR アンプ–1〜–3 ビデオ+DVD（一体型）
アイワ	ビデオ–1〜–3 デジタルCS–1〜–3 DVD アンプ–1〜–4
RCA	DVD
Winersat	ケーブルテレビ
NAD	アンプ–1,–2
NEC	ビデオ–1〜–4 デジタルCS ケーブルテレビ
オンキヨー	DVD アンプ–1〜–4
ケンウッド	アンプ–1〜–6
サイエンティフィックアトランタ（SA）	ケーブルテレビ
サンスイ	アンプ–1〜–4
SAMSUNG（三星）	DVD アンプ
三洋	ビデオ–1〜–4 アンプ
Schneider	アンプ–1、–2
SHERWOOD	アンプ–1〜–3
シャープ	ビデオ–1〜–3 DVD アンプ–1〜–4 BS+HDD（一体型）
シンクレイヤ（愛知電子）	ケーブルテレビ–1,–2
住友電気	ケーブルテレビ–1〜–3
DAEWOO（大宇）	アンプ
TECHNICS（松下）	アンプ–1〜–4
ティアック	アンプ
DXアンテナ	デジタルCS ケーブルテレビ
デノン（DENON）	DVD–1,–2 アンプ–1〜–6
東芝	ビデオ–1,–2 BSデジタル デジタルCS–1,–2 ケーブルテレビ DVD アンプ ビデオ+DVD（一体型） HDD+DVD（一体型）
ナカミチ	アンプ–1〜–2
パイオニア	ビデオ ケーブルテレビ DVD–1〜–3 DVDレコーダー アンプ–1〜–7
パナソニック（松下）	ビデオ–1〜–5 BSデジタル デジタルCS–1〜–3 ケーブルテレビ–1〜–3 DVD–1〜–3 DVDレコーダー–1,–2 アンプ–1〜–3 HDD+DVD（一体型）
Harman Kardon	アンプ
ビクター（JVC）	ビデオ–1〜–4 BSデジタル デジタルCS DVD アンプ–1〜–6 ビデオ+DVD（一体型）
日立	ビデオ–1,–2 デジタルCS–1〜–3 ケーブルテレビ DVD

メーカー名	機種名
フィリップス	ビデオ DVD アンプ
富士通ゼネラル	ビデオ ケーブルテレビ
フナイ	ビデオ ビデオ+DVD（一体型）
マスプロ	デジタルCS–1,–2
マランツ	アンプ –1, –2
三菱	ビデオ–1, –2, –4 DVD
ヤマハ	DVD アンプ–1〜–4
ユニデン	デジタルCS
その他	ビデオ–1,–2

1つのメーカーに同一機種が複数ある場合（例：ビデオ–1、ビデオ–2）はそれぞれのリモコンの信号が異なります。この場合は、同一機種名を順番に設定して、電源が入る機種を見つけてください。

ちょっと一言

ソニー製デジタルCS–2：この設定でソニー製BSアナログチューナーが操作できます。

ソニー製デジタルCS–3：この設定でソニー製MUSEデコーダーが操作できます。

他機との接続と設定

画面上のリモコンでVAIOを操作する

本機のモニター画面に表示されるリモコンでVAIOのGiga PocketとDVD再生ソフトが操作できます。
VAIOの接続については、186ページをご覧ください。

本機のリモコンに対応しているVAIO
Giga Pocket Ver. 4.3以降のソフトウェア搭載モデル

ちょっと一言
対応しているVAIOの最新情報は、エアボードのホームページの「Q & A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA）で確認できます。

AVマウスの接続、設定をする

「AVマウスの接続、設定をする」（☞188～191ページ）をご覧になって、接続と設定をしてください。
VAIOのリモコンの型番（リモコンの前面に記載）によって、「設定 ビデオ入力1」（または「設定 ビデオ入力2」）画面の「機種」リストから次の機種を選びます。

お手持ちのリモコン型番	「機種」リストから選ぶリモコンの種類
RM-GP1 RM-GP2 RM-GP3 RM-GP4	VAIO Giga Pocket –1 VAIO DVD Player –1
RM-MXG1	VAIO Giga Pocket –2 VAIO DVD Player –2

ちょっと一言
1台のAVマウスを接続して、Giga PocketとDVD再生ソフトの両方を操作したい場合、1台目の機器として「VAIO Giga Pocket –1または–2」、2台目の機器として「VAIO DVD Player –1または–2」を設定してください。1台目と2台目の機種を逆に設定することもできます。

設定例：

1台目の機種：VAIO Giga Pocket –1



2台目の機種：VAIO DVD Player –1

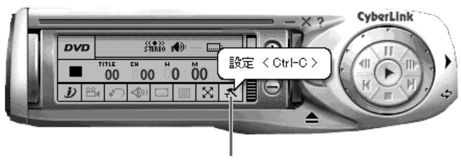
VAIOのDVD再生ソフトを設定する

リモコン操作の前にDVD再生ソフトの設定が必要です。お使いのDVD再生ソフトにより、設定方法が異なります。

PowerDVD XP for VAIOを設定する

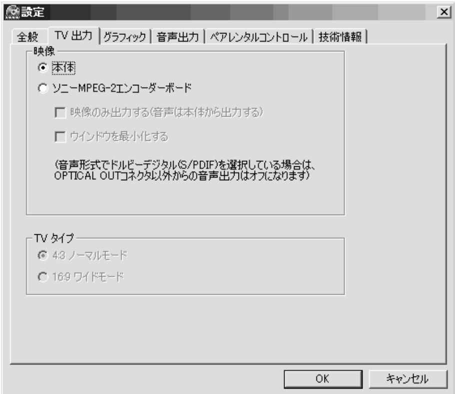
1 VAIO本体から、またはVAIOに付属のリモコンを使ってPowerDVD XP for VAIOを起動する。

2 PowerDVD XP for VAIOの[**設定**]をクリックする。

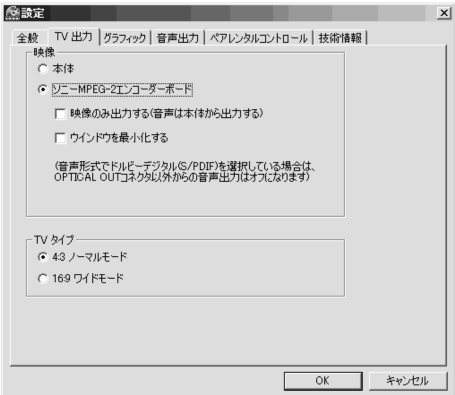


設定

3 [**TV出力**]タブを選ぶ。



4 [**ソニーMPEG-2エンコーダーボード**]を選び、[OK]をクリックする。



これで、本機の画面にDVDの再生映像が映り、本機上のリモコンでPowerDVD XP for VAIOを操作できます。

VAIO本体でDVDの再生映像を見るときは
[**TV出力**]タブの設定を[**本体**]に戻します。

Media Bar DVD Playerを設定する

1 VAIO本体から、またはVAIOに付属のリモコンを使ってMedia Bar DVD Playerを起動する。

2 Media Bar DVD Playerの［**設定**］をクリックする。



設定

3 ［**映像・音声出力**］タブを選ぶ。



4 [**ソニーMPEG2エンコーダーボード**]を選び、[OK]をクリックする。



これで、本機の画面にDVD の再生映像が映り、本機上のリモコンでMedia Bar DVD Playerを操作できます。

VAIO本体でDVDの再生映像を見るときは
［**映像・音声出力**］タブの設定を[**本体**]に戻します。

つづく

画面上のリモコンでGiga PocketやDVD再生ソフトを操作する

1 VAIOの電源を入れる。
DVDを再生するときは、DVDを入れる。

2 モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ1」（または「ビデオ2」）を選ぶ。

3 ビデオチャンネル画面下部の［**リモコン**］を選ぶ。
リモコンが表示されます。リモコンが違うときは、リモコンの［**機種切換**］を選びます。

4 リモコンの［**起動/終了**］ボタンを選ぶ。
VAIOのGiga PocketやDVD再生ソフトが起動します。（すでにVAIO上で起動しているときはこの操作は必要ありません。）

5 リモコンのボタンを使って操作する。
リモコンの各ボタンの機能は、「各機器の画面上のリモコンの機能」のVAIO Giga Pocket（☞200ページ）または「VAIO DVD Player」（☞202ページ）をご覧ください。

ご注意

DVD再生ソフトとGiga Pocketは同時に起動できません。

- DVD再生ソフトをVAIO上で起動しているときに、本機の画面上のGiga Pocketのリモコンを表示して[**起動/終了**]ボタンを選んでも反応しません。
- 本機の画面上のリモコンを操作しても反応がないときは、VAIO本体の画面を確認してください。

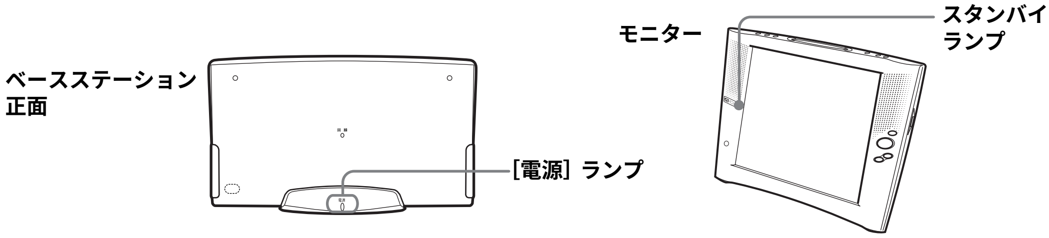
その他

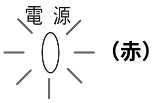
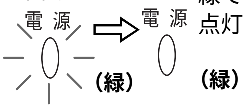
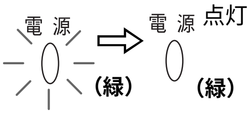
この章では、エアボードが正常に動作しないときの解決方法を説明しています。また、各部の名前や主な仕様など、エアボードの詳細情報も記載しています。その他、知りたい情報を探すときの助けとなる用語集や、ローマ字対照表、索引も記載しています。

自己診断表示について

本機使用中に異常が生じたときや、ワイヤレスの通信状態が悪いときは、電源を入れたときにベースステーション正面の**[電源]**ランプやモニター左側の⏻（スタンバイ）ランプが本機の状態をお知らせします。以下の表でランプの症状と対処のしかたを確認してください。症状が改善されない場合は、エアボードカスタマーサポートセンター（☞裏表紙）にお問い合わせください。

自己診断表示ランプ



<table>
<tr><th>ベースステーションの
[電源] ランプの症状</th><th>原因</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td>赤で連続点滅
</td><td>ハードウェアの異常の可能性があります。</td><td>❶ ベースステーションの電源の入/切を数回繰り返す。
❷ 症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>緑で5回点滅を3回繰り返し＊ 緑で点灯
</td><td>ワイヤレス通信が、2.4 GHzのワイヤレスLAN機器から電波の干渉を受けている可能性があります。
近くに他のエアボード、2.4 GHzのワイヤレスLAN機器などはありませんか？</td><td rowspan="2">❶ 電波の干渉の原因と思われる機器のワイヤレスチャンネルを変更する。（詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。）
❷ エアボードのワイヤレスチャンネルを変更して、受信状態の良好なワイヤレスチャンネルを選ぶ。（「ワイヤレスチャンネルを変更する」（☞177ページ）をご覧ください。）
❸ 電波の干渉の原因となる機器から、本機を離して使用する。
❹ ❶〜❸を行い、症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>緑で2回点滅を3回繰り返し＊ 緑で点灯
</td><td>ワイヤレス通信が、2.4 GHzのワイヤレスLAN機器以外の無線機器などから電波の干渉を受けている可能性があります。
近くに電子レンジや、2.4 GHzを使用したその他の無線機器はありませんか？</td></tr>
</table>

＊この症状は、ワイヤレスチャンネルの［自動選択］が選ばれているときのみ、発生します。

モニターの ⏻（スタンバイ） ランプの症状	原因	対処のしかた
赤で連続点滅 	ハードウェアの異常の可能性があります。	❶ モニターの電源の入/切を数回繰り返す。 ❷ 症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

手動で自己診断を行うには

圏外や画面の乱れが生じたとき、以下の手順で手動で電波の干渉の影響を確認することができます。

1 ワイヤレスチャンネルの[**自動選択**]の□に✓をつける。（☞177ページ）

2 モニター、ベースステーションの電源を切る。

3 ベースステーションのみ電源を入れる。

4 ベースステーション正面の[**電源**]ランプが点滅するか確認し、前ページの内容に従って対処する。

ご注意

自己診断表示ランプの点滅は、すべてのワイヤレス通信への干渉を特定できるわけではありません。ランプが点滅しなくても干渉がある場合もあります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検をしてください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンター（☞裏表紙）にご相談ください。

本機共通

症状	対処のしかた
モニターの電源が入らない。	• バッテリーを充電するか、クレードルに置いてください。（☞15ページ）
モニターの電源が突然切れた。 いつの間にか切れていた。	• スリープを設定していませんか？（☞63ページ） • バッテリーの寿命ではありませんか？バッテリーの寿命は、充電放電300回程度です。バッテリーを交換してください。
画面が突然暗くなった。	• インターネット/メール/アルバム/設定画面のときに、省エネタイマーが働き、画面のバックライトが消えています。画面に触れるか、いずれかのボタンを押すと画面が明るくなります。省エネタイマーを解除することもできます。（☞176ページ） • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。
画面が暗い。	モニター左側面の[☼ **(明るさ調整)**]つまみで調整してください。
画面内のボタンが反応しない。	• インデックス画面やメッセージダイアログが出ているときはインデックス画面やメッセージダイアログ内のボタン以外は選べません。 • 薄く表示されているボタンは選べません。
選んだものと違うボタンが反応する。	画面で触れた位置と画面の位置がずれています。タッチペンの位置を調整してください。（☞17ページ）
何の操作も受けつけない。	先の細いものでリセットスイッチを押してください。（☞238、240ページ）
パスワードがエラーになってしまう。	アルファベットの大文字、小文字は合っていますか？大文字、小文字は区別されます。
バッテリーがすぐになくなる。	• バッテリーの故障または寿命かもしれません。 • バッテリーは充放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。また高温下では寿命がさらに短くなります。（☞16ページ）
モニターの［**切断**］ボタンを押しても反応しない。	• LAN回線接続（アドレス手動/DHCP）のときは、[**切断**]ボタンは使えません。 • ブロードバンドルーターやISDNルーターのときは、ルーターの切断ボタンを押して切断するか、ルーターの設定画面をインターネットチャンネルで表示し、画面上で切断してください。
「ブーン」という音がする。	本機のモニターには､内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。
リモコンで操作できない。	• ⏻（スタンバイ）ランプが消灯しているときはリモコンの[**電源**]ボタンを押しても電源は入りません。（☞15ページ） • 電池を交換してください。（☞10ページ） • 電池の⊕、⊖を正しい向きに入れてください。（☞10ページ） • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明が当たっているときは、離して置いてください。

症状	対処のしかた
圏外表示が出ている。	• ベースステーションとの距離が離れすぎていませんか？ • ベースステーションの向きや高さを変えてみてください。 • ベースステーションの電源は入っていますか？ • 近くで電子レンジを使っていませんか？ 電子レンジ使用中は本機のワイヤレス通信が電波の干渉を受けますが、使用をやめると干渉はなくなります。 • ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞177ページ）。 • 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？ ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞178ページ） •「自己診断表示について」（☞216ページ）をご覧になり、本機の状態と対処のしかたを確認してください。
「デモモード」と表示され、チャンネルが自動的に切り換わってしまう。	デモモードになっています。 電源をいったん切り、[**回線切断**]ボタンを押しながら、[**電源**]ボタンを押して、再起動させてください。[**回線切断**]ボタンはairboardのロゴが表示されるまで押し続けてください。
充電ランプが点灯しない。	• バッテリーは入っていますか？ • モニターの電源が入っているときベースステーションでは充電されません。 • バッテリーの寿命です。
充電ランプが点滅している。	バッテリーの異常です。ACパワーアダプターを抜いてバッテリーを入れ直してください。 症状が改善しない場合は、エアボードカスタマーサポートセンターへお電話ください。

文字入力

症状	対処のしかた
画面上にキーボードが表示されない。	「設定 本体の設定 文字入力 キーボード」画面の「画面内キーボードを使用しない」に✓をつけていませんか？ キーボードの設定を確認してください。（☞138ページ）
キーボードが切り換えられない。	半角英数しか入力できない欄を入力するときは、キーボードの切り換えができません。
市販のキーボードを接続したのに入力ができない。	• 一部のPS/2キーボードやUSBやADBなど、PS/2以外の規格のキーボードは使えません。 • 文字入力方法が予測入力になっていませんか？市販のキーボードのときは、設定画面で連文節変換に設定し直してください。（☞138ページ） • キーボードのコネクターをしっかり差し込んでください。
市販のキーボードのキーが使えない。	本機では一部使用できないキーがあります。
市販のキーボードのタブ（Tab）キーが働かない。	本機ではタブ（Tab）キーによる文字入力欄の移動はできません。

つづく

テレビ／ビデオチャンネル共通

症状	対処のしかた
画像が映らない。	• ベースステーションの電源が入っているか確認してください。 • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。
斑点や点模様が走る。	• ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞177ページ）。 • 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？ ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞178ページ）
色がつかない、おかしい。	画質を調整してください。（☞59ページ）
画像は出るが音が出ない。	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示がでているときは[**消音**]ボタンか[**音量＋**]ボタンを選んで表示を解除してください。 • ヘッドホンがつながっていませんか？

テレビ／ビデオチャンネル共通

症状	対処のしかた
画像が停止したまま動かない。	• 画面メモが有効になっていませんか？[**メモ解除**]を選んでください。（☞61ページ） • ワイヤレス通信が途切れています。圏外表示の出ないところへ移動するか、ワイヤレスチャンネルを変更してください。（☞178ページ） • 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？ ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞178ページ）
画像が乱れる。	電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは、本機は電子レンジの干渉を受けません。
ブロック状に見えることがある。	• 画像処理によるもので、故障ではありません。症状がひどいときは、ワイヤレスの通信が電波の干渉を受けている可能性があります。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞177ページ） • 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？ ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞178ページ）

テレビチャンネル

画像が出ない

症状	対処のしかた
テレビのチャンネルが1つも映らない。	• ベースステーションの電源は入っていますか？ • アンテナ接続ケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。（☞11ページ） • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • 自動CH設定で近隣の違う地域を選び直してみてください。（☞18ページ）
特定のチャンネルだけが映らない。	チャンネル設定変更をして受信周波数を調整してください。（☞20ページ）
ケーブルテレビのチャンネルが正しく映らない。	本機では、C13〜C35チャンネルにのみ対応しています。チャンネルにスクランブルがかかっていたり、それ以外のチャンネルをご覧になりたいときは、ホームターミナルを本機のビデオ入力端子に接続してください。

きれいに写らない

症状	対処のしかた
画像が二重三重になる。	• アンテナ接続ケーブルをしっかりつないでください。（☞11ページ） • アンテナの位置、方向、角度を調節してください。
雪が降るような画面、薄い画面。	アンテナがこわれていたり曲がったりしていないか確認してください。
縞状のノイズが多い/雑音が多い。	• テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。（☞11ページ） • アンテナ接続ケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

ビデオチャンネル

症状	対処のしかた
つないだ機器の画像が出ない。	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • 接続コードをしっかりつないでください。赤、白、黄色、S端子の配線も確認してください。（☞182〜187ページ） • パソコン用モニターなどのノンインターレース信号は表示できません。 • [**ビデオ❶**]はビデオ入力1端子につないだ機器、[**ビデオ❷**]はビデオ入力2端子につないだ機器を選びます。正しい入力端子に接続されているか、確認してください。（☞240ページ） • ビデオ出力端子に接続していませんか？ビデオ入力1またはビデオ入力2端子に接続してください。（☞240ページ）

つづく

症状	対処のしかた
画面上のリモコンで操作できない。	• AVマウスをベースステーションのAVマウス端子に正しくつないでください。（☞188ページ） • つないだ機器本体のボタンを使って操作できるか確認してみてください。（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。） • AVマウスがリモコン受光部に向けて正しく設置されているか確認してください。（☞188ページ） • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは離して置いてください。 • 電波状態が悪いとき、正しく動作しないことがあります。 • 本機で、リモコンの設定をやり直してください。（☞188ページ）（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。） • 「設定 テレビ/ビデオ ビデオ」画面で「ビデオ1」と「ビデオ2」のリモコンが正しく設定されていますか？
ベースステーションのビデオ出力端子につないでいるが、映らない。	ビデオ出力したい機器をビデオ入力1端子に接続していませんか？ ビデオ入力2端子に接続してください。
ビデオチャンネルの画面保存ができない。	ビデオチャンネルでは画面保存はできません。

インターネットチャンネル

症状	対処のしかた
インターネットに接続できない。	• 回線設定、インターネット設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報に基づいて正しく設定してください。 • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • ルーターは正しく設定されていますか？ ルーターの設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。必要に応じて、回線事業者などにお問い合わせください。（☞30ページ） • 「現在の接続方法」は合っていますか？（☞48ページ） • 回線の設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 **LAN回線の場合** • イーサネットケーブルをしっかりつないでください。（☞28〜30ページ） • プロキシサーバーの設定は正しいですか？（☞50ページ）ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 • 正しいイーサネットケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ケーブルの種類については接続機器の取扱説明書、または回線事業者にお問い合わせください。

症状	対処のしかた
インターネットに接続できない。（つづき）	• ルーターやADSLモデムの設定は正しいですか？ • 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。 ADSLで**接続している場合** • 正しいイーサネットケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ • スプリッターのDSLポートとTEL (TELEPHONE) ポートを間違えていませんか？（☞30ページ） • 機器の取扱説明書を参照し、ADSLモデムのランプが正しく点灯していることを確認してください。 ISDN**で接続している場合** • ご家庭の電話とパソコンが使用中など、他で同じ電話回線をすでに2回線使用していませんか？ **電話回線の場合** • テレホンコードをしっかりつないでください。（☞32〜34ページ） • 電話回線の種類（「トーン」または「パルス」）の設定を確認してください。（☞41ページ） • ご家庭の電話が使用中など他で同じ電話回線を使用していませんか？ • アクセスポイントが混んでいるかもしれません。メッセージダイアログの[**やめる**]を選び、少し時間を置いてもう一度接続し直してください。 • 回線状況が悪い可能性があります。電話回線の設定画面で[**モデム通信速度**]を33.6kbpsに切り換えてください。（☞43ページ） • 電話回線の状況が極端に悪いのかもしれません。（電話をかけると雑音が入る、自分の声にエコーがかかる、声が極端に小さいなどの症状はありませんか。）電話会社にご相談ください。
インターネットに接続しようとすると、「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というエラーが出て接続できない。	• ケーブルが抜けていないか確認してください。 • ご利用の回線事業者と契約上の問題があるか、回線事業者のサーバーに障害が発生している可能性があります。ご利用の回線事業者へお問い合わせください。 • 回線の設定から「LAN回線（アドレス手動／DHCP）」を選び、「自動設定（DHCP）」に再度✓をつけてください。（☞44ページ） • 「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞44ページ）をご覧になり、［自動設定(DHCP)］の✓を外して、回線の設定をしてください。
接続していたのに突然切れた。	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • ワイヤレスLANで本機に接続しているパソコンが切断処理をしていませんか？ **電話回線／LAN回線（PPPoE）の場合** • 自動回線切断機能が働いていませんか？ **ルーターを使用している場合** • ルーターの自動回線切断機能が働いていませんか？
ホームページの一部が表示されないことがある。	• 場合によって画面表示の一部が欠けてしまうことがあります。[**更新**]を選んで再読込をしてください。 • 画像ファイルのリンクが切れている場合は、画像が正しく表示されません。

つづく

症状	対処のしかた
ホームページの文字が正しく表示されない。	• **[更新]**を選んで再読込してください。 • **[戻る]**、**[進む]**などを選んで、いったん違う画面を表示した後、もう一度そのホームページへ戻ってみてください。それでも正しく表示されない場合は、電源を切ってから入れ直してください。 • 本機で対応していない言語を表示している場合は、文字が正しく表示されません。
リンクを押してもページが表示されない。	• 本機で対応していない形式のファイル（音声、ムービーファイル、エクセル、PDF形式などのファイル）は表示できません（html、JPEG、GIF、PNGのみ対応）。また、Flash以外のプラグインに対応したホームページは表示できません。 • Flashを使っているホームページを表示する場合、「設定 インターネット ホームページ」画面で「Flashコンテンツを見る」に✓をつけてください。（☞50ページ） • JavaScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「設定 インターネット ホームページ」画面で「JavaScriptを有効にする」の✓をはずして無効にすると正しく表示されることがあります。(通常は「JavaScriptを有効にする」に✓をつけ、有効にしておいてください。)（☞50ページ） • JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。 • リンクを押して別のウィンドウが開くホームページの場合は、本機では表示できないことがあります。
ホームページの一部の画像が表示されない。	• **[更新]**を選んで再読み込みしてください。 • で表示されるファイルは本機では表示できません。 • ファイルサイズが大きい画像の場合は表示できないことがあります。 • 本機では、JPEG、GIF、PNG以外の画像ファイルを表示できません。 • インターネットチャンネルではMPEG1の動画ファイルは表示できません。 • 回線が混んでいて転送に時間がかかる場合があります。そのまま待つか、しばらくたってから**[更新]**を選んで再読み込みしてください。
接続しているのにホームページが表示されない。	• アクセスポイントやサーバーが混んでいる場合があります。少し時間を置いてもう一度接続し直してください。 • Flashを使っているホームページを表示する場合、「設定 インターネット ホームページ」画面で「Flashコンテンツを見る」に✓をつけてください。（☞50ページ） • Flashコンテンツに付属しているMP3の音声は再生できません。 • アドレスを確認してください。 • JavaScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「設定 インターネット ホームページ」画面で「JavaScriptを有効にする」の✓をはずして無効にすると正しく表示されることがあります。(通常は「JavaScriptを有効にする」に✓をつけ、有効にしておいてください。)（☞50ページ） • JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。

症状	対処のしかた
マークしたいホームページがマークできない。	• フレームに対応したホームページの中には、アドレスがそのページのものではないときがあります。
ボタンが押せない。	• ホームページの読み込み中はボタンが反応しにくくなることがあります。ホームページの読み込みが完了してからボタンを選んでください。 • ホームページの読み込みが完了しないうちに、インターネットチャンネルの[**保存**]ボタンを選ぶと、[**ホームページ全体を保存**]がうすく表示されて選べないことがあります。ホームページの読み込みが完了してからやり直してください。
ホームページに「入会／登録」とでてきたら	ホームページによっては本機では「入会／登録」ができないものがあります。
[**ホーム**]を選んでも何も表示されない。	「ホーム」が設定されていません。ホームにしたいホームページの場所（アドレス）を直接入力してください。（☞49ページ）
ホームページ中に　という表示が出る	本機ではFlash以外のプラグインには対応していません。プラグインを使用したホームページでは、画面の一部に　が表示されることがあります。
「このホームページは読込みできませんでした。」というメッセージダイアログが表示される。 リストを選んでも画面が反応しない。 ボタンを選んでもページが表示されない。	次のいずれかの可能性があります。 • 本機で対応していない形式のファイルやJavaScriptを使用したホームページである。 • WWWサーバーに接続できなかった。 WWWサーバーに接続できなかった場合は、時間をおいて再度接続してみてください。
「SSLサーバーの認証エラーです。証明書の有効期限が切れています。」というメッセージダイアログが表示される。	日時の設定が正しくないと表示されることがあります。時計を合わせてください。（☞25ページ）
「WWWサーバーに接続できません。」というメッセージダイアログが表示される。	プロキシサーバーの設定は正しいですか？（☞50ページ）ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

メールチャンネル

症状	対処のしかた
メールの送受信ができない。	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • メールの設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報を確認してください。 • 複数の相手に送るときは、送り先のアドレスをカンマで区切ってください。 • 多数のアドレスにメールを送るときは、メールを何回かに分けて送ってください。 • ネットワークの設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。
セキュリティのパスワードを忘れてしまった。	いったんセキュリティパスワードを設定すると消去や変更にもそのパスワードの入力が必要です。エアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。（修理が必要です。）

つづく

症状	対処のしかた
「画像の選択」画面で、あるはずの画像が表示されない。	• 画像を保存してある場所は合っていますか？[**切換え**]を選んで、本機と“メモリースティック”を切り換えてください。 • 画像のファイルサイズが制限を越えている場合、「画像の選択」画面には表示されません。 • アルバムの画像一覧画面で や (添付不可の画像や動画）の付いている画像はサイズオーバー（約4MB以上）のため添付できません。 • パソコンで初期化した“メモリースティック”の場合、本体では表示できないことがあります。本機で初期化してください。
受信メールの文字が正しく表示されない。	受信したメールに特殊な文字が使用されていると正しく表示できません。またHTML形式など特殊なメールも正しく表示できません。差出人に確認してください。
メールの自動送受信ができない。	• モニターの電源が切れていないと行われません。モニター上部の[**電源**]ボタンを押して電源を切ってください。（☞107 ページ） • ［ミーメール］用“メモリースティック”が挿入されているときは行われません。［ミーメール］用“メモリースティック”を抜いてください。（☞151ページ） • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • ベースステーションの電源が入っていないときは、自動送受信は行われません。ベースステーションの電源を入れてください。 • 本体容量（メモリ）がいっぱいのときは、自動送受信は行われません。メモリの残量を確認し（☞180 ページ）、不要なデータは削除してください。
メールに添付された画像に が表示される。	• 本機で表示できないJPEG、GIF、BMP、PNG、MPEG1以外の画像ファイルです。対応しているソフトウェアの入っているパソコンに転送すれば表示できます。 • 画像が壊れています。
見覚えのない英文メールが届いた。	• 存在しないメールアドレスに誤って送ってしまった場合､エラーを通知するメールが送られてきます。メールアドレスを確認してください。

アルバムチャンネル

症状	対処のしかた
画面に が表示される。	• 本機では、JPEG、GIF、BMP、PNG、MPEG1画像ファイルのみ表示できます。また、これらの表示できる画像ファイルでも、ファイルサイズが大きい場合は正しく表示できないことがあります。 • 画像が壊れています。
保存した画像が表示されない。	• 画像を保存してある場所は合っていますか？[**切換え**]を選んで、本体と“メモリースティック”、メモリーカードを切り換えてください。 • パソコンから“ メモリースティック ”やメモリーカードに保存した画像のときは、正しいフォルダに保存したか確認してください。（☞158ページ）
保存した画像が画像一覧の左上に表示されない。	• 日時の設定を確認してください。（☞25ページ）
スライドショーができない。	• 1枚の画像だけに がついていませんか？ をはずすか、2枚以上の画像に をつけてください。
お絵かきしている画像が見えなくなった。	• [**明るく**]や[**暗く**]をくり返し押すと、元の画像が見えなくなることがあります。[**最初から**]または[**仮まで戻**]を選んでください。

印刷

症状	対処のしかた
[**印刷**]ボタンを押しても反応がない。	メッセージダイアログが出ているときは、印刷ボタンを押しても印刷できません。
[**印刷**]ボタンを押したときに表示される印刷の選択画面でボタンが選べないものがある。	ボタンの表示が○のものは選択できません。
「プリンターの準備ができていないようなので印刷を中断しました」というメッセージダイアログが出る。	エプソン、日本ヒューレット・パッカード製のプリンターをお使いの場合、インクカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。
印刷の色合いがおかしかったり、文字がかすれたりする。	• インクカートリッジに問題があるようです。お使いのプリンターの取扱説明書をご覧になって、クリーニングをしてください。 • お使いのプリンターとは異なるメーカーの専用紙を使うと、色合いがおかしくなることがあります。
印刷した画像がきたない。	• お絵かき画面で[**保存**]を選ぶと、画像がJPEG圧縮されるため、元の画質より悪くなります。印刷する場合は何度も保存することは避けてください。 • キヤノンとソニーのプリンターをお使いのかたは、「保存したホームページを見る」（☞78ページ）の一覧から本機に保存されている「プリンターメンテナンス」を選び、[**プリントヘッド位置調整**]を行ってください。

その他

症状	対処のしかた
ワイヤレスLAN使用中にテレビやビデオの画像が乱れる。	モニターでテレビやビデオを見ているときに、パソコンがワイヤレスLANを使用してデータを送受信すると、画像や音声が乱れることがあります。
エアボードネットに入会したい。	エアボードネットのホームページから入会手続きをしてください。

- インターネットの接続についてのご質問は、ご利用の回線事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- よくある質問についてのページ　http://faq.sonydrive.jp

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはエアボード カスタマーサポートセンターへ

エアボード カスタマーサポートセンター（☞裏表紙）にご相談ください。
インターネットの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

修理について

当社では、当社指定業者がお客様宅にうかがい、モニターとベースステーション、ACパワーアダプター（ベースステーション用、モニター用両方）を合わせて引取修理します。
修理完了後に、再度お届けします。詳しくは、本取扱説明書裏表紙の「ご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、テレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、エアボード カスタマーサポートセンターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意を頂いた上で回収させて頂きますので、ご協力ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名： IDT-LF3
製造番号：本体底面または保証書に記載されています
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

用語集

五十音順

あ

@（アットマーク）（☞91ページ）
インターネットのメールアドレスを記述するとき、ドメイン名とユーザー名を区切るときに使います。

アドレス（☞69ページ）
インターネットのホームページのアドレス。URLとも言います。

アドレス帳（☞102ページ）
メールアドレスを登録しておくところ。

暗号鍵（WEP key）
情報を暗号化するときに使われる文字列。

イーサネット（☞29、30、31ページ）
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及しています。

インターネット（☞67ページ）
世界中のコンピューターが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できます。

引用符（>）（☞99ページ）
届いたメールの本文を返信の中に含めるときに行頭に付く記号。相手の質問に対する返事というように区別できます。

エアボードネット（☞81ページ）
本機を使用している人が利用できるインターネットコンテンツサービス。

オフライン
回線を接続していず、通信を行っていない状態。
一度ダウンロードしたホームページはオフラインでも表示できます。メールもオフラインで読めます。

オンライン
回線を接続して、通信中の状態。ホームページをダウンロードしたり、メールを送受信したりするときは、オンラインである必要があります。

か

かな入力（☞125ページ）
キーボード上の「かな」で文字を入力する方法。

画面メモ（☞61ページ）
テレビチャンネルやビデオチャンネルの画面を静止する機能。テレビ番組のメールアドレスやホームページのアドレスを書き留めるときに便利です。

キャッシュ（☞80ページ）
ホームページで一度読み込んだ情報が自動的に本体に取り込まれ、いつでも表示できます。キャッシュは一定量以上になると、古いものから順に消えます。

区点コード（☞133ページ）
日本工業規格（JIS）が一般に使用する文字に定めたコード番号。本機はJIS漢字コード第1水準と第2水準に対応しています。旧字体や難漢字は第2水準を使って表示できます。

ゲートウェイ（☞45ページ）
ネットワークの中で、異なる方式を使用している機器間の接続を可能にする仕組みです。

圏外表示（☞9ページ）
ワイヤレス通信ができないため、本機が利用できない地域であることを示すマーク。「圏外」と表示されているときは、テレビが映らなかったり、メールの送受信ができません。

子画面（☞60ページ）
インターネットチャンネルやメールチャンネル、アルバムチャンネルなどを表示中に、同時に表示可能な小さなテレビまたはビデオ画面。

さ

サブネットマスク（☞45ページ）
IPアドレスの一部で、サブネットを特定するもの。

受信箱（☞97ページ）
受信メールが保存されているところ。

省エネタイマー（☞176ページ）
数分間本機を使用しないときに、バックライトを消して本機の消費電力を少なくする機能。あらかじめ設定した時間が過ぎるとモニターの画面が暗くなります。

常時接続（☞27ページ）
インターネットに常につながっている状態のことを常時接続といいます。料金定額のため、接続時間を気にすることなくインターネットを楽しめます。

初期化（☞162ページ）
「フォーマット」とも言います。“メモリースティック”を初期化すると、“メモリースティック”に保存してあるインターネットのホームページや整理箱などが消去されてしまうので注意が必要です。

署名（☞90ページ）
メールの本文の末尾にあって、名前や連絡先、メールアドレスなどを記述するメッセージ。

スプリッター（☞29ページ）
電話線に混在している音声通話とADSLの情報を2つに分けるために使用します。音声通話よりもADSLが使用する周波数帯の方が高いため、ADSLの情報を分離できるようになっています。

スリープ（☞63ページ）
モニターの電源を、あらかじめ設定した時間で自動的に切る機能。

整理箱（☞160ページ）
送受信メールや画像を保存しておくところ。“メモリースティック”やメモリーカードを挿入しているときにのみ表示されます。整理箱を使ってメールや画像を分類して整理できます。

セキュリティ（☞106ページ）
本機のメールチャンネルに保存している受信メールや送信メールを他の人に読まれないようにするための機能。

接続ID（☞42ページ）
インターネットに接続するときに使用します。パスワードと組み合わせて、利用者本人であることを確認します。

送信箱（☞92ページ）
すでに送ったメールや途中保存したメール、送信待ちのメールが保存されているところ。

た

題名（☞89ページ）
メールの内容を示すためにつけるタイトル。受信したメールに返信するときは、冒頭に「RE:」（Reply＝返事、の略）が追加され、受信したメールに対する返事であることが分かります。受信したメールを他の人に転送するときは、冒頭に「FW:」（Forward＝転送、の略）が追加され、届いたメールを転送していることが分かります。

ダウンロード（☞71ページ）
サーバーから送られてくるホームページなどの情報を本機に取り込むことです。ダウンロードすることで、最新のホームページを表示できます。

チャンネル
本機で利用できる機能のことをチャンネルと言います。本機では、基本的にテレビチャンネル、ビデオ1チャンネル、ビデオ2チャンネル、インターネットチャンネル、メールチャンネル、アルバムチャンネルの6つのチャンネルが利用できます。その他に特定のホームページを呼び出すためのサービスチャンネルも設定できます。
また、ワイヤレス通信に使用する無線周波数帯のことをワイヤレスチャンネルと言います。

転送（☞101ページ）
届いたメールを別の人に送ること。題名に転送であることを示す「FW:」が追加されます。

添付（☞93ページ）
メールの本文と一緒に画像ファイルなどを送ること。

は

パスワード（☞42、47、52、104ページ）
プロバイダと契約したり、メールを送受信するときに入力する暗証番号。

半角（☞131ページ）
全角文字を、横方向に半分の大きさにした文字の種類。本機では、「小文字キーボード」や「大文字キーボード」で入力するアルファベットや数字は半角となります。

反転（☞127ページ）
文字列をなぞること。画面からタッチペンを離さないまま、反転したい文字列の最初から最後までをなぞります。黒い帯の上に文字列が白く表示されます。

フレッツISDN（アイエスディーエヌ）（☞38ページ）
東西NTT地域会社が提供するISDN回線による常時接続サービス（IP接続サービス）の名称。月々の定額料金を支払うとインターネットを無制限に利用できます。

プロキシ（☞50ページ）
ファイアウォール（外部からの不正侵入防御壁）内にいるコンピューターが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバー。

プロトコル
複数のコンピューターがお互いに通信するための規約。

ブロードバンド（☞26、27ページ）
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、FTTHなどがあります。

ブロードバンドルーター（☞29、30、39ページ）
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使います。

プロバイダ（☞41、44、45、46ページ）
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

返信（☞99、100ページ）
届いたメールに返事を書くこと。題名に返信であることを示す「RE:」が、文面の行頭には「>」（引用符）が追加されます。

ホームページ（☞68ページ）
組織や個人が一般に情報を公開しているインターネットのページ。このページにリンクが張られている場合、リンクを選ぶと、あらかじめ指定された別のホームページを表示することができます。

ホームページアドレス（☞68ページ）
ホームページの場所。

ま

マーク（ブックマーク）（☞75ページ）
インターネットでお気に入りのホームページや頻繁に見るホームページの登録。一度登録すると、ホームページを見たいときにアドレスを毎回入力する必要がなくなり便利です。

ミーメール（☞149ページ）
"メモリースティック"にメールユーザー追加の設定（ネットワークとメールの設定）をすることにより、本機に"メモリースティック"を挿入するだけで、記録された設定に基づいてインターネットやメールができます。

メール（☞87ページ）
「Eメール」や「電子メール」とも言います。
インターネットを使って紙を使わないで文章の情報を相手のコンピューターなどと短時間でやりとりできます。

メールアドレス（☞91ページ）
「Eメールアドレス」や「電子メールアドレス」とも言います。
メールの送信先や受信先の住所です。@（アットマーク）を間にはさんだアルファベットと数字記号の組み合わせで表わされます。このアドレスを入力することで、相手にメールを送信できます。

"メモリースティック"（☞145ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディア。本機では"メモリースティック"を使って［ミーメール］を作成したり、"メモリースティック"に画像やホームページを保存できます。

や

予測候補（☞124ページ）
予測入力機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。キーボード画面上部に表示されます。

予測入力（POBox）機能（☞124ページ）
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できます。

ら

リンク（☞68ページ）
表示しているホームページに関連のあるページのアドレスが埋め込まれているところ。

ルーター（☞26、28、29、30、31ページ）
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルーターや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルーターもあります。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともあります。

ローマ字入力（☞128ページ）
キーボード上に表示されているアルファベットの組み合わせでひらがなを入力する方法。

つづく

わ

ワイヤレスLAN（ラン）（☞179ページ）
ケーブルを使わず、電波を使って通信を行なうネットワーク。無線LANとも言います。

アルファベット順

A B

ADSL（エーディーエスエル）(☞37ページ)
非対称ディジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriber Line）の略。
ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能です。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度は16～640 kbpsと遅いのですが、下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）は1.5～12 Mbpsと高速のため、「非対称」の名前がついています。通信速度は契約しているサービスにより、異なります。

AV（エーブイ）マウス（☞188ページ）
ビデオなどを操作するために、本機から出される信号をビデオに送る機器。

B

Bcc（ビーシーシー）(☞91ページ)
Blind carbon copyの略。メールの受取人を表す言葉。
メッセージの主たる宛先を「To」に、二次的な宛先を「Cc」に表示するのに対して「Bcc」に表示する受取人は、メールを受け取ったほかの人には見えません。他の受取人には知らせずメールを送ることができます。

C

Cc（シーシー）（☞91ページ）
Carbon copyの略。メールの受取人を表す言葉。
メッセージの主たる宛先を「To」に表示するのに対して、「Cc」に表示する受取人は、そのメッセージに対して「2次的」な意味あいがあります。

Cookie（クッキー）（☞74ページ）
ホームページ運営者がホームページを閲覧している端末を識別するための情報。オンラインショッピングなどのように利用者を識別する場合によく使われます。

D

DHCP（ディーエッチシーピー）（☞44ページ）
動的ホスト構成プロトコル（Dynamic Host Configuration Protocol）の略。
インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるための仕組み。

DNS（ディーエヌエス）（☞43、45、47ページ）
「プライマリDNS」、「ドメインネームサーバー」、「DNSサーバー」などとも言います。
ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーでIPアドレスで特定されています。

E, F, G, H

ESS-ID（イーエスエスアイディー）
Extended Service Set Identificationの略。ワイヤレスLANの中で特定のグループを識別するための情報。

I

IP（アイピー）アドレス（☞45ページ）
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです（192.168.239.1など）。

ISDN（アイエスディーエヌ）（☞26ページ）
総合サービスデジタルネットワーク（Integrated Services Digital Network）の略。
通信速度64 kbps（128 kbps）のデジタル電話回線。現在、インターネット接続に広く利用されています。

ISDNルーター（☞31ページ）
ISDNでインターネットに接続する場合、ターミナルアダプターという機器を使うのが一般的ですが、ISDNの通信速度でインターネットに接続するときは、ISDNルーターという機器を使います。

J, K

ジャバスクリプト
JavaScript（☞50ページ）
ホームページを作成するための言語の中の1つ。本機の設定で「JavaScriptを有効にする」をチェックするとJavaScript対応のホームページを見ることができます。ただし、本機で対応していないJavaScriptが使われているホームページの場合は、表示できない、読み込みが終了しないなどの症状が起きることがあります。そのときは、チェックをはずしてJavaScriptを無効にすると、このような症状を避けられます。

L

ラン
LAN（☞44ページ）
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。
オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピューターやプリンター、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

M, N, O

マック
MACアドレス（☞44ページ）
Media Access Control の略。LAN回線などの配線の上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号です。ケーブルテレビ会社によってはMACアドレスの届け出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」の設定画面に表示されています。

P, Q, R

ピーオーボックス
POBox（☞124ページ）
Predictive Operation Based On eXampleの略。
本機のキーボードの予測入力機能のこと。

ポップスリー
POP3（☞52ページ）
Post Office Protocol version 3の略。メールを受け取るときに必要なプロトコル。

ピーピーピーオーイー
PPPoE（☞46ページ）
Point-to-Point Protocol over Ethernetの略。
ADSLを使ってインターネットに接続するときに使われるプロトコルです。

S

エスエムティーピー
SMTP（☞52ページ）
Simple Mail Transfer Protocolの略。メールを送るときに必要なプロトコル。

エスエスエル
SSL（☞68ページ）
Secure Socket Layerの略。
インターネット上で情報を安全にやり取りするための規格。クレジットカードなどの情報をやり取りするようなホームページでよく使用されます。
SSLには、ホームページ作成者の身元を確認する機能と安全に情報をやりとりするために、情報を暗号化する機能があります。本機ではSSLの情報を確認できます。

T

トゥー
To（☞91ページ）
メールの主たる受取人を表す言葉。

U, V, W, X, Y, Z

ユーアールエル
URL（☞68ページ）
Uniform Resource Locatorの略。インターネット上の情報（ホームページ）のアドレス。インターネットチャンネルでアドレスを入力すると、特定のホームページを表示できます。ただし、1文字でも間違えると、閲覧したいホームページは表示されません。

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1〜12チャンネル UHF 13〜62チャンネル CATV C13〜C35チャンネル
選局方式	PLLシンセサイザー方式
画面寸法	12.1型、24.9 × 18.7 cm、 31.1 cm（幅 × 高さ、対角）
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ） アクティブマトリックス駆動方式
有効画素率	99.99 %
有効画素数	水平　800 ドット 垂直　600 ライン
使用スピーカー	4 × 2.8 cm　楕円 × 2
音声出力	実用最大 0.5W × 2（JEITA）、8 Ω

Webブラウザ

HTML	HTML 3.2（HTML 4.0の一部）、 フレーム対応、JavaScript、SSL （V2/3）
イメージファイル	GIF、JPEG、PNG
漢字コード	JIS、シフトJIS、EUC
Flash	Ver. 5

電子メール

送信プロトコル	SMTP
受信プロトコル	POP3

アルバム

アルバム対応ファイル
GIF、JPEG、PNG、BMP、MPEG1

入出力端子

ベースステーション

VHF/UHF端子	VHF/UHF 75 Ω F型コネクター
ビデオ入力1端子	S映像：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ
ビデオ入力2端子	映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ
ビデオ出力端子	映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 5 kΩ以下
DC IN端子	DC（13.5 V）
電話回線端子	モジュラージャック
回線直流抵抗値	284 Ω
ETHER端子	10BASE-Tコネクター
AVマウス出力	ミニジャック（2）
USB端子	

モニター

DC IN端子	DC（13.5 V）
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス 16 Ω以上
キーボード端子	PS/2
USB端子	

ACパワーアダプター

ベースステーション用　AC-LF3

電源	AC100 V、50/60 Hz
定格出力	DC OUT:DC13.5 V、3.8 A
動作温度	0 °C〜35 °C
保存温度	−10 °C〜+60 °C
最大外形寸法	約148 × 34 × 63 mm（幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含まず）
質量	308 g

クレードル用　AC-LF1B

電源	AC100 V、50/60 Hz
定格出力	DC OUT:DC13.5 V、3.3 A
動作温度	0 °C〜35 °C
保存温度	−10 °C〜+60 °C
最大外形寸法	約110 × 28 × 45 mm（幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含まず）
質量	210 g

バッテリー　BP-AB1

公称電圧	DC7.4 V
容量	5,400 mAh
種類	リチウムイオン蓄電池
最大外形寸法	約58.1 × 23.3 × 139.7 mm （幅 × 高さ × 奥行き）
質量	約350g
動作温度	0 °C〜35 °C
保存温度	−20 °C〜+45 °C

電源部・その他

消費電力	ベースステーション： 約20 W（テレビ視聴時） 約1.3 W（電源オフ、ACアダプター装着時） モニター： 約32 W（テレビ視聴時、ACアダプター装着時） 約27 W（テレビ視聴時、バッテリー使用時） 約23 W（電源オフ、バッテリー充電時）
動作温度	0 °C～35 °C
保存温度	－10 °C～＋45 °C
最大外形寸法	ベースステーション： 26.0 × 13.0 × 17.0（cm） （幅 × 高さ × 奥行き）（突起部含まず） モニター： 36.8 × 24.2 × 5.2（cm） （幅 × 高さ × 奥行き）（突起部含まず） クレードル： 13.8 × 7.9 × 8.6（cm） （幅 × 高さ × 奥行き）
質量	ベースステーション：約1.2 kg モニター：約2.1 kg （バッテリー装着時） クレードル：約240g
通信距離	屋内約30 m（ただし周辺環境の条件によって変わります）
準拠規格	IEEE802.11 b
使用周波数帯	2.4 GHz
変調方式	DS-SS
電源	ACパワーアダプター使用時： 100 V、50/60 Hz バッテリー使用時：5,400 mAh
バッテリー使用可能時間	約2時間（バックライトの明るさ、最小） 約1時間30分（バックライトの明るさ、中） 約1時間（バックライトの明るさ、最大）

バッテリー充電時間

充電方法	モニター電源入	モニター電源切
クレードルを使う	約7時間	約4.5時間
ベースステーションを使う	できません	約4.5時間
クレードル用ACアダプターを使う	約7時間	約4.5時間

付属品
バッテリー BP-AB1（1）
タッチペン（1）
リモコン（1）
クレードル（1）
クレードル用ACパワーアダプター AC-LF1B（1）
ベースステーション用ACパワーアダプター AC-LF3（1）
電源コード（2）
アンテナ接続ケーブル（1）
テレホンコード（1）
AVマウス（1）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
区点コード表（1）
保証書（1）
「ご使用上のご注意」シール（1）
エアボードネットニュース（1）
インターネットナンバー番号集（1）
ご愛用者カード（1）
So-net Service Guide（1）
So-netインターネット設定マニュアル（1）

別売りアクセサリー

リチャージャブルバッテリーパック BP-AB1
充電クレードル IDTA-CR1
お風呂ジャケット IDTA-FP1
小型IC記録メディア"メモリースティック"
ヘッドホン
映像・音声コード
プラグアダプター PC-230M
AVマウス延長ケーブル RK-G131（3 m）
AVマウス VM-50
アンテナ接続ケーブル EAC-315など

2002年12月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ローマ字対照表

50音

あ	い	う	え	お
a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ
k→a	k→i	k→u	k→e	k→o
さ	し	す	せ	そ
s→a	s→i （s→h→i）	s→u	s→e	s→o
た	ち	つ	て	と
t→a	t→i （c→h→i）	t→u	t→e	t→o
な	に	ぬ	ね	の
n→a	n→i	n→u	n→e	n→o
は	ひ	ふ	へ	ほ
h→a	h→i	h→u （f→u）	h→e	h→o
ま	み	む	め	も
m→a	m→i	m→u	m→e	m→o
や		ゆ	いぇ	よ
y→a		y→u	y→e	y→o
ら	り	る	れ	ろ
r→a	r→i	r→u	r→e	r→o
わ	うぃ		うぇ	を
w→a	w→i		w→e	w→o
ん				
n→n				

濁点／半濁点付き50音

が	ぎ	ぐ	げ	ご
g→a	g→i	g→u	g→e	g→o
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
z→a	z→i （j→i）	z→u	z→e	z→o
だ	ぢ	づ	で	ど
d→a	d→i	d→u	d→e	d→o
ば	び	ぶ	べ	ぼ
b→a	b→i	b→u	b→e	b→o
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
p→a	p→i	p→u	p→e	p→o

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
l→a （x→a）	l→i （x→i）	l→u （x→u）	l→e （x→e）	l→o （x→o）
ゃ		ゅ		ょ
l→y→a （x→y→a）		l→y→u （x→y→u）		l→y→o （x→y→o）
っ		ゎ		
l→t→s→u （x→t→s→u） l→t→u （x→t→u）		l→w→a （x→w→a）		

小さい「っ」を入力するには

例：きっと→kitto
　　がっき→gakki

子音（例の場合、「t」や「k」）を2つ続けて入力しても小さい「っ」が入力されます。

50音＋小文字の組み合わせ

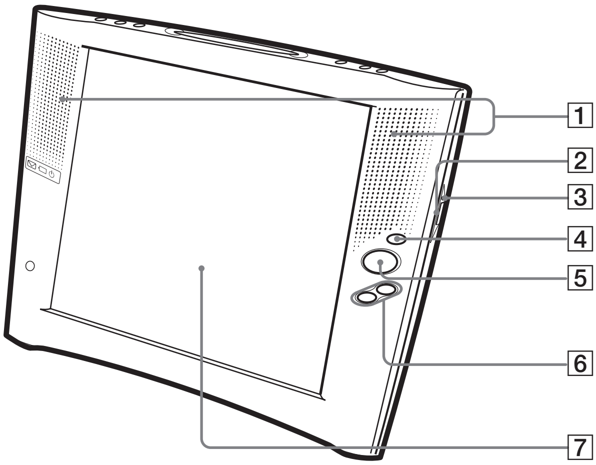
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
k→y→a	k→y→i	k→y→u	k→y→e	k→y→o
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
s→h→a		s→h→u	s→h→e	s→h→o
(s→y→a)	(s→y→i)	(s→y→u)	(s→y→e)	(s→y→o)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
c→h→a		c→h→u	c→h→e	c→h→o
(c→y→a)	(c→y→i)	(c→y→u)	(c→y→e)	(c→y→o)
(t→y→a)	(t→y→i)	(t→y→u)	(t→y→e)	(t→y→o)
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
n→y→a	n→y→i	n→y→u	n→y→e	n→y→o
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
h→y→a	h→y→i	h→y→u	h→y→e	h→y→o
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
m→y→a	m→y→i	m→y→u	m→y→e	m→y→o
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
r→y→a	r→y→i	r→y→u	r→y→e	r→y→o
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
g→y→a	g→y→i	g→y→u	g→y→e	g→y→o
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
j→a	j→y→i	j→u	j→e	j→o
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
d→y→a	d→y→i	d→y→u	d→y→e	d→y→o
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
b→y→a	b→y→i	b→y→u	b→y→e	b→y→o
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
p→y→a	p→y→i	p→y→u	p→y→e	p→y→o

くゎ				
k→w→a				
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
t→s→a	t→s→i		t→s→e	t→s→o
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
f→a	f→i		f→e	f→o
ふゃ		ふゅ		ふょ
f→y→a		f→y→u		f→y→o
ぐゎ				
g→w→a				
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
t→h→a	t→h→i	t→h→u	t→h→e	t→h→o
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
d→h→a	d→h→i	d→h→u	d→h→e	d→h→o

各部の名称

モニター

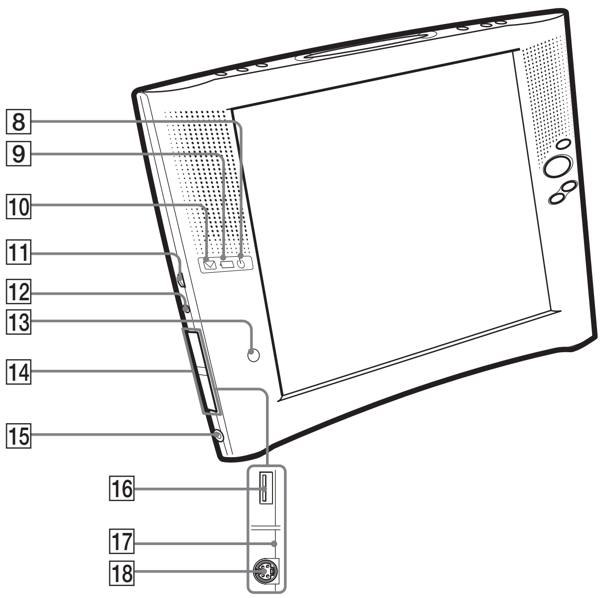
モニター右側



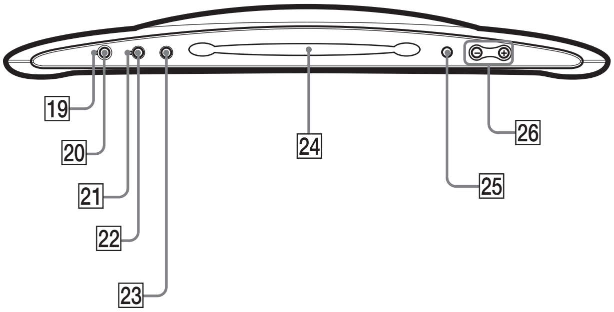
1 スピーカー
2 メモリースティックスロット
（☞146ページ）
“メモリースティック”を挿入します。
3 “メモリースティック”用ランプ
（☞146ページ）
4 ジャンプボタン（☞58ページ）
1つ前のチャンネルを表示します。
5 インデックスボタン（☞17、56ページ）
インデックス画面を表示します。
6 チャンネル＋/－ボタン（☞56ページ）
7 液晶画面

モニター左側

8 ⏻スタンバイランプ（☞15、216ページ）
9 充電ランプ（☞15ページ）
10 メール自動送受信ランプ
（☞107ページ）
11 ☼（明るさ調整）つまみ（☞59ページ）
画面のバックライトの明るさを調整
します。
12 （ヘッドホン端子）（ステレオミニジャック）
市販のヘッドホンをつなぎます。
13 リモコン受光部
14 ジャックカバー
15 DC IN端子（☞13ページ）
クレードル用ACパワーアダプター（付属）ま
たは別売りのACパワーアダプターをつなぎま
す。
16 USB端子（☞148ページ）
外部メモリーカードリーダー/ライターをつな
ぎます。
17 リセットスイッチ
モニターを再起動します。
18 キーボード端子（PS/2端子）（☞138ページ）
市販のキーボードをつなぎます。

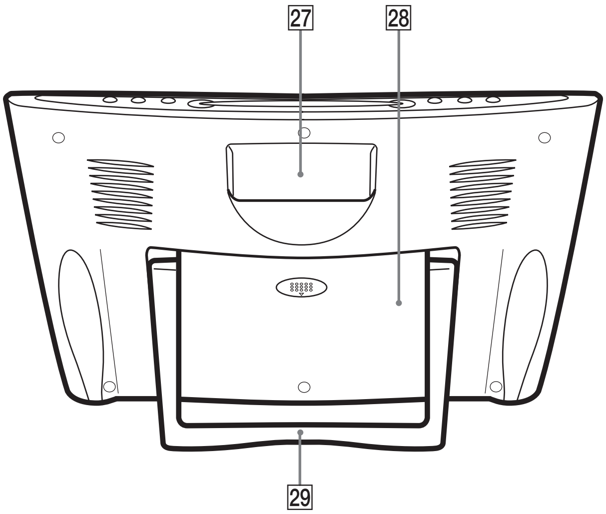


モニター上部



19 電源ランプ（☞14ページ）
20 モニター用電源ボタン
（☞15、56ページ）
21 回線ランプ（☞84ページ）
22 切断ボタン（☞84ページ）
23 印刷ボタン（☞166ページ）
印刷をします。
24 タッチペン収納部
付属のタッチペンが落ちないように、マグネットが付いています。
25 消音ボタン（☞58ページ）
26 音量＋/−ボタン（☞56ページ）

モニター裏面



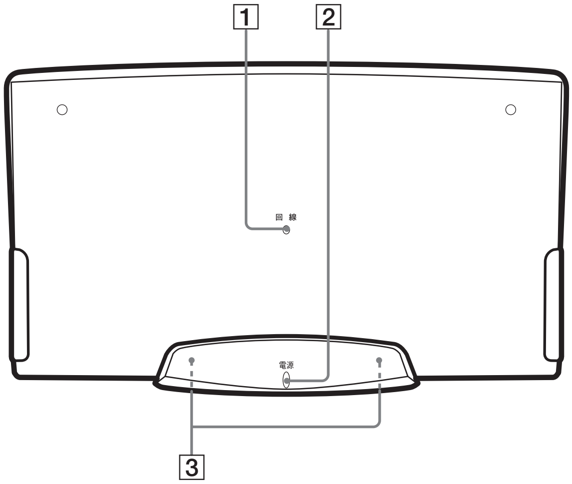
27 手がけ部（☞10ページ）
モニターをベースステーションから取りはずしたり、置くときに持ちます。
28 バッテリー収納部（☞14ページ）
29 モニタースタンド（☞10ページ）

その他

つづく

ベースステーション

ベースステーション正面

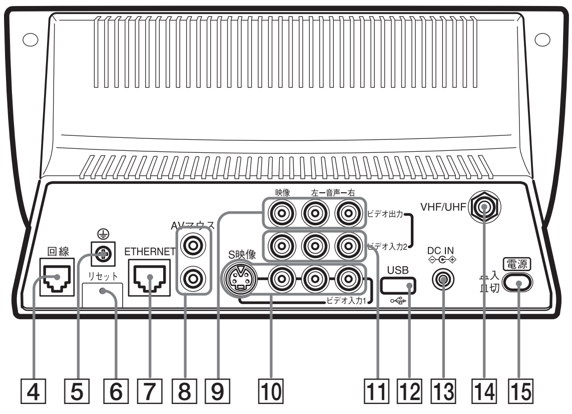


1 回線ランプ（☞84ページ）

2 電源ランプ（☞14ページ）

3 モニター接続端子（☞10ページ）

ベースステーション背面



4 回線端子（☞32、33ページ）
テレホンコードをつなぎます。

5 アース端子（☞13ページ）

6 リセットスイッチ
ベースステーションを再起動します。

7 ETHERNET（イーサネット）端子
（☞28、29、30ページ）
イーサネットケーブルをつなぎます。

8 AVマウス端子（☞188ページ）
付属のAVマウスをつなぎます。

9 ビデオ出力（映像・音声）端子
（☞183ページ）
ビデオ入力2端子に入力した信号を出力します。
音声・映像コードをつなぎます。

10 ビデオ入力1（S映像・映像・音声）端子
（☞182、184、185、186、187ページ）
S映像コードと音声コード、または音声・映像コードをつなぎます。

11 ビデオ入力2（映像・音声）端子
（☞183ページ）
音声・映像コードをつなぎます。

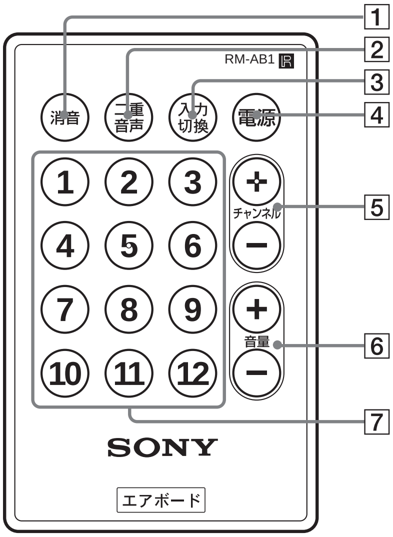
12 USB端子（☞164ページ）
プリンターをつなぎます。

13 DC IN端子（☞13ページ）
付属のベースステーション用ACパワーアダプターをつなぎます。

14 VHF/UHF端子（☞11ページ）
アンテナ接続ケーブルまたは分配器をつなぎます。

15 電源ボタン（☞14ページ）
ベースステーションの電源の入/切を行います。

リモコン



1 消音ボタン（☞58ページ）

2 二重音声ボタン（☞63ページ）

3 入力切換ボタン（☞58ページ）

4 電源ボタン（☞15、56ページ）

5 チャンネル+/–ボタン（☞56ページ）

6 音量+/–ボタン（☞56ページ）

7 チャンネル数字ボタン（☞57ページ）

索引

五十音順

た

な

は

ま

つづく

アルファベット順

インターネットとメールの設定メモ

回線： 電話回線

設定項目	設定値	例
1 電話回線の種類		トーン
2 アクセスポイント		03-1234-5678
3 自動回線切断		3分
4 接続ID		taro@aa2.so-net.ne.jp
5 パスワード		loVe4pEAce
6 DNS1		202.238.95.24
7 DNS2		202.238.95.26
8 □ 外線発信する	□	□ （チェックしない）
9 モデム通信速度		56kbps

回線： LAN回線（アドレス手動/DHCP）

設定項目	設定値	例
1 □ 自動設定（DHCP）	□	☑ （チェックする）
2 IPアドレス		10.45.67.101
3 サブネットマスク		255.255.255.0
4 デフォルトゲートウェイ		10.45.67.1
5 DNS1		10.45.6.78
6 DNS2		10.45.8.78
7 ホスト名		host1
8 MACアドレス		00-00-7B-39-F4-61（機種ごとに番号が異なります）

つづく

インターネットと
メールの設定メモ（つづき）

回線：LAN回線（PPPoE）

設定項目	設定値	例
1 サービス名		So-net
2 接続ID		taro@aa2.so-net.ne.jp
3 パスワード		loVe4pEAce
4 DNS1		202.238.95.24
5 DNS2		202.238.95.26
6 自動回線切断		10分

インターネット

設定項目	設定値	例
1 ホーム		http://www.airbonet.com
2 プロキシ		設定しない
3 ユーザー名 （必要なプロバイダ）		taro

メール

設定項目	設定値	例
1 名前		曽似　太郎
2 メールアドレス		taro@aa2.so-net.ne.jp
3 メールアカウント		taro
4 パスワード （プロバイダからの パスワード）		abZ42txc
5 POPサーバー （POP3）		pop.aa2.so-net.ne.jp
6 SMTPサーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp

商標などについて

- 本製品のブラウザは株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。Copyright© 1996-2001 ACCESS CO. LTD.
- NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。
- エアボード、エアボードネット、ミーメールはソニー株式会社の商標です。
- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “メモリースティック”、MEMORY STICK™、“マジックゲート メモリースティック”、MG、LocationFree、POBoxはソニー株式会社の登録商標です。
- Ethernetは米国XEROX社の登録商標です。イーサネットは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- インターネットナンバーはインターネットナンバー株式会社の登録商標です。
- 本機は、Macromedia® Flash ™ Player技術を使用しています。Macromedia、FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- So-netは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本製品には、日本ヒューレット・パッカード（HP）株式会社提供のプリンタードライバが含まれています。以下はHPプリンターのプリンタードライバ使用許諾内容を明記したものです。使用許諾にある本ソフトウェアとは、ヒューレット・パッカード製のプリンタードライバです。

本ソフトウエアは、HP製品とともに使用する場合に限り、使用許諾されます。ソースコードやバイナリ形式での再販売や再頒布又はHP製品との使用は、翻案や修正の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に限り認められます。

－ ソースコードで再販売や再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件及び以下の免責条項をそのまま維持しなければなりません。
－ バイナリ形式で再販売や再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件及び以下の免責条項を、添付書類又は／及び添付品に表示しなければなりません。
－「ヒューレット・パッカード」や開発関係者の名前を、事前の書面による承諾なしに、本ソフトウエアを利用して作成した製品の販売促進や信用付けのため使用することはできません。
－ お客様がソースコード上で不具合の修正をした場合、ヒューレット・パッカードは、当該修正を利用し再販売や再頒布する権利を持ちます。

本ソフトウエアは第三者から使用／実施許諾を受けた技術を含んでいる場合があります。HP製品以外の製品とともに使用した場合の責任はお客様にあり、場合によっては許諾料を請求されることがあります。

免責条項： 本ソフトウエアは、著作権者および開発関係者により、「現状有姿」で提供され、特定用途の製品としての市場商品力及び適合性について黙示の保証を含め、一切の、明示及び黙示の保証はされません。いかなる場合も、ヒューレット・パッカード及び開発関係者は、損害の可能性について指摘されていた場合であっても、本ソフトウエアの使用に伴い生じた、直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、結果的損害（代替品又は代替サービスの購入、使用不能、データの喪失、逸失利益、営業の停止による損害を含む）について、契約、不法行為その他の法律上の根拠の如何によらず、一切責任を負いません。

ご案内

本製品に関するお問い合わせは「エアボードカスタマーサポートセンター」へ

エアボード カスタマーサポートセンター

- **ナビダイヤル** 0570-05-0005
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は** 0191-32-2951
受付時間：月～金　午前9時～午後6時　（ただし、年末、年始、祝日を除く）
- **メールアドレス** .... support@airbonet.com
- **よくある質問についてのページ** .... http://faq.sonydrive.jp

ケーブルモデムやADSLモデムの設定、インターネットへの接続、メールボックスの容量など、ネットワークへの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

万一不具合が生じた場合は

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「エアボード カスタマーサポートセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。

また修理が必要な場合は、当社指定宅配業者がお客様宅まで伺い、引取修理をさせていただきます。その際には、故障箇所にかかわらず、ベースステーションとモニター、ACパワーアダプター（ベースステーション用、モニター用両方）を合わせて、お渡しください。

エアボードのホームページ

●http://www.sony.co.jp/airboard

ソニー株式会社　〒141-0001　**東京都品川区北品川**6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan